

人権に関する市民意識調査

報告書

令和3年2月

横浜市市民局人権課

はじめに

国連総会で昭和23年に採択された「世界人権宣言」は、その第1条で、「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」と掲げています。

現在、世界では、人権に係る様々な課題に対して、不断の取組が続けられています。我が国においても、基本的人権を保障した日本国憲法のもと、人権に関する諸制度や施策が進められてきましたが、今なお様々な人権に関する課題があるのが実情です。

女性や子ども、高齢者、障害者に対する差別などが依然として存在しており、ヘイトスピーチを含む外国人への差別や性的少数者への偏見・差別、ハラスメントなどの人権問題も大きな社会問題となっています。

また、インターネットやSNSの普及により、世界中の人々とつながることが可能となると同時に、個人に対する誹謗中傷やプライバシーの侵害といった深刻な問題が起きています。

特に最近では、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、感染者・濃厚接触者、医療従事者やその家族、外国人などに対する差別や誹謗中傷がなされ、インターネット上の悪質な書き込み、心ない言動などが広がりました。

こうした状況をふまえて、多様化・複雑化が進む人権課題への対応が求められています。

今回の「人権に関する市民意識調査」は、市民の皆様の人権に対する意識の変化を把握するために実施しました。今後、「横浜市人権施策基本指針」の改訂や、本市における各種施策の企画・実施及び人権啓発などにいかしてまいります。

最後になりましたが、この調査の実施にあたり、御協力をいただきました市民の皆様に、心からお礼申し上げます。

令和3年2月

横浜市市民局人権課

目次

I 調査の概要

II 調査の結果

<人権・差別一般>

1	関心のある人権問題【問1】	5
2	今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会か【問2】	7
3	市民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか【問3】	8
4	差別についての認識と行為【問4-1】【問4-2】	9
	(設問間クロス集計1)【問4-1】×【問4-2】	
5	他人を差別した経験【問5】	14
6	差別された経験【問6】	16
	(設問間クロス集計2)【問6】×【問2】	
7	差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応【問7】	19
8	風習についての認識と行為【問8】	21
9	結婚相手の身元調査をすることについての認識【問9】	24
	(設問間クロス集計3)【問8】×【問9】	

<同和問題>

10	同和地区や同和問題についての認知【問10】	27
11	同和地区や同和問題についての認知時期【問11】	28
12	同和地区や同和問題について知ったきっかけ【問12】	30
13	親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応【問13】	32
14	同和地区出身の人との結婚についての対応【問14-1】【問14-2】	34
	(設問間クロス集計4)【問14-1】×【問14-2】	
	(設問間クロス集計5)【問8】×【問14-1】	
	(設問間クロス集計6)【問8】×【問14-2】	
15	同和問題で人権上問題があると思うこと【問15】	41
16	同和問題を解決するために必要なこと【問16】	42

<分野別人権課題・施策>

17	女性について人権上問題があると思うこと【問17】	43
18	子どもについて人権上問題があると思うこと【問18】	44
19	高齢者について人権上問題があると思うこと【問19】	45
20	障害のある人について人権上問題があると思うこと【問20】	46
21	外国人について人権上問題があると思うこと【問21-1】【問21-2】	48
	(設問間クロス集計7)【問4-1】×【問21-2】	

22	エイズ患者やH I V感染者について人権上問題があると思うこと【問 22】	52
23	新型コロナウイルス感染症等の患者等について人権上問題があると思うこと 【問 23-1】【問 23-2】【問 23-3】	53
	(設問間クロス集計 8)【問 4-1】×【問 23-2】	
24	ハンセン病患者・回復者・家族等について人権上問題があると思うこと【問 24】	59
25	ホームレスについて人権上問題があると思うこと【問 25】	60
26	性的少数者について人権上問題があると思うこと【問 26-1】【問 26-2】	61
	(設問間クロス集計 9)【問 4-1】×【問 26-2】	
	(設問間クロス集計 10)【問 14-2】×【問 26-2】	
27	アイヌ民族について人権上問題があると思うこと【問 27】	65
28	犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと【問 28】	66
29	刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと【問 29】	67
30	インターネット上において人権上問題があると思うこと【問 30】	68
31	地震など災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと【問 31】	69
32	職業や職場環境について人権上問題があると思うこと【問 32】	70
33	拉致問題について知っていること【問 33】	71
<人権啓発>		
34	人権問題に関する知識や情報の収集源【問 34】	72
35	参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組【問 35】	73
36	人権についての理解を深めるために充実すべき取組【問 36】	74
37	人権啓発活動において充実すべきインターネットコンテンツ【問 37】	75
38	講演会などにより多くの人に参加するための工夫【問 38】	76
39	「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組【問 39】	77
40	市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動【問 40】	78
III 自由意見		
1	人権や差別に関する意識	79
2	様々な人権問題について	81
3	行政・施策への意見	83
4	本アンケートについて	84
5	その他の意見	84

資料 1—アンケート調査票

資料 2—集計結果

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の人権に関する意識、行動等を明らかにし、今後の横浜市の人権に関する様々な取組をより効果的に進めていくために、人権に関する市民の意識調査（アンケート）を実施する。

2 調査方法

- ◇調査対象 横浜市在住の18歳以上の男女5,000人について、横浜市が住民基本台帳から無作為抽出した。
 - 男性 2,500人（うち外国籍市民50人）
 - 女性 2,500人（うち外国籍市民50人）
 - 合計 5,000人（うち外国籍市民100人）
- ◇調査方法 郵送による配布、郵送・インターネットによる回収及び回答
（ハガキによる礼状兼督促状を1回送付）
- ◇調査期間 令和2年7月31日（金）～ 8月21日（金）
- ◇調査会社 株式会社アクス

3 調査項目

- <問1> 関心のある人権問題
- <問2> 今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会か
- <問3> 市民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか
- <問4> 差別についての認識と行為
- <問5> 他人を差別した経験
- <問6> 差別された経験
- <問7> 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応
- <問8> 風習についての認識と行為
- <問9> 結婚相手の身元調査をすることについての認識
- <問10> 同和地区や同和问题についての認知
- <問11> 同和地区や同和问题についての認知時期
- <問12> 同和地区や同和问题について知ったきっかけ
- <問13> 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応
- <問14> 同和地区出身の人との結婚についての対応
- <問15> 同和问题で人権上問題があると思うこと
- <問16> 同和问题を解決するために必要なこと
- <問17> 女性について人権上問題があると思うこと
- <問18> 子どもについて人権上問題があると思うこと
- <問19> 高齢者について人権上問題があると思うこと
- <問20> 障害のある人について人権上問題があると思うこと
- <問21> 外国人について人権上問題があると思うこと
- <問22> エイズ患者やHIV感染者について人権上問題があると思うこと
- <問23> 新型コロナウイルス感染症等の患者等について人権上問題があると思うこと
- <問24> ハンセン病患者・回復者・家族等について人権上問題があると思うこと
- <問25> ホームレスについて人権上問題があると思うこと
- <問26> 性的少数者について人権上問題があると思うこと
- <問27> アイヌ民族について人権上問題があると思うこと

- <問 28> 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと
- <問 29> 刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと
- <問 30> インターネット上において人権上問題があると思うこと
- <問 31> 地震など災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと
- <問 32> 職業や職場環境について人権上問題があると思うこと
- <問 33> 拉致問題について知っていること
- <問 34> 人権問題に関する知識や情報の収集源
- <問 35> 参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組
- <問 36> 人権についての理解を深めるために充実すべき取組
- <問 37> 人権啓発活動において充実すべきインターネットコンテンツ
- <問 38> 講演会などにより多くの人に参加するための工夫
- <問 39> 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組
- <問 40> 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動

4 回収結果

有効回収票数	2,301 票	(有効回収率 46.0%)
うちインターネット回答	532 票	
うち外国籍市民	11 票	

5 集計にあたって

- ◇ 単純回答の設問の場合、回答者割合の%値は小数点第2位を四捨五入するため、合計が 100.0% にならない場合がある。
- ◇ 「N」は有効回答者数を示し、「n」は該当者の回答数を示している。
- ◇ 前回調査（平成 27 年度）結果について、今回新設した設問、前回調査とは内容や表現が大幅に変更となった設問については、結果を表示していない。
また、同じ設問であっても、選択肢が追加・変更・削除となった設問や、回答形式が異なった設問については、表示していないものがある。

6 標本誤差について

本調査の標本誤差は、およそ以下の表のとおりである。

$$\text{標本誤差} = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団（横浜市人口）

n = 比率算出の基数（回答者数）

P = 回答比率（%）

k = 定数（今回は信頼度を 95% と設定したので 1.96）

統計学上よく使用される信頼度は 95%（許容できる誤差の範囲が 5%）であり、本調査の標本誤差も信頼度 95% で計算している。

統計学上の標本誤差は、比率算出の基数及び回答の比率によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は ±2.04% 以内となる。（前回調査は ±2.18%）

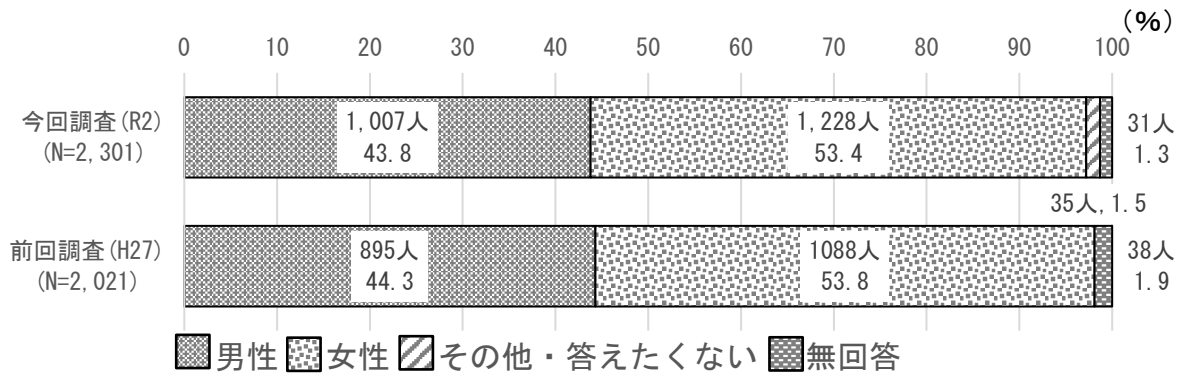
なお、回答の比率における誤差早見表は、次のとおりである。

	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
今回調査 有効回答数 2,301 件	±1.23%	±1.63%	±1.87%	±2.00%	±2.04%
前回調査(平成 27 年度調査) 有効回答数 2,021 件	±1.31%	±1.74%	±2.00%	±2.14%	±2.18%

7 回答者の属性

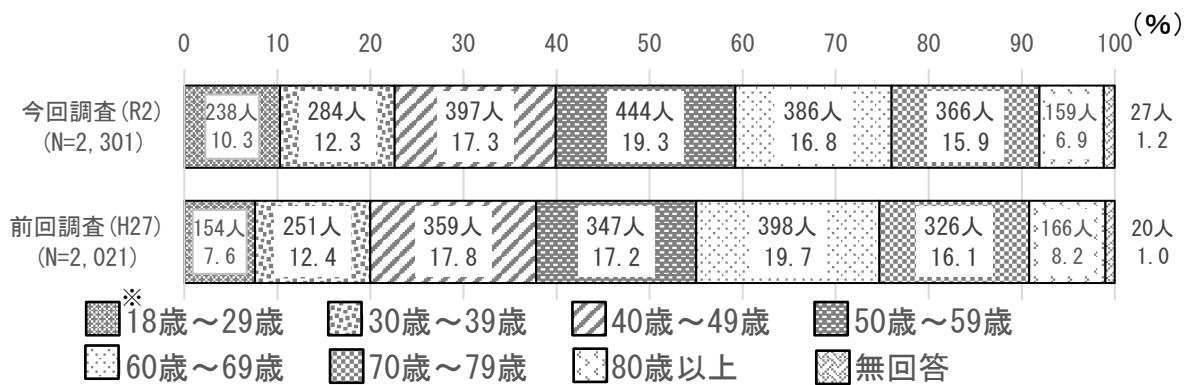
Q1 性別 (N=2,301)

図 I—1 回答者属性：性別



Q2 年齢 (N=2,301)

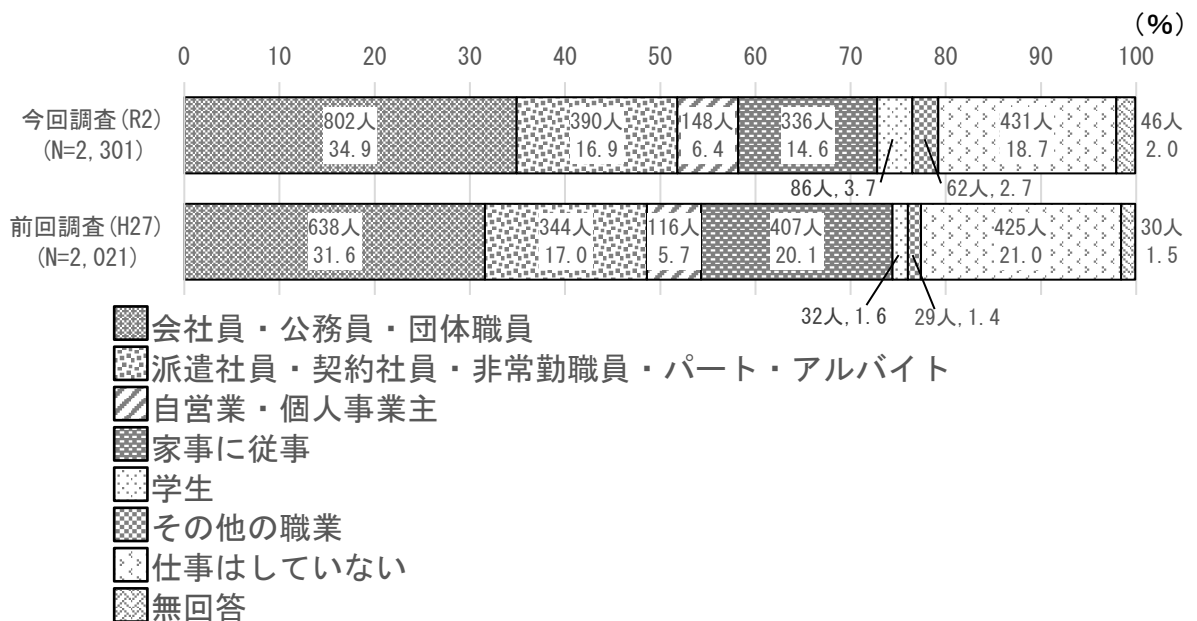
図 I—2 回答者属性：年齢



※前回調査では「20歳～29歳」

Q3 職業 (N=2,301)

図 I—3 回答者属性：職業



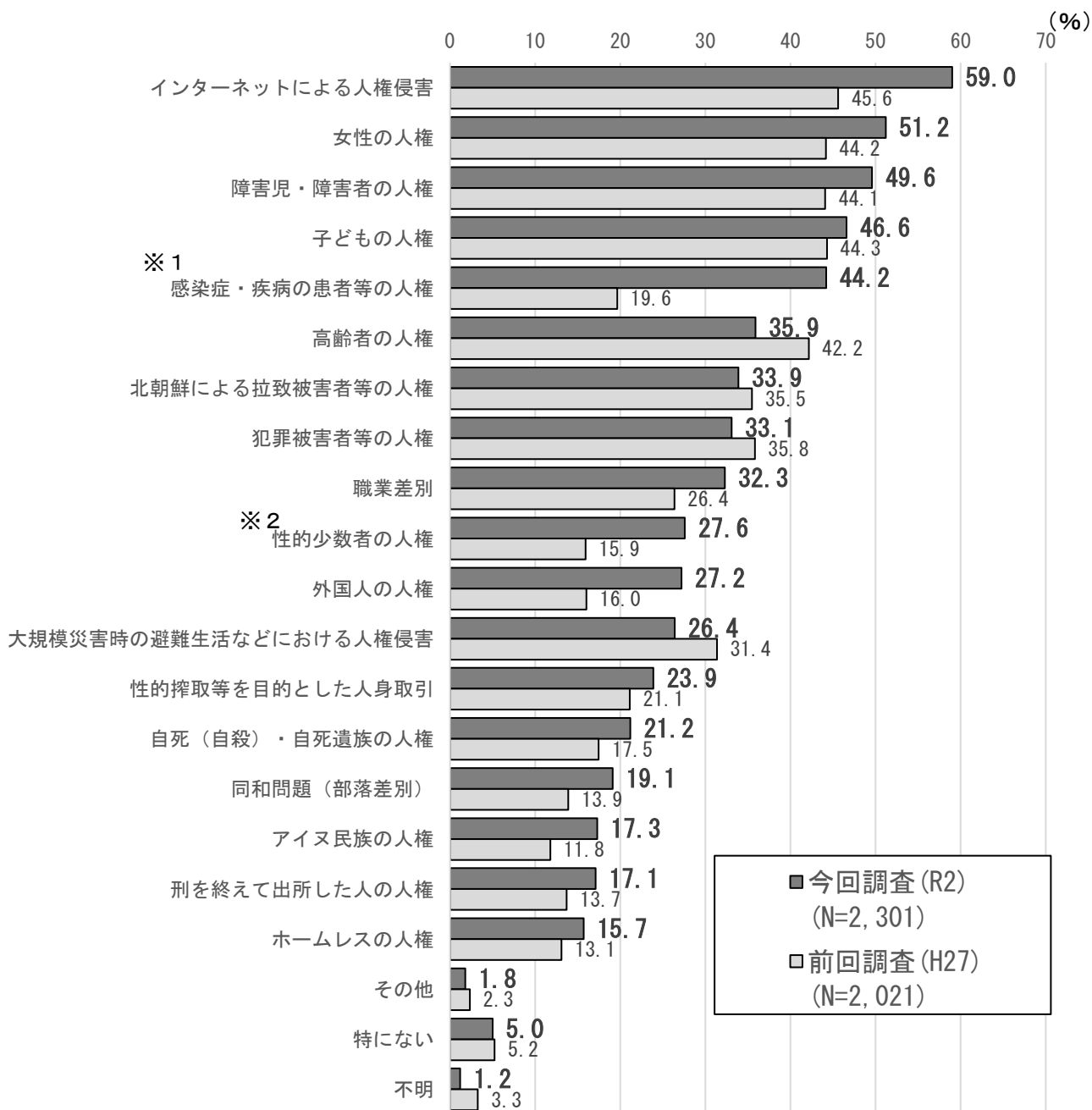
Ⅱ 調査の結果

1 関心のある人権問題【問1】

日本の社会には、基本的人権にかかわるさまざまな問題がある中で、どの人権問題に関心があるかを尋ねたところ、「インターネットによる人権侵害」が59.0%と最も多く、次いで「女性」が51.2%、「障害児・障害者」が49.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「感染症・疾病の患者等」がおよそ25ポイント、「インターネットによる人権侵害」がおよそ13ポイント、「性的少数者」がおよそ12ポイント、「外国人」がおよそ11ポイント増加している。

図Ⅱ—1—1 関心のある人権問題[複数回答]



※1 前回調査では「HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題」

※2 前回調査では「いわゆるLGBTなど性的少数者の人権問題」

性別で見ると、男性では「インターネットによる人権侵害」が最も高く、「障害児・障害者」、「感染症・疾病の患者等」が続いている。女性では「女性」が最も高く、「インターネットによる人権侵害」、「子ども」が続いている。また、「女性」については、男性より女性がおおよそ25ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、10・20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「インターネットによる人権侵害」が、70歳代では「障害児・障害者」、80歳以上では「高齢者」が最も高くなっている。また、年齢層が若いほど「性的少数者」や「インターネットによる人権侵害」、年齢層が高いほど「高齢者」や「拉致被害者等」を選択する人が多くなっている。(集計表P107表1参照)

関心のある人権課題について、平成12年度調査以降、各調査年度ごとの順位を比較した。

図Ⅱ—1—2 関心のある人権問題[複数回答](経年別)

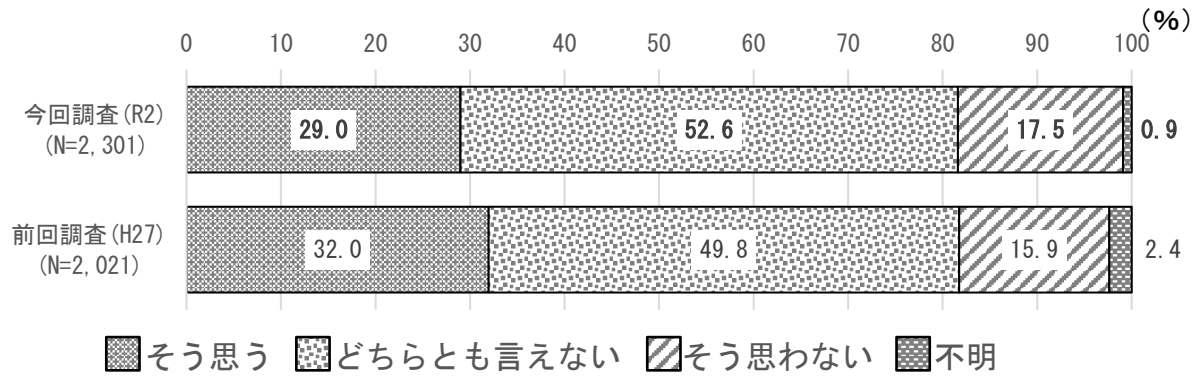
	令和2年度調査		平成27年度調査		平成22年度調査		平成17年度調査		平成12年度調査	
		※		※		※		※		※
1位	インターネットによる人権侵害 (59.0%)	①	インターネット上での人権問題 (45.6%)	⑤	障害者 (46.5%)	②	子ども (51.3%)	①	子ども (77.6%)	-
2位	女性 (51.2%)	③	子ども (44.3%)	②	子ども (41.7%)	①	障害者 (47.7%)	②	障害者 (59.1%)	-
3位	障害児・障害者 (49.6%)	④	女性 (44.2%)	④	高齢者 (39.1%)	④	女性 (45.6%)	⑥	高齢者 (58.8%)	-
4位	子ども (46.6%)	②	障害児・者 (44.1%)	①	女性 (37.1%)	③	高齢者 (41.2%)	③	HIV感染者等 (40.7%)	-
5位	感染症・疾病の患者等 (44.2%)	⑪	高齢者 (42.2%)	③	インターネット上での人権問題 (33.9%)	⑥	犯罪被害者等 (37.9%)	-	外国人 (36.7%)	-
6位	高齢者 (35.9%)	⑤	犯罪被害者等 (35.8%)	⑥	犯罪被害者等 (32.7%)	⑤	インターネット上での人権問題 (29.7%)	-	女性 (36.5%)	-
7位	北朝鮮による拉致被害者等 (33.9%)	⑦	北朝鮮による拉致被害者等 (35.5%)	⑦	北朝鮮による拉致被害者等 (30.2%)	-	HIV感染者やハンセン病患者・元患者等 (29.3%)	④	職業差別 (34.4%)	-
8位	犯罪被害者等 (33.1%)	⑥	大規模災害時の避難生活などにおける問題 (31.4%)	-	職業差別 (29.7%)	⑧	職業差別 (24.0%)	⑦	刑を終えて出所した人 (23.6%)	-
9位	職業差別 (32.3%)	⑨	職業差別 (26.4%)	⑧	HIV感染者やハンセン病患者・元患者等 (23.8%)	⑦	外国人 (22.7%)	⑤	同和問題 (23.0%)	-
10位	性的少数者 (27.6%)	⑭	性的搾取等を目的とした人身取引 (21.1%)	-	外国人 (17.6%)	⑨	同和問題 (16.5%)	⑨	アイヌ(ウタリ) (13.7%)	-

※前回調査時の順位。調査年度により選択肢の項目名が異なるが、「感染症・疾病の患者等」(令和2年度)、「HIV感染者やハンセン病患者・回復者等」(平成27年度)、「HIV感染者やハンセン病患者・元患者等」(平成22年度、17年度)と「HIV感染者等」(平成12年度)は、それぞれ関連付けて比較している。

2 今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会か【問2】

今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会だと思うかを尋ねたところ、「どちらとも言えない」が52.6%と最も多く、次いで「そう思う」が29.0%、「そう思わない」が17.5%と続いている。前回調査と大きな傾向の差は見られない。

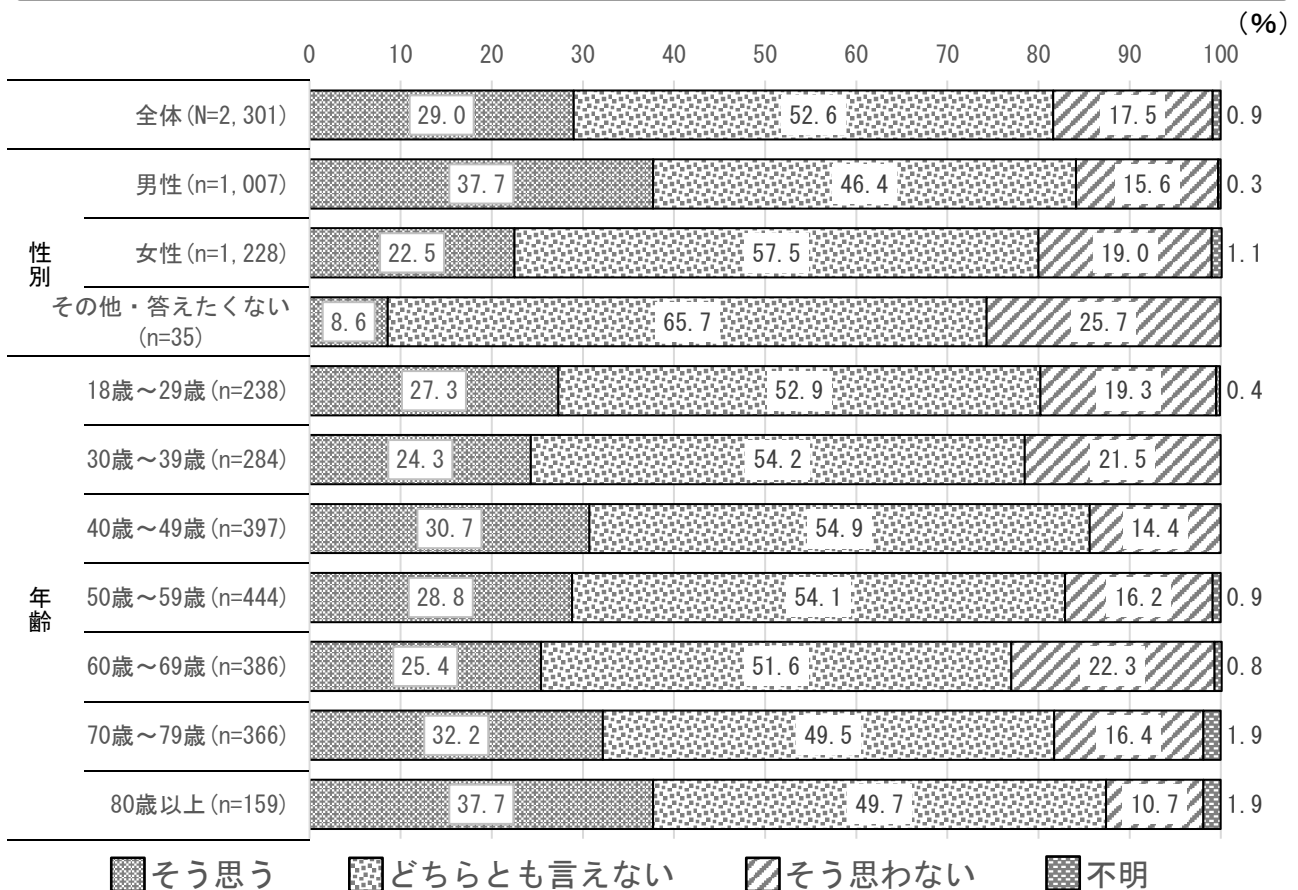
図Ⅱ—2—1 今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会か



性別で見ると、「そう思う」については女性より男性がおよそ15ポイント高い一方で、「どちらとも言えない」については男性より女性がおおよそ11ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、年齢によってばらつきがある。

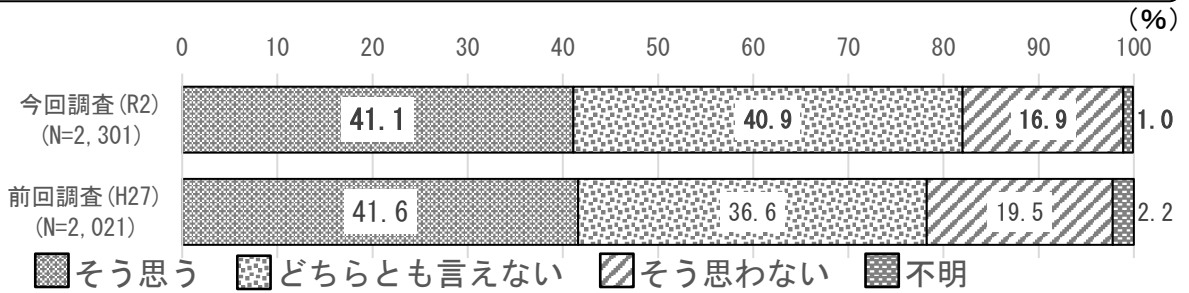
図Ⅱ—2—2 今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会か(性別・年齢別)



3 市民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか【問3】

市民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっていると思うかを尋ねたところ、「そう思う」が41.1%、「どちらとも言えない」が40.9%、「そう思わない」が16.9%となっている。前回調査と大きな傾向の差は見られない。

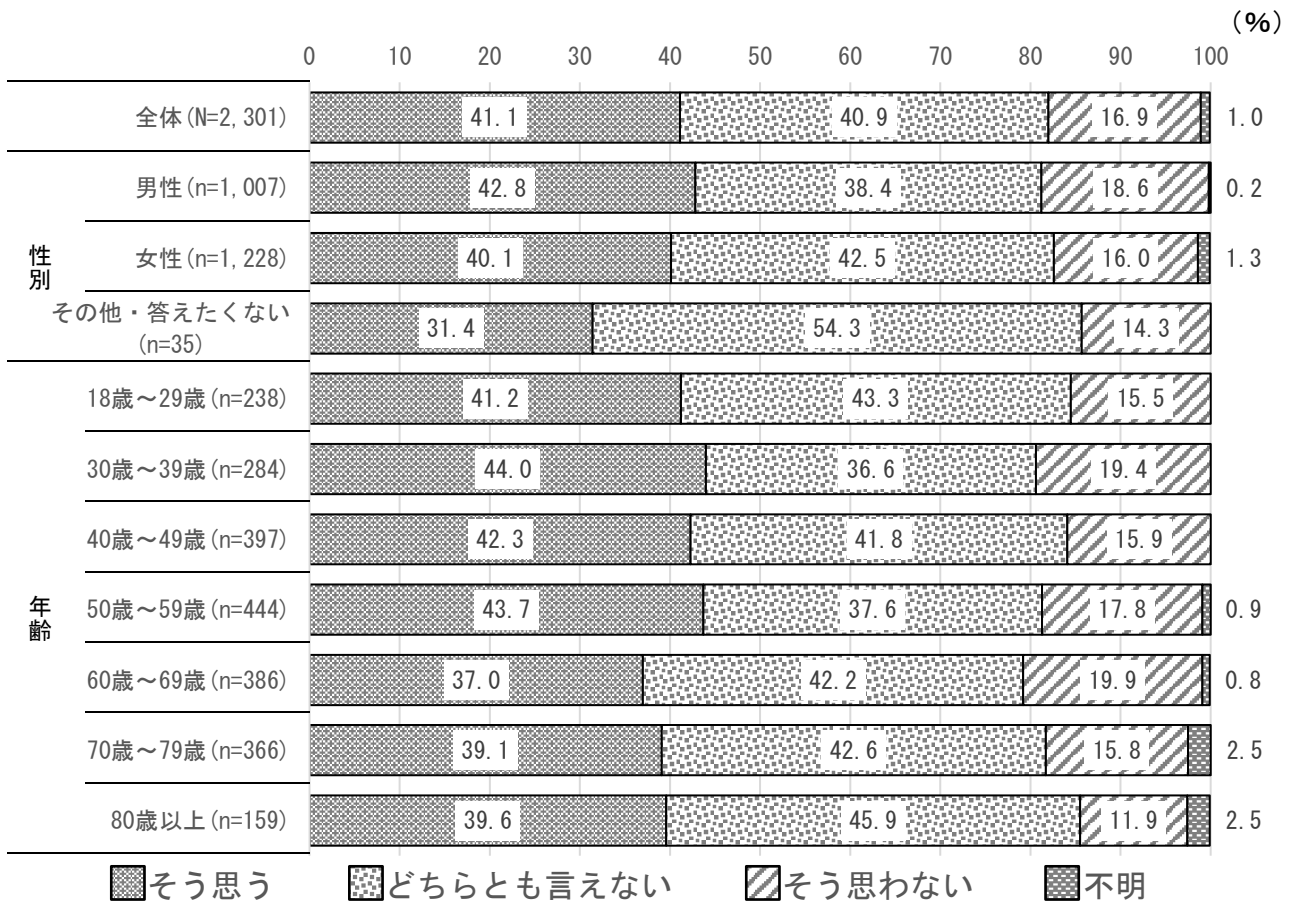
図Ⅱ—3—1 市民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、30歳代、40歳代、50歳代では「そう思う」が最も多いが、10・20歳代、60歳代、70歳代、80歳以上では「どちらとも言えない」が最も多くなっている。

図Ⅱ—3—2 市民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか(性別・年齢別)



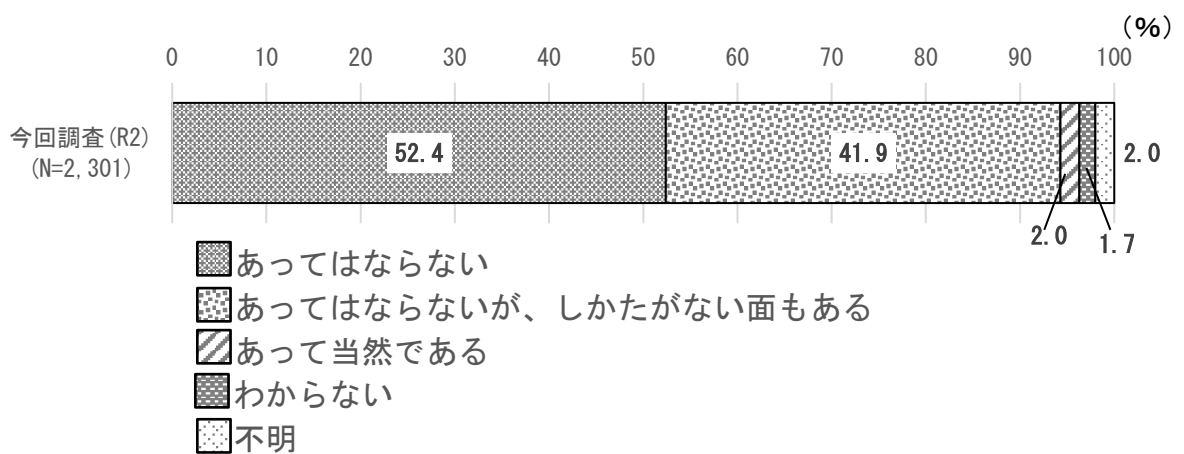
4 差別についての認識と行為【問4】

差別についての考え【問4-1】を尋ねたところ、「あってはならない」が52.4%と最も多く、次いで「あってはならないが、しかたがない面もある」が41.9%と続いている。「あって当然である」は2.0%となっている。

全体の9割以上が「あってはならない（「あってはならない」及び「あってはならないが、しかたがない面もある）」と回答しているが、そのうちの4割以上が「しかたがない面もある」と回答している。

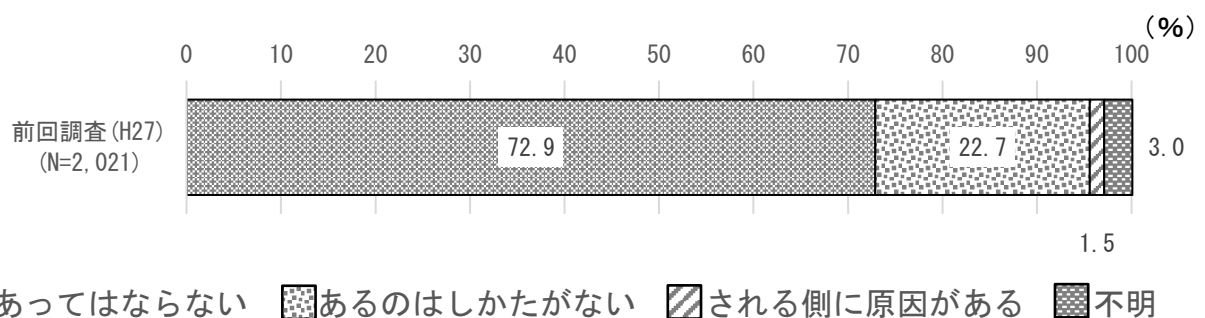
前回調査と比較すると、設問を変えているが「あってはならない」がおよそ21ポイント減少している。

図Ⅱ-4-1 差別についての認識



■参考（前回調査（H27）結果）

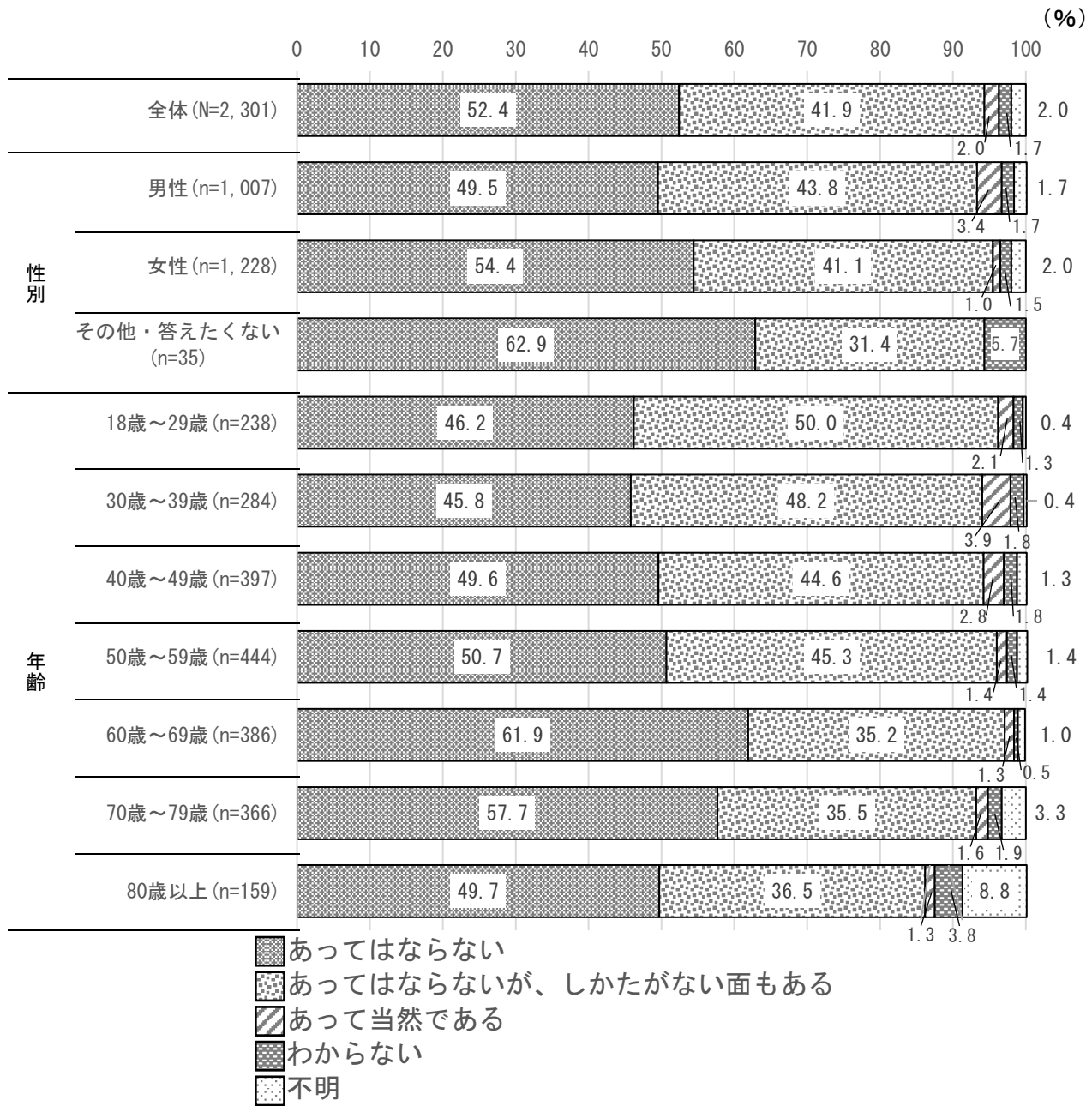
図Ⅱ-4-2 差別についての認識



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、おおむね年齢層が高いほど「あってはならない」が多い傾向にある。

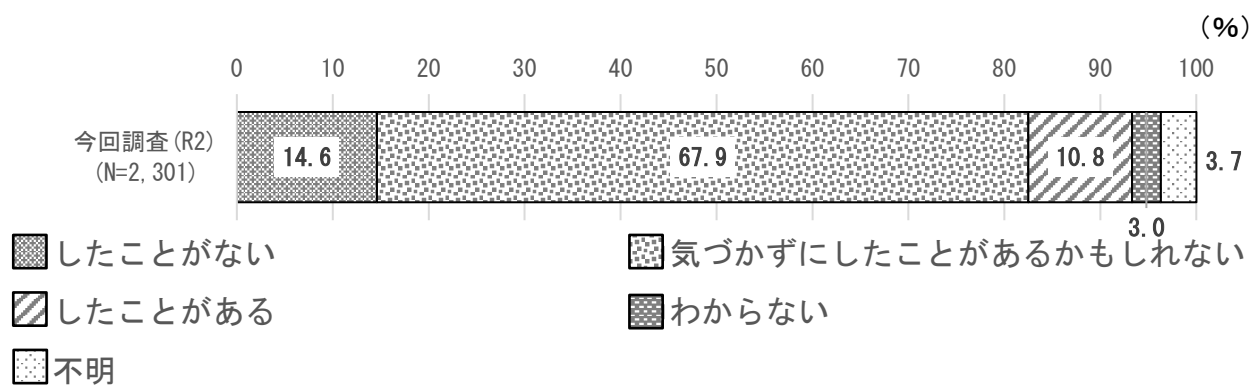
図Ⅱ—4—3 差別についての認識(性別・年齢別)



自分は差別をしたことがあるか【問 4-2】を尋ねたところ、「気づかずにしたことがあるかもしれない」が67.9%と最も多くなっている。「したことがない」が14.6%、「したことがある」が10.8%と続いている。

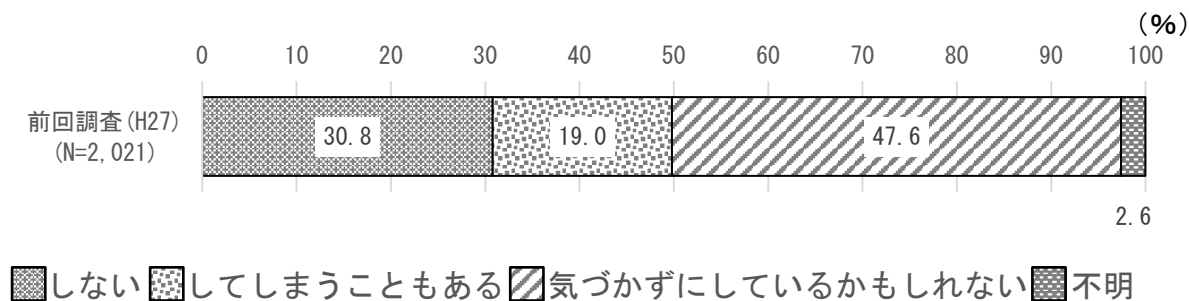
全体のおよそ8割が「したことがある（「気づかずにしたことがあるかもしれない」及び「したことがある）」と回答している。

図Ⅱ—4—4 差別についての行為



■参考（前回調査（H27）結果）

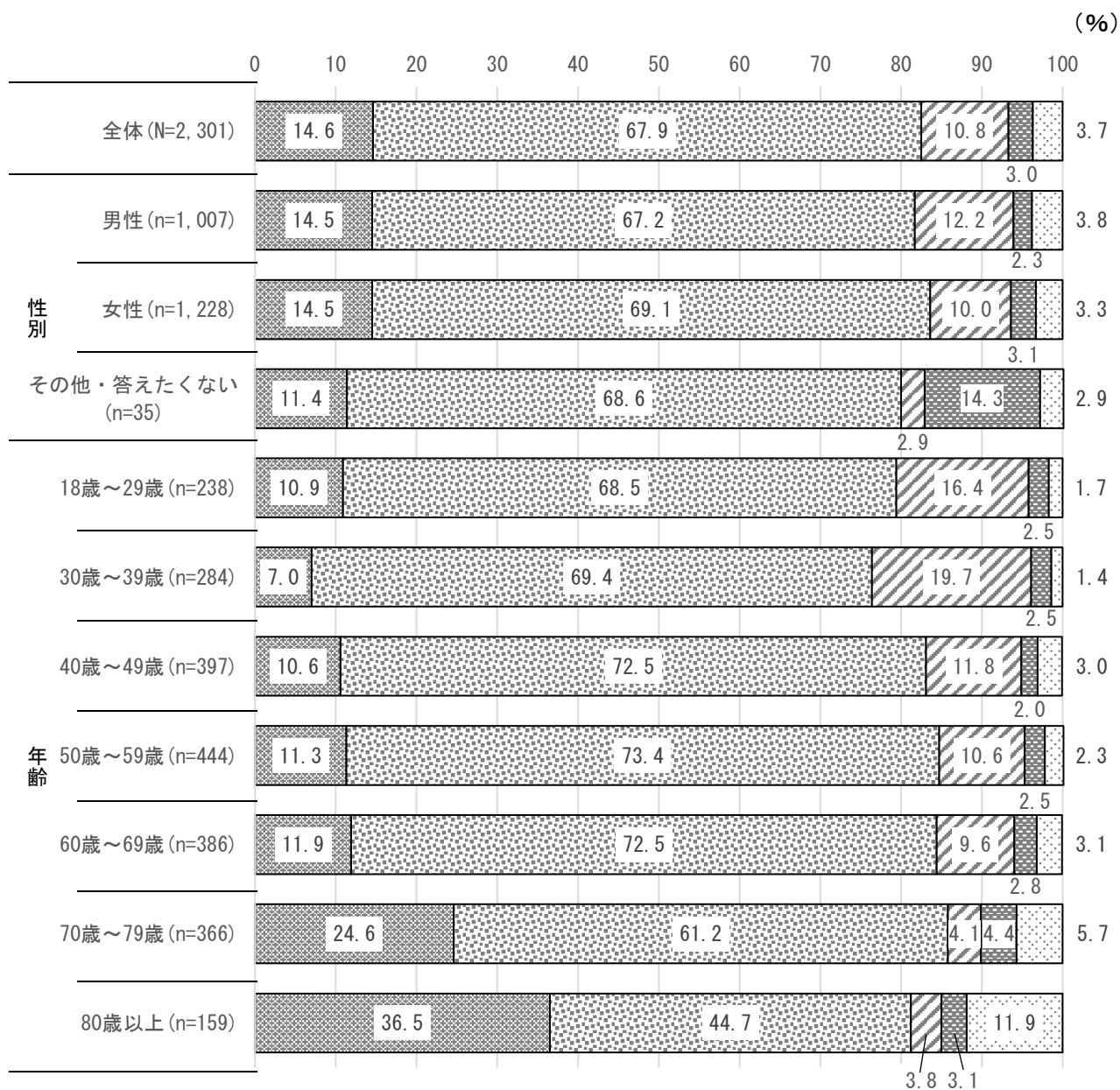
図Ⅱ—4—5 差別についての行為



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、「したことがない」については、70歳代で10ポイント、80歳以上ではおよそ22ポイント、全体よりそれぞれ高くなっている。また、「したことがある」については、30歳代ではおよそ9ポイント、全体よりも高くなっている。

図Ⅱ—4—6 差別についての行為(性別・年齢別)



- したことがない
- 気づかずにしたことがあるかもしれない
- したことがある
- わからない
- 不明

設問間クロス集計 1

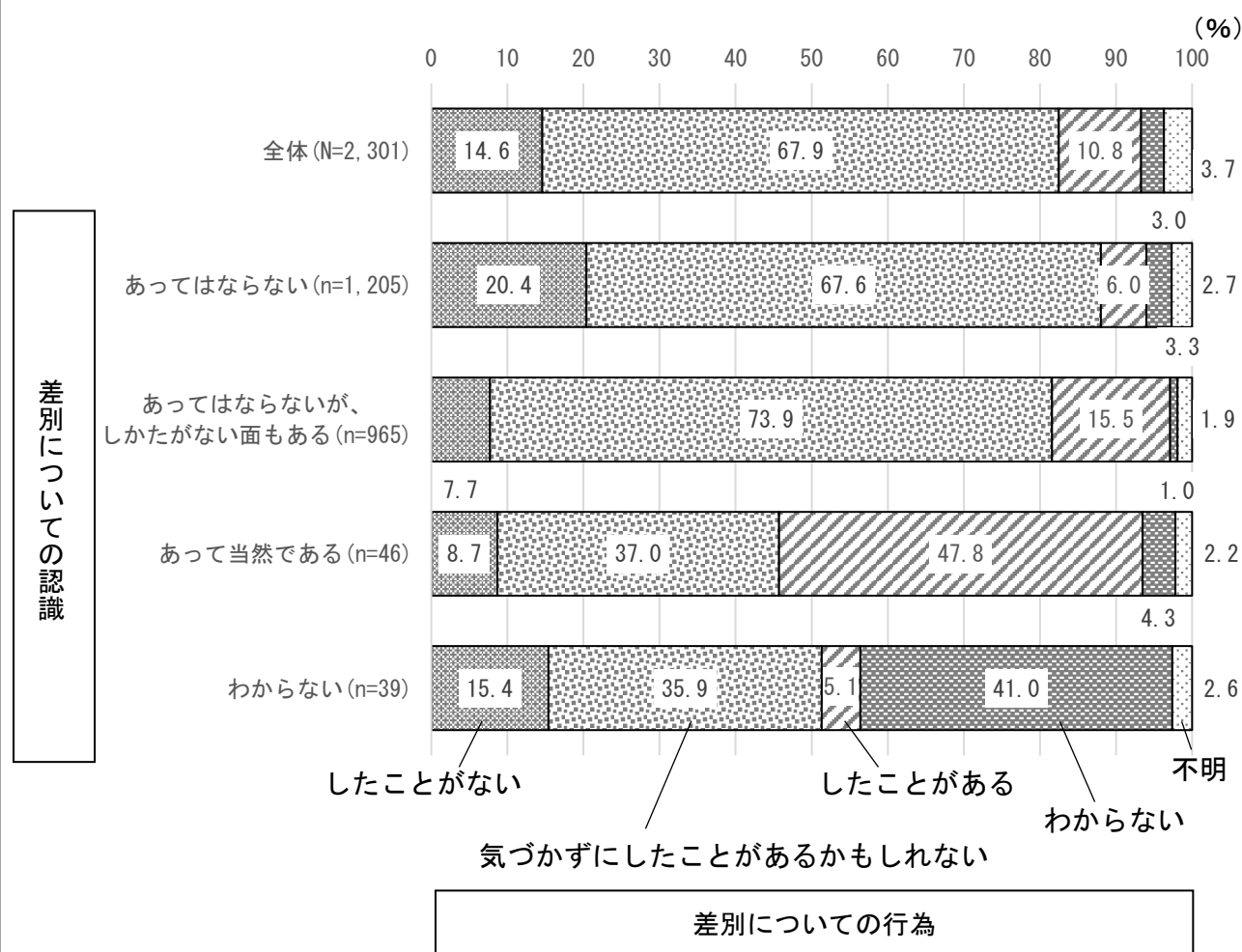
差別についての認識と、行為との関係を見るため、「差別についての行為」の設問【問4-2】の回答について、「差別についての認識」の設問【問4-1】の回答別に集計した。

差別は「あってはならない」と回答した人の中で、差別を「したことがない」と回答した人は20.4%であり、全体（14.6%）よりおよそ6ポイント高くなっている。

一方、差別は「あって当然である」と回答した人の中で、差別を「したことがある」と回答した人は47.8%と、全体（10.8%）より37ポイント高くなっている。

また、差別は「あってはならないが、しかたがない面もある」と回答した人の中で、差別を「気づかずにしたことがあるかもしれない」（73.9%）または「したことがある」（15.5%）と回答した人の合計は89.4%で、全体（67.9%+10.8%=78.7%）よりおよそ11ポイント高くなっている。

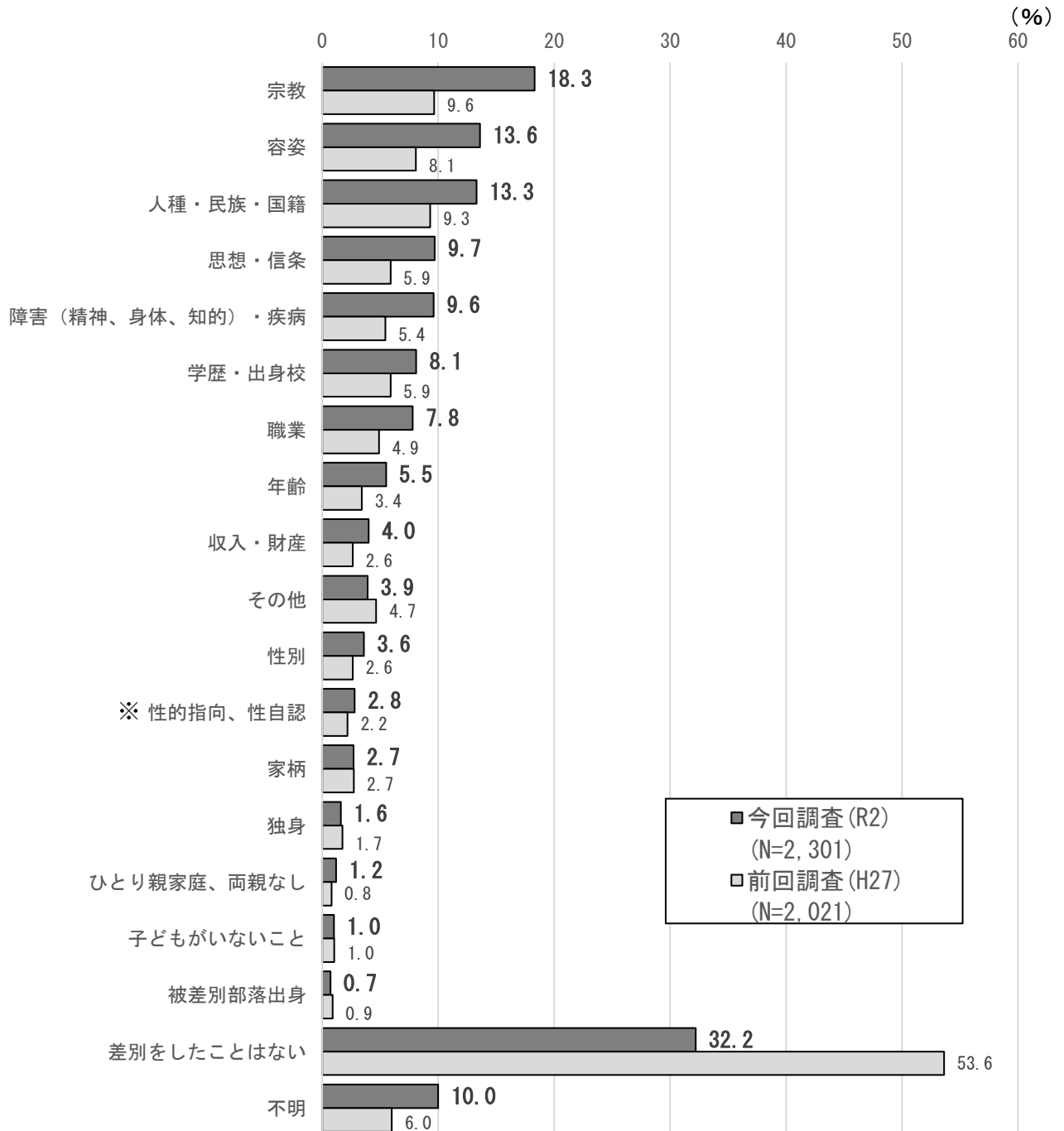
図クロス1 差別についての認識【問4-1】 × 差別についての行為【問4-2】



5 他人を差別した経験【問5】

自分がこれまでに、他人を差別したことがあるか、ある場合、何について差別したことがあるかを尋ねたところ、「差別をしたことはない」が32.2%となっており、前回調査よりおよそ21ポイント減少している。差別したことがある場合は、「宗教」が18.3%と最も多く、次いで「容姿」が13.6%、「人種・民族・国籍」が13.3%と続いている。

図Ⅱ—5—1 差別をした経験[複数回答]



※ 前回調査では「いわゆるLGBT」

性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、差別をしたことがある場合、10・20歳代では「容姿」、30歳代から70歳代までは「宗教」、80歳以上では「人種・民族・国籍」が最も多くなっている。(集計表P111 表6参照)

図Ⅱ-5-2 「差別をしたことがある」場合の性別・年齢別の上位3位の項目

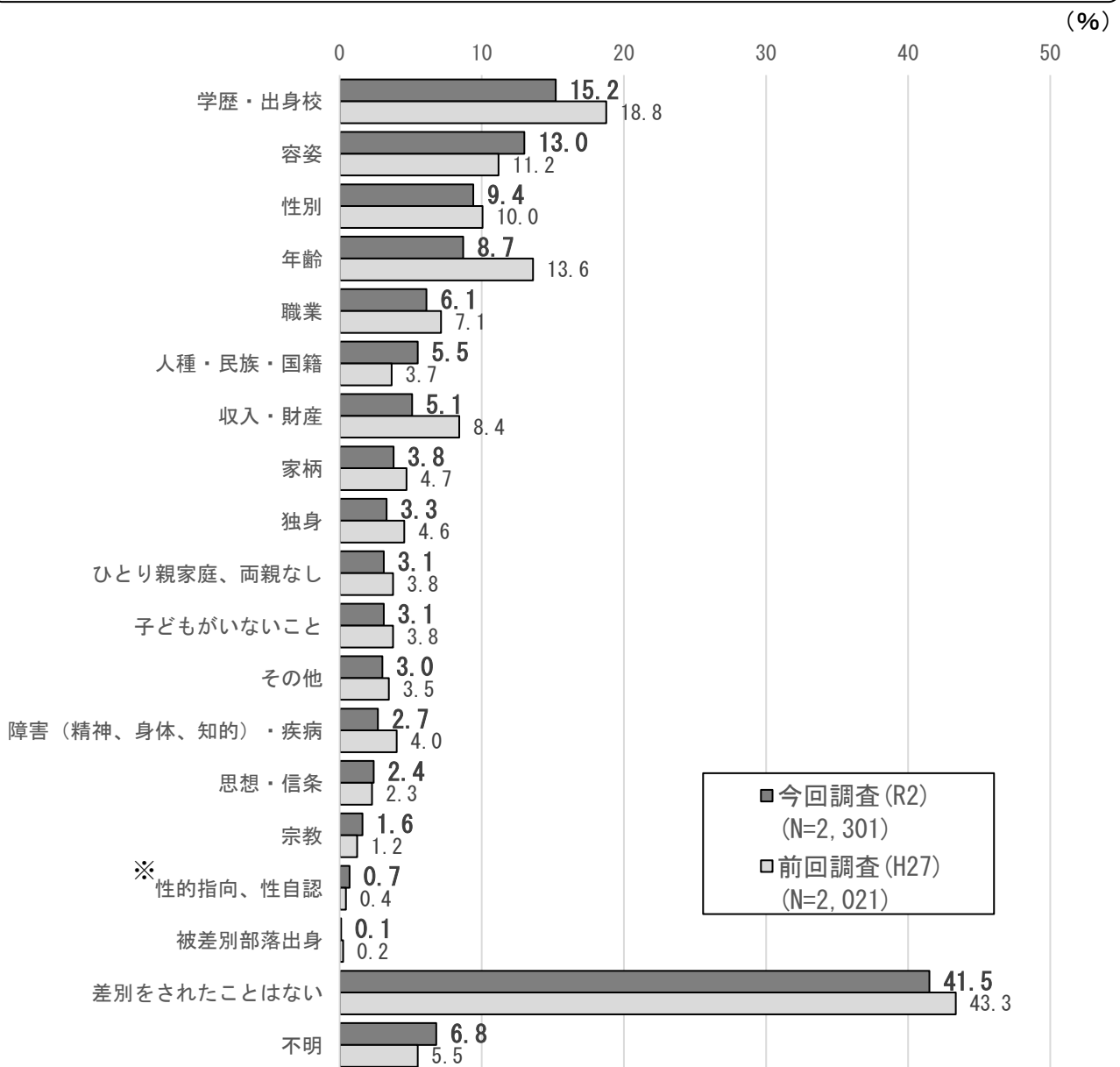
		1位	2位	3位
全体 (N=2,301)		宗教 18.3%	容姿 13.6%	人種・民族・国籍 13.3%
性別	男性 (n=1,007)	宗教 16.2%	容姿 15.7%	人種・民族・国籍 14.1%
	女性 (n=1,228)	宗教 20.0%	人種・民族・国籍 12.9%	容姿 12.0%
	その他・答えたくない (n=35)	容姿／宗教 14.3%		人種・民族・国籍／ 思想・信条 8.6%
年齢	18歳～29歳 (n=238)	容姿 23.9%	障害(精神、身体、知的)・疾病 13.9%	学歴・出身校 13.4%
	30歳～39歳 (n=284)	宗教 22.2%	容姿 16.9%	障害(精神、身体、知的)・疾病 13.7%
	40歳～49歳 (n=397)	宗教 22.9%	容姿 16.1%	人種・民族・国籍 13.4%
	50歳～59歳 (n=444)	宗教 19.1%	容姿 15.5%	人種・民族・国籍 14.9%
	60歳～69歳 (n=386)	宗教 18.1%	人種・民族・国籍 16.1%	思想・信条 13.0%
	70歳～79歳 (n=366)	宗教 17.5%	人種・民族・国籍 12.6%	思想・信条 10.4%
	80歳以上 (n=159)	人種・民族・国籍 14.5%	宗教 13.2%	職業 9.4%

6 差別された経験【問6】

自分がこれまでに、差別をされたと思ったことがあるか、ある場合、何について差別をされたかを尋ねたところ、「差別をされたことはない」が41.5%となっている。差別されたことがある場合は、「学歴・出身校」が15.2%と最も多く、次いで「容姿」が13.0%、「性別」が9.4%と続いている。

「差別をした経験」【問5】と「差別をされた経験」【問6】を比較すると、差別された経験では上位になっている「学歴・出身校」や「性別」は、差別をした経験では下位になっている。一方で、差別をした経験では上位になっている「宗教」、「思想・信条」、「障害（精神、身体、知的）・疾病」は、差別された経験では下位になっている。また、「人種・民族・国籍」についても両設問間で回答に差があった。

図Ⅱ—6—1 差別された経験[複数回答]



※ 前回調査では「いわゆるLGBT」

性別で見ると、「差別をされたことはない」は、女性より男性がおよそ7ポイント高くなっている。また、差別をされたことがある場合、男性では「学歴・出身校」が最も多く、「容姿」、「職業」の順となっている。一方、女性では「性別」が最も多く、「学歴・出身校」、「容姿」の順となっている。また、「性別」の回答は男性より女性が13ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、差別をされたことがある場合、10・20歳代と30歳代では「容姿」、40歳代以上では「学歴・出身校」の回答が最も多くなっている。(集計表P113 表7参照)

図Ⅱ-6-2 「差別をされたことがある」場合の性別・年齢別の上位3位の項目

		1位	2位	3位
全体 (N=2,301)		学歴・出身校 15.2%	容姿 13.0%	性別 9.4%
性別	男性 (n=1,007)	学歴・出身校 15.5%	容姿 12.4%	職業 7.0%
	女性 (n=1,228)	性別 15.3%	学歴・出身校 15.1%	容姿 13.8%
	その他・答えたくない (n=35)	性別 17.1%	容姿 14.3%	年齢 11.4%
年齢	18歳～29歳 (n=238)	容姿 26.5%	学歴・出身校 15.1%	性別 14.3%
	30歳～39歳 (n=284)	容姿 18.3%	性別 13.4%	学歴・出身校 12.3%
	40歳～49歳 (n=397)	学歴・出身校 17.6%	容姿 14.1%	性別 11.8%
	50歳～59歳 (n=444)	学歴・出身校 18.7%	容姿 15.5%	年齢 11.9%
	60歳～69歳 (n=386)	学歴・出身校 14.2%	年齢 8.5%	容姿 8.0%
	70歳～79歳 (n=366)	学歴・出身校 11.2%	年齢 6.6%	容姿 5.5%
	80歳以上 (n=159)	学歴・出身校 15.7%	職業 8.8%	家柄 8.2%

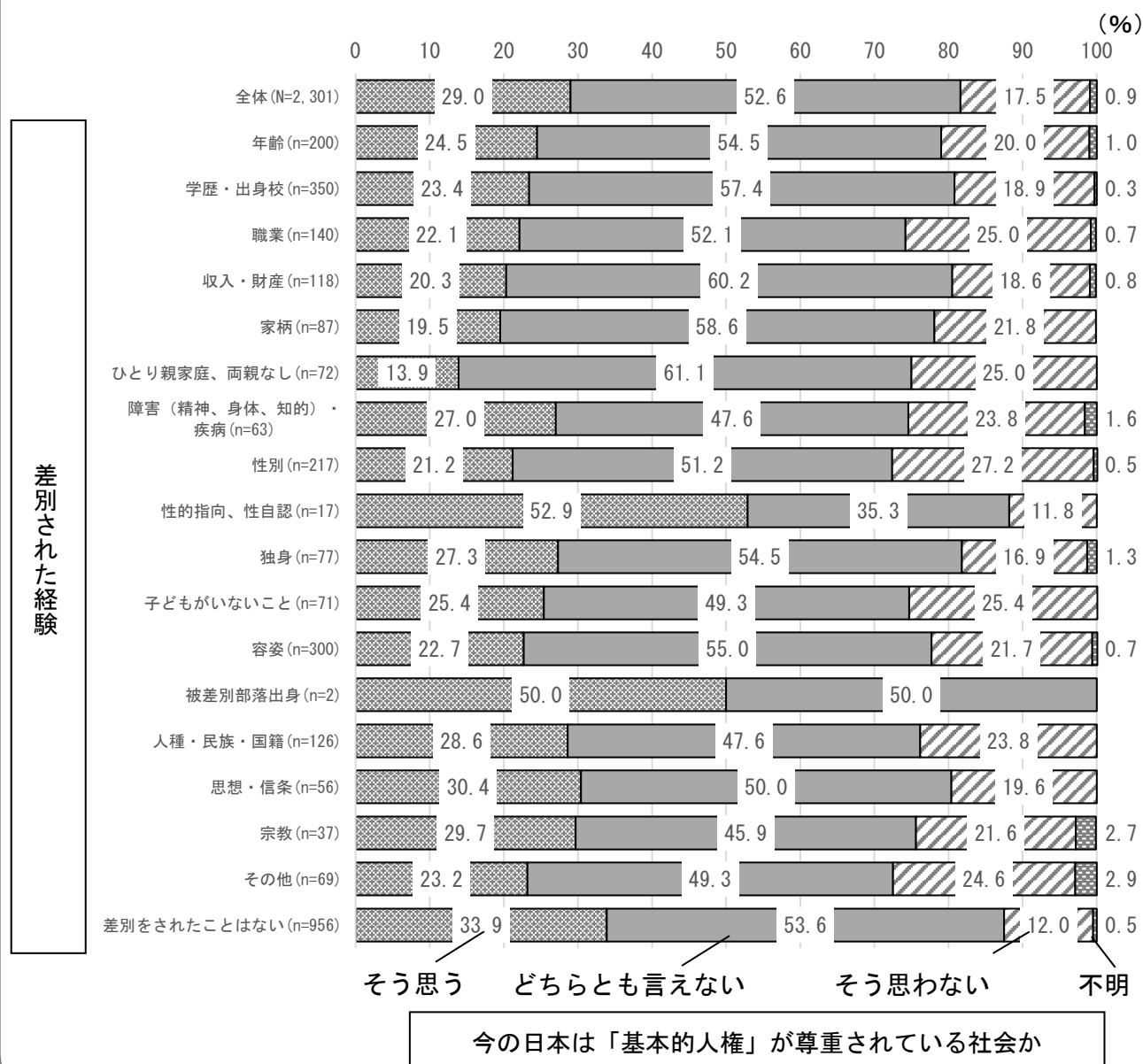
設問間クロス集計 2

差別をされた経験が、人権が尊重されている社会かの認識にどう影響するかを見るため、「今の日本は『基本的人権』が尊重されている社会か」という設問【問2】の回答について、「差別された経験」についての設問【問6】の回答別に集計した。

何らかの差別をされた経験があると回答した人は、「差別をされたことはない」と回答した人に比べると、回答数が少ない「性的指向、性自認」及び「被差別部落出身」を除き、今の日本は人権が尊重されていると思うと回答した人の割合が低くなっている。

また、差別をされた経験が「職業」、「ひとり親家庭、両親なし」、「性別」及び「子どもがいないこと」と回答した人では、今の日本は人権が尊重されていると思わないと回答した人の割合が、いずれも25%を超えており、「差別をされたことがない」と回答した人の回答（12.0%）と比べると、2倍以上となっている。

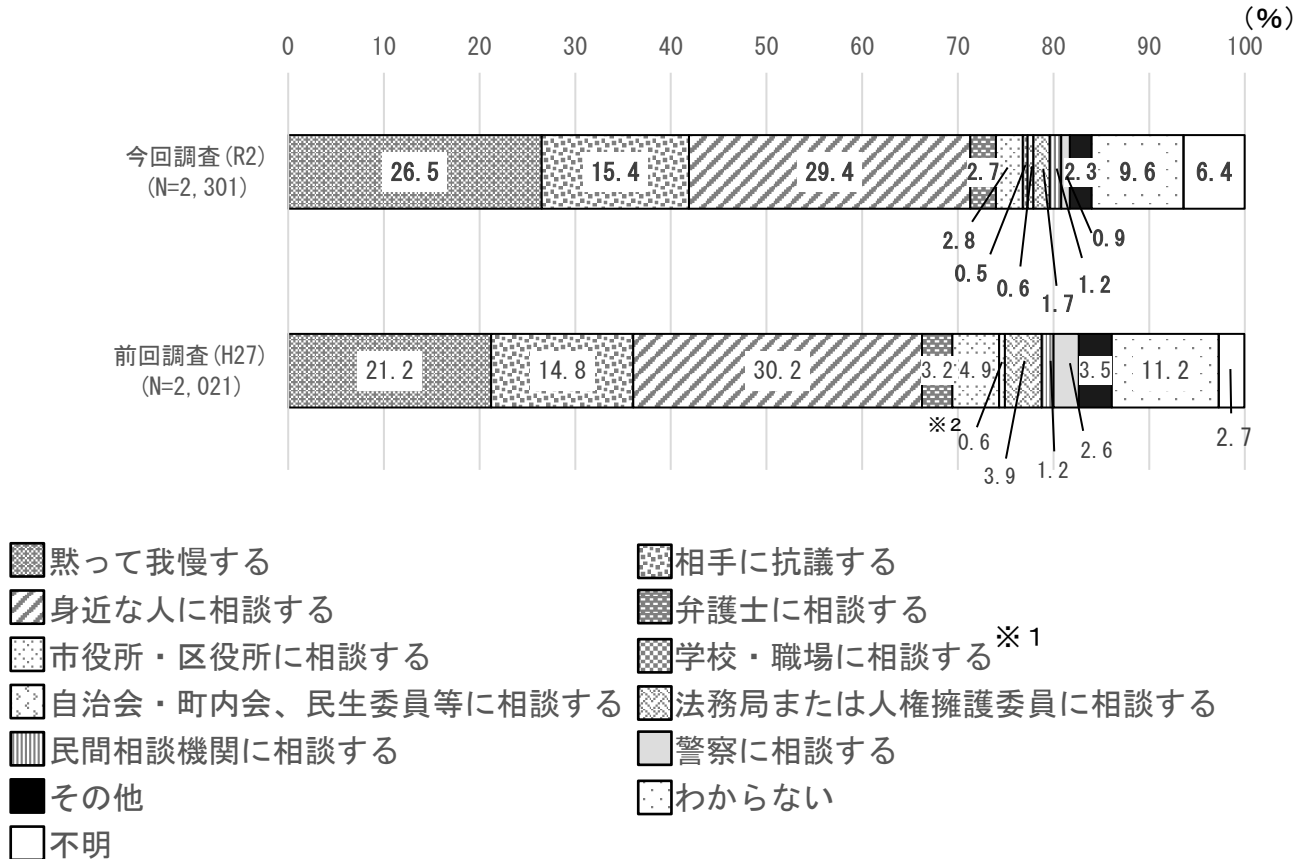
図クロス2 差別された経験【問6】（複数回答）×
今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会か【問2】



7 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応【問7】

もし、自分が差別をされたり人権を侵害されたりした場合、まずどうするかを尋ねたところ、「身近な人に相談する」が29.4%と最も多く、次いで「黙って我慢する」が26.5%、「相手に抗議する」が15.4%と続いている。前回調査と比較すると、「黙って我慢する」がおよそ5ポイント増加した。

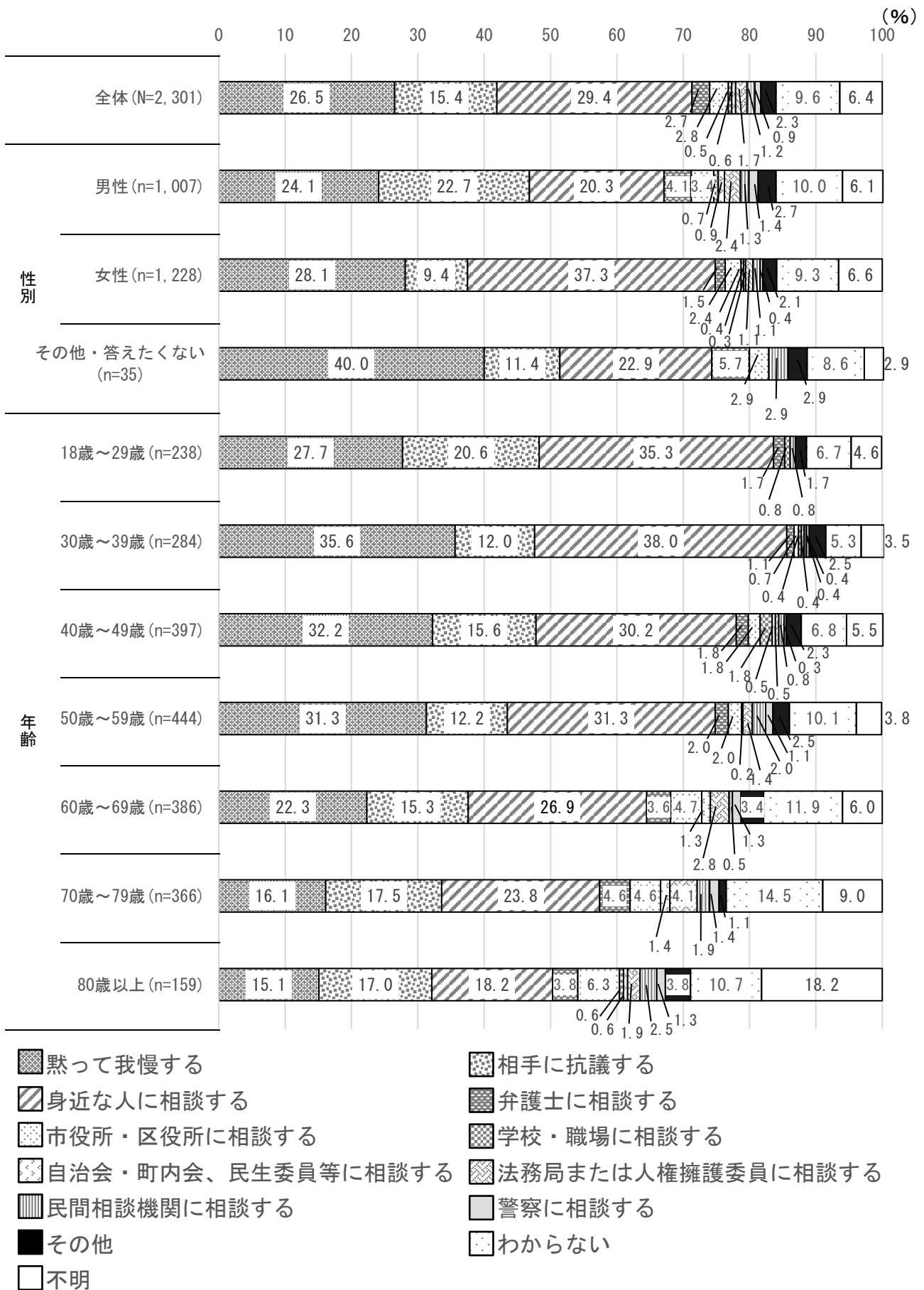
図Ⅱ—7—1 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応



性別で見ると、「身近な人に相談する」は、男性より女性が17ポイント高くなっている。また、「相手に抗議する」は、女性より男性がおよそ13ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、おおむね年齢層が若いほど「黙って我慢する」、「身近な人に相談する」が多くなり、年齢層が高いほど「市役所・区役所に相談する」、「わからない」が多くなる傾向にある。

図Ⅱ—7—2 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応（性別・年齢別）

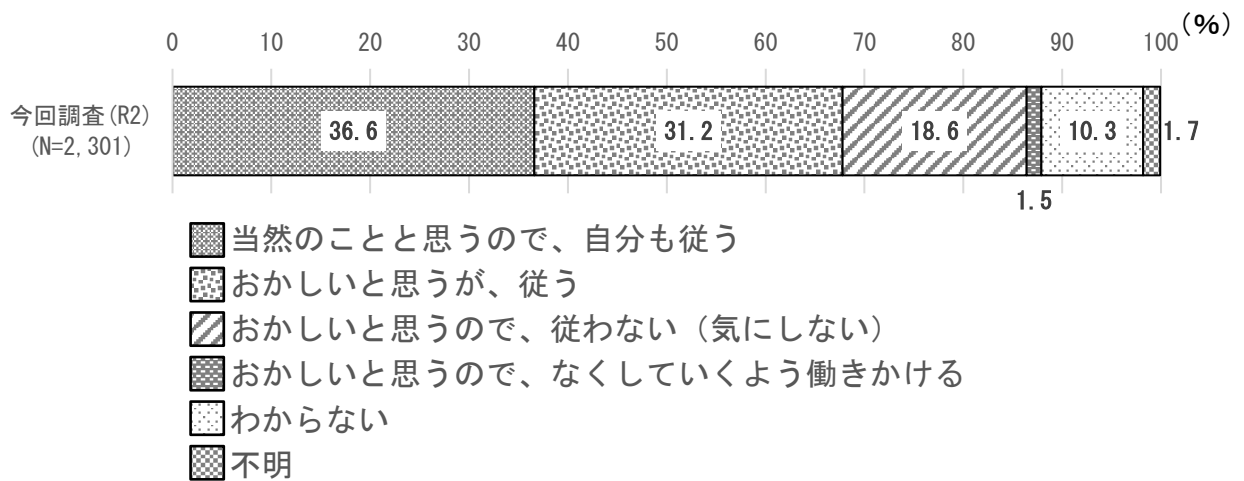


8 風習についての認識と行為【問8】

たとえば、お祝い事は「仏滅」の日を避ける、「友引」の日はお葬式を避ける、といった風習について自分の考えに近いものはどれかを尋ねたところ、「当然のことと思うので、自分も従う」が36.6%と最も多く、次いで「おかしいと思うが、従う」が31.2%、「おかしいと思うので、従わない（気にしない）」が18.6%と続いている。

「おかしいと思う（「おかしいと思うが、従う」、「おかしいと思うので、従わない（気にしない）」及び「おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける）」の回答は全体の5割を超える一方で、「従わない（「おかしいと思うので、従わない（気にしない）」及び「おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける）」の回答が全体の2割となっている。

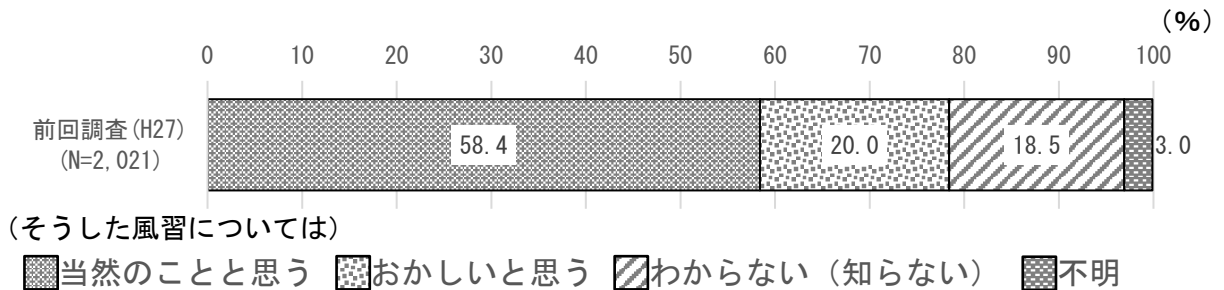
図Ⅱ—8—1 風習についての認識と行為



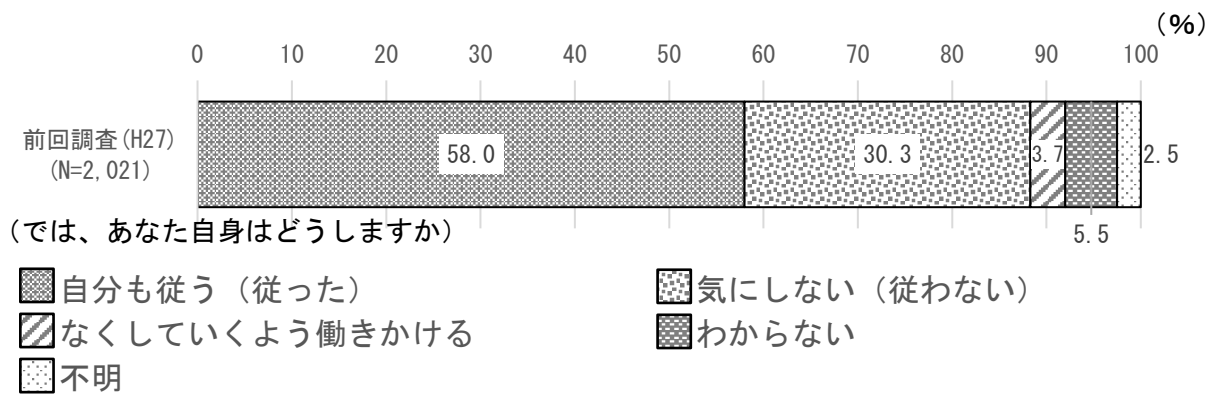
■参考（前回調査（H27）結果）

たとえば、お祝い事は「大安」の日を選ぶ、「友引」の日はお葬式を避ける、といった風習について、あなたのお考えに近いものはどれですか。（それぞれ、あてはまるもの1つに✓）

図Ⅱ—8—2 風習についての認識



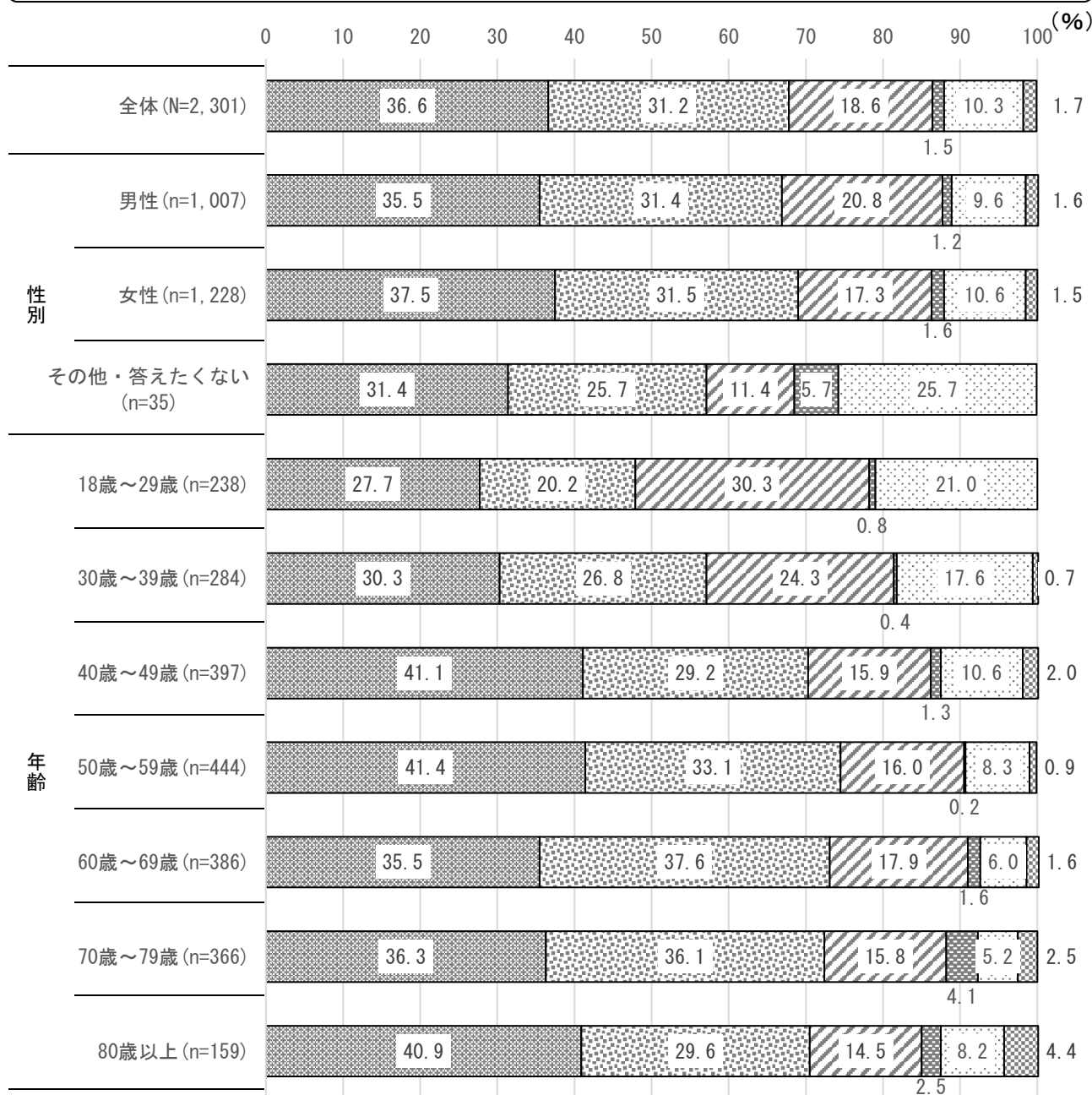
図Ⅱ—8—3 風習についての行為



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、10・20歳代では「おかしいと思うので、従わない（気にしない）」、30歳代、40歳代、50歳代、70歳代、80歳以上では「当然のことと思うので、自分も従う」、60歳代では「おかしいと思うが、従う」が最も多い。40歳代以上の年齢層では「従う（「当然のことと思うので、自分も従う」及び「おかしいと思うが、従う）」の回答が7割を超える。

図Ⅱ—8—4 風習についての認識と行為（性別・年齢別）



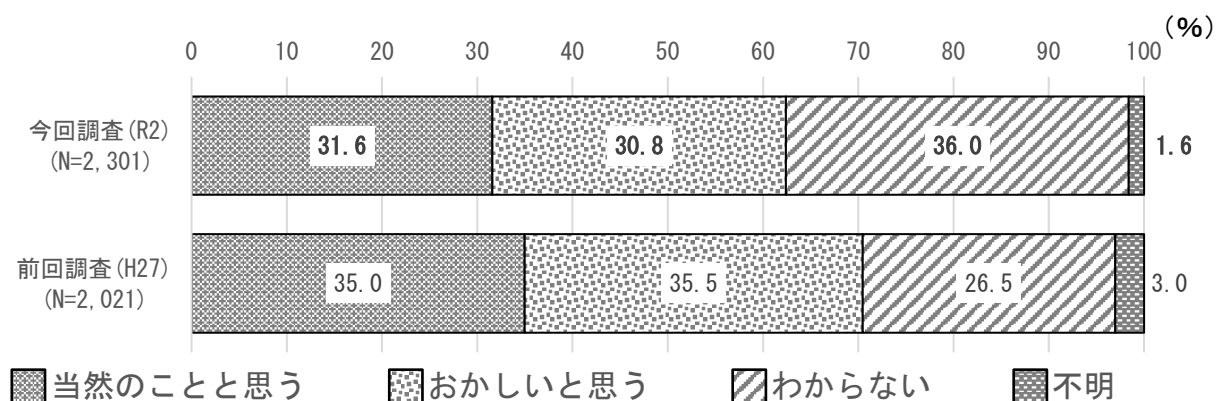
- 当然のことと思うので、自分も従う
- おかしいと思うが、従う
- おかしいと思うので、従わない（気にしない）
- おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける
- わからない
- 不明

9 結婚相手の身元調査をすることについての認識【問9】

結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、自分の考えに近いものはどれかを尋ねたところ、「わからない」が36.0%、次いで「当然のことと思う」が31.6%、「おかしいと思う」が30.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「わからない」がおよそ10ポイント増加している一方で、「当然のことと思う」と「おかしいと思う」が減少している。

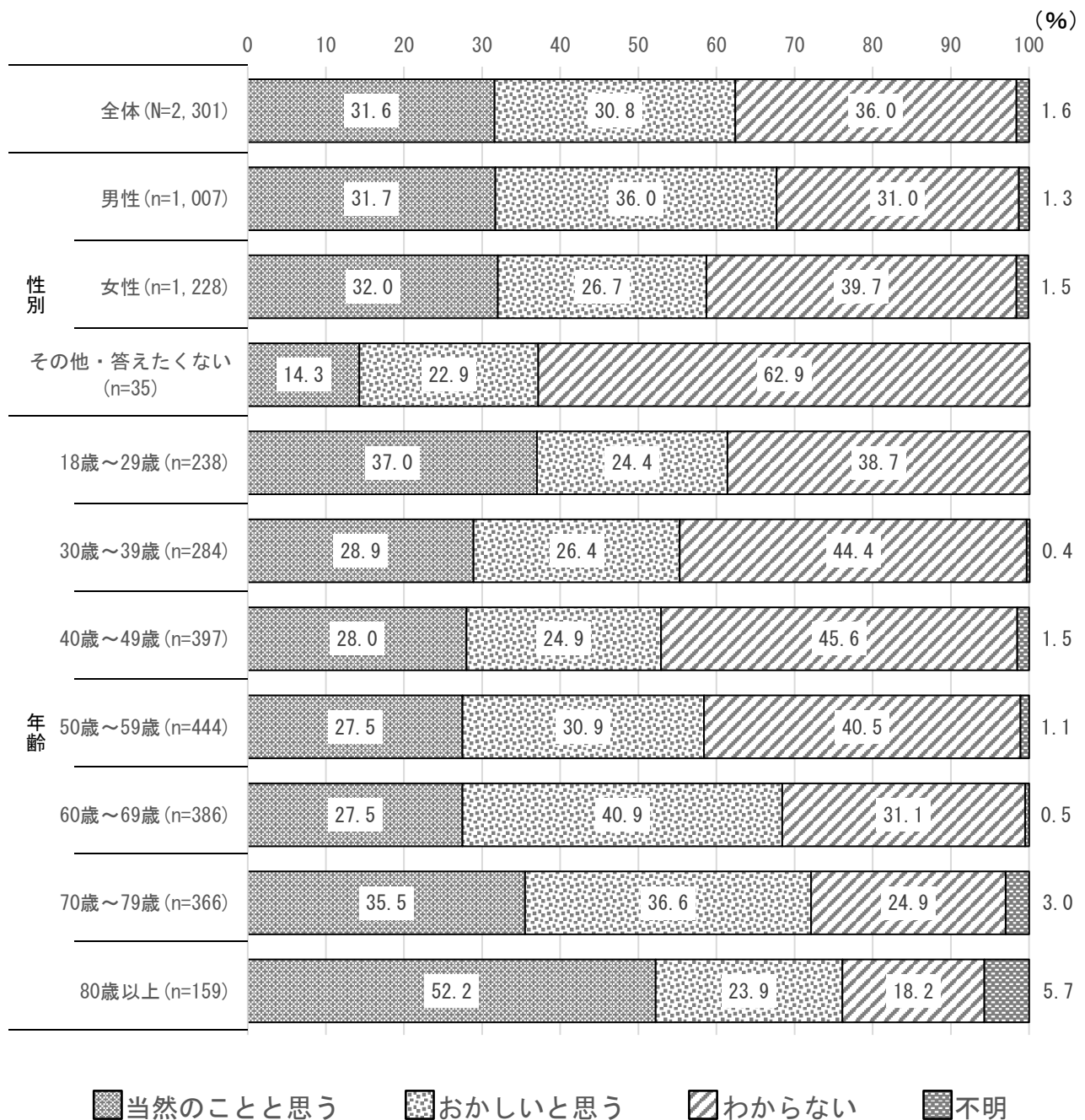
図Ⅱ—9—1 結婚相手の身元調査をすることについての認識



性別で見ると、「おかしいと思う」は女性より男性がおよそ9ポイント高い。

年齢別で見ると、年齢によってばらつきがあり、「当然のことと思う」は、80歳以上では全体よりもおよそ21ポイント高くなっている。また、「おかしいと思う」は、60歳代では全体よりもおよそ10ポイント高くなっている。

図Ⅱ—9—2 結婚相手の身元調査をすることについての認識（性別・年齢別）



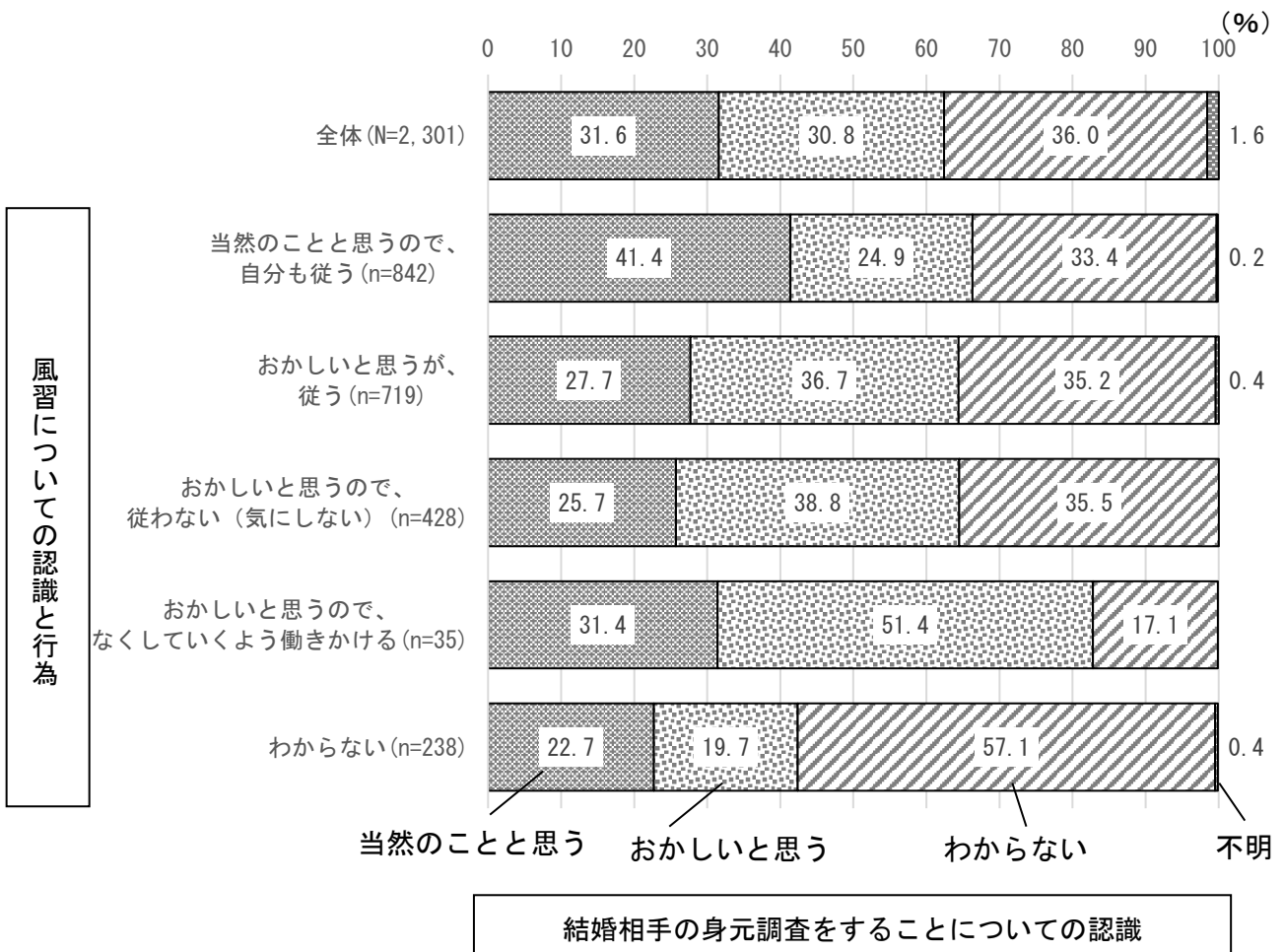
設問間クロス集計 3

風習についての認識・行為と、結婚相手の身元調査をすることについての認識との関係を見るため、「結婚相手の身元調査をすることの認識」についての設問【問9】の回答について、「風習についての認識と行為」についての設問【問8】の回答別に集計した。

風習を「当然のことと思うので、自分も従う」と回答した人の中で、結婚相手の身元調査について「当然のことと思う」と回答した人は41.4%と、全体(31.6%)よりおよそ10ポイント高くなっている。

一方、風習を「おかしいと思う」と回答した人の中で、身元調査についても「おかしいと思う」と回答した人の割合を見ると、「おかしいと思うので、従わない(気にしない)」と回答した人では38.8%で8ポイント、「おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける」と回答した人では51.4%でおよそ21ポイント、それぞれ全体(30.8%)より高くなっている。

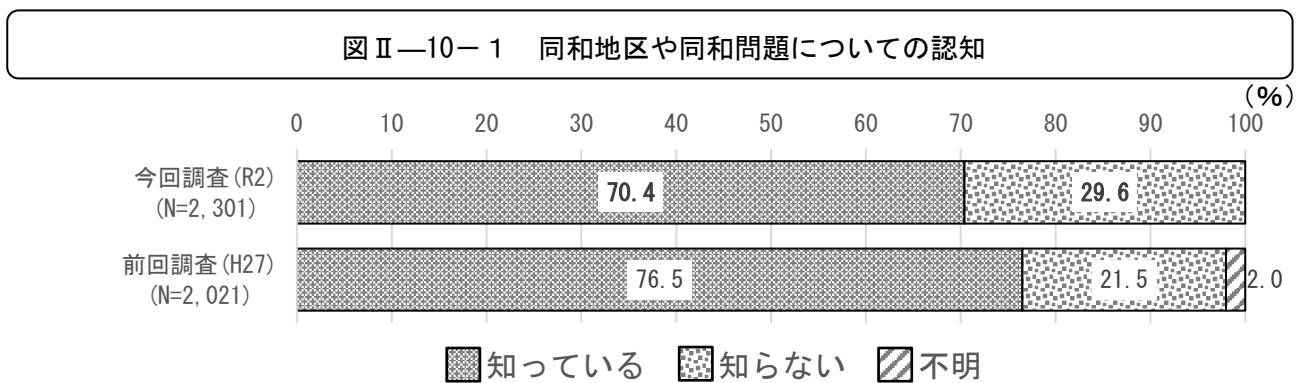
図クロス3 風習についての認識と行為【問8】×
結婚相手の身元調査をすることについての認識【問9】



10 同和地区や同和問題についての認知【問 10】

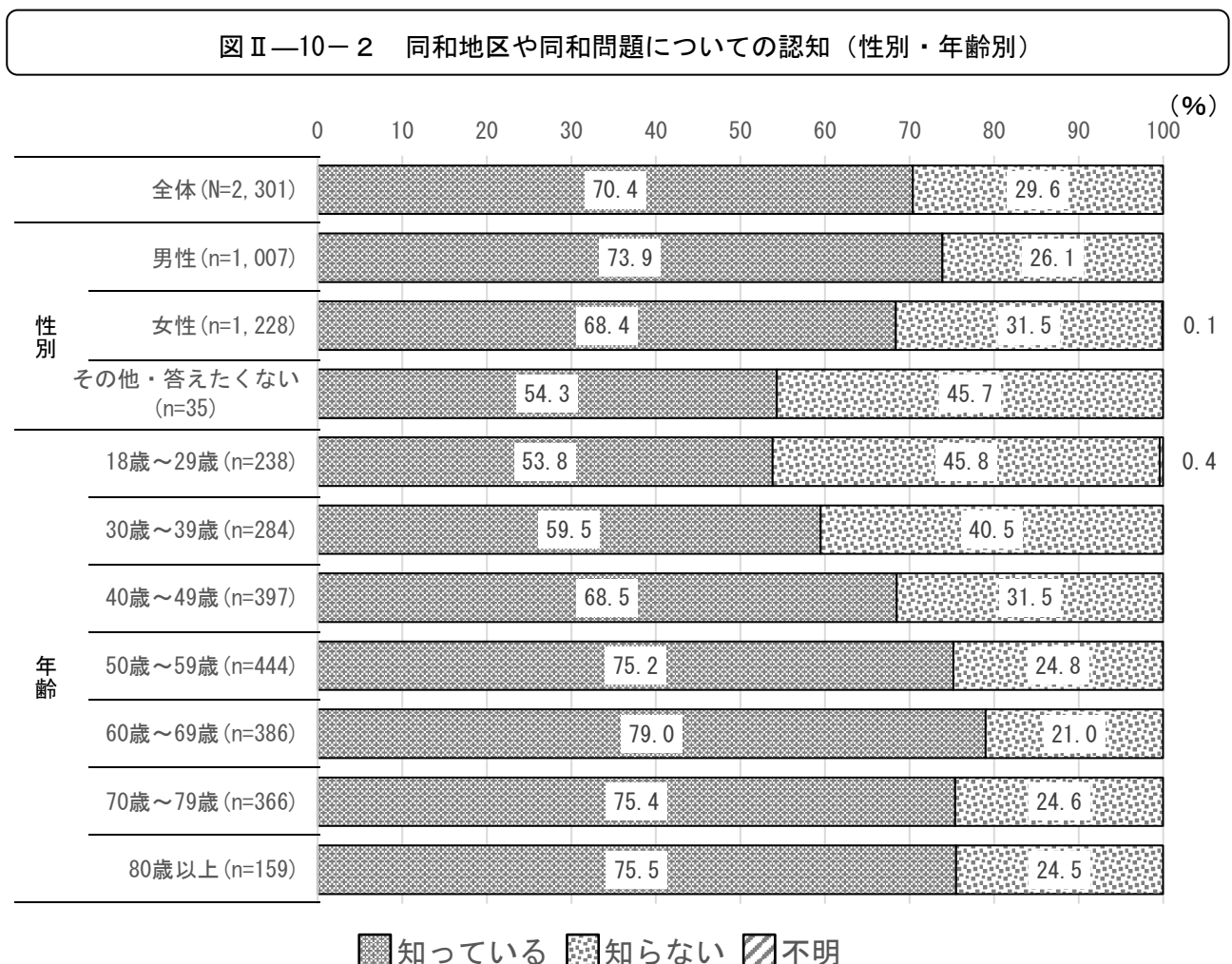
日本の社会に「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和問題」「部落問題」「部落差別」などと言われる問題があることを知っているかを尋ねたところ、「知っている」が70.4%、「知らない」が29.6%となっている。

前回調査と比較すると、「知っている」がおよそ6ポイント減少し、「知らない」がおよそ8ポイント増加している。



性別で見ると、「知っている」は女性より男性がおよそ6ポイント高い。

年代別で見ると、年齢層が若いほど「知っている」が少なくなる傾向にある。

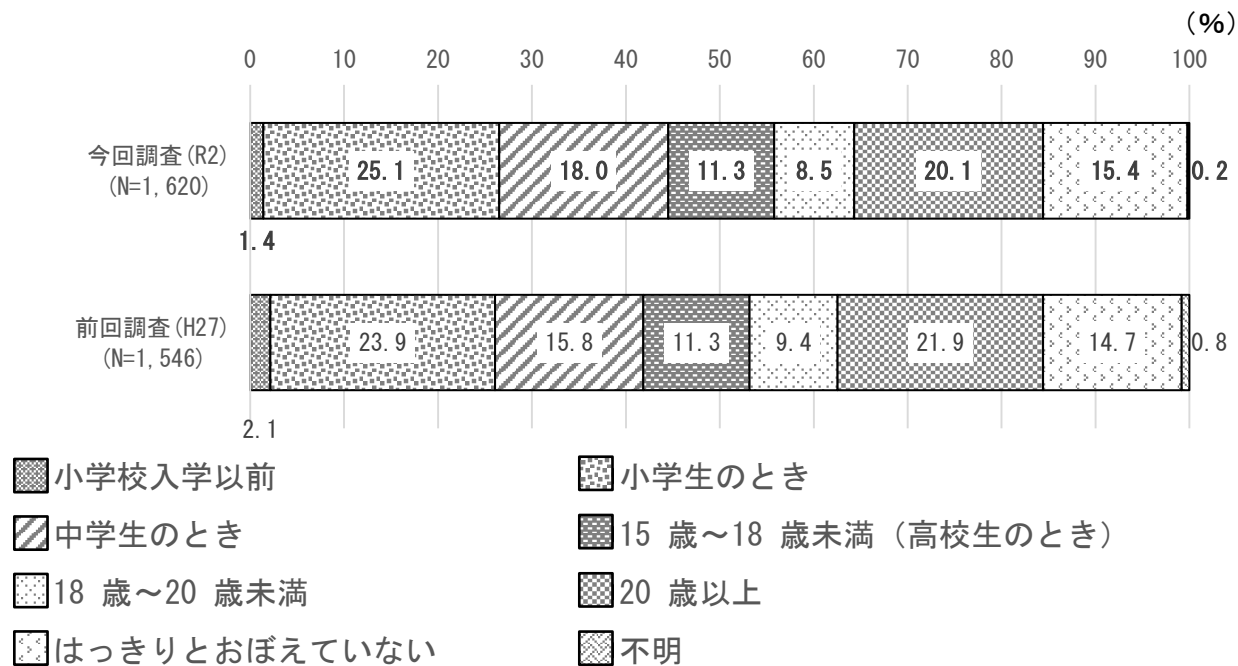


11 同和地区や同和問題についての認知時期【問 11】

同和地区や同和問題について「知っている」と回答した人に対し、初めて知ったのはいつ頃かを尋ねたところ、「小学生のとき」が 25.1% で最も多く、次いで「20 歳以上」が 20.1%、「中学生のとき」が 18.0% と続いている。

前回調査と大きな傾向の差は見られない。

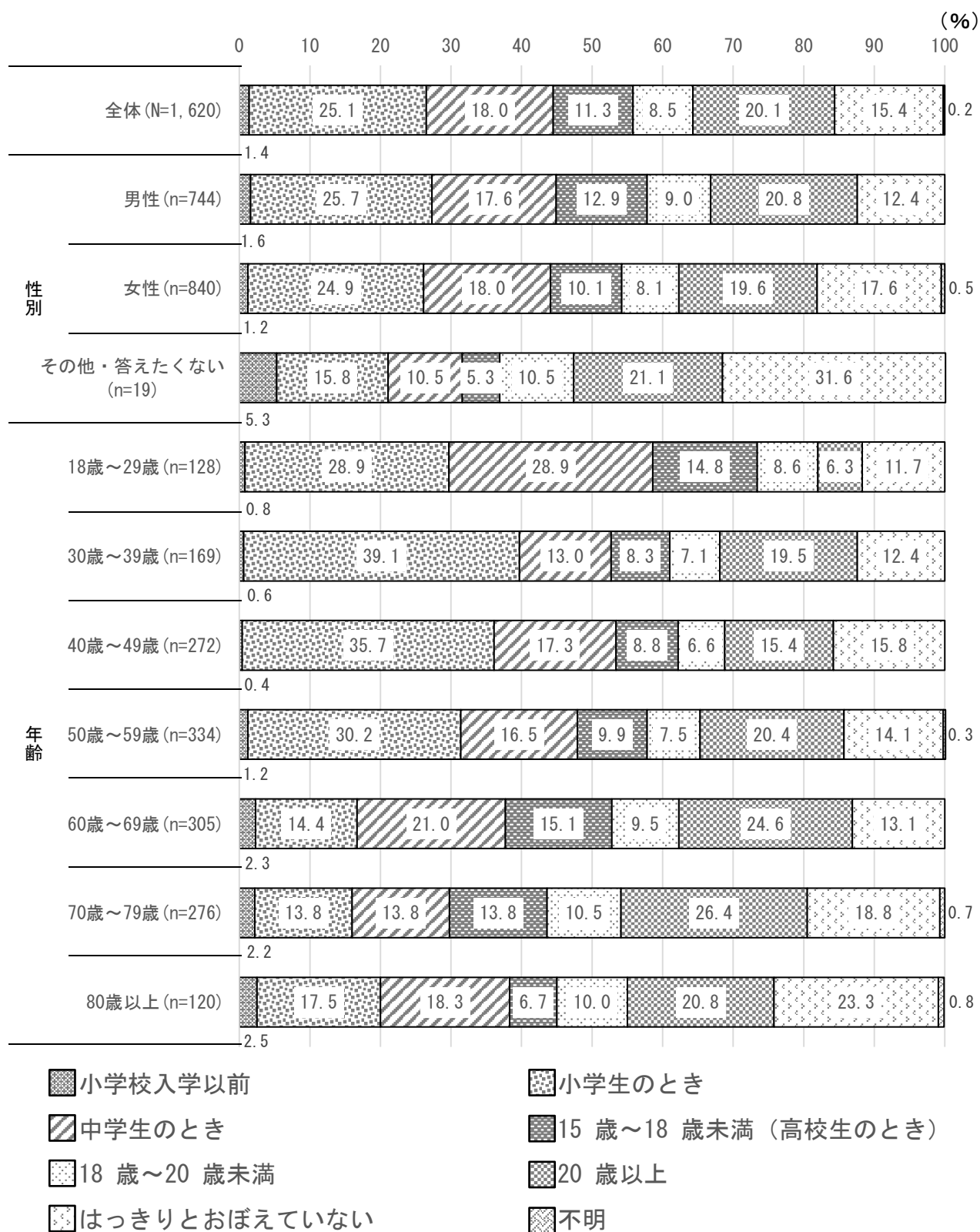
図Ⅱ—11—1 同和地区や同和問題についての認知時期



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、40歳代以下では「小学生のとき」「中学生のとき」を合わせると5割を超えている。また、60歳代以上では「20歳以上」が最も多くなっている。

図Ⅱ—11—2 同和地区や同和問題についての認知時期（性別・年齢別）

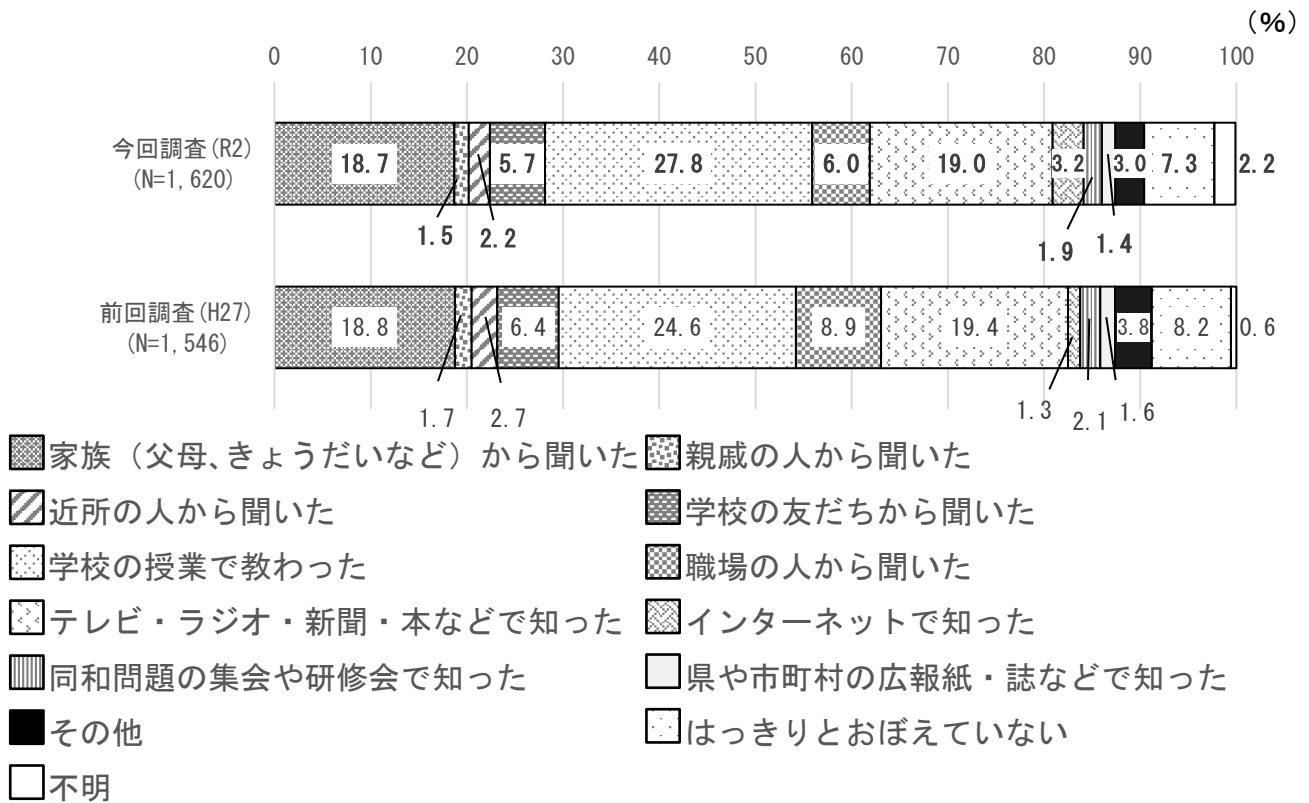


12 同和地区や同和問題について知ったきっかけ【問12】

同和地区や同和問題について「知っている」と回答した人に対し、初めて知ったきっかけを尋ねたところ、「学校の授業で教わった」が27.8%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が19.0%、「家族（父母、きょうだいなど）から聞いた」が18.7%と続いている。

前回調査と大きな傾向の差は見られない。

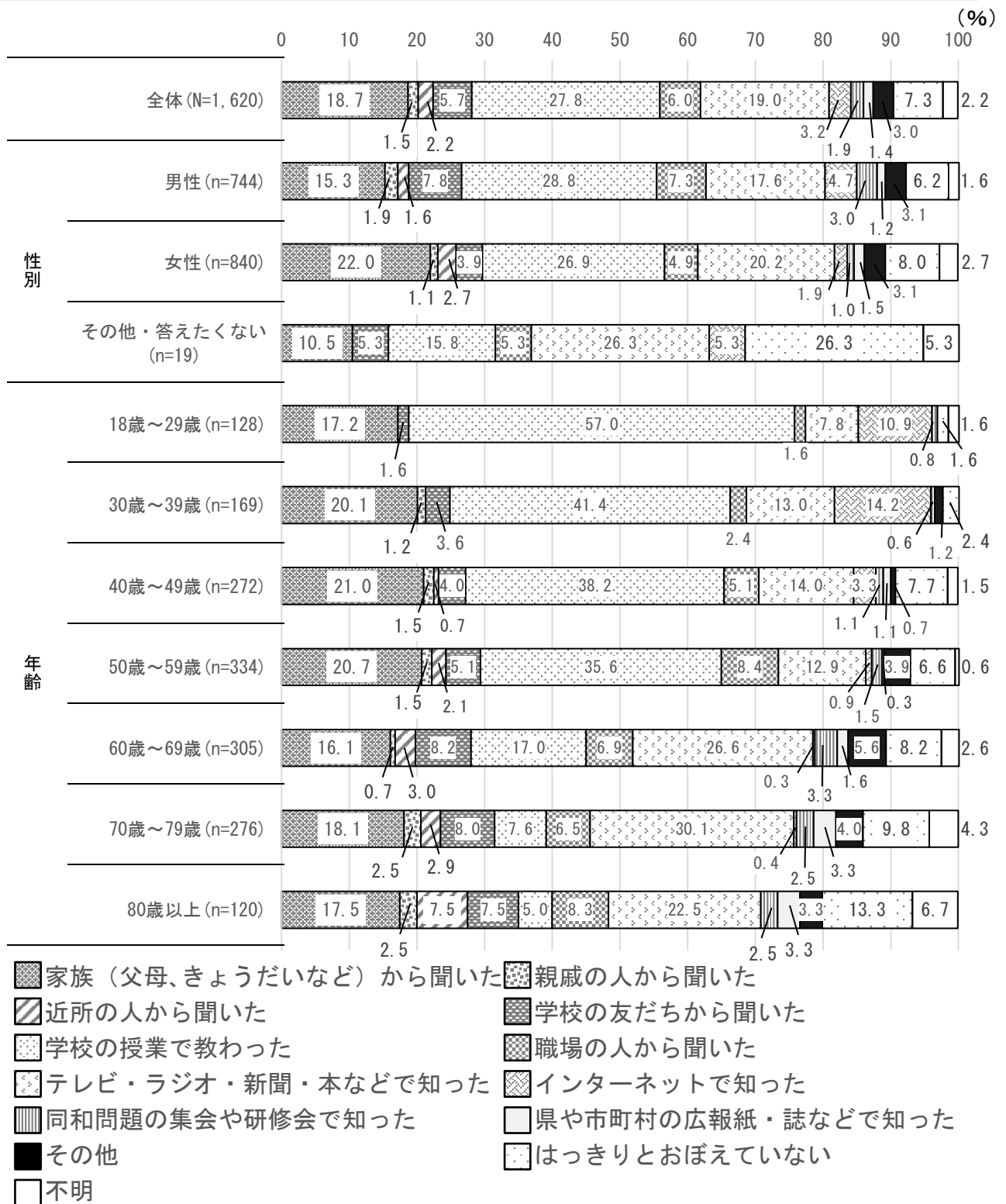
図Ⅱ—12—1 同和地区や同和問題について知ったきっかけ



性別で見ると、「家族（父母、きょうだいなど）から聞いた」は男性より女性がおおよそ7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、50歳代以下では「学校の授業で教わった」が、60歳代以上では「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が最も多くなっている。また、「インターネットで知った」と回答した人は、10・20歳代と30歳代では、全体よりも多い傾向にある。

図Ⅱ—12—2 同和地区や同和問題について知ったきっかけ（性別・年齢別）

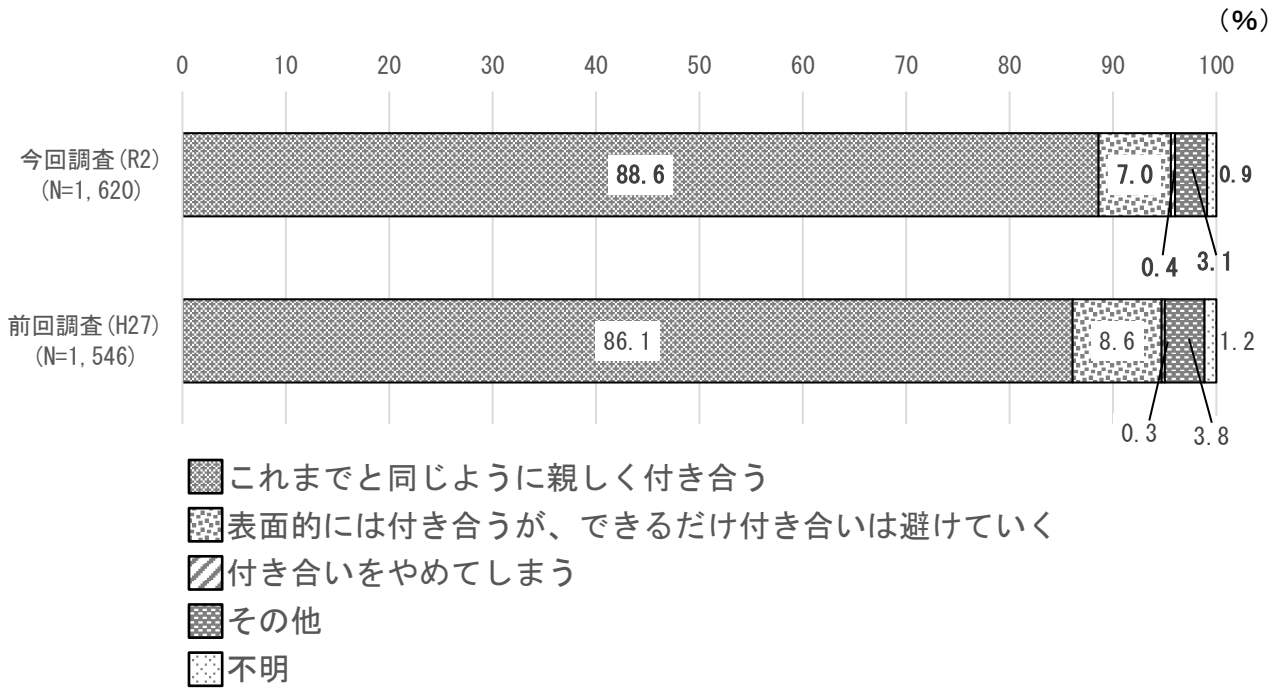


13 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応【問 13】

同和地区や同和問題について「知っている」と回答した人に対し、日頃親しく付き合っている隣近所の人や友人が、何かのきっかけで、同和地区出身の人であることが分かった場合、自分はどうするかを尋ねたところ、「これまでと同じように親しく付き合う」が88.6%と最も多くなっている。次いで「表面的には付き合うが、できるだけ付き合いは避けていく」が7.0%となっている。

前回調査と大きな傾向の差は見られない。

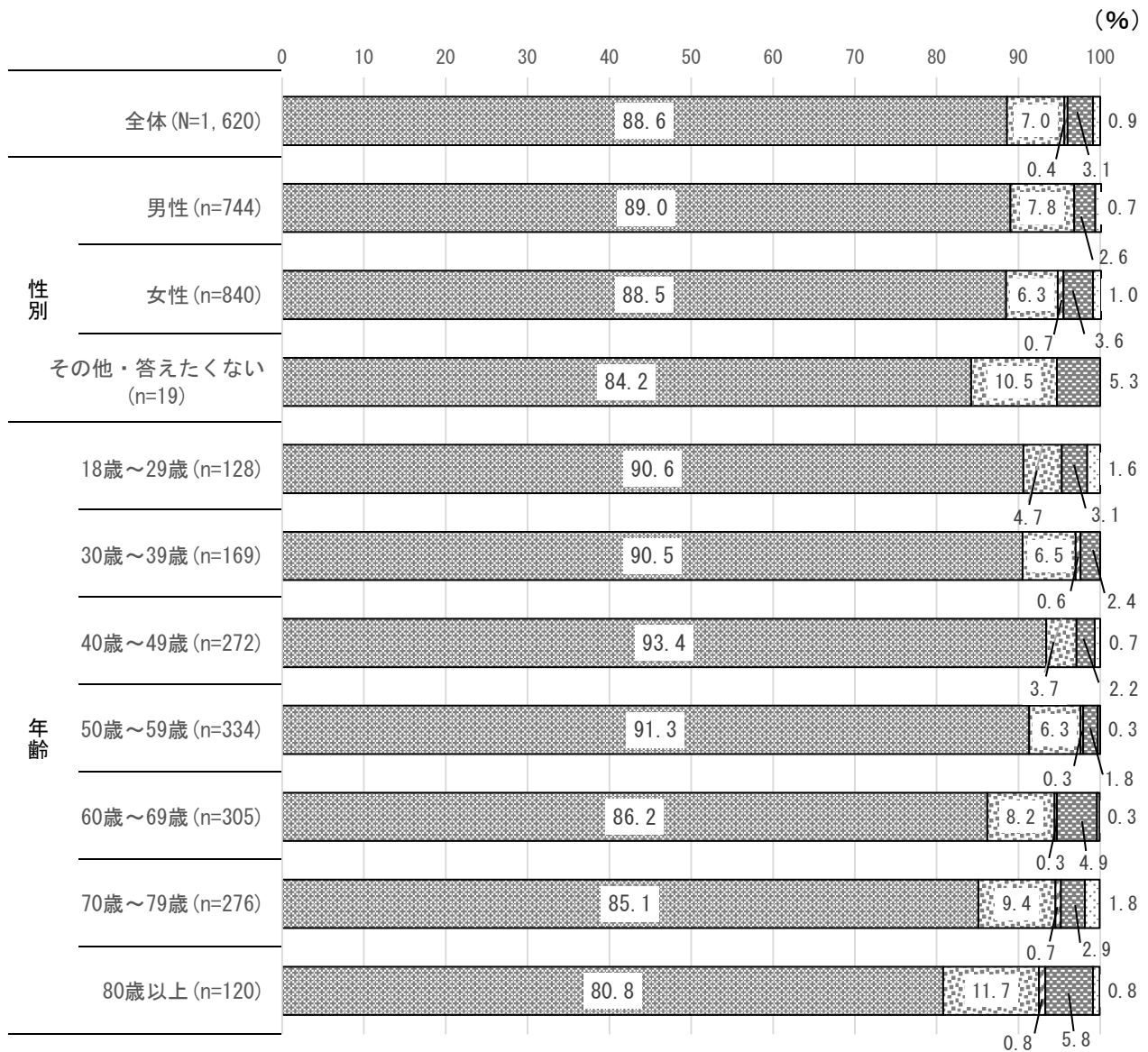
図Ⅱ—13—1 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、年齢層が高いほど、「これまでと同じように親しく付き合う」の回答が少なくなる傾向にある。

図Ⅱ—13—2 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応（性別・年齢別）

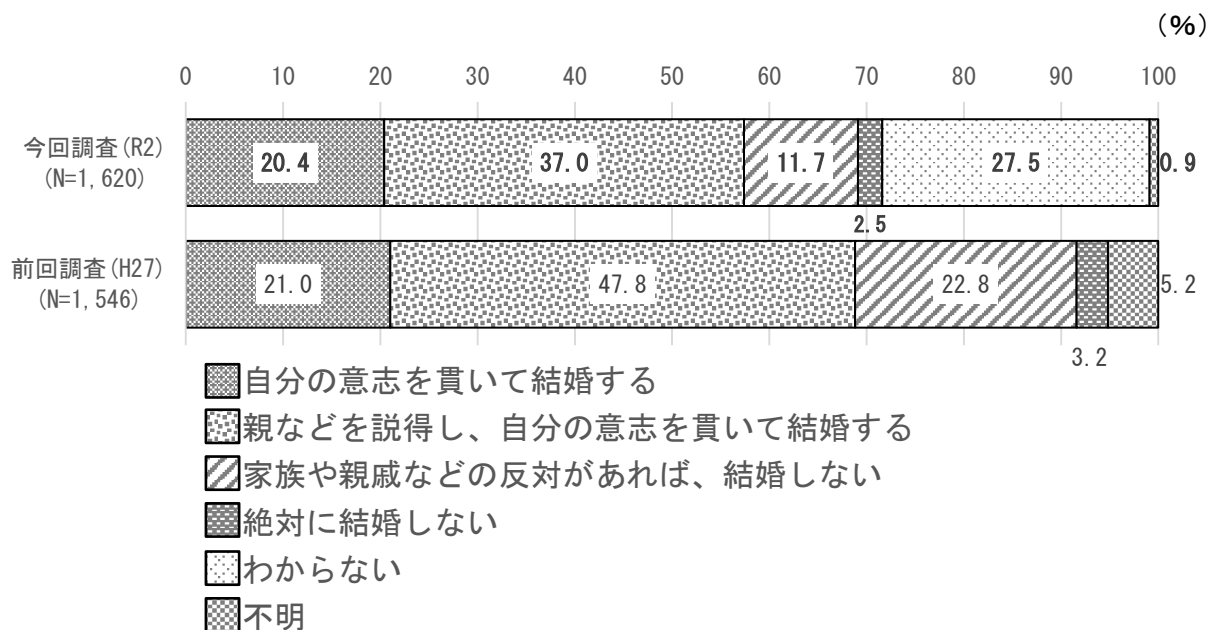


- これまでと同じように親しく付き合う
- 表面的には付き合うが、できるだけ付き合いは避けていく
- 付き合いをやめてしまう
- その他
- 不明

14 同和地区出身の人との結婚についての対応【問 14】

同和地区や同和問題について「知っている」と回答した人に対し、自分が同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたらどうするか【問 14-1】を尋ねたところ、「親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する」が 37.0%と最も多く、次いで「自分の意志を貫いて結婚する」が 20.4%、「家族や親戚などの反対があれば、結婚しない」が 11.7%と続いている。また、今回調査で新たに設けた「わからない」は 27.5%であった。

図Ⅱ—14—1 同和地区出身の人との結婚についての対応【自分】

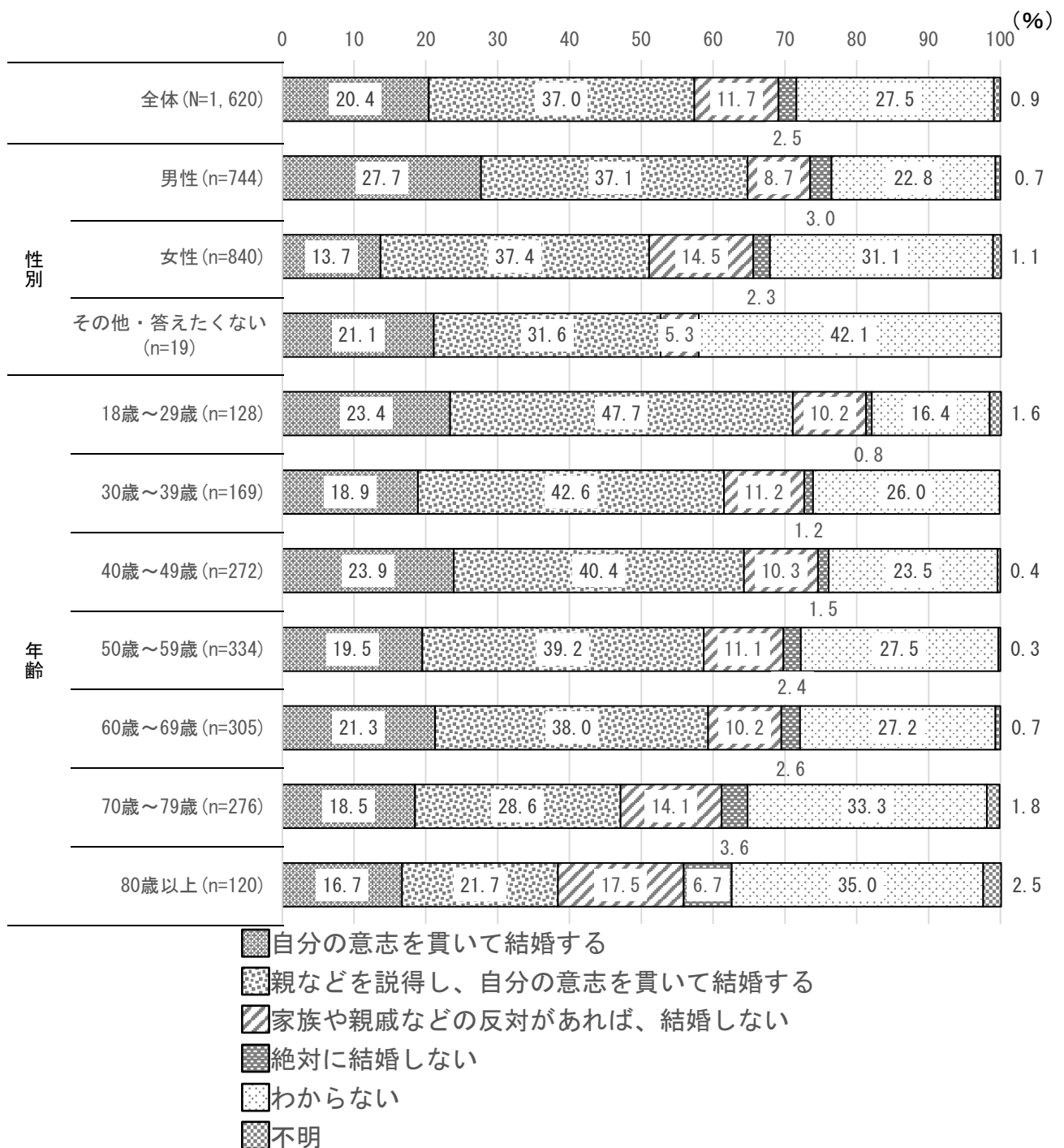


※前回調査では、「わからない」の選択肢はない。

性別で見ると、「自分の意志を貫いて結婚する」は女性より男性が 14 ポイント高くなっている。また、「家族や親戚などの反対があれば、結婚しない」は女性より男性がおよそ 6 ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「結婚する（「自分の意志を貫いて結婚する」及び「親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する）」の回答が全体ではおよそ 6 割に対して、10・20 歳代では 7 割を超えている。

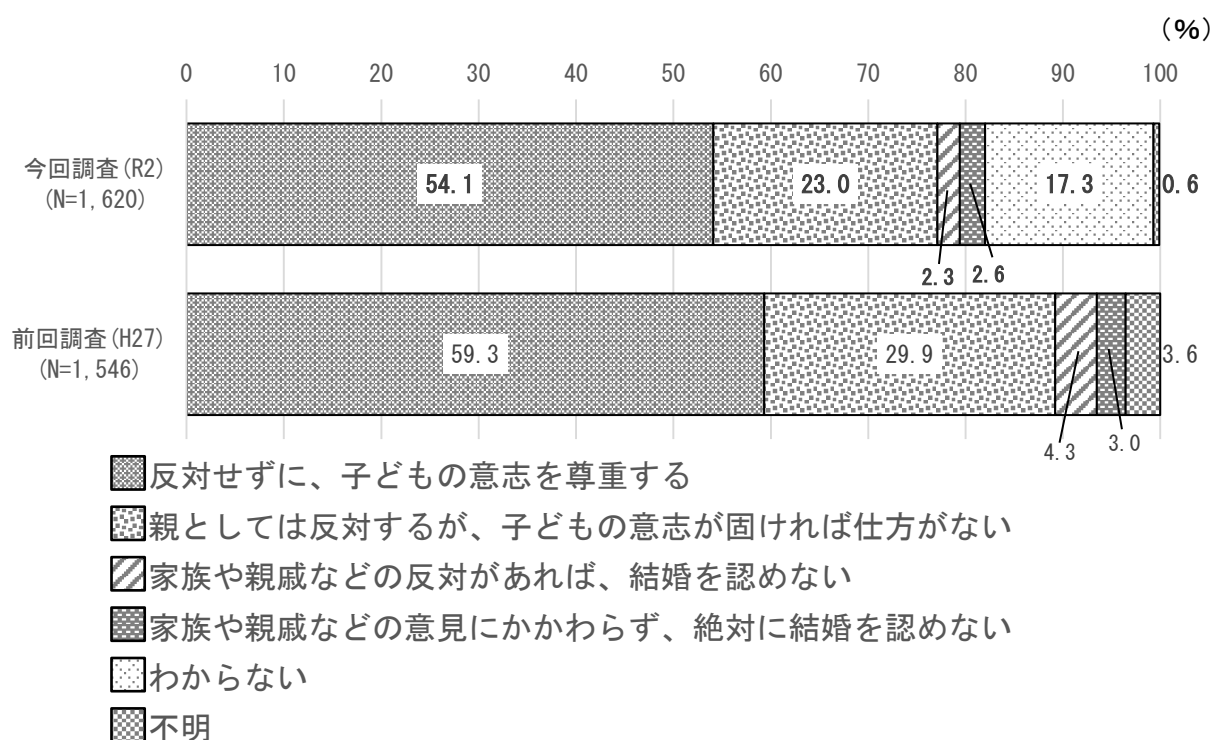
図Ⅱ—14—2 同和地区出身の人との結婚についての対応【自分】（性別・年齢別）



次に、自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、どうするか【問 14-2】を尋ねたところ、「反対せずに、子どもの意志を尊重する」が 54.1%と最も多く、次いで「親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない」が 23.0%と続いている。また、今回調査で新たに設けた「わからない」は 17.3%だった。

なお、【問 14-1】「【自分】結婚する（「自分の意志を貫いて結婚する」及び「親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する）」が 57.4%に対し、「子どもの結婚を認める（「反対せずに、子どもの意志を尊重する」及び「親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない）」が 77.1%であり、およそ 20 ポイント高くなっている。

図Ⅱ—14—3 同和地区出身の人との結婚についての対応【子ども】

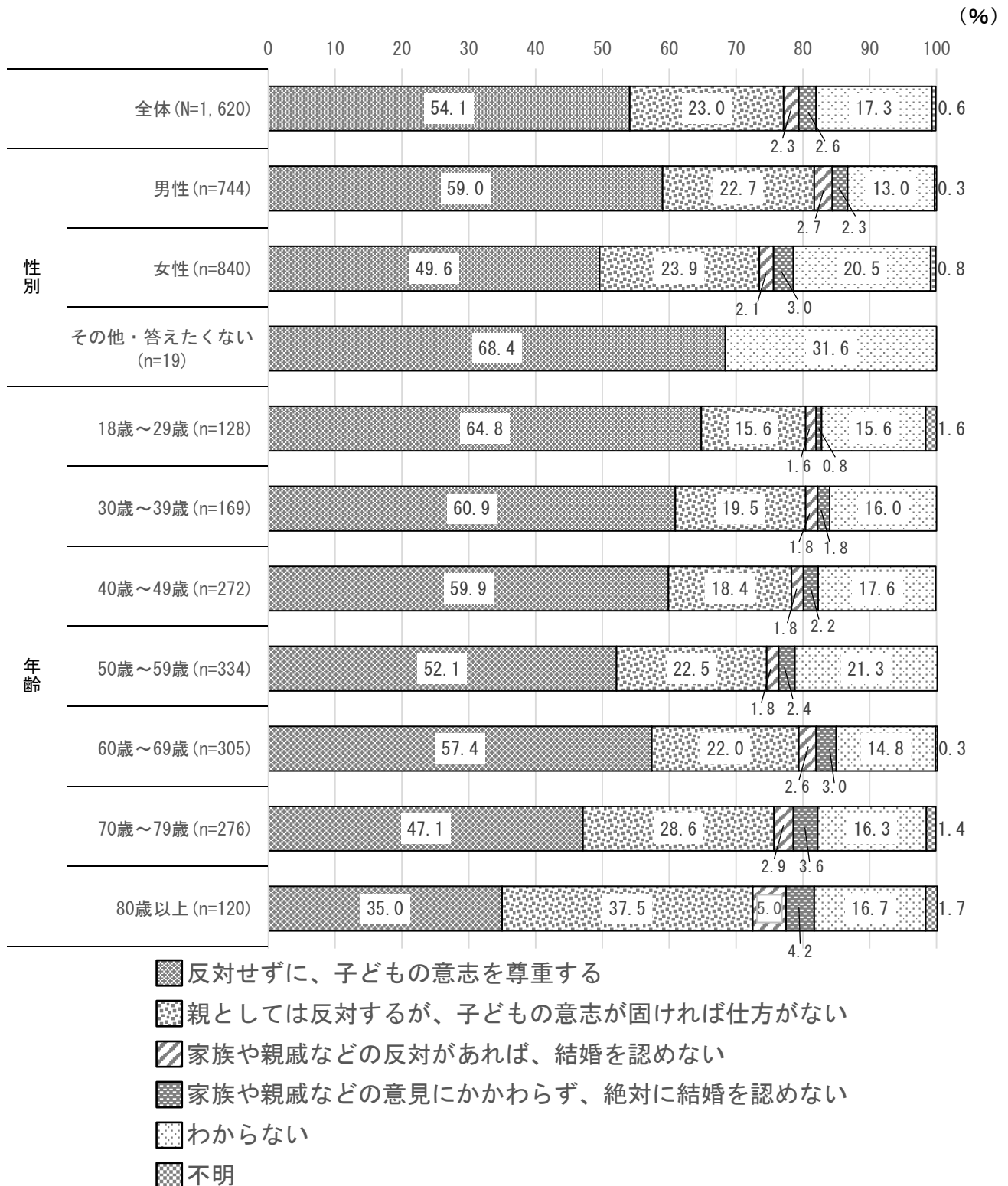


※前回調査では、「わからない」の選択肢はない。

性別で見ると、「反対せずに、子どもの意志を尊重する」は女性より男性がおよそ9ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、年齢層が若いほど、「反対せずに、子どもの意志を尊重する」の回答が多くなる傾向にある。

図Ⅱ—14—4 同和地区出身の人との結婚についての対応【子ども】(性別・年齢別)



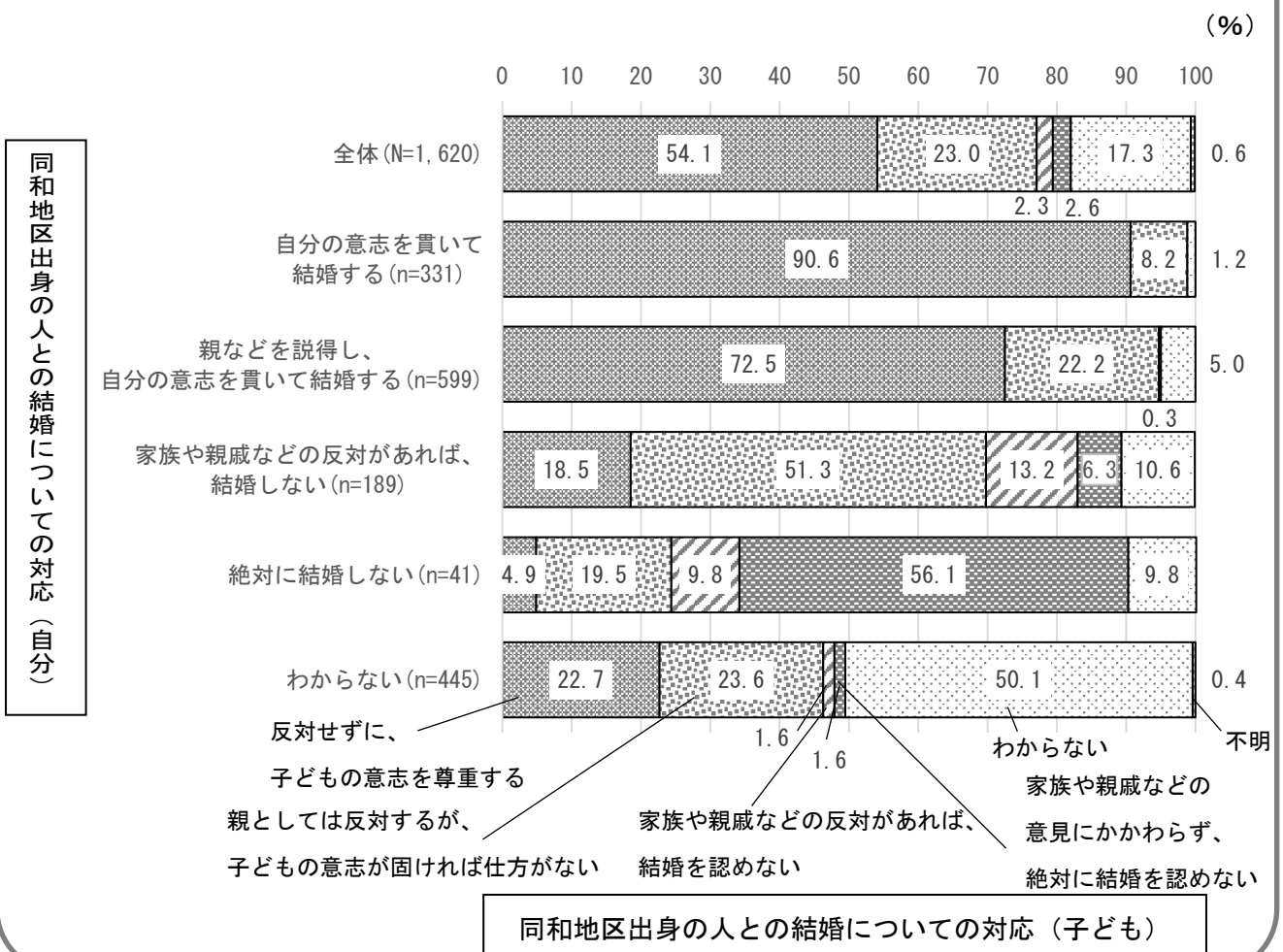
設問間クロス集計 4

同和地区出身の人との結婚について、自分の場合と子どもの場合との対応に違いがあるかを見るため、「自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合の対応」の設問【問14-2】の回答について、「自分が同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたときの対応」の設問【問14-1】の回答別に集計した。

自分の結婚について「自分の意志を貫いて結婚する」と回答した人の中で、子どもの結婚について「反対せずに、子どもの意志を尊重する」と回答した人は90.6%で、全体(54.1%)より、およそ37ポイント高くなっている。一方で自分は「絶対に結婚しない」と回答した人の中で、子どもについて「絶対に結婚を認めない」と回答した人は56.1%で、全体(2.6%)より、およそ54ポイント高い。

また、自分の結婚について「家族や親戚などの反対があれば、結婚しない」と回答した人の中で、子どもの結婚については、「反対せずに、子どもの意志を尊重する」または「親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない」と回答した人の合計は、69.8%(18.5%+51.3%)であり、自分は結婚しないとする人でも子どもの結婚は認める人の割合がおよそ7割となっている。

図クロス4 同和地区出身の人との結婚についての対応(自分)【問14-1】 × 同和地区出身の人との結婚についての対応(子ども)【問14-2】



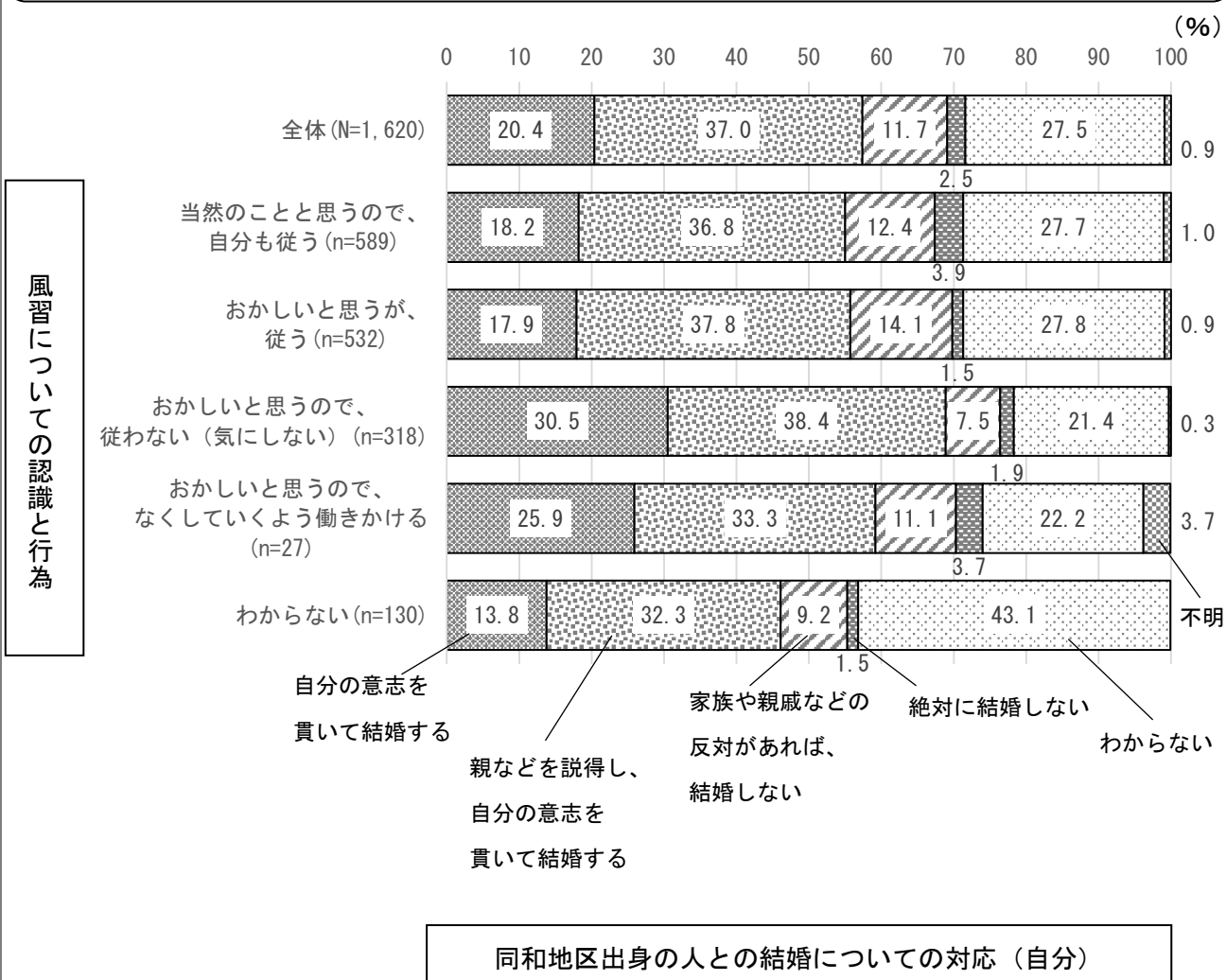
設問間クロス集計 5

風習についての認識・行為と、同和地区出身の人との結婚についての対応との関係を見るため、「自分が同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたときの対応」の設問【問14-1】の回答について、「風習についての認識と行為」についての設問【問8】の回答別に集計した。

風習について「おかしいと思うので、従わない（気にしない）」と回答した人の中で、同和地区出身の人との結婚について「自分の意志を貫いて結婚する」と回答した人は30.5%で、全体（20.4%）よりおよそ10ポイント高くなっている。

また、風習について「当然のことと思うので、自分も従う」と回答した人と「おかしいと思うが、従う」と回答した人を比べると、同和地区出身の人との結婚についての回答は、ほぼ同様の傾向となっている。

図クロス5 風習についての認識と行為【問8】×
同和地区出身の人との結婚についての対応（自分）【問14-1】



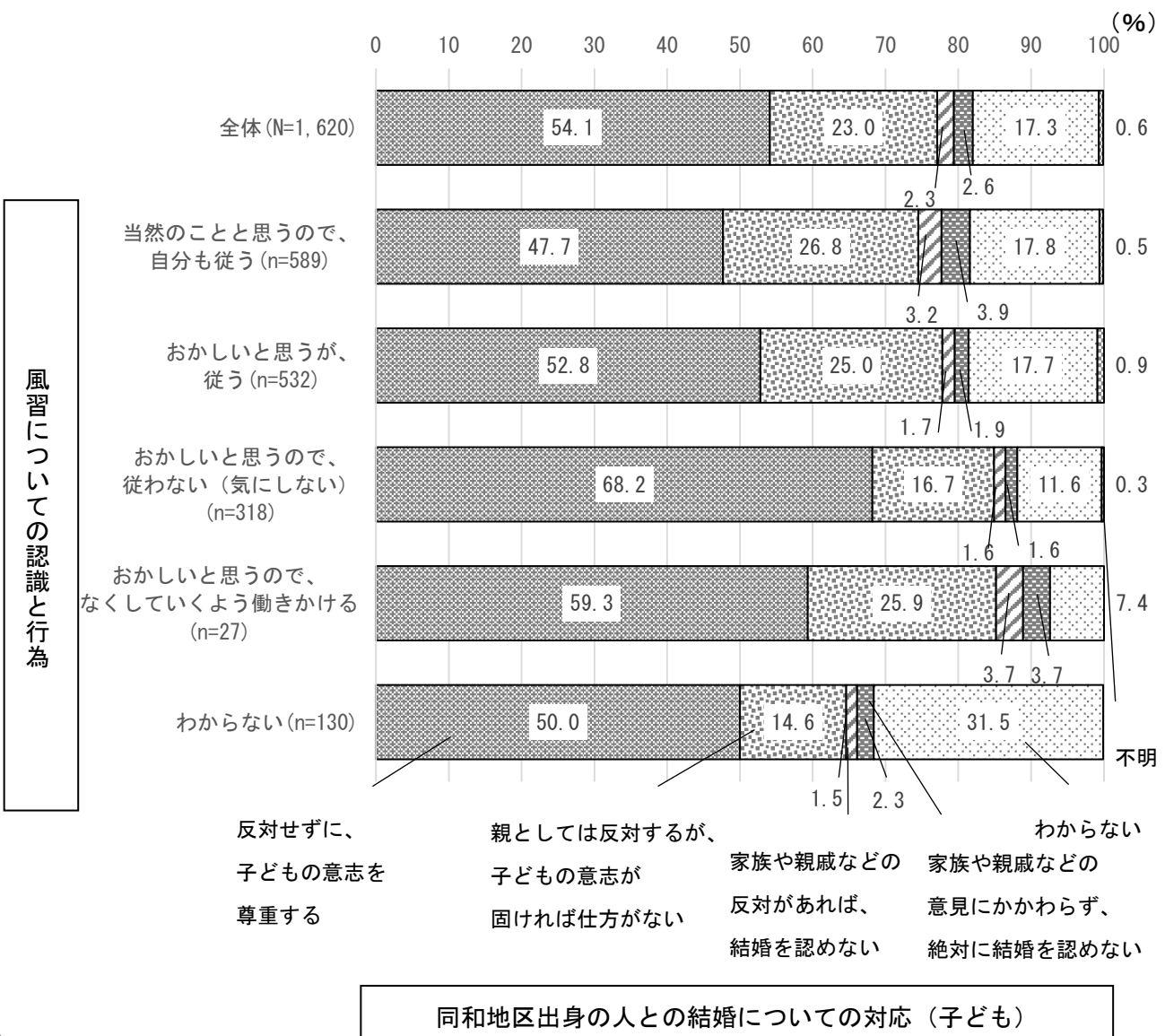
設問間クロス集計 6

設問間クロス集計5と同様に、風習についての認識・行為と、同和地区出身の人と自分の子どもとの結婚についての対応との関係を見るため、「自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合の対応」の設問【問14-2】の回答について、「風習についての認識と行為」についての設問【問8】の回答別に集計した。

風習について「おかしいと思うので、従わない（気にしない）」と回答した人の中で、同和地区出身の人と自分の子どもとの結婚について「反対せずに、子どもの意志を尊重する」と回答した人は68.2%で、全体（54.1%）よりおよそ14ポイント高くなっている。

また、風習について「当然のことと思うので、自分も従う」と回答した人と「おかしいと思うが、従う」と回答した人を比べると、自分の場合はほぼ同様の傾向であるのに対し、同和地区出身の人と自分の子どもとの結婚について「反対せずに、子どもの意志を尊重する」と回答した人は、およそ5ポイントの差がある。

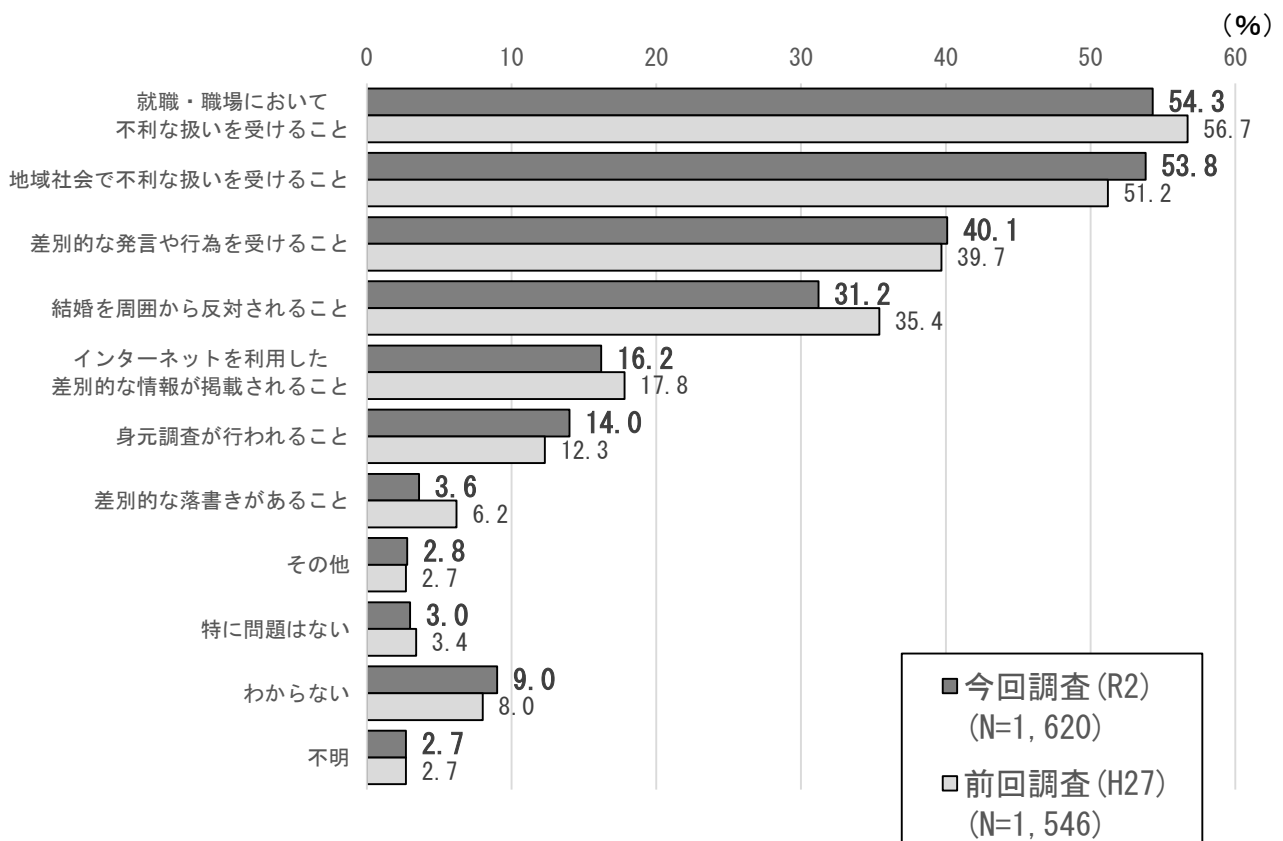
図クロス6 風習についての認識と行為【問8】 ×
同和地区出身の人との結婚についての対応（子ども）【問14-2】



15 同和問題で人権上問題があると思うこと【問 15】

同和地区や同和問題について「知っている」と回答した人に対し、同和問題で、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「就職・職場において不利な扱いを受けること」が54.3%と最も多く、次いで「地域社会で不利な扱いを受けること」が53.8%、「差別的な発言や行為を受けること」が40.1%と続いている。

図Ⅱ—15 同和問題で人権上問題があると思うこと[複数回答]



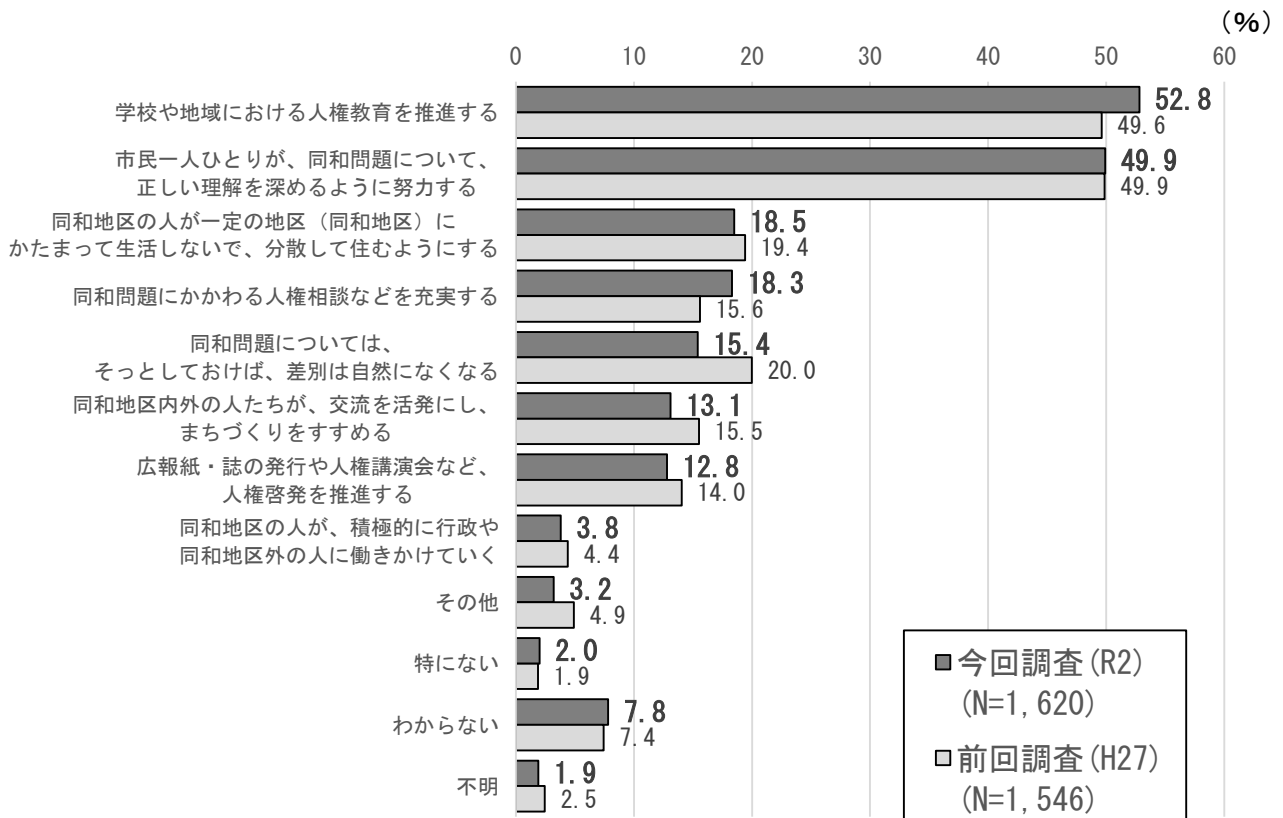
性別で見ると、「就職・職場において不利な扱いを受けること」は男性より女性がおおよそ9ポイント高くなっている。

年齢別では、大きな傾向の差は見られない。(集計表 P123 表 17 参照)

16 同和問題を解決するために必要なこと【問 16】

同和地区や同和問題について「知っている」と回答した人に対し、同和問題を解決するために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「学校や地域における人権教育を推進する」が52.8%と最も多く、次いで「市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する」が49.9%と続いている。

図Ⅱ—16 同和問題を解決するために必要なこと〔複数回答〕



性別で見ると、「学校や地域における人権教育を推進する」はおよそ8ポイント、「市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する」はおよそ7ポイント、男性より女性が高くなっている。

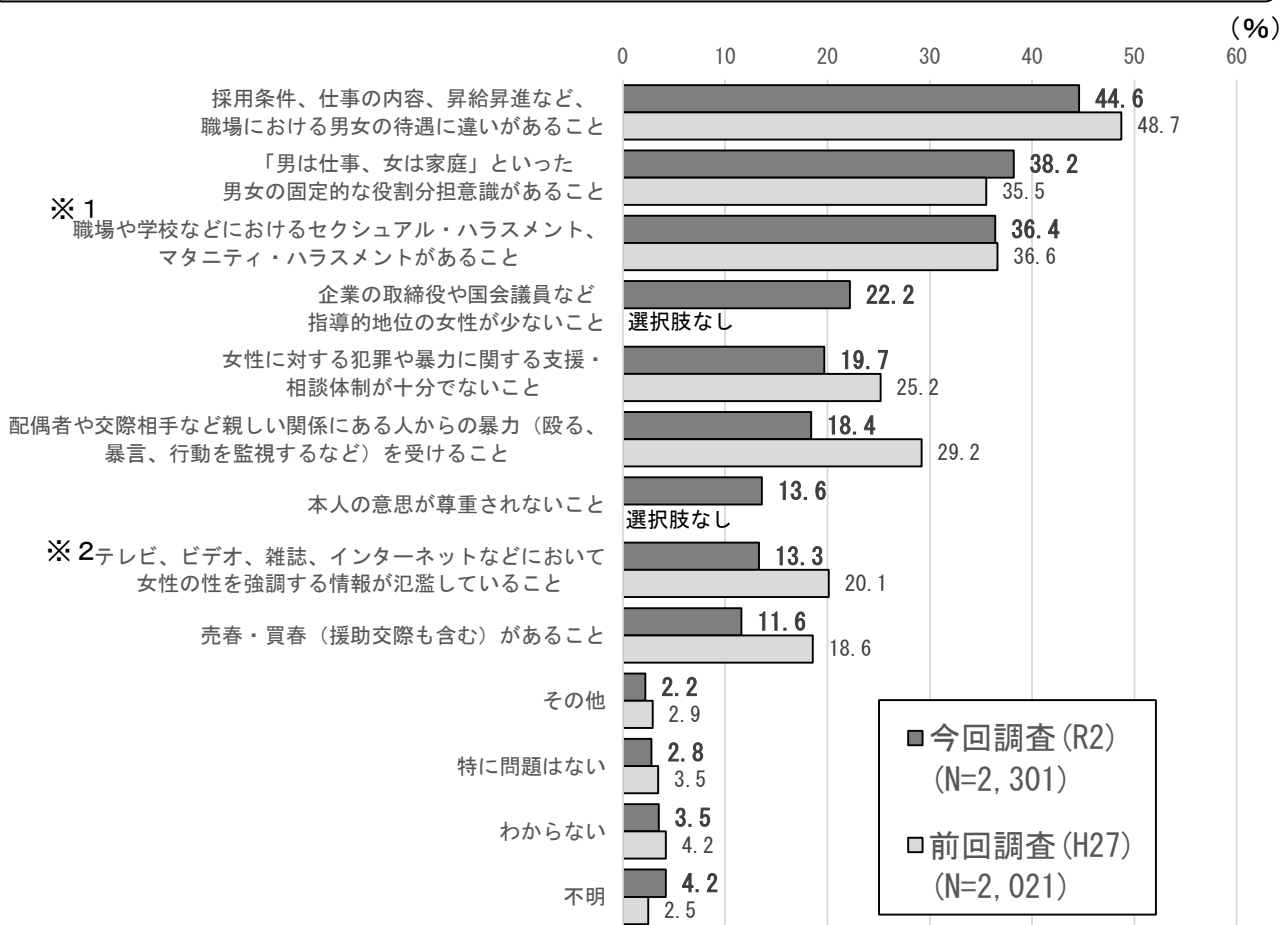
年齢別では、大きな傾向の差は見られない。（集計表 P124 表 18 参照）

17 女性について人権上問題があると思うこと【問 17】

女性に関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「採用条件、仕事の内容、昇給昇進など、職場における男女の待遇に違いがあること」が44.6%と最も多く、次いで「『男は仕事、女は家庭』といった男女の固定的な役割分担意識があること」が38.2%、「職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントがあること」が36.4%と続いている。

今回調査で新たに設けた選択肢の1つである「企業の取締役や国会議員など指導的地位の女性が少ないこと」は22.2%で、4番目に多い。

図Ⅱ—17 女性について人権上問題があると思うこと[複数回答]



※1 前回調査では「職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」

※2 前回調査では「テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫」

性別で見ると、「『男は仕事、女は家庭』といった男女の固定的な役割分担意識があること」「テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどにおいて女性の性を強調する情報が氾濫していること」は、男性よりも女性がそれぞれおよそ6ポイント高くなっている。

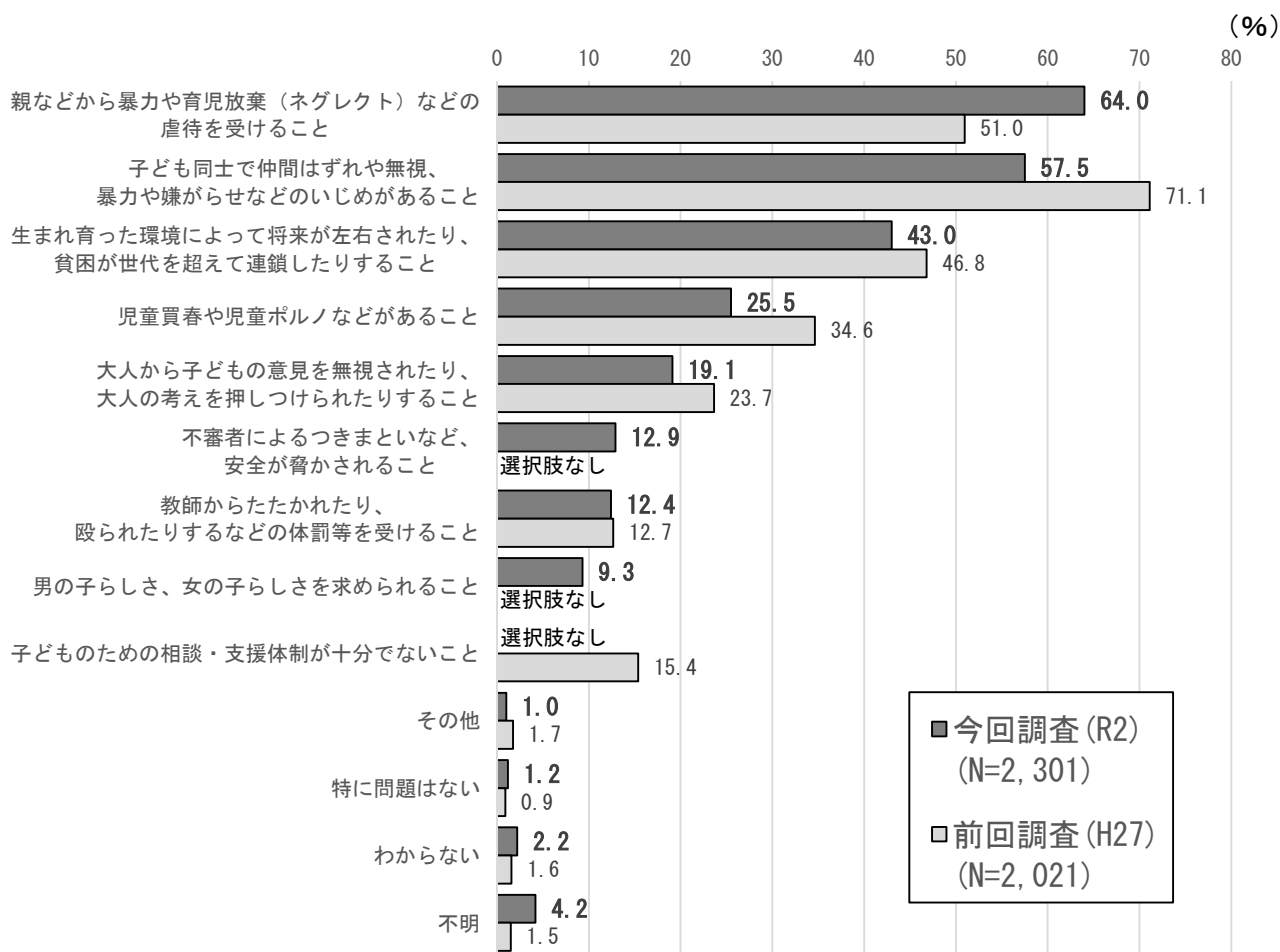
年齢別で見ると、10・20歳代と30歳代では「『男は仕事、女は家庭』といった男女の固定的な役割分担意識があること」の回答がその他の年代よりも多くなっている。また、80歳以上の「職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントがあること」が全体よりおよそ16ポイント低くなっている。（集計表P126表19参照）

18 子どもについて人権上問題があると思うこと【問18】

子どもに関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「親などから暴力や育児放棄（ネグレクト）などの虐待を受けること」が64.0%と最も多く、次いで「子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること」が57.5%、「生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること」が43.0%と続いている。

前回調査と比較すると、1番目と2番目の順番が入れ替わっている。

図Ⅱ—18 子どもについて人権上問題があると思うこと[複数回答]



性別で見ると、「子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること」は女性よりも男性がおよそ8ポイント高くなっている。また、「児童買春や児童ポルノなどがあること」は男性よりも女性がおよそ10ポイント高くなっている。

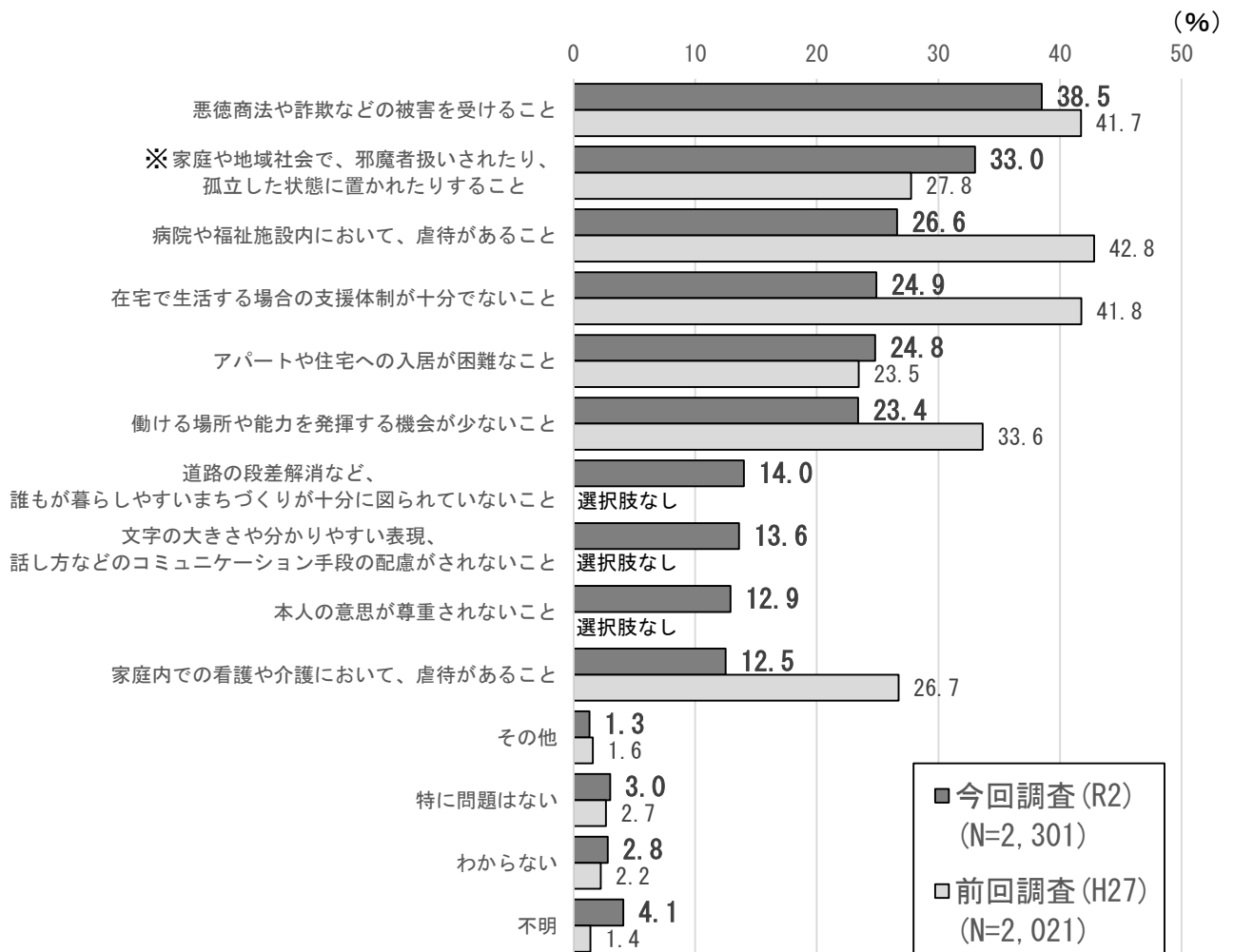
年齢別で見ると、10・20歳代と30歳代で「大人から子どもの意見を無視されたり、大人のを押しつけられたりすること」や「男の子らしさ、女の子らしさを求められること」の回答が多くなっている。（集計表 P128 表 20 参照）

19 高齢者について人権上問題があると思うこと【問 19】

高齢者に関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「悪徳商法や詐欺などの被害を受けること」が 38.5%と最も多く、次いで「家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること」が 33.0%、「病院や福祉施設内において、虐待があること」が 26.6%と続いている。

前回調査では「家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること」が 5 番目に多かったが、今回調査では 2 番目となっている。

図Ⅱ—19 高齢者について人権上問題があると思うこと〔複数回答〕



※ 前回調査では「高齢者を邪魔者扱いすること」

性別で見ると、「病院や福祉施設内において、虐待があること」はおよそ 8 ポイント、「在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと」はおよそ 7 ポイント、男性よりも女性が高くなっている。

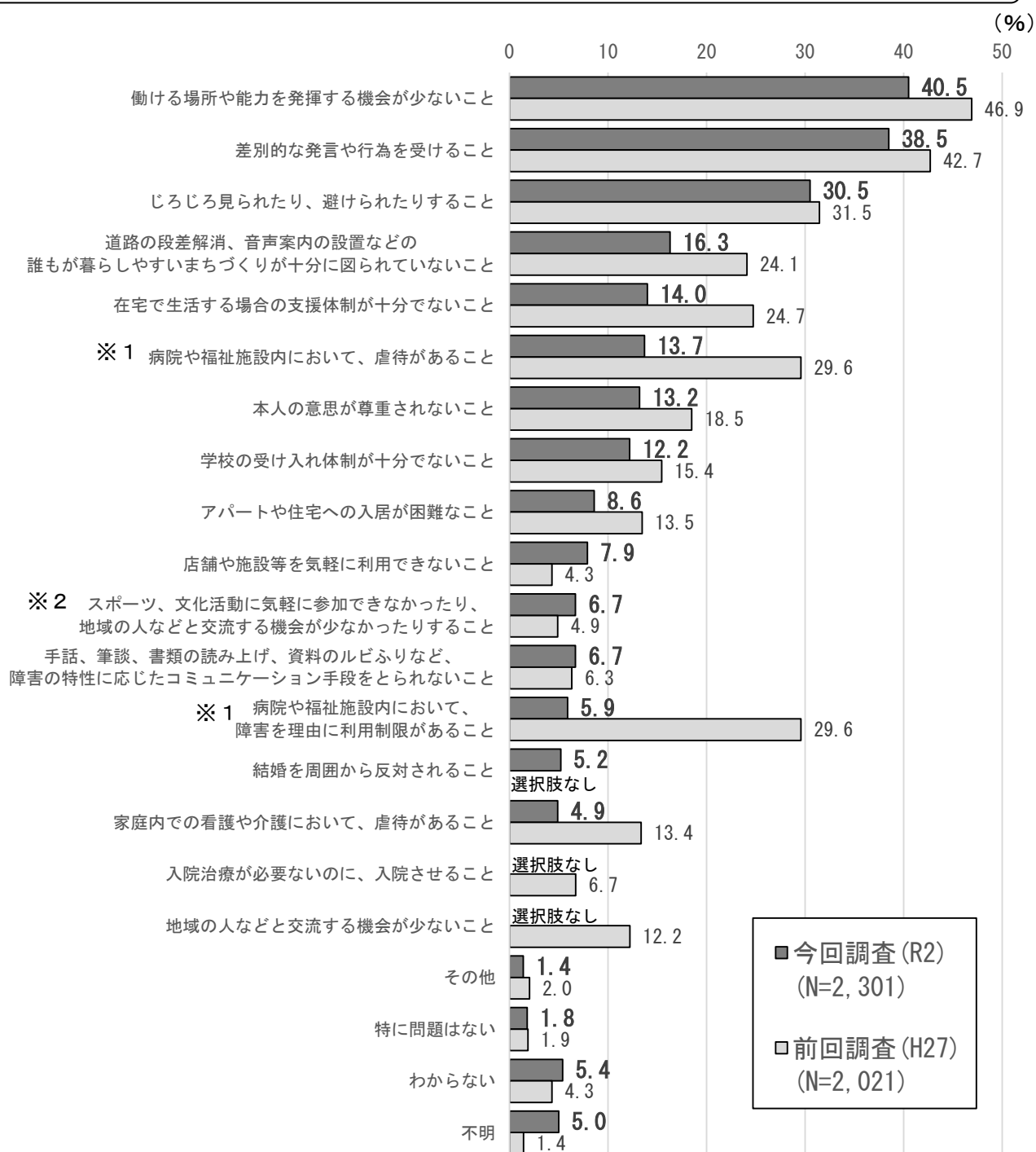
年齢別で見ると、年齢層が高いほど「文字の大きさや分かりやすい表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと」、「道路の段差解消など、誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと」が多い傾向にある。(集計表 P130 表 21 参照)

20 障害のある人について人権上問題があると思うこと【問 20】

障害のある人について人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」が40.5%と最も多く、次いで「差別的な発言や行為を受けること」が38.5%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が30.5%と続いている。

前回調査と比較すると、上位3項目は変わっていない。

図Ⅱ—20 障害のある人について人権上問題があると思うこと〔複数回答〕



※1 前回調査では「病院や福祉施設内において処遇が不十分であったり、虐待があること」

※2 前回調査では「スポーツ、文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと」

性別では、大きな傾向の差は見られない。

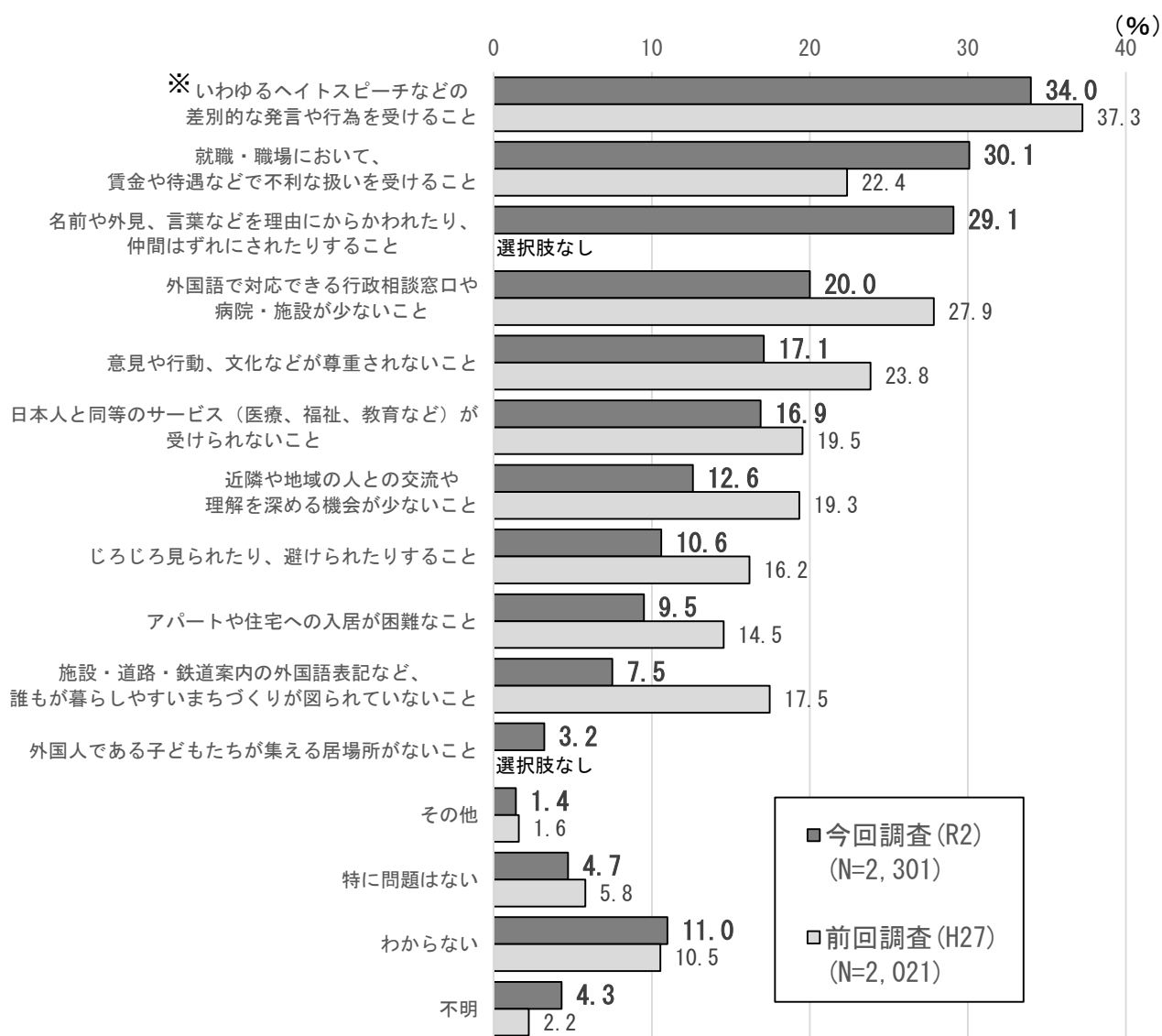
年齢別で見ると、年齢層が若いほど「差別的な発言や行為を受けること」の回答が多い傾向にある一方で、年齢層が高いほど「道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと」や「在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと」の回答が多い傾向にある。(集計表 P132 表 22 参照)

21 外国人について人権上問題があると思うこと【問 21】

外国人や、保護者が外国人である子どもなどに関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことか【問 21-1】を尋ねたところ、「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為を受けること」が 34.0%と最も多く、次いで「就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること」が 30.1%、今回調査で新たに設けた項目である「名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること」が 29.1%と続いている。

前回調査では、「就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること」が 4 番目に多かったが、今回調査では 2 番目となっている。

図Ⅱ—21—1 外国人について人権上問題があると思うこと〔複数回答〕



※ 前回調査では「差別的な発言や行為をすること」

性別では、大きな傾向の差は見られない。

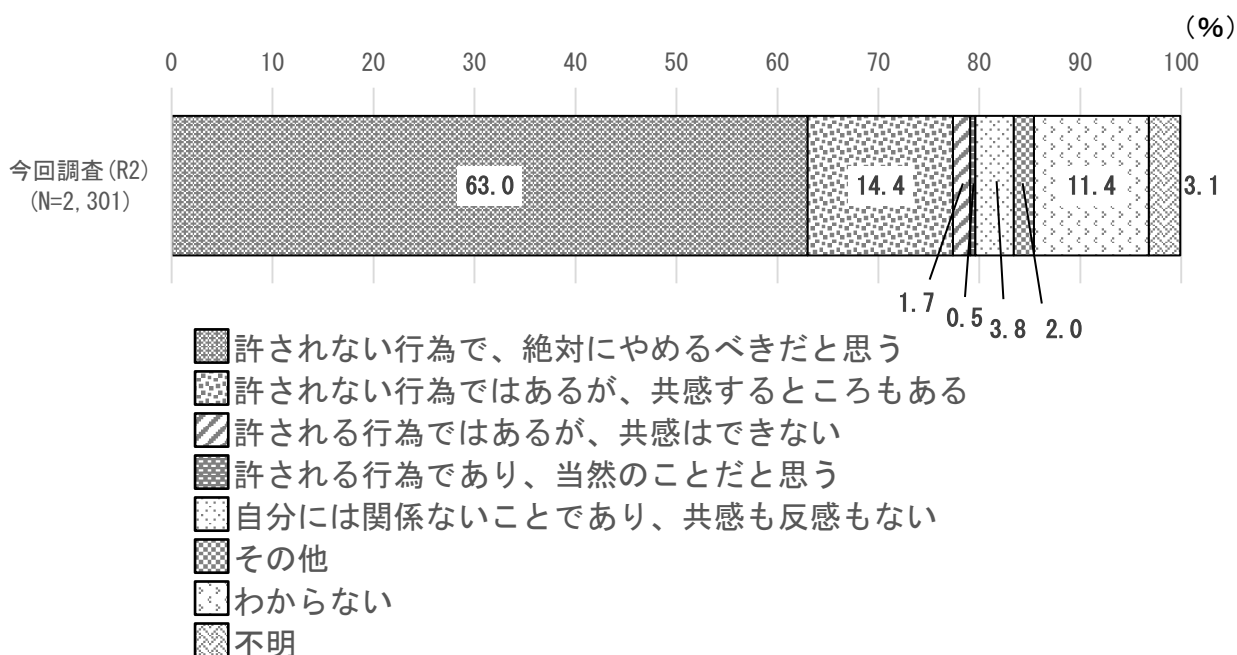
年齢別で見ると、年齢層が若いほど「名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること」を回答が多い傾向にある。（集計表 P134 表 23 参照）

次に、今回調査で新たに、ヘイトスピーチについてどのように思うか【問 21-2】を尋ねたところ、「許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う」が 63.0%と最も多く、次いで「許されない行為ではあるが、共感するところもある」が 14.4%、「わからない」が 11.4%と続いている。

ヘイトスピーチについて、全体のおよそ 8 割が「許されない行為（「許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う」及び「許されない行為ではあるが、共感するところもある）」と回答しているが、そのうちおよそ 2 割は「共感するところもある」と回答している。

◎前回調査(平成 27 年度)では設問していない

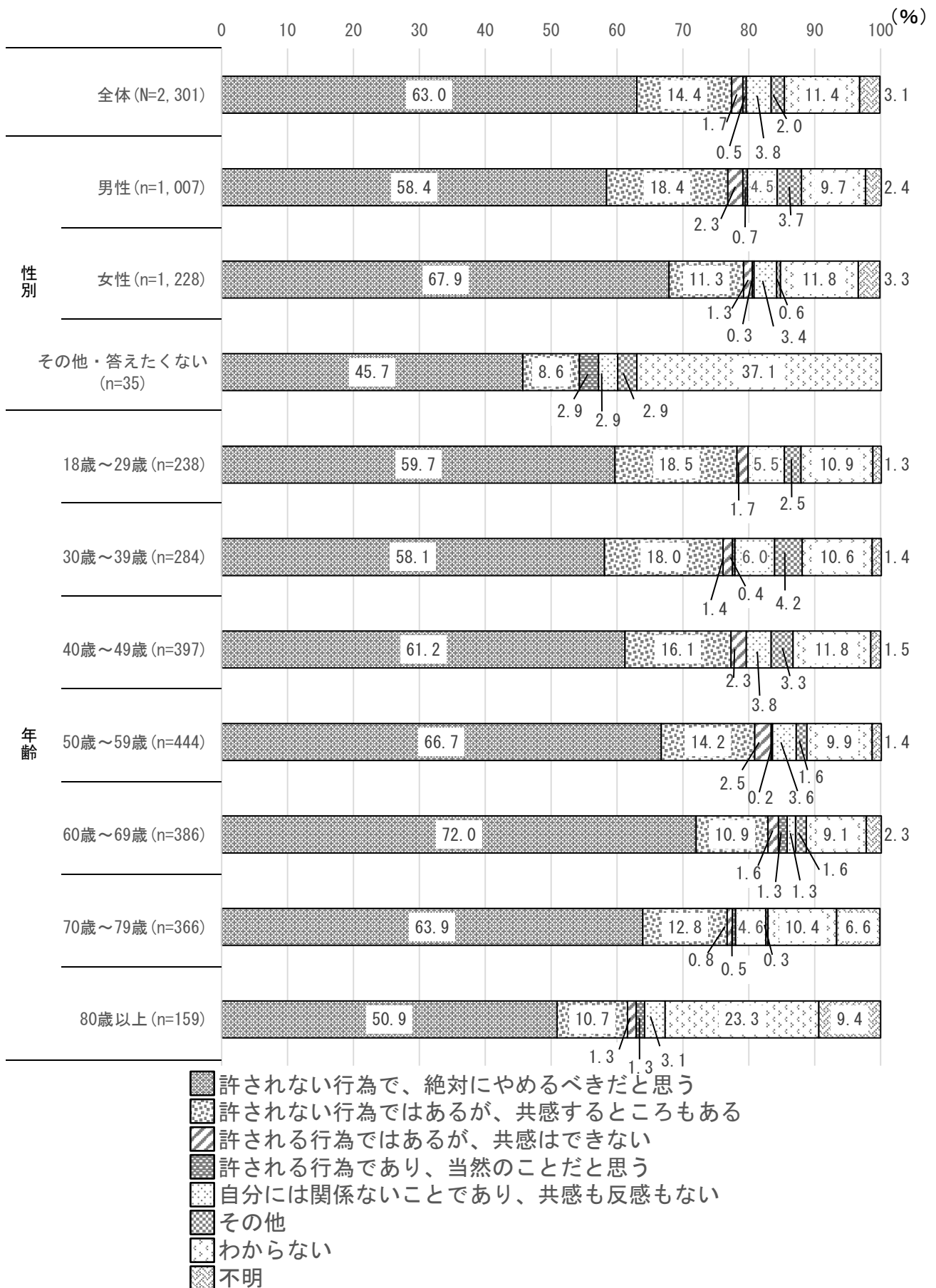
図Ⅱ—21—2 ヘイトスピーチについての認識



性別で見ると、「許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う」は男性よりも女性がおおよそ 10 ポイント高くなっている。一方で、「許されない行為ではあるが、共感するところもある」は女性よりも男性がおおよそ 7 ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う」は、最も多く選んだ 60 歳代と、最も少ない 80 歳以上では、おおよそ 21 ポイントの差があり、年齢によってばらつきがある。また、年齢層が若いほど「許されない行為ではあるが、共感するところもある」の回答が多い傾向にある。

図Ⅱ—21—3 ヘイトスピーチについての認識（性別・年齢別）



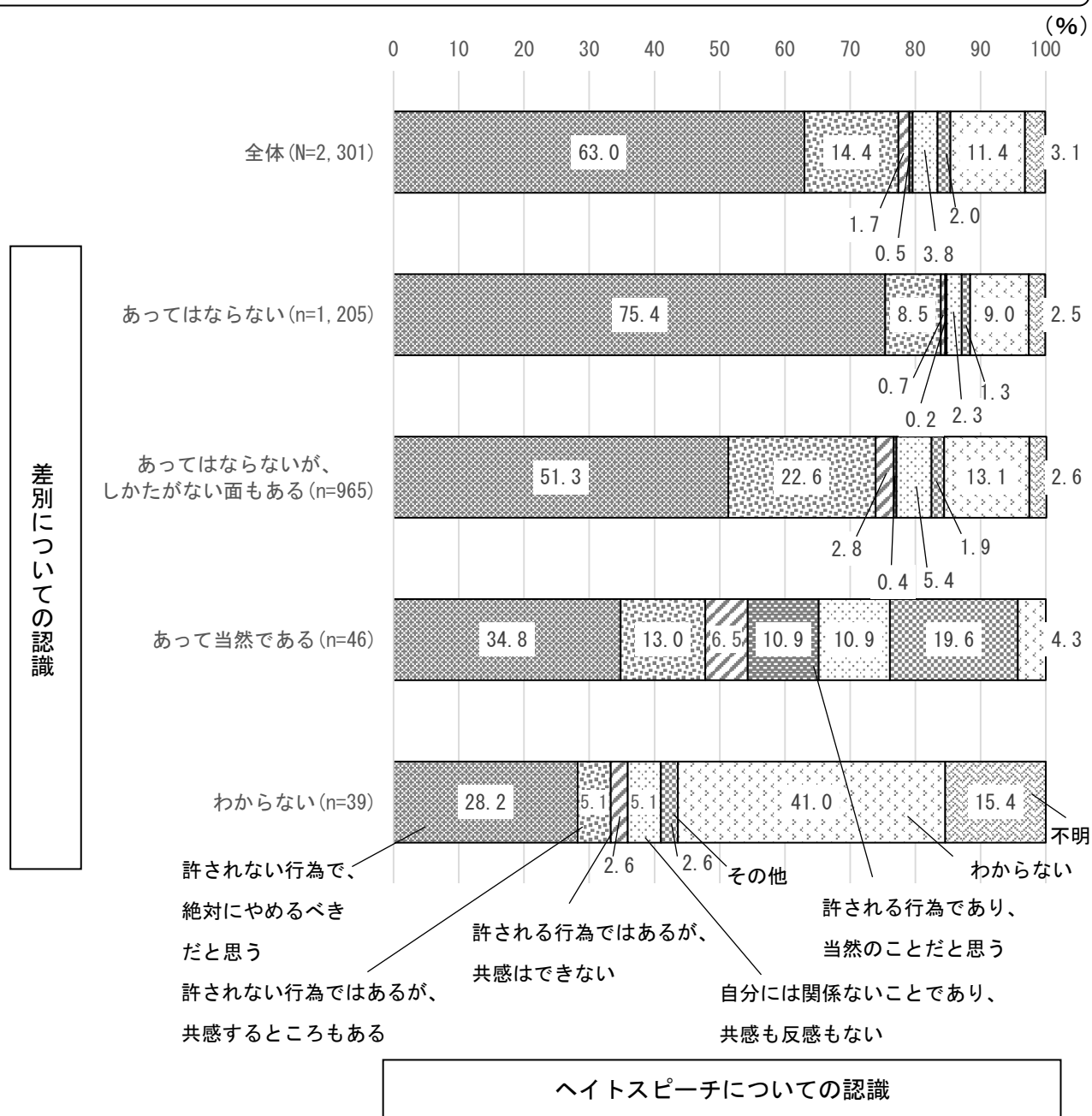
設問間クロス集計 7

差別についての認識と、ヘイトスピーチについての認識との関係を見るため、「ヘイトスピーチについての認識」の設問【問 21-2】の回答について、「差別についての認識」の設問【問 4-1】の回答別に集計した。

差別は「あってはならない」と回答した人の中で、ヘイトスピーチについて「許されない行為で、絶対にやめるべき」と回答した人は75.4%で、全体(63.0%)よりおよそ12ポイント高くなっている。

一方、差別は「あってはならないが、しかたがない面もある」と回答した人の中で、ヘイトスピーチについて「許されない行為であるが、共感するところもある」と回答した人の割合は、22.6%で、全体(14.4%)よりもおよそ8ポイント高くなっている。

図クロス7 差別についての認識【問 4-1】 × ヘイトスピーチについての認識【問 21-2】

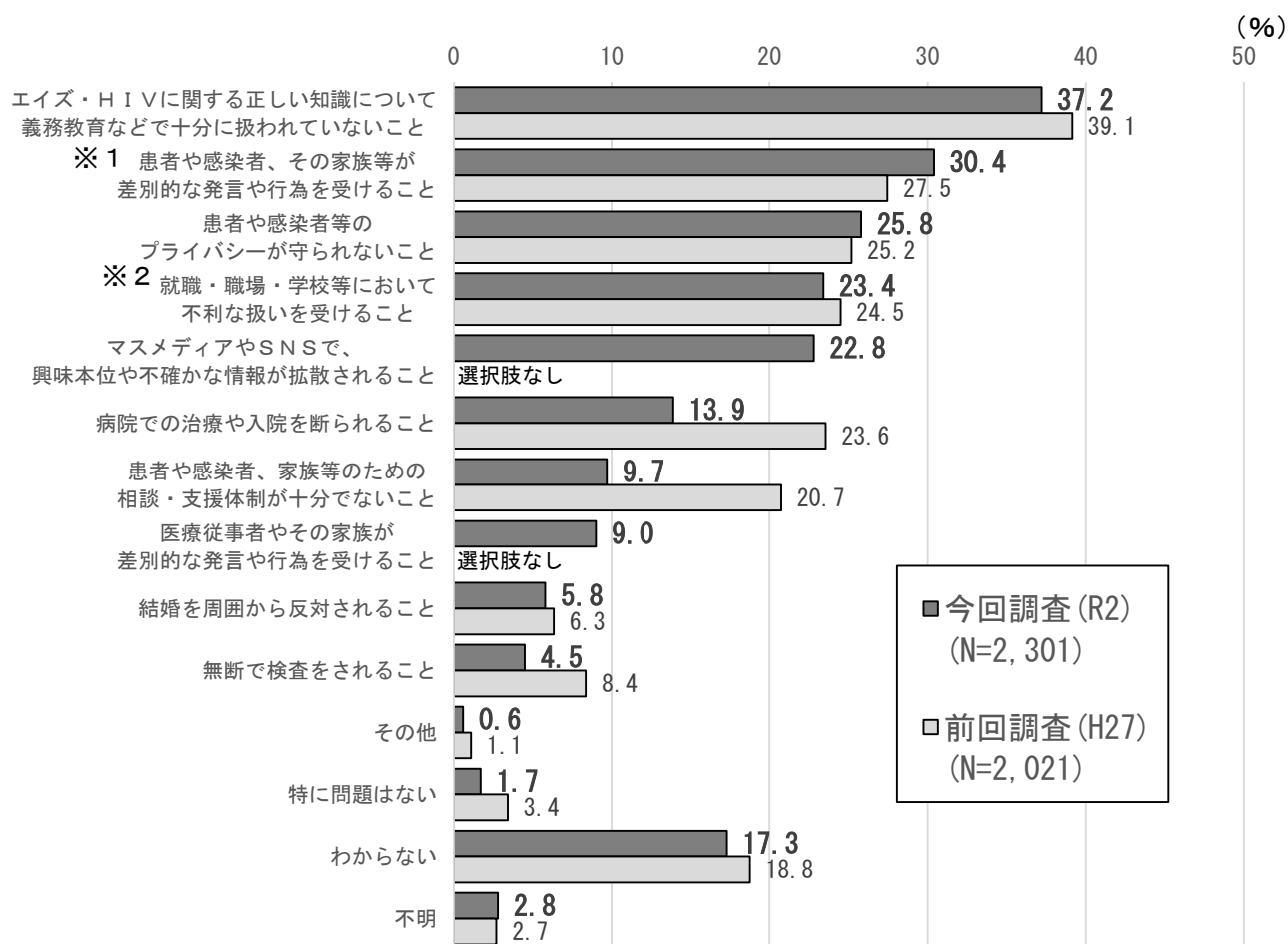


22 エイズ患者やH I V感染者について人権上問題があると思うこと【問 22】

エイズ患者やH I V(エイズウイルス)感染者に関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「エイズ・H I Vに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと」が37.2%と最も多く、次いで「患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること」が30.4%、「患者や感染者等のプライバシーが守られないこと」が25.8%となっている。

前回調査同様「エイズ・H I Vに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと」は、今回調査でも最も多くなっている。

図Ⅱ—22 エイズ患者やH I V感染者について人権上問題があると思うこと[複数回答]



※1 前回調査では「差別的な発言や行為をすること」

※2 前回調査では「就職の際や職場において不利な扱いをすること」

性別では、大きな傾向の差は見られない。

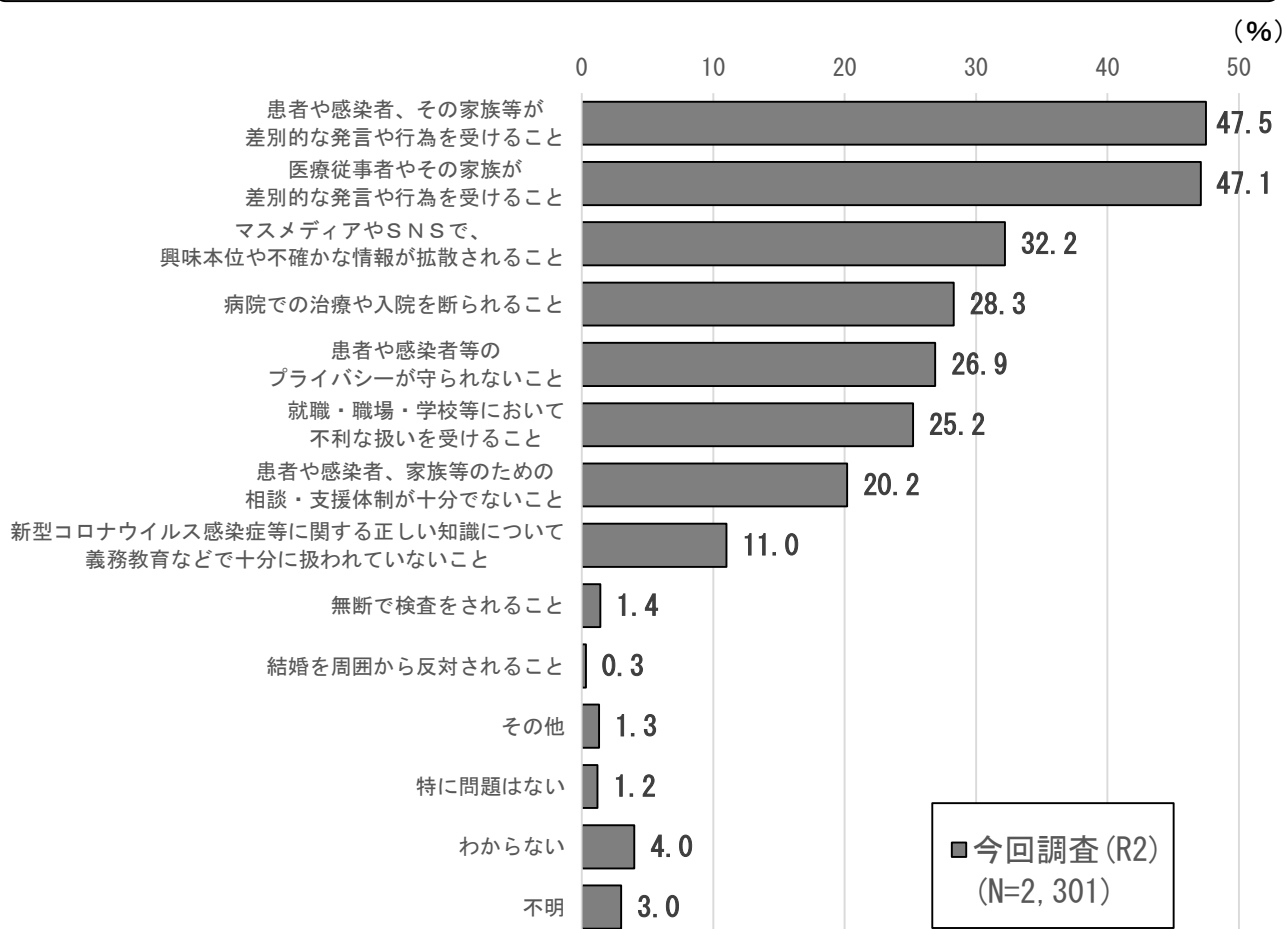
年齢別で見ると、70歳代以下では「エイズ・H I Vに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと」の回答が最も多くなっている。(集計表 P137 表 25 参照)

23 新型コロナウイルス感染症等の患者等について人権上問題があると思うこと【問 23】

今回調査で新たに、新型コロナウイルス感染症等の患者等に関する事で、人権上特に問題があると思うのはどのようなことか【問 23-1】を尋ねたところ、「患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること」が47.5%と最も多く、次いで「医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること」が47.1%、「マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること」が32.2%と続いている。

◎前回調査(平成27年度)では設問していない

図Ⅱ—23—1 新型コロナウイルス感染症等の患者等について人権上問題があると思うこと〔複数回答〕



性別で見ると、男性は「医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること」が最も多いが、女性は「患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること」が最も多く、男性に比べておよそ13ポイント高い。

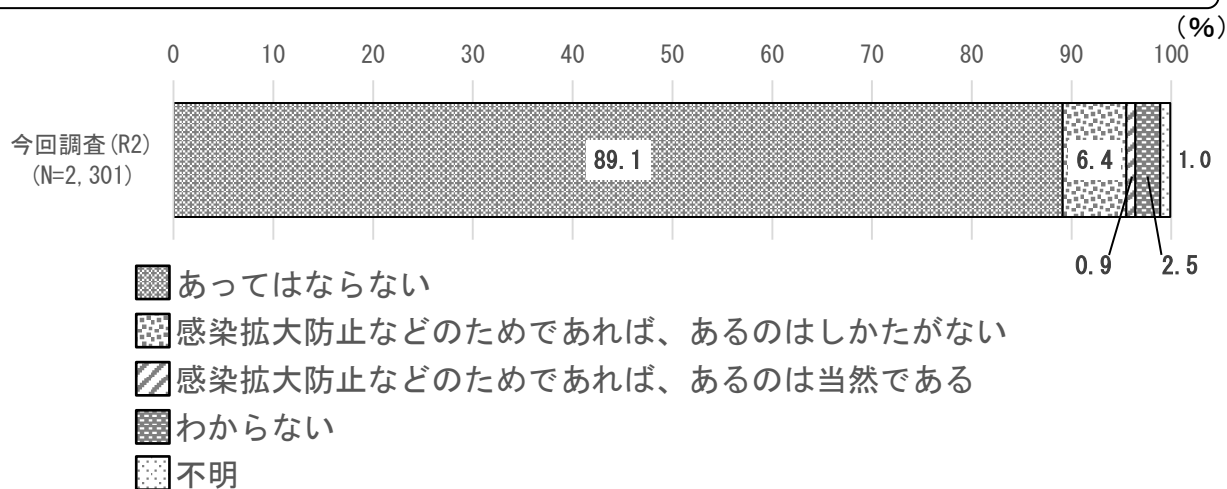
年齢別で見ると、年齢層が若いほど「患者や感染者等のプライバシーが守られないこと」、「マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること」の回答が多い傾向にある。一方で、年齢層が高いほど「病院での治療や入院を断られること」の回答が多い傾向にある。(集計表P139表26参照)

次に、新型コロナウイルス感染症等の患者やその家族、医療従事者等に対する誹謗中傷やプライバシーの暴露といったインターネット上の差別的な書き込みなどの人権侵害に対して、自分の考えに近いもの【問 23-2】を尋ねたところ、「あってはならない」が 89.1%と最も多かった。「感染拡大防止などのためであれば、あるのはしかたがない」が 6.4%、「感染拡大防止などのためであれば、あるのは当然である」が 0.9%となっている。

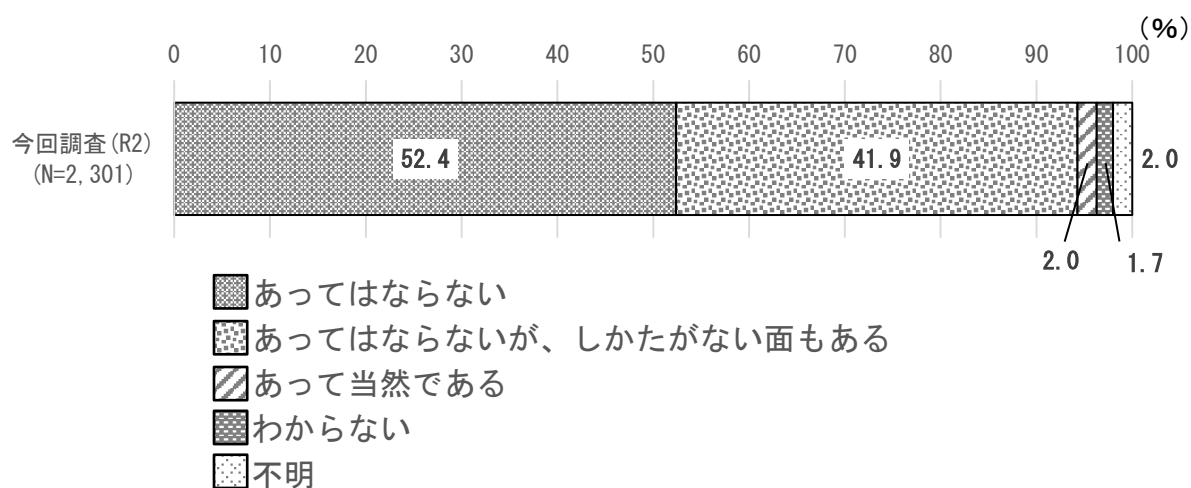
また、差別についての考えを尋ねた【問 4-1】と比較すると、「あってはならない」がおよそ 37ポイント高くなっている。

◎前回調査(平成 27 年度)では設問していない

図Ⅱ—23—2 新型コロナウイルス感染症等の患者等に関する人権侵害についての認識



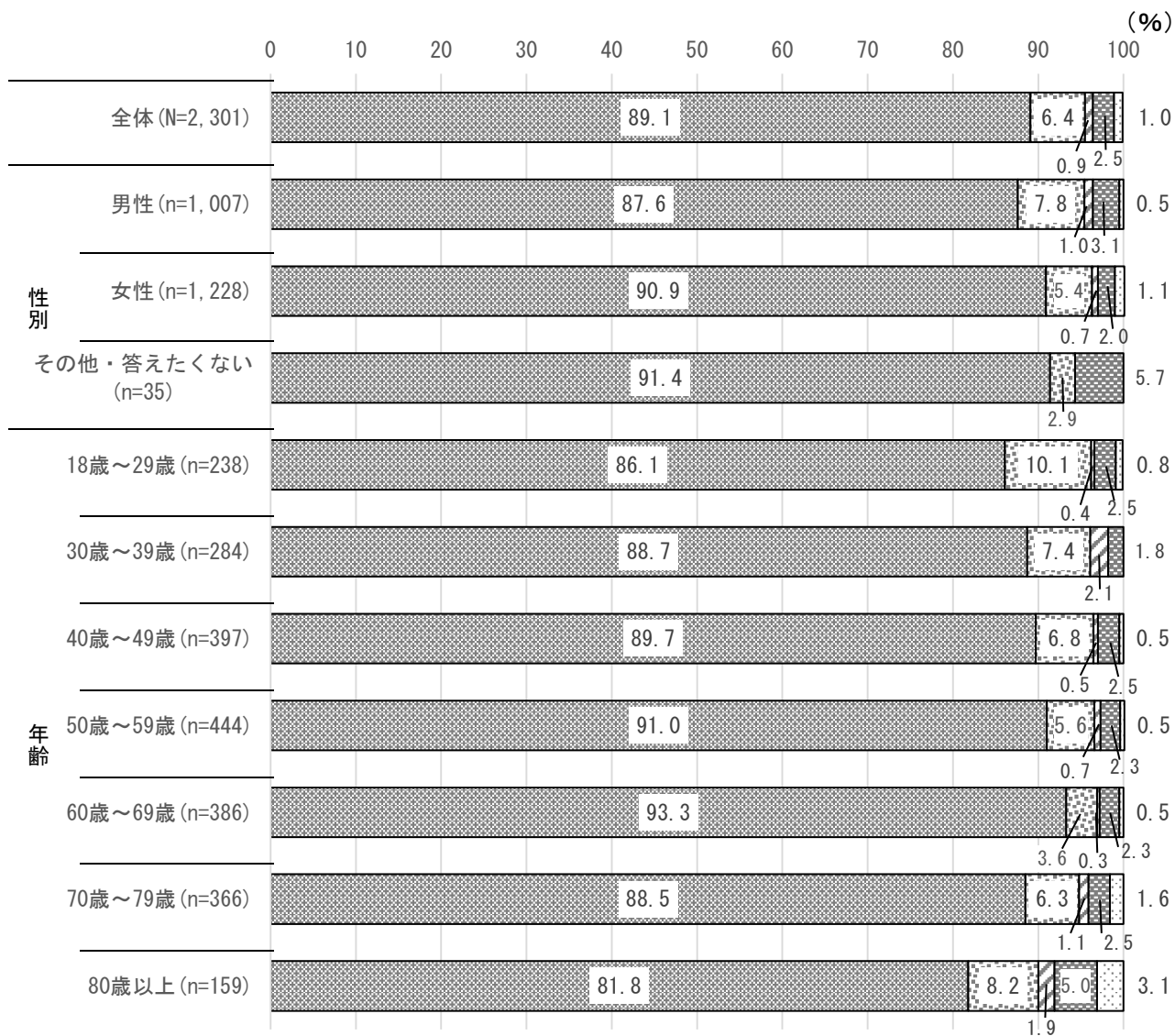
【再掲】 図Ⅱ—4—1 差別についての認識



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、「あってはならない」を選んだ人の割合が最も多い60歳代と、最も少ない80歳以上ではおよそ12ポイント、次いで少ない10・20歳代ではおよそ7ポイント差があった。

図Ⅱ—23—3 新型コロナウイルス感染症等の患者等に関する人権侵害についての認識（性別・年齢別）



- あってはならない
- 感染拡大防止などのためであれば、あるのはしかたがない
- 感染拡大防止などのためであれば、あるのは当然である
- わからない
- 不明

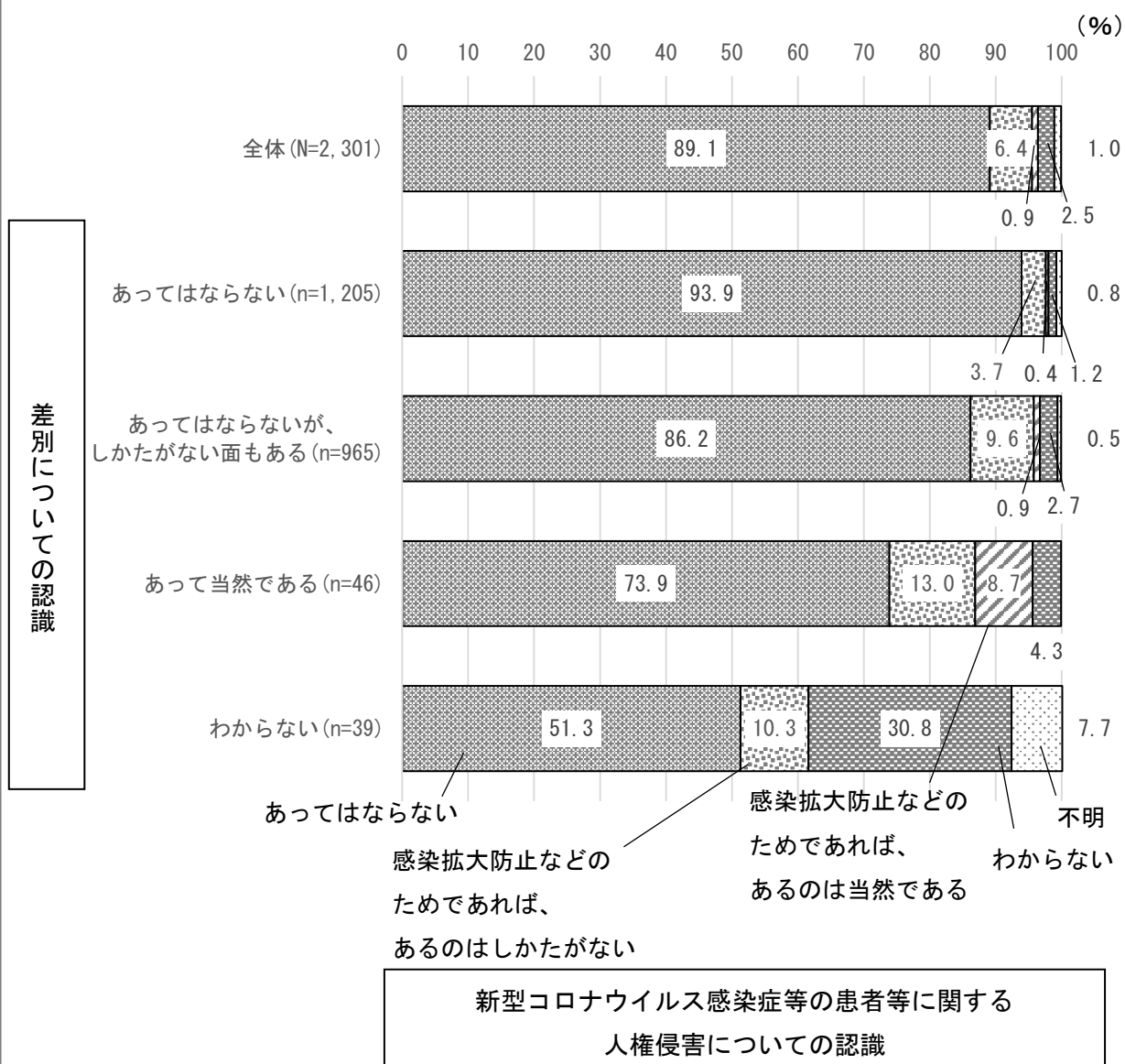
設問間クロス集計 8

差別についての認識と、新型コロナウイルス感染症等の患者等に関する人権侵害についての認識との関係を見るため、「新型コロナウイルス感染症等の患者等に関する人権侵害についての認識」【問23-2】の回答について、「差別についての認識」【問4-1】の回答別に集計した。

差別は「あってはならない」と回答した人の中で、新型コロナウイルス感染症等の患者等に関連する人権侵害について「あってはならない」と回答した人は、93.9%であり、全体（89.1%）よりおよそ5ポイント高くなっている。

一方、差別は「あって当然である」と回答した人の中で、新型コロナウイルス感染症等の患者等に関連する人権侵害は「あってはならない」と回答した人は、73.9%であり、全体（89.1%）よりおよそ15ポイント低くなっているが、それでも7割を超えている。

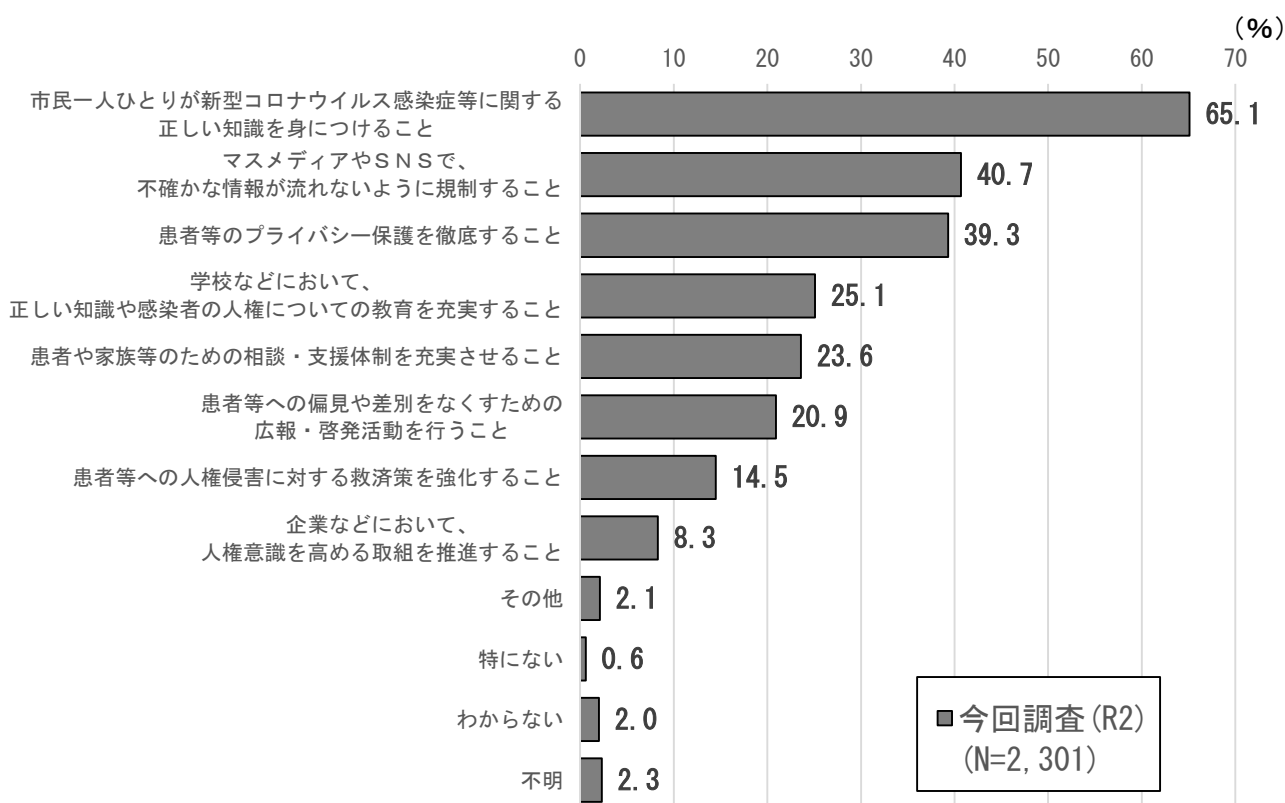
図クロス8 差別についての認識【問4-1】×
新型コロナウイルス感染症等の患者等に関する人権侵害についての認識【問23-2】



次に、新型コロナウイルス感染症等の患者等の人権を守るために、どのようなことが必要か【問23-3】を尋ねたところ、「市民一人ひとりが新型コロナウイルス感染症等に関する正しい知識を身につけること」が65.1%と最も多く、次いで「マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制すること」が40.7%、「患者等のプライバシー保護を徹底すること」が39.3%と続いている。

◎前回調査(平成27年度)では設問していない

図Ⅱ—23—5 新型コロナウイルス感染症等の患者等の人権を守るために必要なこと〔複数回答〕

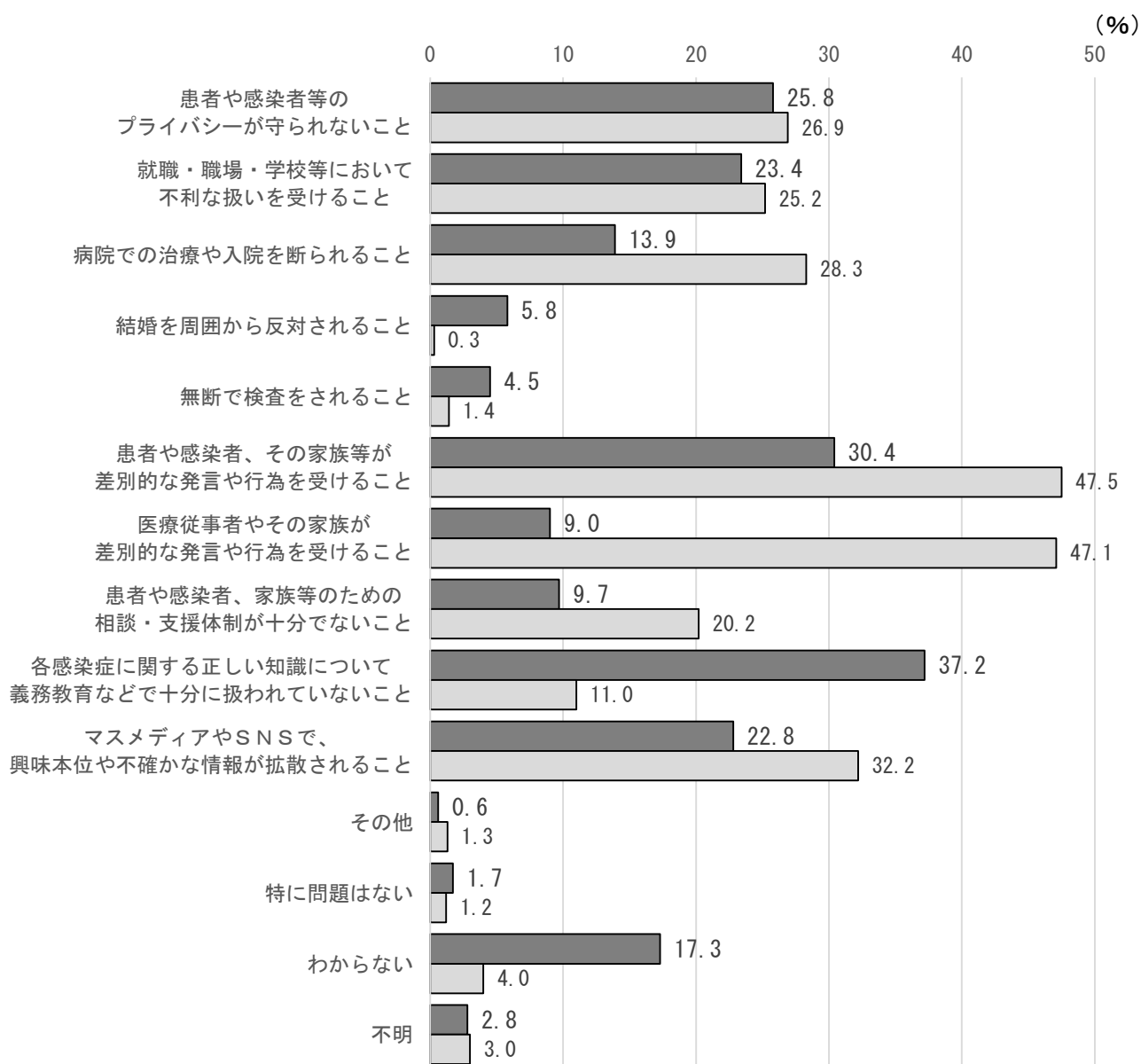


性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、全年齢層で「市民一人ひとりが新型コロナウイルス感染症等に関する正しい知識を身につけること」が最も多くなっている。また、年齢層が若いほど「マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制すること」の回答が多い傾向にある。一方で、年齢層が高いほど「学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実すること」の回答が多い傾向にある。(集計表P142表28参照)

「エイズ患者やH I V感染者」と「新型コロナウイルス感染症等の患者等」の人権上の問題を比較すると、「エイズ患者やH I V感染者」より「新型コロナウイルス感染症等の患者等」の方が「医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること」がおよそ 38 ポイント、「患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること」がおよそ 17 ポイント、「病院での治療や入院を断られること」がおよそ 14 ポイントそれぞれ高かった。一方で、「各感染症に対する正しい知識について、義務教育などで十分に扱われていないこと」は、「新型コロナウイルス感染症等の患者等」より「エイズ患者やH I V感染者」の方がおよそ 26 ポイント高かった。また、「わからない」を選んだ人は、「エイズ患者やH I V感染者」の方がおよそ 13 ポイント高くなっている。

図Ⅱ—23—6 エイズ患者やH I V感染者について人権上問題があると思うこと【問 22】と
新型コロナウイルス感染症等の患者等について人権上問題があると思うこと【問 23】



■エイズ患者やH I V感染者について (N=2, 301)

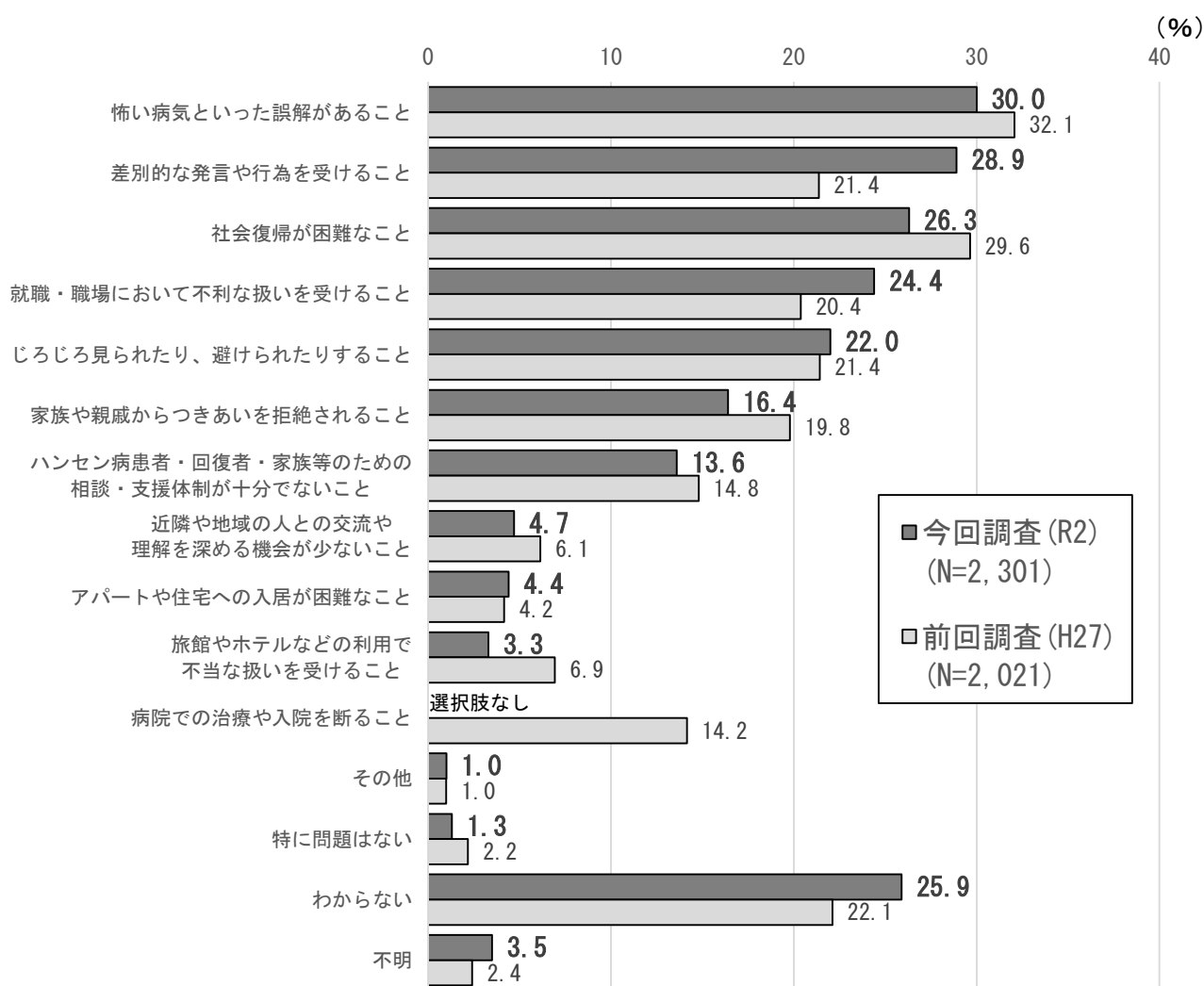
□新型コロナウイルス感染症等の患者等について (N=2, 301)

24 ハンセン病患者・回復者・家族等について人権上問題があると思うこと【問 24】

ハンセン病患者・回復者・家族等に関する事で、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「怖い病気といった誤解があること」が30.0%と最も多く、次いで「差別的な発言や行為を受けること」が28.9%、「社会復帰が困難なこと」が26.3%と続いている。また、「わからない」は25.9%となっており、人権課題の分野別設問（問17～問33）中で、2番目の高さであった。

前回調査と比較すると、「差別的な発言や行為を受けること」がおよそ8ポイント増加している。

図Ⅱ—24 ハンセン病患者・回復者・家族等について人権上問題があると思うこと[複数回答]



性別では、大きな傾向の差は見られない。

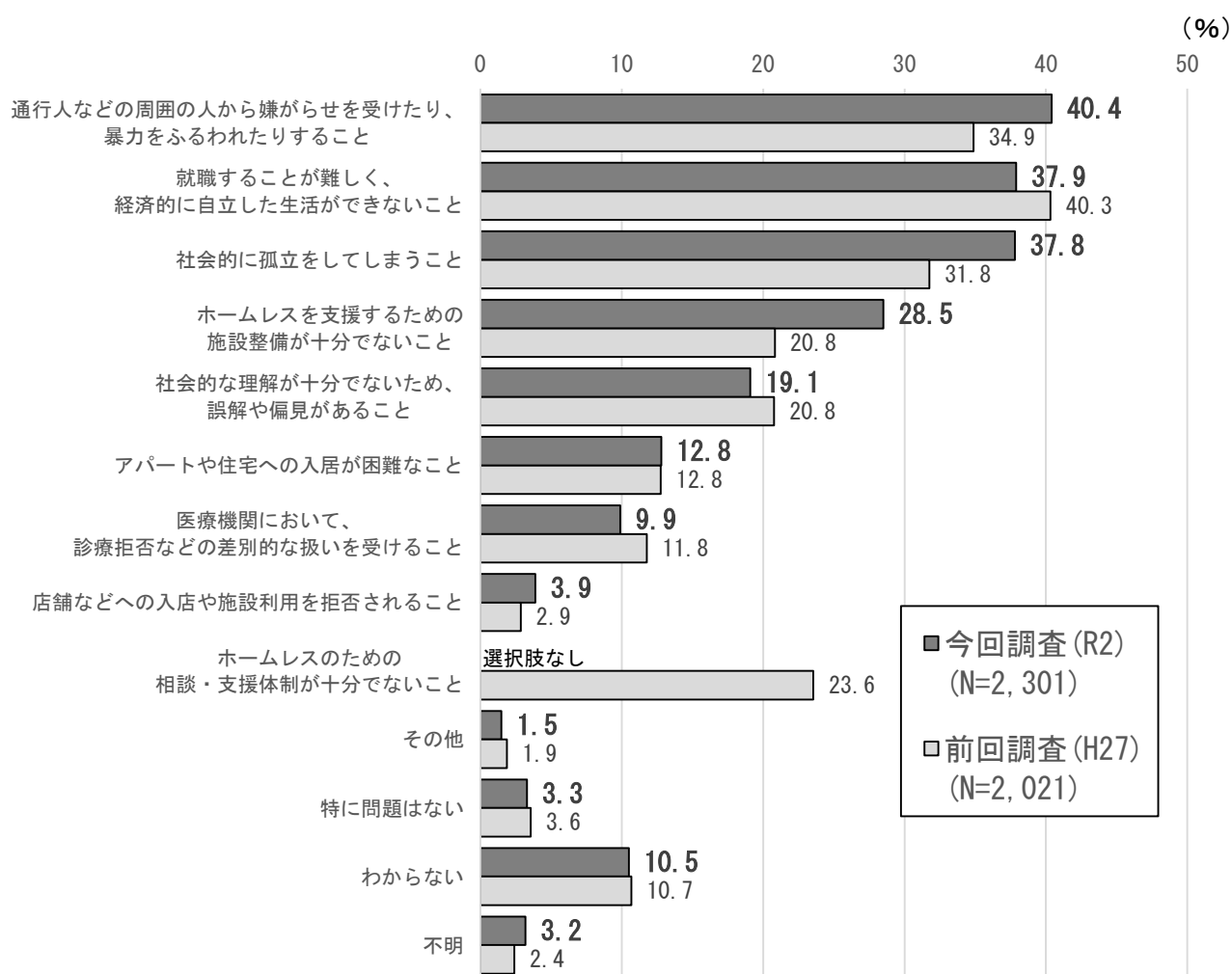
年齢別で見ると、50歳代以下では「差別的な発言や行為を受けること」、60歳代、70歳代では「怖い病気といった誤解があること」が最も多くなっている。また、10・20歳代、30歳代、40歳代では「わからない」が3割を超えている。（集計表P144表29参照）

25 ホームレスについて人権上問題があると思うこと【問 25】

ホームレスに関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力をふるわれたりすること」が40.4%と最も多く、次いで「就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと」が37.9%、「社会的に孤立をしてしまうこと」が37.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力をふるわれたりすること」と「社会的に孤立をしてしまうこと」がそれぞれおよそ6ポイント、「ホームレスを支援するための施設整備が十分でないこと」がおよそ8ポイント増加している。

図Ⅱ—25 ホームレスについて人権上問題があると思うこと〔複数回答〕



性別では、大きな傾向の差は見られない。

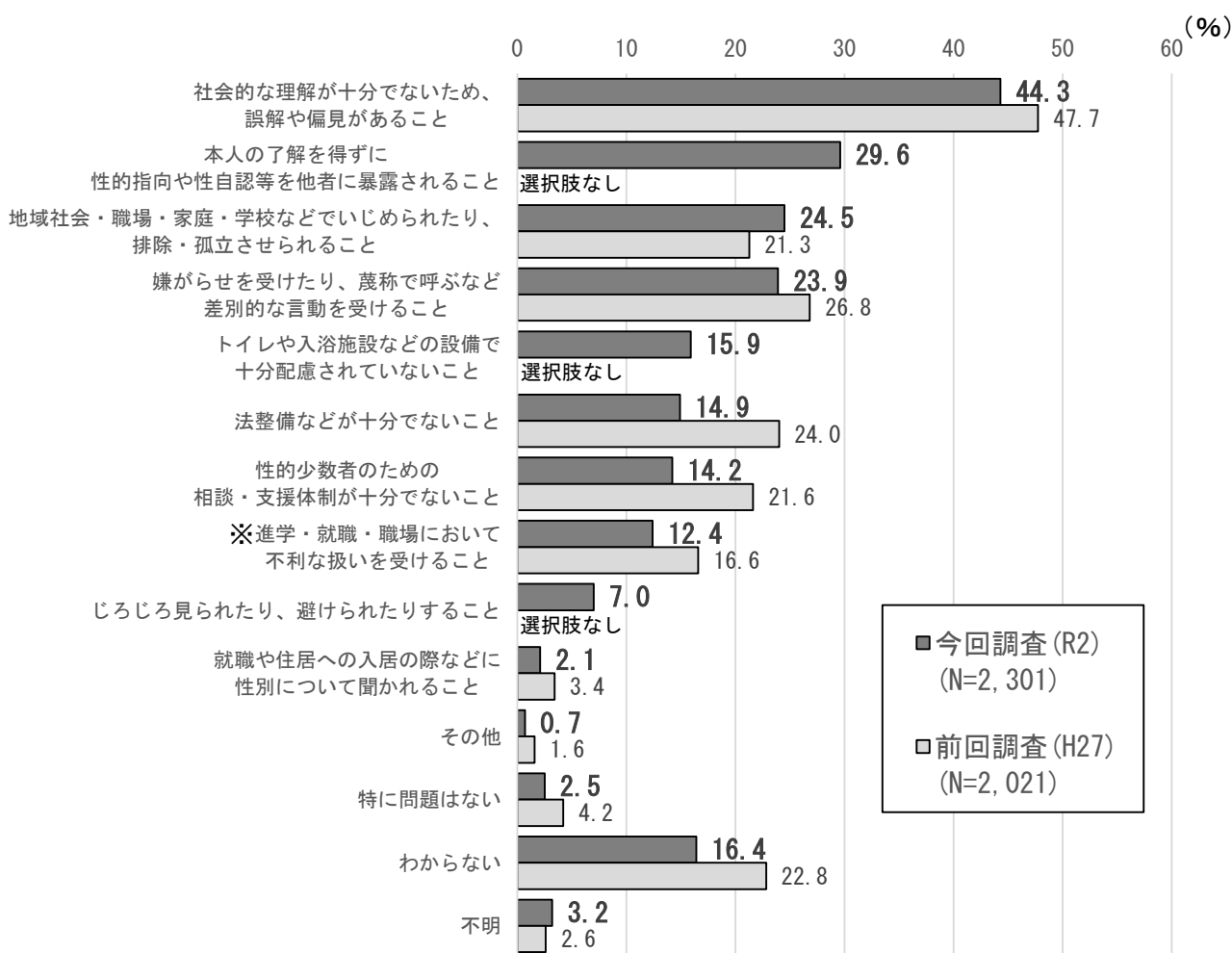
年齢別で見ると、50歳代以下では「通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力をふるわれたりすること」、60歳代では「社会的に孤立をしてしまうこと」、70歳代では「就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと」がそれぞれ最も高くなっている。(集計表P146表30参照)

26 性的少数者について人権上問題があると思うこと【問 26】

性的少数者に関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことか【問 26-1】を尋ねたところ、「社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること」が 44.3%と最も多く、次いで今回調査で新たに設けた「本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること」が 29.6%、「地域社会・職場・家庭・学校などでいじめられたり、排除・孤立させられること」が 24.5%と続いている。

また、前回調査と比較すると、「わからない」の回答がおよそ 6 ポイント減少しており、人権課題の分野別設問（問 17～問 33）中で、最も増減差が大きい。

図Ⅱ—26—1 性的少数者について人権上問題があると思うこと[複数回答]



※ 前回調査では「就職や仕事の内容、待遇などで不利な扱いをすること」

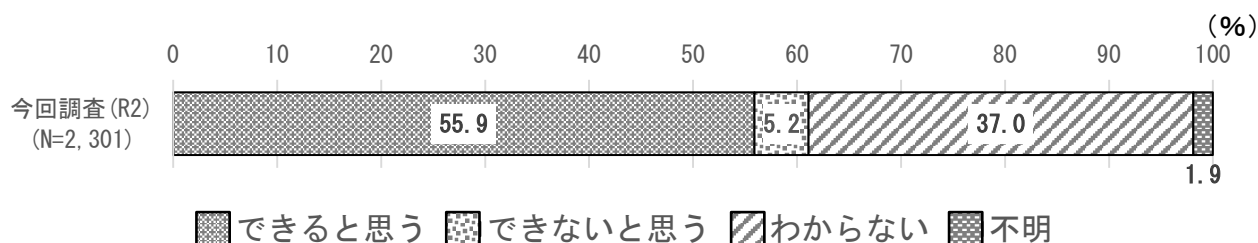
性別で見ると、「本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること」ではおよそ 7 ポイント、「トイレや入浴施設などの設備で十分配慮されていないこと」ではおよそ 6 ポイント、男性よりも女性が高くなっている。

年齢別で見ると、年齢層が若いほど「本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること」の回答が多い傾向にある。また、80 歳以上の「わからない」が全体よりおよそ 21 ポイント高くなっている。(集計表 P 148 表 31 参照)

次に、今回調査で新たに、もし家族（親・子・配偶者など）が性的少数者であることをあなたに告白した場合、その人の理解者になることができるか【問 26-2】を尋ねたところ、「できると思う」が55.9%、「できないと思う」が5.2%となった。「わからない」は37.0%となった。

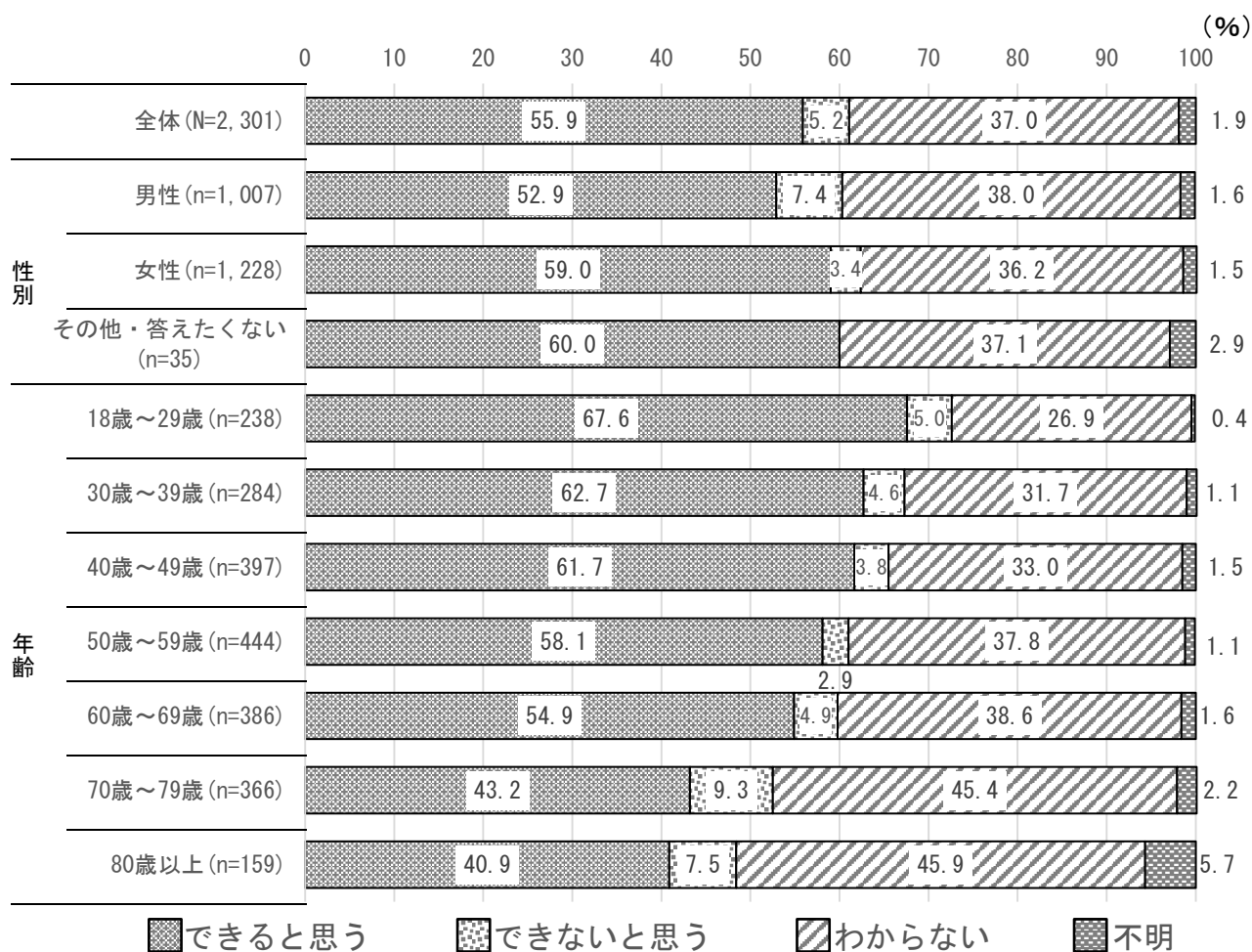
◎前回調査(平成27年度)では設問していない

図Ⅱ—26—2 家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になること



性別で見ると、「できると思う」は、男性より女性がおよそ6ポイント高い。
 年齢別で見ると、年齢層が若いほど「できると思う」が多い傾向にある一方で、年齢層が高いほど「わからない」が多い傾向にある。

図Ⅱ—26—3 家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になること（性別・年齢別）



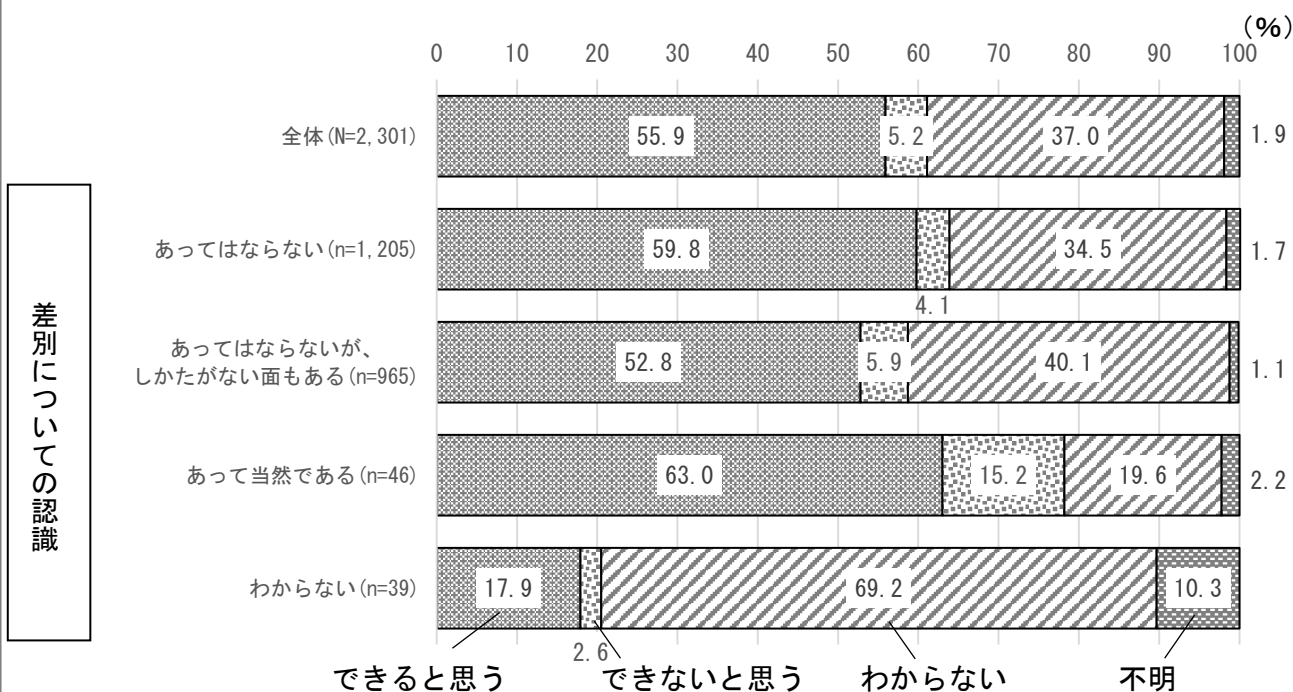
設問間クロス集計 9

差別についての認識と、家族から性的少数者であることを告白された場合の対応との関係を見るため、「家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になること」【問26-2】の回答について、「差別についての認識」【問4-1】の回答別に集計した。

差別は「あってはならない」と回答した人と「あってはならないが、しかたがない面もある」と回答した人を比べると、家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になることが「できると思う」と回答した人は、7ポイントの差がある。

また、差別は「あって当然である」と回答した人の中で、家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になることが「できないと思う」と回答した人は15.2%であり、全体(5.2%)より10ポイント高くなっている。

図クロス9 差別についての認識【問4-1】×
家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になること【問26-2】



家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になること

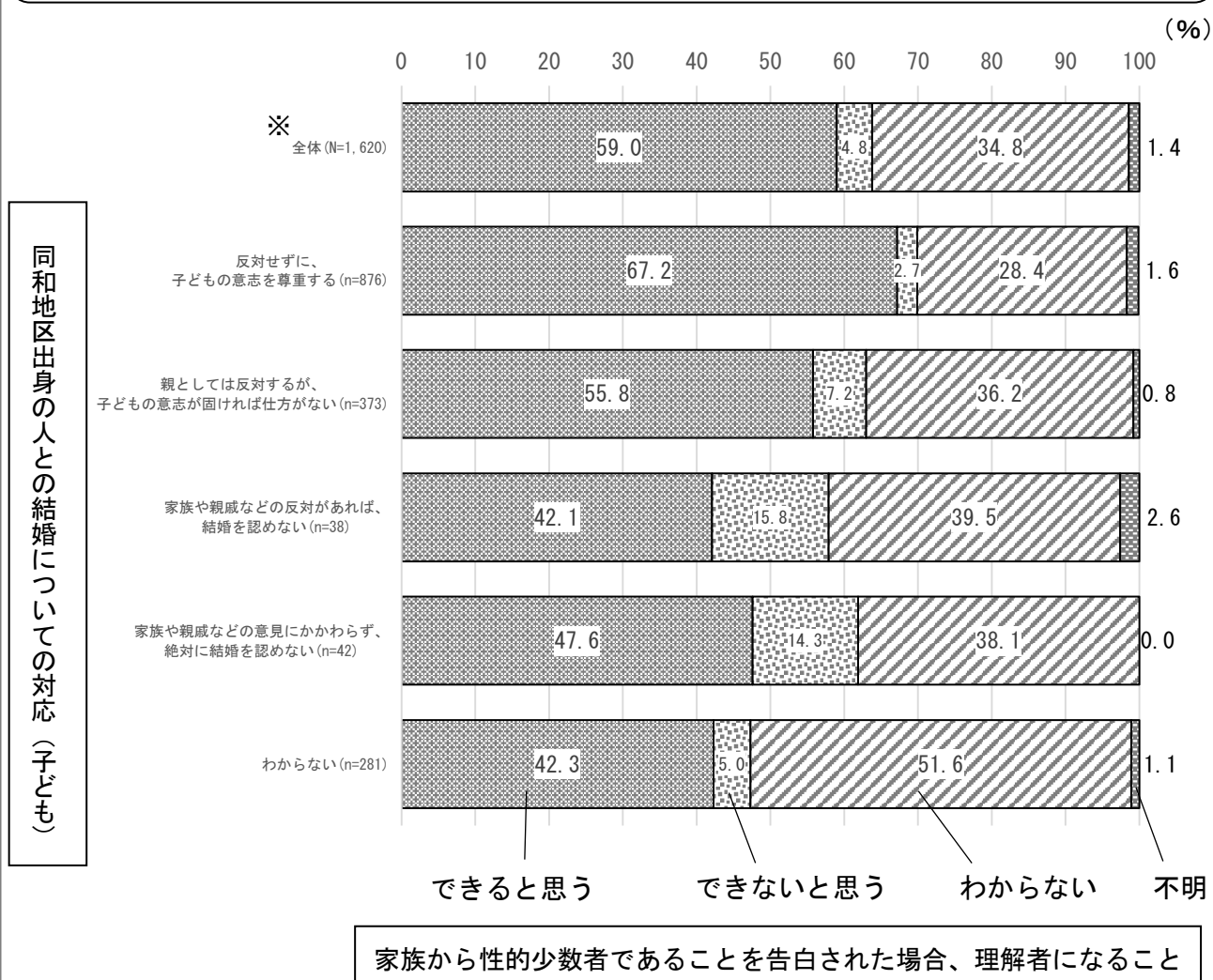
設問間クロス集計 10

家族に関連した設問間で、自分の子どもへの対応についての関係を見るため、「家族から性的少数者であることを告白された場合の対応」【問 26-2】の回答について、「自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合の対応」の設問【問 14-2】の回答別に集計した。

同和地区出身者の人と自分の子どもとの結婚について「反対せずに、子どもの意志を尊重する」と回答した人の中で、家族から性的少数者であると告白された場合、理解者になることが「できると思う」と回答した人は、67.2%であり、全体（59.0%）よりおよそ8ポイント高くなっている。

一方、同和地区出身者の人との結婚について「家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない」と回答した人の中で、理解者になることが「できないと思う」と回答した人は、15.8%であり、全体（4.8%）より11ポイント高くなっている。

図クロス 10 同和地区出身の人との結婚についての対応（子ども）【問 14-2】 × 家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になること【問 26-2】

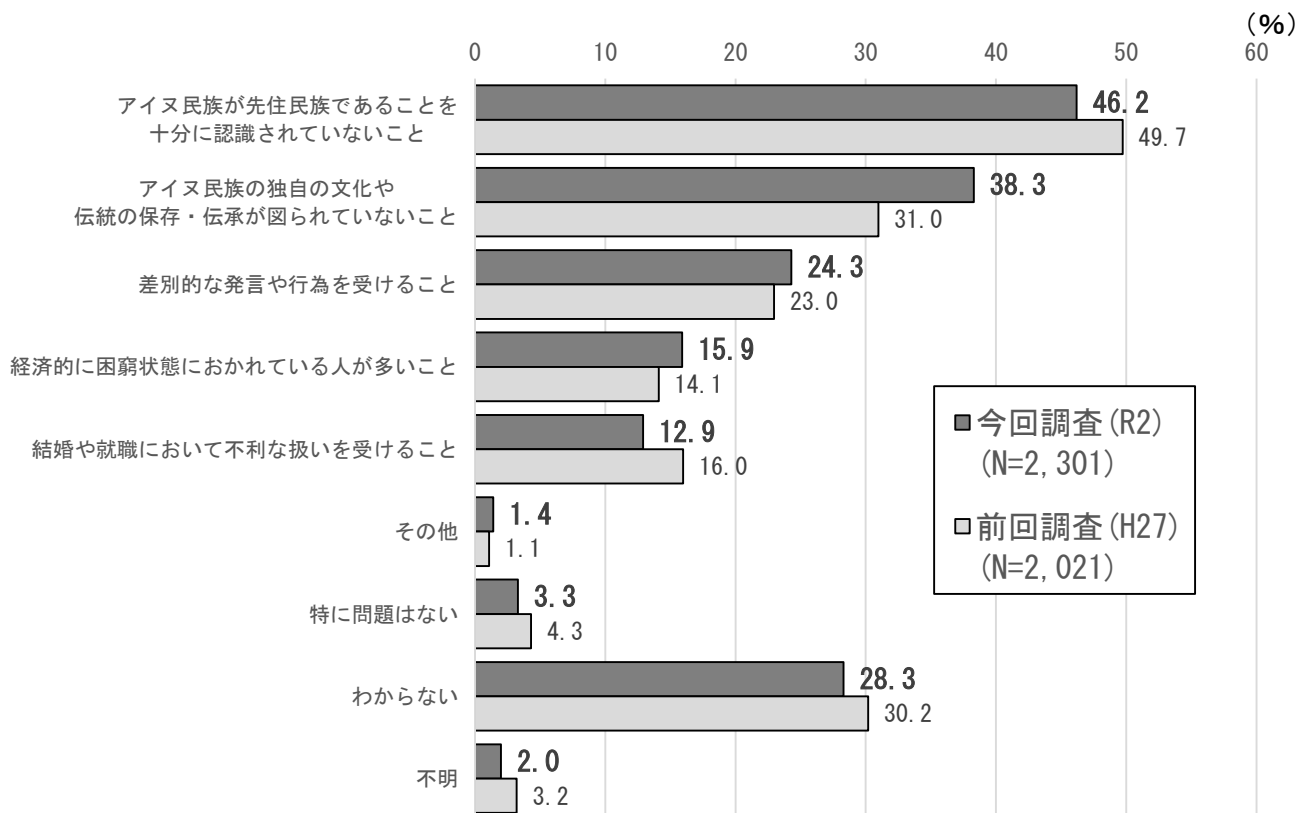


※この表での全体（N=1,620）は、同和地区や同和问题について「知っている」と回答した人の数であり、P62～P63の全体（N=2,301）とは異なる。

27 アイヌ民族について人権上問題があると思うこと【問 27】

アイヌ民族に関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと」が46.2%と最も多く、次いで「アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと」が38.3%となっている。「わからない」は28.3%となっており、人権課題の分野別設問（問 17～問 33）の中で、最も高い。

図Ⅱ—27 アイヌ民族について人権上問題があると思うこと[複数回答]



性別では、大きな傾向の差は見られない。

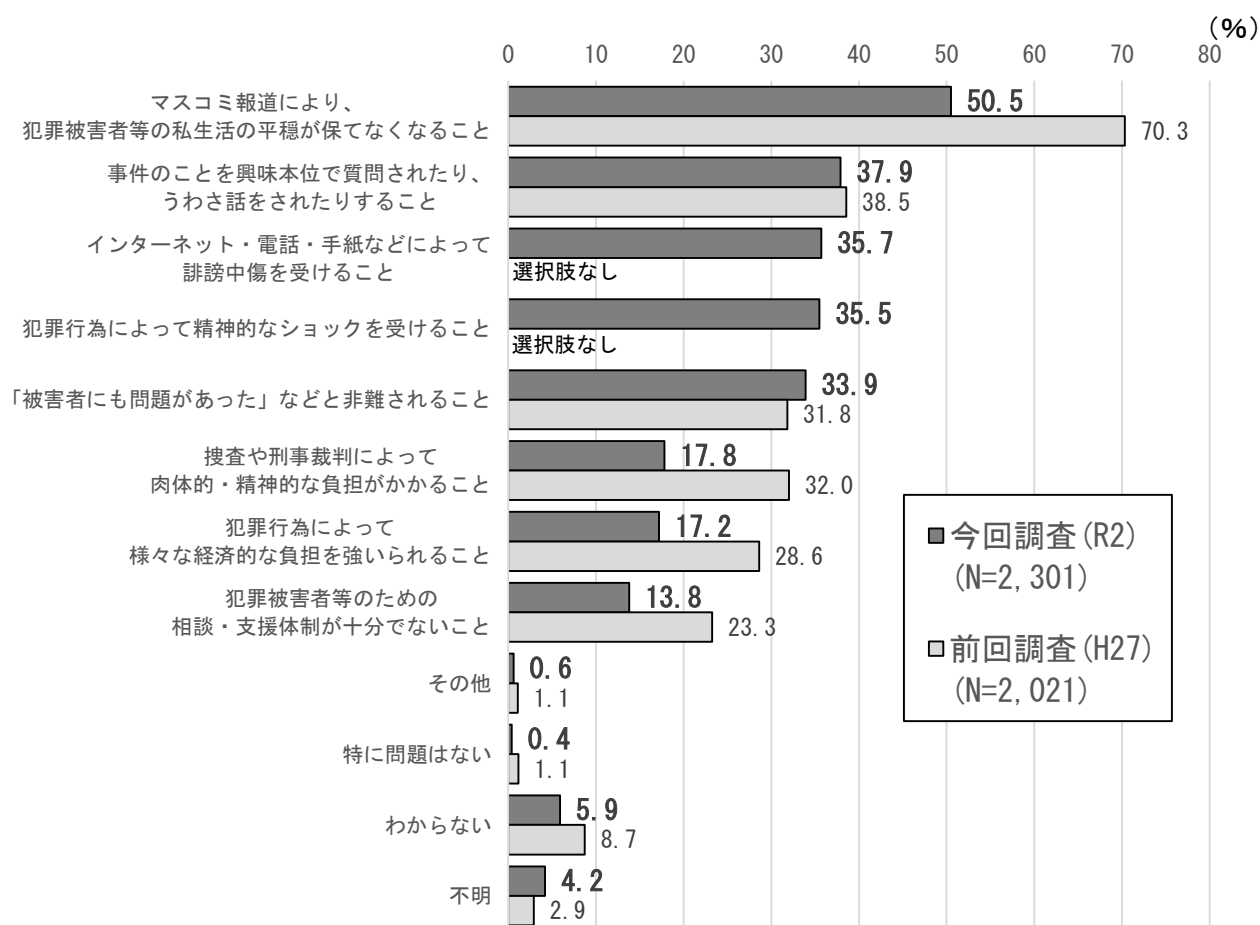
年齢別で見ると、40歳代以下では「わからない」が最も多くなっている一方で、50歳代以上では「アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと」が最も多くなっている。

(集計表 P 151 表 33 参照)

28 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと【問 28】

犯罪被害者等に関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること」が50.5%と最も多く、次いで「事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること」が37.9%、今回調査で新たに設けた「インターネット・電話・手紙などによって誹謗中傷を受けること」が35.7%、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が35.5%と続いている。

図Ⅱ—28 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと〔複数回答〕



性別で見ると、「事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること」、「『被害者にも問題があった』などと非難されること」は男性よりも女性が6ポイント高くなっている。また、「犯罪行為によって様々な経済的な負担を強いられること」は女性よりも男性がおよそ8ポイント高くなっている。

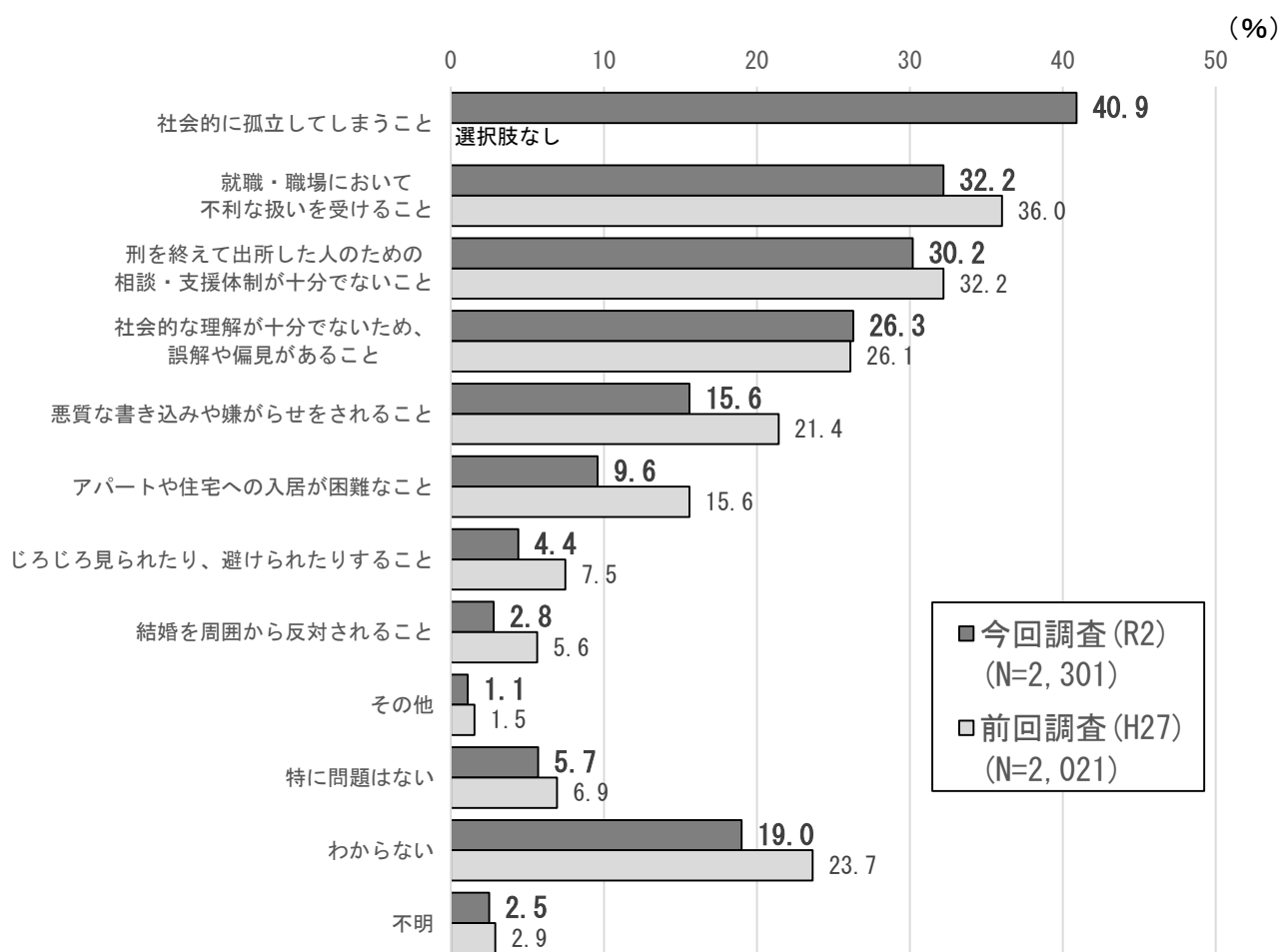
年齢別で見ると、70歳代以下では「マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること」、80歳以上では「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が最も多くなっている。(集計表P152表34参照)

29 刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと【問 29】

刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うことはどのようなことかを尋ねたところ、今回調査で新たに設けた「社会的に孤立してしまうこと」が40.9%と最も多く、次いで「就職・職場において不利な扱いを受けること」が32.2%、「刑を終えて出所した人のための相談・支援体制が十分でないこと」が30.2%と続いている。

「特に問題はない」は5.7%となっており、人権課題の分野別設問（問17～問33）の中で、最も高い。

図Ⅱ—29 刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと〔複数回答〕



性別では、大きな傾向の差は見られない。

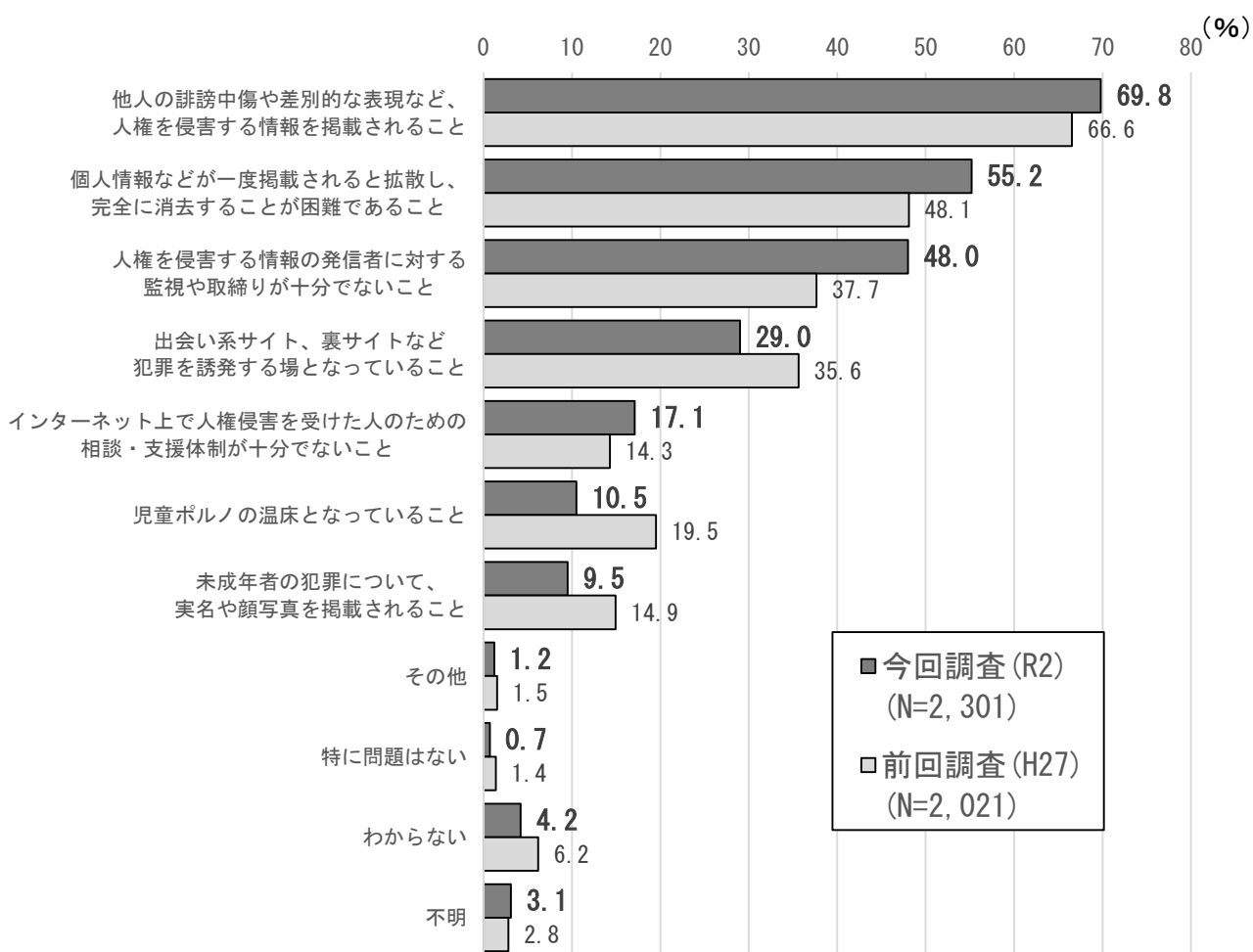
年齢別で見ると、全年齢層で「社会的に孤立してしまうこと」の回答が最も多くなっている。また、10・20歳代の「悪質な書き込みや嫌がらせをされること」が全体よりおよそ15ポイント高くなっている。年齢層が高いほど「刑を終えて出所した人のための相談・支援体制が十分でないこと」、「社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること」の回答が多い傾向がある一方で、年齢層が若いほど「特に問題はない」の回答が多い傾向にある。（集計表P154表35参照）

30 インターネット上において人権上問題があると思うこと【問 30】

インターネット上で、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載されること」が69.8%と最も多く、次いで「個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること」が55.2%、「人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと」が48.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと」がおよそ10ポイント増加している。

図Ⅱ—30 インターネット上において人権上問題があると思うこと[複数回答]



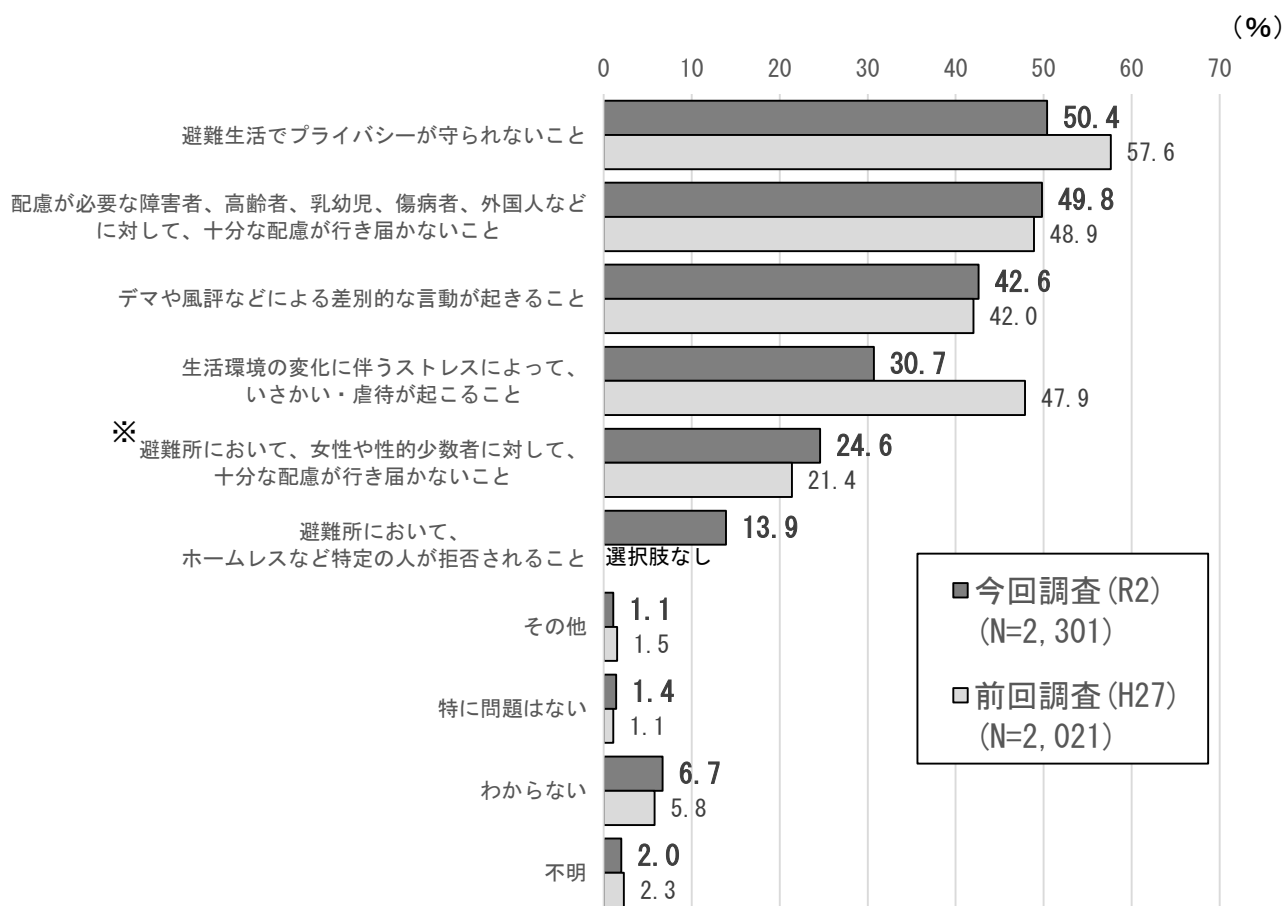
性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、全年齢層で「他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載されること」の回答が最も多くなっている。50歳代以下では「個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること」の回答が多い傾向にある。(集計表 P156 表 36 参照)

31 地震など災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと【問31】

地震などの災害が起きた場合に人権上問題があると思うことはどのようなことかを尋ねたところ、「避難生活でプライバシーが守られないこと」が50.4%と最も多く、次いで「配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと」が49.8%、「デマや風評などによる差別的な言動が起きること」が42.6%と続いている。

図Ⅱ—31 地震など災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと[複数回答]



※ 前回調査では「女性や子育て家庭への十分な配慮が行き届かないこと」

性別で見ると、男性は「デマや風評などによる差別的な言動が起きること」が最も多く、女性よりもおよそ12ポイント高くなっている。一方、女性は「避難生活でプライバシーが守られないこと」が最も多く、男性よりもおよそ12ポイント高くなっている。

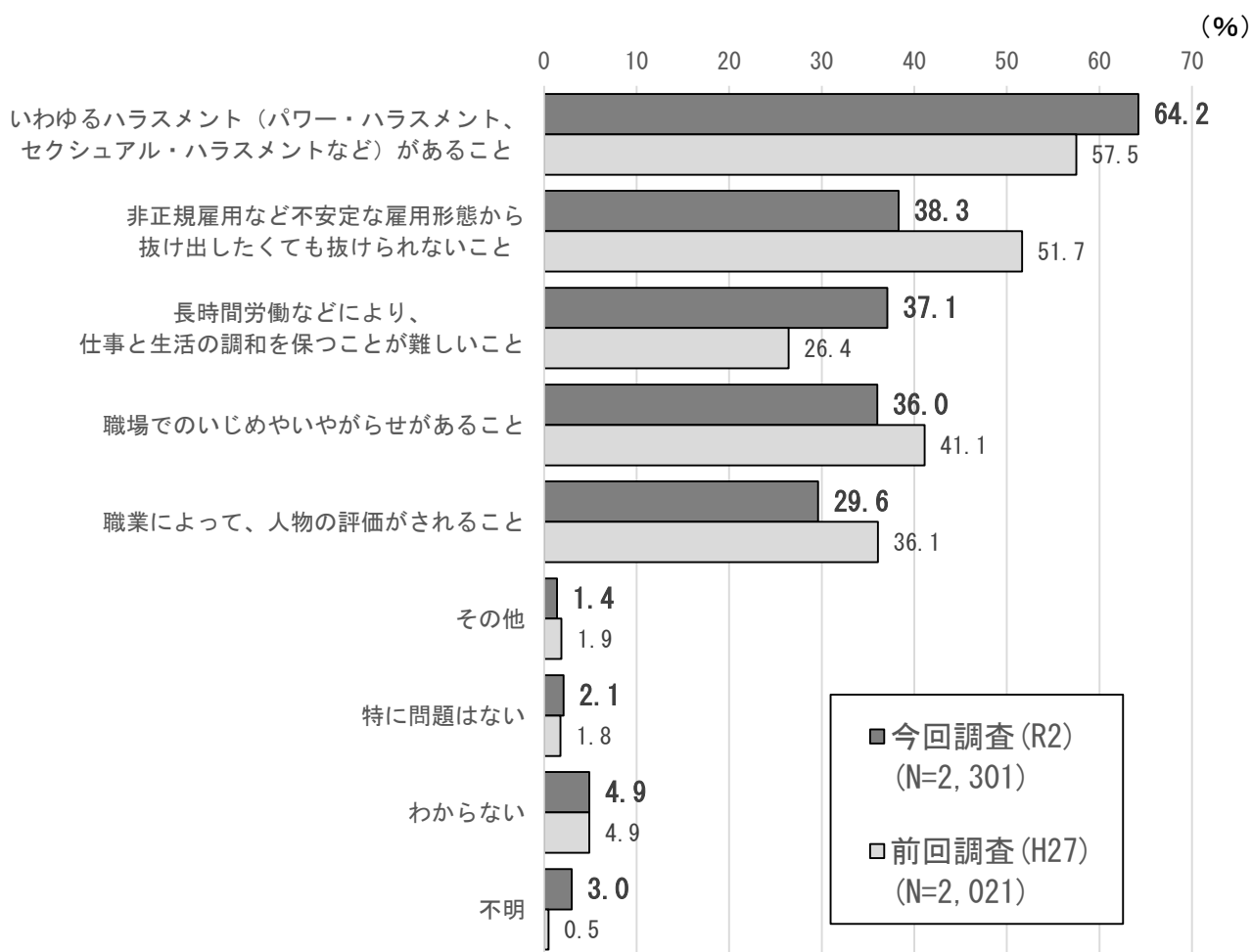
年齢別で見ると、10・20歳代、30歳代では「デマや風評などによる差別的な言動が起きること」、40歳代、50歳代では「避難生活でプライバシーが守られないこと」、60歳代以上では「配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと」が最も多くなっている。(集計表P158表37参照)

32 職業や職場環境について人権上問題があると思うこと【問 32】

職業や職場環境について、人権上問題があると思うことはどのようなことかを尋ねたところ、「いわゆるハラスメント（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど）があること」が64.2%と最も多く、次いで「非正規雇用など不安定な雇用形態から抜け出したくても抜けられないこと」が38.3%、「長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと」が37.1%と続いている。

前回調査と比較すると、「非正規雇用など不安定な雇用形態から抜け出したくても抜けられないこと」がおよそ13ポイント減少している一方で、「長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと」がおよそ11ポイント増加している。

図Ⅱ—32 職業や職場環境について人権上問題があると思うこと〔複数回答〕



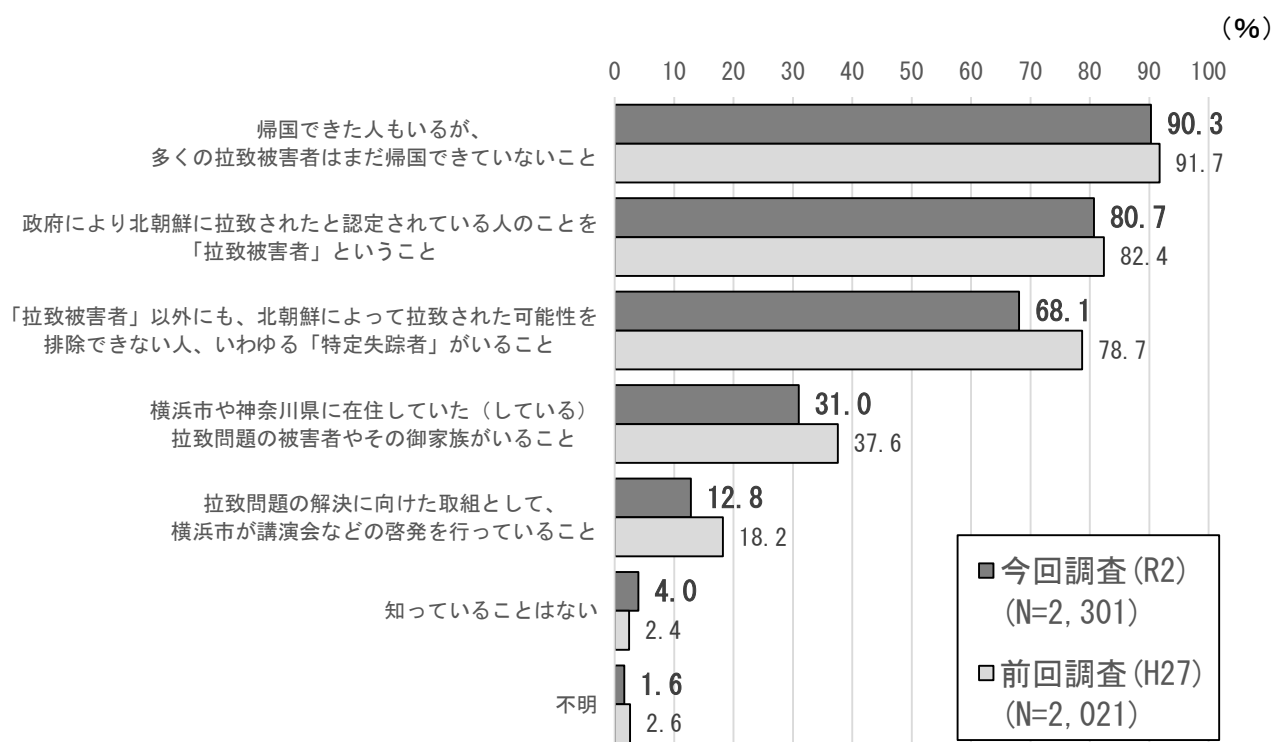
性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、全年齢で「いわゆるハラスメント（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど）があること」が最も多くなっている。また、「長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと」について、10・20歳代ではおよそ15ポイント、30歳代では14ポイント全体より高くなっている。（集計表P159表38参照）

33 拉致問題について知っていること【問 33】

拉致問題について知っていることはどのようなことかを尋ねたところ、「帰国できた人もいるが、多くの拉致被害者はまだ帰国できていないこと」が90.3%、「政府により北朝鮮に拉致されたと認定されている人のことを『拉致被害者』ということ」が80.7%、「『拉致被害者』以外にも、北朝鮮によって拉致された可能性を排除できない人、いわゆる『特定失踪者』がいること」が68.1%となっている。

図Ⅱ—33 拉致問題について知っていること〔複数回答〕



性別では、大きな傾向の差は見られない。

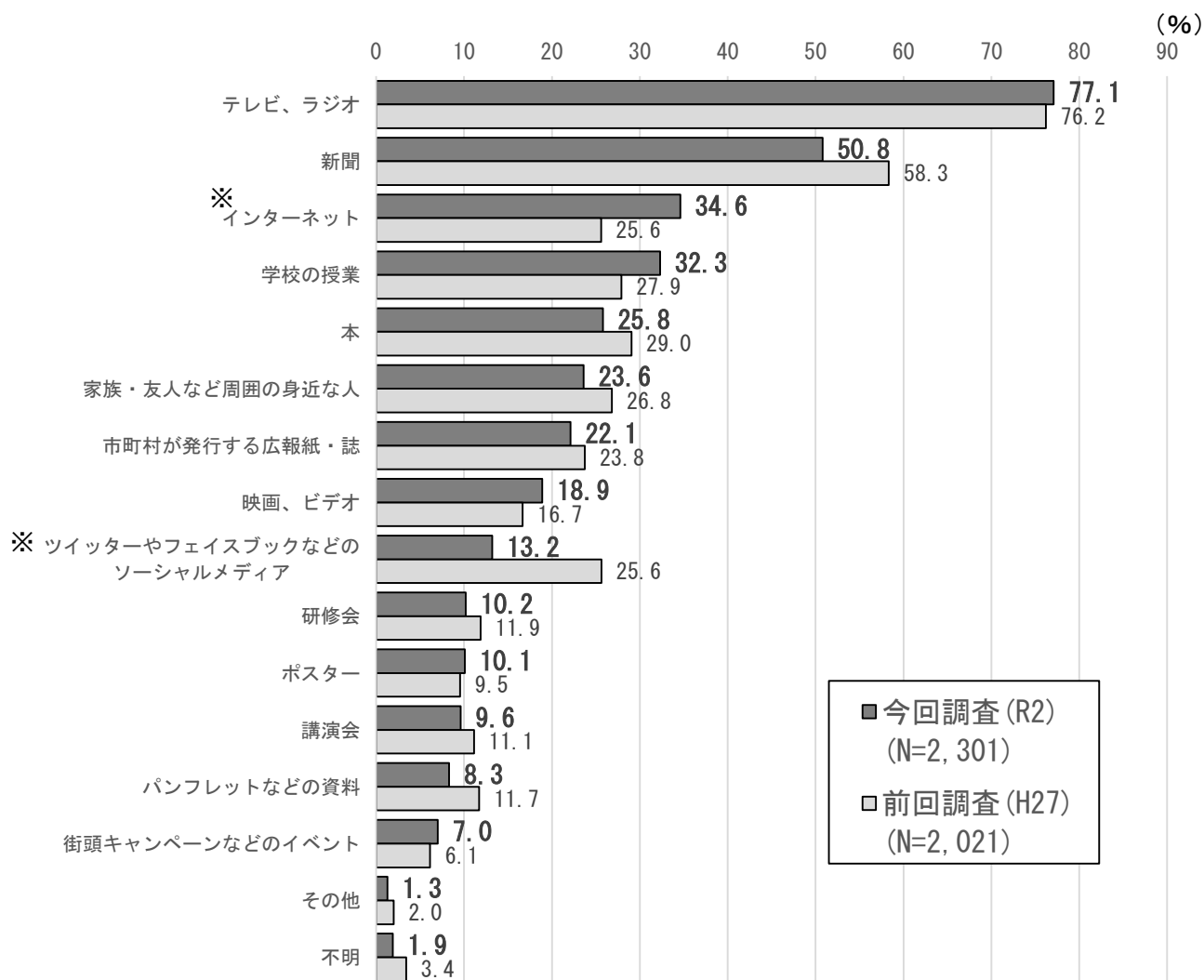
年齢別で見ると、すべての項目において、年齢層が若いほど知っているとの回答が少ない傾向がある。（集計表 P160 表 39 参照）

34 人権問題に関する知識や情報の収集源【問 34】

自分がこれまでに人権問題に関する知識や情報を何から得たかを尋ねたところ、「テレビ、ラジオ」が77.1%と最も多く、次いで「新聞」が50.8%、「インターネット」が34.6%と続いている。

「インターネット」と「ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディア」の合計は47.8%であり、前回調査と比較すると、およそ22ポイント増加している。

図Ⅱ—34 人権問題に関する知識や情報の収集源[複数回答]



※前回調査では、「ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディア」及び「インターネット」は一つの選択肢

性別で見ると、「インターネット」は、女性より男性がおよそ15ポイント高くなっている。また、「家族・友人など周囲の身近な人」は、男性より女性がおおよそ7ポイント高くなっている。

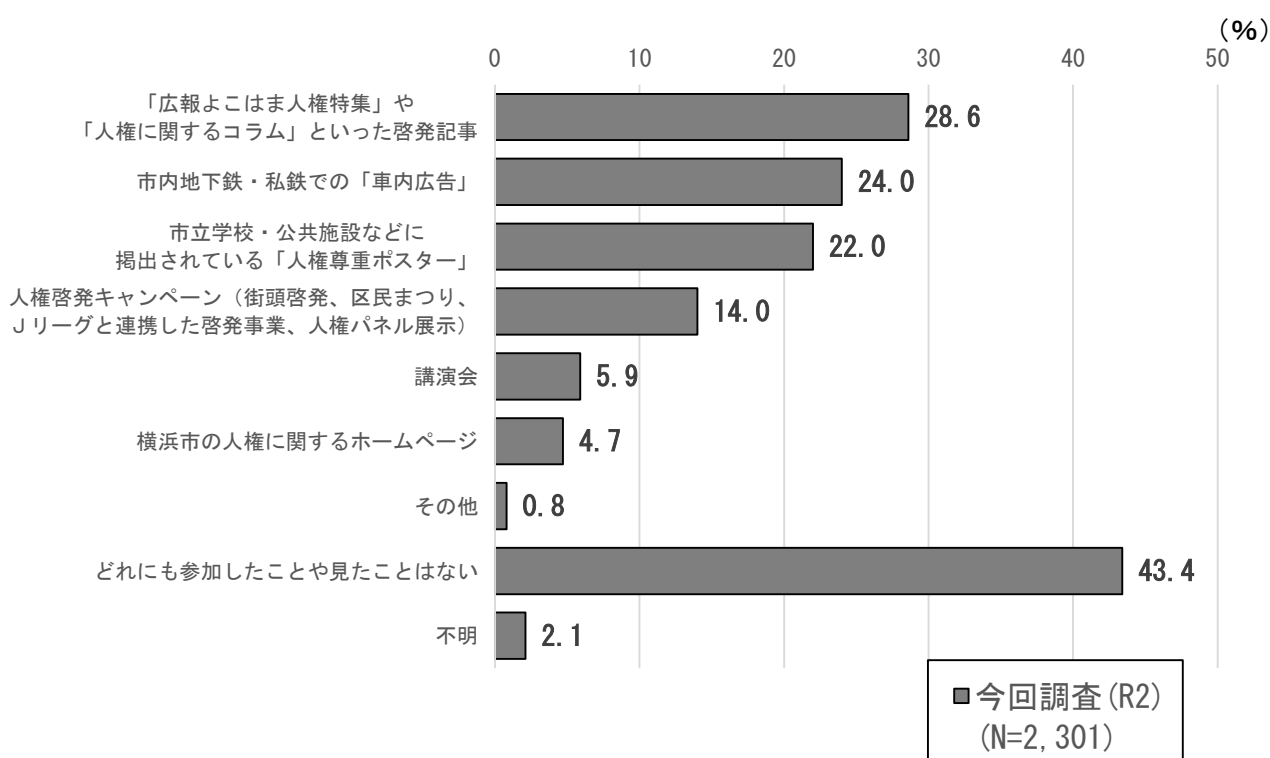
年齢別で見ると、年齢層が若いほど「インターネット」や「ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディア」の回答が多い傾向があり、年齢層が高いほど「市町村が発行する広報紙・誌」や「講演会」の回答が多い傾向がある。(集計表 P161 表 40 参照)

35 参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組【問 35】

人権についての理解を深めてもらうために横浜市が実施している取組の中で、参加したことや、見たことがあるものを尋ねたところ、「どれにも参加したことや見たことはない」が 43.4%となっている。参加したことや、見たことがある場合は、『広報よこはま人権特集』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」が 28.6%と最も多く、次いで「市内地下鉄・私鉄での『車内広告』」が 24.0%、「市立学校・公共施設などに掲出されている『人権尊重ポスター』」が 22.0%と続いている。

◎前回調査(平成 27 年度)では設問していない

図Ⅱ—35 参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組[複数回答]



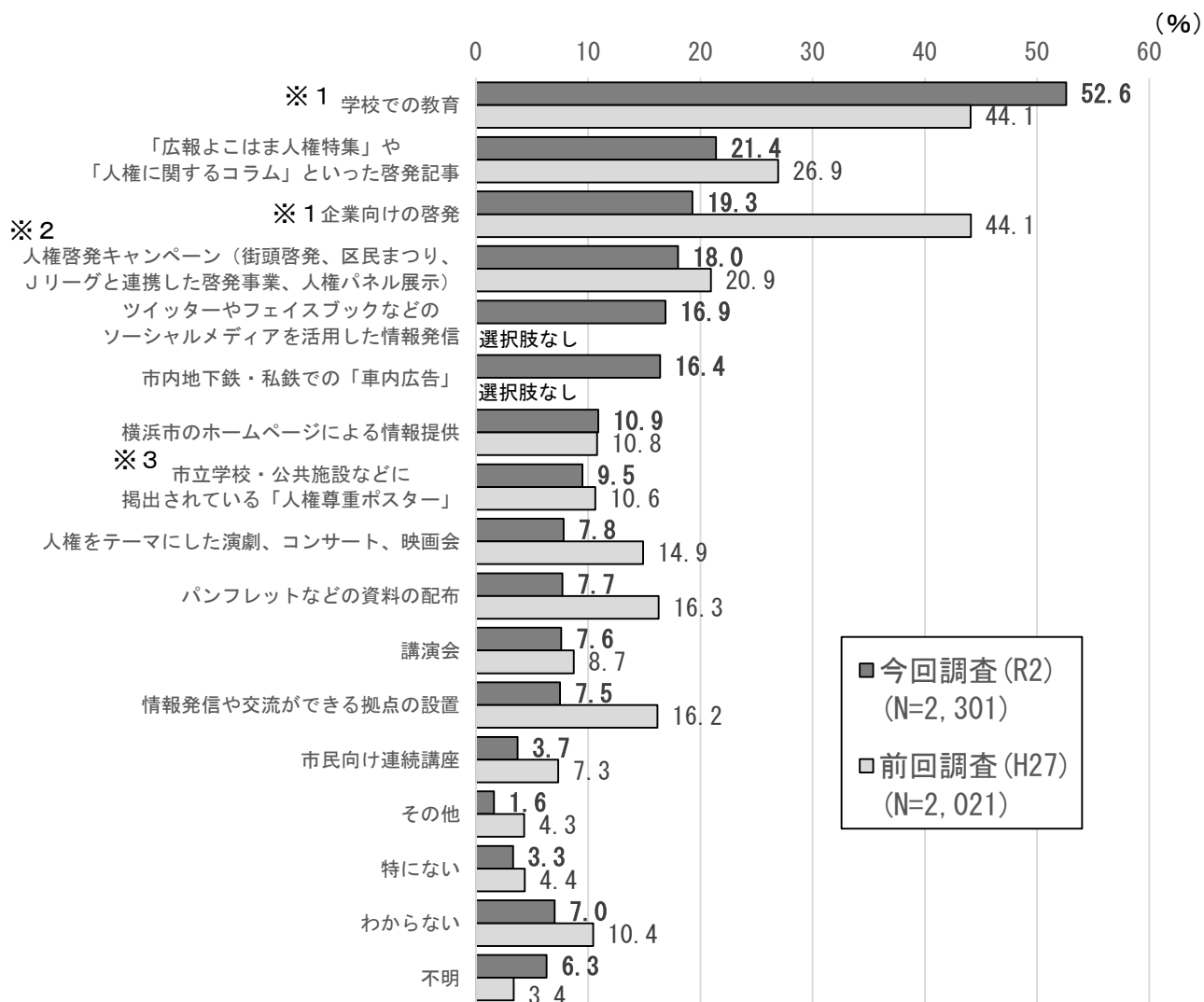
性別で見ると、『広報よこはま人権特集』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」は、男性より女性がおおよそ 6 ポイント高くなっている。また、「どれにも参加したことや見たことはない」は、女性より男性がおおよそ 6 ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、年齢層が若いほど「市立学校・公共施設などに掲出されている『人権尊重ポスター』」の回答が多い傾向があり、年齢層が高いほど『広報よこはま人権特集』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」や「人権啓発キャンペーン」の回答が多い傾向がある。(集計表 P 163 表 41 参照)

36 人権についての理解を深めるために充実すべき取組【問 36】

人権についての理解を深めてもらうために、今後どのような取組を充実させていくべきだと思うかを尋ねたところ、「学校での教育」が 52.6%と最も多く、5 割を超えている。『広報よこはま人権特集』や『人権に関するコラム』といった啓発記事が 21.4%、「企業向けの啓発」が 19.3%となっている。

図Ⅱ—36 人権についての理解を深めるために充実すべき取組[複数回答]



※1 前回調査では「学校での教育」及び「企業向けの啓発」は一つの選択肢

※2 前回調査では「区民祭り、駅等での街頭キャンペーン」

※3 前回調査では「ポスターの掲出」

性別で見ると、「学校での教育」は、男性より女性がおおよそ7ポイント高くなっている。

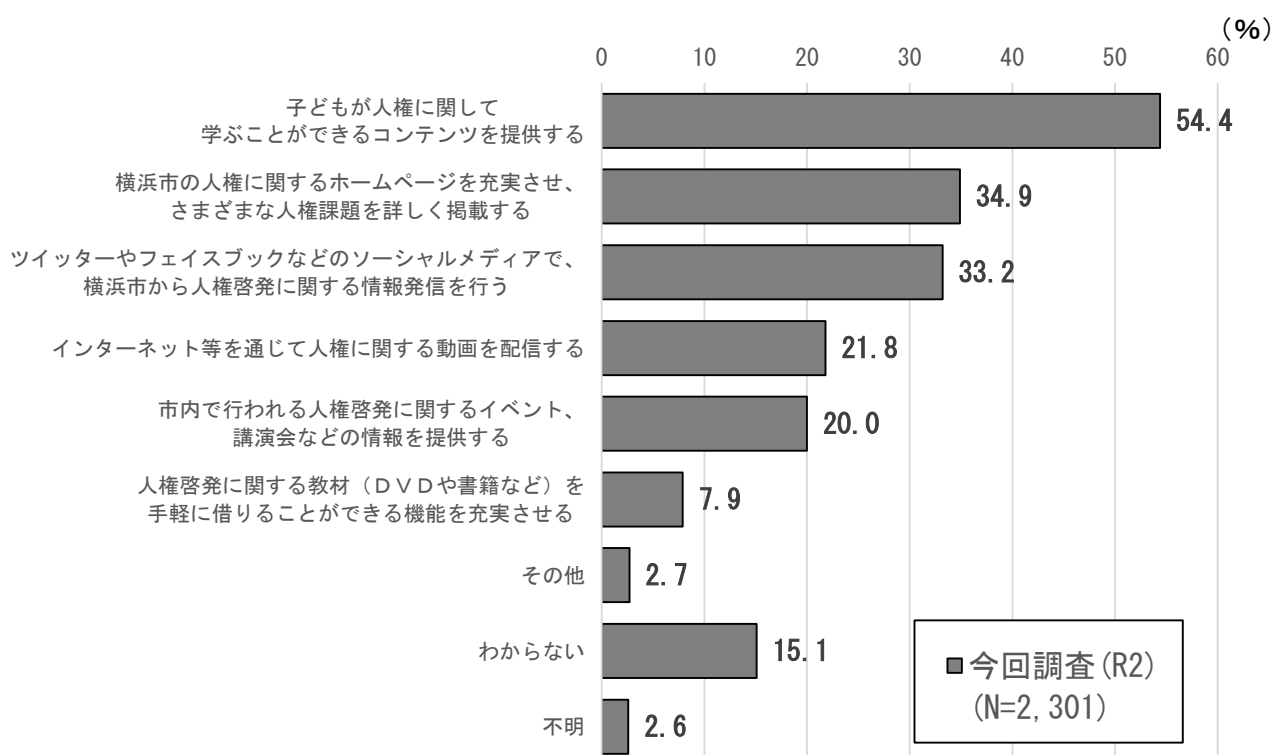
年齢別で見ると、年齢層が若いほど「ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用した情報発信」の回答が多い一方、年齢層が高いほど『広報よこはま人権特集』や『人権に関するコラム』といった啓発記事の回答が多い傾向がある。（集計表 P164 表 42 参照）

37 人権啓発活動において充実すべきインターネットコンテンツ【問 37】

今回調査で新たに、人権啓発活動において、どのようなインターネットコンテンツが有効だと思うかを尋ねたところ、「子どもが人権に関して学ぶことができるコンテンツを提供する」が 54.4%と最も多く、次いで「横浜市の人権に関するホームページを充実させ、さまざまな人権課題を詳しく掲載する」が 34.9%、「ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアで、横浜市から人権啓発に関する情報発信を行う」が 33.2%と続いている。

◎前回調査(平成 27 年度)では設問していない

図Ⅱ—37 人権啓発活動において充実すべきインターネットコンテンツ[複数回答]



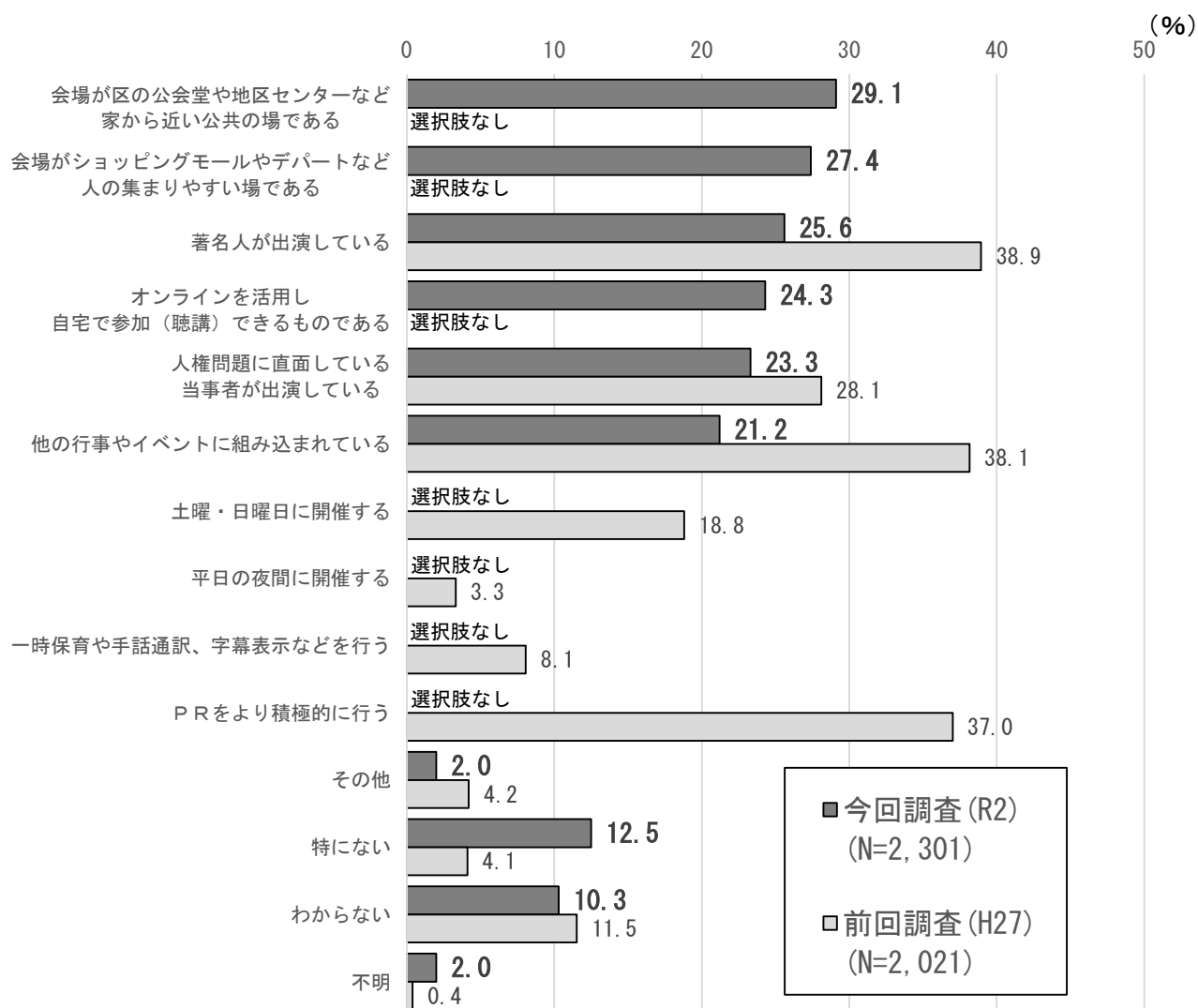
性別で見ると、「子どもが人権に関して学ぶことができるコンテンツを提供する」は、男性より女性がおおよそ9ポイント高くなっている。また、「インターネット等を通じて人権に関する動画を配信する」は、女性より男性がおおよそ6ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、年齢層が若いほど「ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアで、横浜市から人権啓発に関する情報発信を行う」や「インターネット等を通じて人権に関する動画を配信する」の回答が多い傾向があり、年齢層が高いほど「横浜市の人権に関するホームページを充実させ、さまざまな人権課題を詳しく掲載する」や「市内で行われる人権啓発に関するイベント、講演会などの情報を提供する」の回答が多い傾向がある。(集計表 P166 表 43 参照)

38 講演会などにより多くの人に参加するための工夫【問 38】

人権啓発講演会などにより多くの人に参加するために、どのような工夫が効果的だと思うかを尋ねたところ、今回調査で新たに設けた「会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である」が29.1%と最も多く、次いで今回調査で新たに設けた「会場がショッピングモールやデパートなど人の集まりやすい場である」が27.4%、「著名人が出演している」が25.6%と続いている。

図Ⅱ—38 講演会などにより多くの人に参加するための工夫[複数回答]



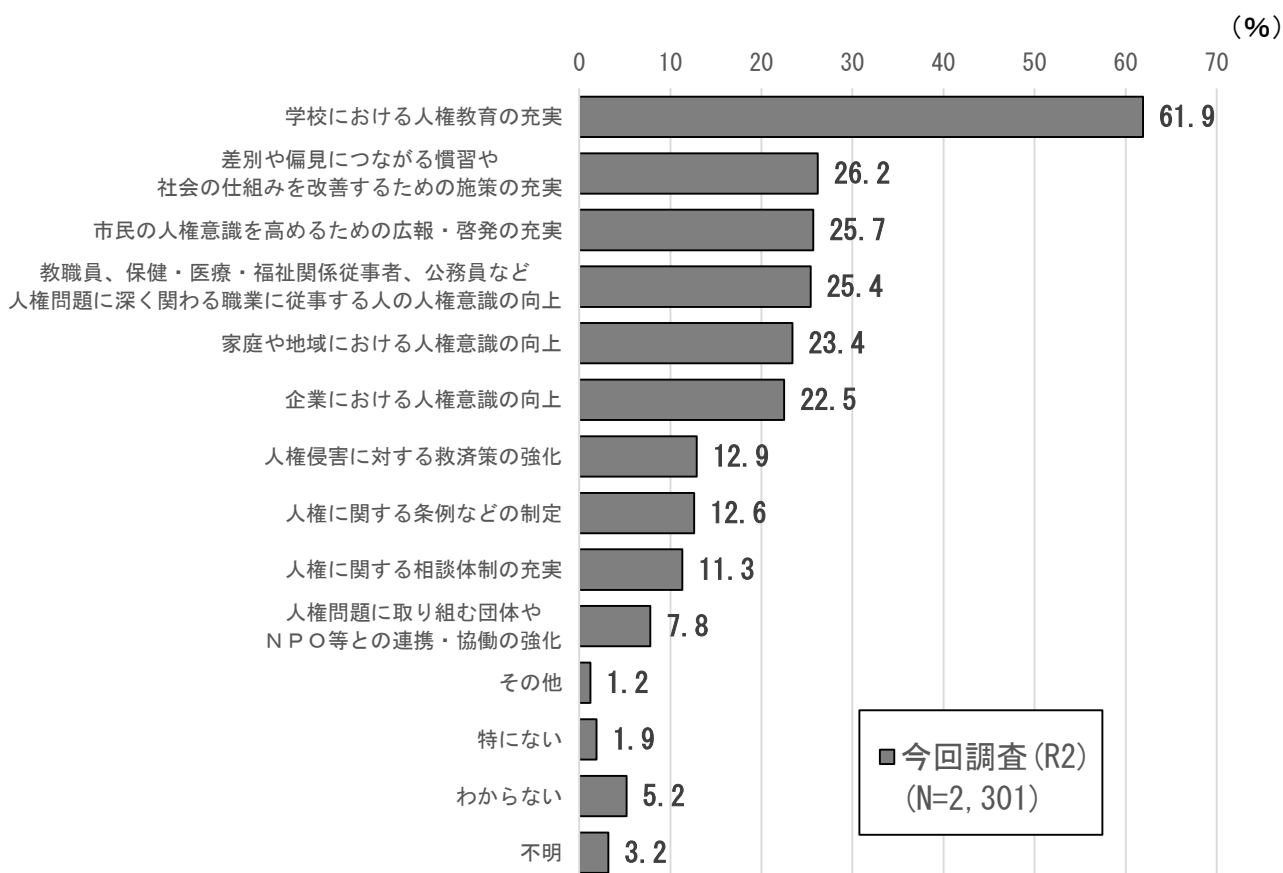
性別で見ると、「会場がショッピングモールやデパートなど人の集まりやすい場である」がおおよそ9ポイント、「会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である」が8ポイント、男性より女性が高くなっている。

年齢別で見ると、年齢層が若いほど「オンラインを活用し自宅に参加（聴講）できるものである」や「著名人が出演している」の回答が多い傾向があり、年齢層が高いほど「会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である」の回答が多い傾向がある。（集計表 P167 表 44 参照）

39 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組【問 39】

横浜市がめざす「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するために、今後どのような取組が必要だと思うかを尋ねたところ、「学校における人権教育の充実」が61.9%と最も多く、6割を超えている。「差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善するための施策の充実」が26.2%、「市民の人権意識を高めるための広報・啓発の充実」が25.7%となっている。

図Ⅱ—39 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組[複数回答]



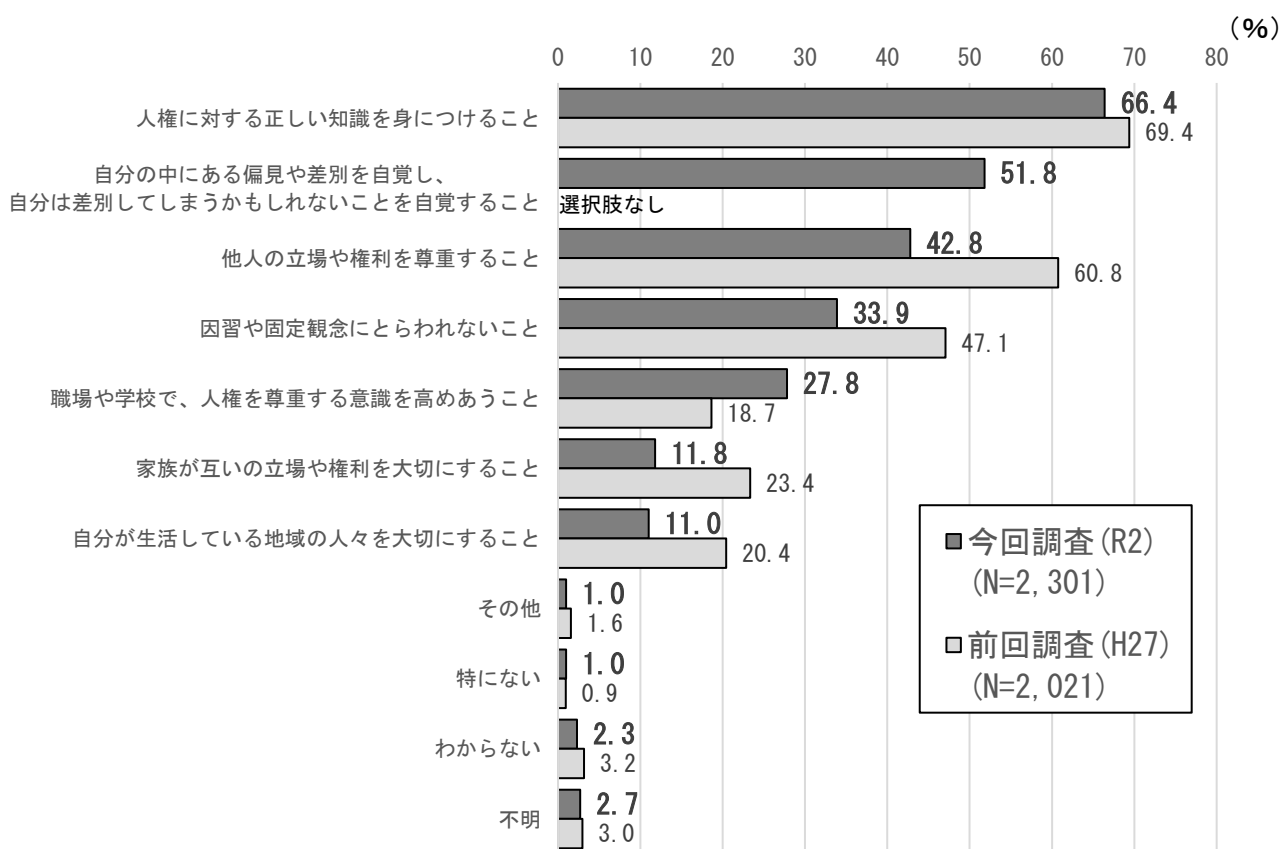
性別で見ると、「家庭や地域における人権意識の向上」は男性より女性がおよそ6ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、年齢層が若いほど「企業における人権意識の向上」の回答が多い傾向があり、年齢層が高いほど「市民の人権意識を高めるための広報・啓発の充実」の回答が多い傾向がある。(集計表P168表45参照)

40 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動【問 40】

市民一人ひとりが人権を尊重しあうために、心がけたり行動すべきこととして、どのようなことが求められると思うかを尋ねたところ、「人権に対する正しい知識を身につけること」が 66.4%と最も多く、次いで今回調査で新たに設けた「自分の中にある偏見や差別を自覚し、自分は差別してしまうかもしれないことを自覚すること」が 51.8%、「他人の立場や権利を尊重すること」が 42.8%と続いている。

図Ⅱ—40 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動[複数回答]



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、全年齢層で「人権に対する正しい知識を身につけること」が最も多い。また、70歳代以下では、「自分の中にある偏見や差別を自覚し、自分は差別してしまうかもしれないことを自覚すること」が次いで多くなっている。(集計表 P170 表 46 参照)

III 自由意見

調査の最後に、人権についての意見を自由回答形式で求めたところ、344人から351件の回答があった。

主な意見の要点をまとめた結果は次のとおりである。

1 人権や差別に関する意識

1-1 互いを尊重し合う社会になってほしい（16件）

- ・一人一人の人権が尊重し合えるような社会が築ければいいと思う。
 - ・差別はいけないこととは思ってはいても、悪気なくもしたり、されたりすることもあると思う。正しい知識を持ち、互いに思いやれる世の中になってほしい。
 - ・人権や差別というと難しく感じるが、身近にあるいじめだと思う。相手の立場をお互い思いあえば起こらないものだと思う。
 - ・自己責任という考え方があるが、差別や偏見は自分ではどうにもならない。自分とは違うものに対して、差別してしまうかもしれないと自覚して、人権を尊重することが大切だと思う。
- など

1-2 誰もが平等な社会になってほしい（4件）

- ・誰もが平等な社会であってほしい。人を傷つけても平気な人が多い気がする。法律や条例等で罰を受けるようにした方が良い。
 - ・国民全員が人権侵害によって生活が脅かされるような事がないような世の中になってほしい。どんな境遇の人でも幸せになる権利はあると考える。
- など

1-3 考え方の違いを認めることが大事（9件）

- ・考え方や価値観に違いがあることを理解し、多様性を受け入れること。
 - ・常に自分とは異なる価値観を持っている人がいることを意識して生活することが必要だと思う。好き嫌いとは別の問題である。
- など

1-4 人権に関する正しい知識を学ぶことが大事（26件）

- ・子どもたちが、固定観念などにとらわれない優しい心を育みながら人権に関する正しい知識を学べる環境づくりが大事。
 - ・子どもたちは本当に差別を意識しているだろうか疑問を感じる。子どもに意識を植えつけるのは大人や社会なので、まず学ぶべきは大人だと思う。
 - ・興味がなく、知識を持たないことが問題。正しい知識を広めることが重要。
- など

1-5 一人ひとりの意識が大切（8件）

- ・意識していない人が、どのように気づき、考えていけるか。意識していないから、人権侵害や差別になるのだと思う。一人ひとりの意識が大切だと思う。
 - ・他人事と思わずに自分も被害者や加害者になるかもしれないと一人ひとりが意識を持つことで人権が守られると思う。
- など

1-6 家庭でのコミュニケーションが大切（2件）

- ・今、社会で起きている差別や偏見、いじめは幼い頃から家庭でそうした問題について教えることが少ないからではないか。家庭でのコミュニケーションの時間が大切。
- など

1-7 差別は簡単にはなくならない（6件）

- ・差別は簡単にはなくならないので、差別を受けた人の話を具体的に広めて、どれだけ罪なことをしているのかを理解させていってほしい。「良心に任せる」では変わらない。
 - ・人間は不平等だから差別感情はなくならない。でも差別感情と差別行為をすることは別で、意識の変革や小さい頃からの教育で防ぐことはできる。
 - ・差別はあって当然だと思うが、そこに正しい理解が加わればだいぶ変わると思う。無知が悪い差別を生むんだと、このコロナ禍の社会を生きていて思う。
- など

1-8 人権問題について勉強していきたい（7件）

- ・自分なりに本、新聞等で人権について考え直し勉強したいと思うようになった。
 - ・身近に起きている人権問題、地域で起きている問題を自分はよく理解していないので、本当に近くの問題から理解、関心を持っていきたいと思う。
- など

1-9 その他（22件）

- ・自身の権利を主張すると、相手の権利を脅かす場合もあるかもしれない。人権とはどう捉えるのか、再考してみたい。
 - ・通常私たちは人権について考えていないことと、日本では普通に人権が守れていると思っており、考えたことが少ないこと。問題になるようなことが身近に起きていない。
 - ・問5の質問で「差別をしたことはない」と答えたのに、問26-2の質問で、家族（子）が性的少数者であると告白した場合、理解者になれるかとの問いに「できないと思う」と答えてしまった。人権に関する問題は難しいと思った。
- など

2 様々な人権問題について

2-1 同和問題（6件）

- ・同和問題が未だにあるということを知り、驚いた。
- ・同和や在日外国人の問題では、被差別側に利益があるとの噂が、差別や妬みの根を深くしていると思う。
- など

2-2 女性に関する人権問題（14件）

- ・「女性が育児をする事が当然であり、女性のキャリアアップはあきらめるしかない」という状況は未だ改善されていないと感じる。
- ・女の幸せは結婚という世の中が変わってほしい。
- ・女性の管理職がとても少ないと思う。
- ・男性差別について取り上げられていないのはいかなることかと思う。女性だから許されていること、甘くされていることはかなり多いと思う。
- など

2-3 子どもに関する人権問題（5件）

- ・虐待によって子どもが親によって亡くなるというケースは大きな人権問題のはず。こういうことがないように気を配ってほしい。
- など

2-4 障害のある人に関する人権問題（9件）

- ・子どもが障害者となって、差別を経験した。自分も今まで差別していたのかもと考えた。差別と感ずることは当事者にならないと、解らないのだと思う。
- など

2-5 外国人に関する人権問題（10件）

- ・在日外国人に対する教育、就職などについて、均等の機会を与えるべき。
- ・ヘイトスピーチは許せない。行政が断固たる姿勢で取り締まってほしい。
- ・川崎市のヘイトスピーチ条例は、表現の自由を侵しかねない危ないものだ認識している。
- など

2-6 新型コロナウイルス感染症等の患者等に関する人権問題（6件）

- ・コロナ感染者や医療従事者への差別が問題だと思う。
- ・医療従事者やその家族への差別は本当になくなってほしい。
- ・罹患は悪ではない。致し方の無いことだと思うが、陽性になった後の行動に許しがたいものが見られる。
- など

2-7 性的少数者に関する人権問題（2件）

- ・理解が進んでいる気がするが、私の周りにはいないので、実際に会った場合に、どのような気持ち、態度をとれるのかは分からない。
- など

2-8 アイヌ民族に関する人権問題（3件）

- ・アイヌの写真展を見に行ったが、素敵でかっこよかった。アイヌの文化が守られてほしい。
- など

2-9 インターネットに関する人権問題（9件）

- ・インターネット・SNSにおける誹謗中傷や特定の個人に関する情報が拡散されていることは問題である。
 - ・著名人が命を絶つこともあったが、ネット上の規制は何も変わっていない。一刻もインターネット上での人権侵害を早く取り締まるべきであり、被害者がすぐに相談できる機関を作るべき。
 - ・SNS等のデマや誤情報に惑わされない、正しい知識を身につけることが必要である。
 - ・「仮想と現実」の区別や「相手も生身の人間である」という意識が変わってきている気がする。相手にも心がある、痛みを感じるなどを幼い頃から教える必要がある。
- など

2-10 ハラスメント（6件）

- ・職場等の水面下でパワハラなど悩まれる人もいると思うので、相談窓口を分かりやすくしてほしい。
 - ・家族内でもおこりうるテーマだと思った。何気ない言動もあてはまることがあると思う。
- など

2-11 拉致問題（1件）

- ・拉致された方々を1日も早く助けてほしい。

2-12 その他（11件）

- ・東京都から期待しながらあこがれの横浜市に引っ越してきたが、周囲の人は、良い人たちもいっぱいいるが、人を見下した態度の人もいっぱいいる。
- など

3 行政・施策への意見

3-1 人権教育や啓発を充実してほしい（48件）

- ・義務教育期間中に人権を学ぶ機会をもっと増やすべき。
- ・教育が大切だと思う。未来を担う子どもたちの意識を育て、その子どもたちが次の社会を暮らしやすいものにしてくれることを期待している。
- ・人権に関して、日本人は全般的に意識が薄いと思う。横浜市として人権問題をPRしたいのであれば、例えば学校のいじめや職場のハラスメントなど身近な問題に絞ったほうが良いのではないか。
- ・人権について一番勉強したのは、サラリーマン時代に受講した「人権研修」だった。やはり、学校や職場での学習の力が大きいように思う。
など

3-2 施策をさらに進めてほしい（20件）

- ・今回の意識調査のように人権に対する意識を向上させようとする市の取組があることが大切だと感じる。調査の結果は、市の施策に反映されるよう期待している。
- ・外国籍の方、お年寄りなど、それぞれの人権を尊重して、より暮らしやすい街になるように市民としても関心を持つことは大切だと思う。災害に関して、弱い人も気持ちよく避難生活が送れるよう環境づくりをお願いしたい。
- ・人権問題は市だけの扱いでは小さすぎる。国が同時期にキャンペーンを行うなどすべき問題である。
など

3-3 人権を守るための法整備をしてほしい（3件）

- ・本当に人権は守られるか。法で守れることがあるのならば、法制度を整えてもらいたい。
など

3-4 安心して暮らせるまちづくりを進めてほしい（4件）

- ・子どもが生まれて、ベビーカーを押して歩くには歩道が狭いことに気づいた。車椅子の方はなおさらで、弱者への配慮、優しさが欠けていると実感した。人権は啓発することではなく実践することが重要。
- ・障害者が地域で暮らしやすい支援や利用できる施設を充実させてほしい。
など

3-5 その他（11件）

- ・原因や経緯を知らない人に「差別の愚かさ」や「人権の重要性」を呼び掛けても共感は得られない。大事なのは日本の文化と歴史の理解だと考える。
など

4 本アンケートについて

4-1 人権問題に関心を持つきっかけになった（9件）

- ・このアンケートに回答することによって、改めて人権について考え、思いを巡らせることができた。横浜市による講演やイベントなど、是非今後参加してみたい。
 - ・今回のアンケートに答えて人権問題について今まで生きてきた中で自分が行った事、感じたことを改めて考えさせられた。一人一人が思っている人それぞれの思想が違うため、とても難しい問題であり、自分が正しいと胸を張って言える立場でないと思うことができた。
- など

4-2 回答が難しかった（23件）

- ・当事者でないとわからない問題点については回答しづらかった。
 - ・三択では難しい問いもあり、とても骨の折れるアンケートだった。
 - ・質問の内容が多岐にわたっていたため、わからないことが多い。
 - ・設問が多すぎる。もう少し目的を絞り、質問項目を整理した方が良いと思う。
- など

4-3 インターネット回答は大変だった（4件）

- ・設問が分かりづらく回答に時間がかかり、タイムアウトになった。そのため、二回入力した。設問数も多すぎて、タイムアウトの時間は、設問数に見合った長さにするべき。
- など

4-4 アンケート結果を市の人権施策に役立ててほしい（4件）

- ・この回答が、今後の横浜市の人権の在り方に少しでも役立つことを願っている。
- など

4-5 その他（17件）

- ・印刷物の調査は税金の無駄なので、公共のスペースにパソコンを置き協力者を募ったらどうか。
- など

5 その他の意見（26件）

- ・人権に関してあまり詳しくはないが、時々映画を観る。「聲の形」「最強のふたり」「ペコロスの母に会いに行く」「あん」「ひかりごけ」などが考えさせられて良かった。
 - ・人にしたことは必ず自分に返ってくる。そう思えば人には優しくした方がよいと思う。
- など

資料1—アンケート調査票

横浜市人権に関する市民意識調査～ご協力をお願い～

横浜市では、人権尊重を基調とした市政を進めていくために、定期的に市民の皆様の人権に関する意識などについて、アンケート調査を実施しています。

近年、ますます多様化・複雑化する人権課題に取り組むためには、市民の皆様の人権に関する意識などをしっかりと把握し、施策に反映することが重要ですので、私どもはこの調査をとっても大切なものと考えています。

皆様には、ご負担をおかけすることになりますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

この調査は、横浜市にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に選ばせていただいた5,000人の方にお願いしています。

お答えいただいた結果はすべて統計的に処理を行います。また、無記名調査ですので、**個人情報**が外部に漏れるなどのご迷惑をおかけすることはありません。

なお、本調査は「株式会社アクス」に事務の委託をしますが、「横浜市個人情報の保護に関する条例」に基づき適切に行いますので、安心してご回答ください。

令和2年7月 横浜市市民局人権課

回答方法については、裏面をご参照ください。

令和2年8月21日（金）までにインターネット回答またはご投函ください。

【本調査に関する問い合わせ先】

横浜市市民局人権課 市民意識調査担当（^{つまがり}津曲・^{ながさか}長坂）

平日 8:45～17:15

電話：045-671-2718 FAX：045-681-5453

《このアンケートの文章を読むことがむずかしい方へ》

身近な方に代読いただくか、問い合わせ先までご連絡ください。



裏面あり→

ご回答にあたって

インターネットまたは郵送で回答を受付しています。

★インターネットでの回答について

URLからパソコン・スマートフォンにより回答することができます。
(その場合、下記の整理番号(5文字)の入力が必要です。)

パソコン	https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/dform.do?id=1591172456206	
スマートフォン	https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/sform.do?id=1591172456206	

★郵送での回答について

- インターネットでのご回答が難しい方は、このアンケート調査票にご記入いただいた後、同封の返信用封筒にてご返送ください。(切手は不要です。)
- 回答は、番号の前のチェックボックスに✓を記入してください。(例：☑1.) 回答の数は設問によって異なりますので、ご注意ください。

整理番号：99999

※この整理番号は、インターネットと郵送で同一人による二重回答を防ぐために調査票につけた番号です。どの方にどの整理番号の調査票を送ったかは一切記録していませんので、この番号から回答者個人を特定することはできません。

- この調査は、個人を対象としていますので、**あて名の方ご自身**がお答えください。ご本人によるご回答が困難な場合は、身近な方がご本人のお考えを聞きながら、ご回答をお願いします。
- 質問によっては、該当する選択肢がないことがあります。その場合はお手数ですが、「その他」の()内にできるだけ具体的にご回答をお願いします。

問1 日本の社会には、基本的人権にかかわるさまざまな問題があります。あなたは、どの人権問題に関心がありますか。(あてはまるものすべてに✓)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 女性の人権 | <input type="checkbox"/> 11. 自死（自殺）・自死遺族の人権 |
| <input type="checkbox"/> 2. 子どもの人権 | <input type="checkbox"/> 12. アイヌ民族の人権 |
| <input type="checkbox"/> 3. 高齢者の人権 | <input type="checkbox"/> 13. 犯罪被害者等の人権 |
| <input type="checkbox"/> 4. 障害児・障害者の人権 | <input type="checkbox"/> 14. 刑を終えて出所した人の人権 |
| <input type="checkbox"/> 5. 同和問題（部落差別） | <input type="checkbox"/> 15. インターネットによる人権侵害 |
| <input type="checkbox"/> 6. 外国人の人権 | <input type="checkbox"/> 16. 大規模災害時の避難生活などにおける人権侵害 |
| <input type="checkbox"/> 7. 感染症・疾病 ^{※1} の患者等の
人権 | <input type="checkbox"/> 17. 北朝鮮による拉致被害者等の人権 |
| <input type="checkbox"/> 8. 職業差別 | <input type="checkbox"/> 18. 性的搾取等を目的とした人身取引 ^{※3} |
| <input type="checkbox"/> 9. ホームレスの人権 | <input type="checkbox"/> 19. その他() |
| <input type="checkbox"/> 10. 性的少数者 ^{※2} の人権 | <input type="checkbox"/> 20. 特にない |

※1 感染症・疾病：エイズ・HIV、ハンセン病、新型コロナウイルス感染症など

※2 性的少数者：いわゆるLGBT（L：レズビアン（女性同性愛者）、G：ゲイ（男性同性愛者）、B：バイセクシュアル（性的指向が「女性」「男性」のどちらにも向く人）、T：トランスジェンダー（心の性と体の性が一致しない人）など様々な性のあり方の中で少数の立場にある人

※3 人身取引：性的搾取、強制労働、臓器の摘出などの目的で、暴力等の方法により人の売買等の取引を行う行為

問2 あなたは、今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会だと思いますか。
(あてはまるもの1つに✓)

1. そう思う
 2. どちらとも言えない
 3. そう思わない

問3 あなたは、市民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっていると思いますか。
(あてはまるもの1つに✓)

1. そう思う
 2. どちらとも言えない
 3. そう思わない

問4 「差別」について、あなたのお考えに近いものはどれですか。
(それぞれ、あてはまるもの1つに✓)

問4-1 差別について

- 1. あってはならない
- 2. あってはならないが、しかたがない面もある
- 3. あって当然である
- 4. わからない

問4-2 あなたは差別を

- 1. したことがない
- 2. 気づかずにしたことがあるかもしれない
- 3. したことがある
- 4. わからない

問5 あなたはこれまでに、他人を「差別」したことがありますか。
ある場合、何について差別したことがありますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 年齢
- 2. 学歴・出身校
- 3. 職業
- 4. 収入・財産
- 5. 家柄
- 6. ひとり親家庭、両親なし
- 7. 障害（精神、身体、知的）・疾病
- 8. 性別
- 9. 性的指向※¹、性自認※²
- 10. 独身
- 11. 子どもがいないこと
- 12. 容姿
- 13. 被差別部落出身
- 14. 人種・民族・国籍
- 15. 思想・信条
- 16. 宗教
- 17. その他（)
- 18. 差別をしたことはない

※1 性的指向：自分がどのような性別を好きになるかということ

※2 性自認：自分がどのような性別かという自覚のこと

問6 あなたはこれまでに、「差別」をされたと思ったことがありますか。
ある場合、何について差別をされましたか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 年齢
- 2. 学歴・出身校
- 3. 職業
- 4. 収入・財産
- 5. 家柄
- 6. ひとり親家庭、両親なし
- 7. 障害（精神、身体、知的）・疾病
- 8. 性別
- 9. 性的指向、性自認
- 10. 独身
- 11. 子どもがいないこと
- 12. 容姿
- 13. 被差別部落出身
- 14. 人種・民族・国籍
- 15. 思想・信条
- 16. 宗教
- 17. その他（)
- 18. 差別をされたことはない

問7 もし、あなたが「差別」をされたり、人権を侵害されたりした場合、まずどうしますか。
(あてはまるもの1つに✓)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 黙って我慢する | <input type="checkbox"/> 7. 自治会・町内会、民生委員等に相談する |
| <input type="checkbox"/> 2. 相手に抗議する | <input type="checkbox"/> 8. 法務局または人権擁護委員に相談する |
| <input type="checkbox"/> 3. 身近な人に相談する | <input type="checkbox"/> 9. 民間相談機関に相談する |
| <input type="checkbox"/> 4. 弁護士に相談する | <input type="checkbox"/> 10. 警察に相談する |
| <input type="checkbox"/> 5. 市役所・区役所に相談する | <input type="checkbox"/> 11. その他 () |
| <input type="checkbox"/> 6. 学校・職場に相談する | <input type="checkbox"/> 12. わからない |

問8 たとえば、お祝い事は「仏滅」の日を避ける、「友引」の日はお葬式を避ける、といった風習について、あなたのお考えに近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 当然のことと思うので、自分も従う
- 2. おかしいと思うが、従う
- 3. おかしいと思うので、従わない(気にしない)
- 4. おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける
- 5. わからない

問9 結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 当然のことと思う
- 2. おかしいと思う
- 3. わからない

問 10 あなたは、日本の社会に「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和問題」「部落問題」「部落差別」などと言われる問題があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに✓)

1. 知っている → 問 11 へ進んでください

2. 知らない → 問 17 (6 ページ) へ進んでください

問 11 あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったのはいつ頃ですか。(あてはまるもの1つに✓)

1. 小学校入学以前

5. 18歳～20歳未満

2. 小学生のとき

6. 20歳以上

3. 中学生のとき

7. はっきりとおぼえていない

4. 15 歳～18 歳未満 (高校生のとき)

問 12 あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。(あてはまるもの1つに✓)

1. 家族 (父母、きょうだいなど) から聞いた

2. 親戚の人から聞いた

3. 近所の人から聞いた

4. 学校の友だちから聞いた

5. 学校の授業で教わった

6. 職場の人から聞いた

7. テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った

8. インターネットで知った

9. 同和問題の集会や研修会で知った

10. 県や市町村の広報紙・誌などで知った

11. その他 ()

12. はっきりとおぼえていない

問 13 日頃親しく付き合っている隣近所の人や友人が、何かのきっかけで、同和地区出身の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。(あてはまるもの1つに✓)

1. これまでと同じように親しく付き合う

2. 表面的には付き合うが、できるだけ付き合いは避けていく

3. 付き合いをやめてしまう

4. その他 ()

問14 同和地区出身の人との結婚について、おたずねします。

問 14-1 あなたが同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたら、あなたはどうしますか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 自分の意志を貫いて結婚する
- 2. 親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する
- 3. 家族や親戚などの反対があれば、結婚しない
- 4. 絶対に結婚しない
- 5. わからない

問 14-2 あなたの子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、あなたはどうしますか。(子どもがいると仮定してお答えください。)
(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 反対せずに、子どもの意志を尊重する
- 2. 親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない
- 3. 家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない
- 4. 家族や親戚などの意見にかかわらず、絶対に結婚を認めない
- 5. わからない

問 15 同和問題で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 結婚を周囲から反対されること
- 2. 就職・職場において不利な扱いを受けること
- 3. 地域社会で不利な扱いを受けること
- 4. 身元調査が行われること
- 5. 差別的な発言や行為を受けること
- 6. 差別的な落書きがあること
- 7. インターネットを利用した差別的な情報が掲載されること
- 8. その他 ()
- 9. 特に問題はない
- 10. わからない

問 16 同和問題を解決するために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 同和問題にかかわる人権相談などを充実する
- 2. 学校や地域における人権教育を推進する
- 3. 広報紙・誌の発行や人権講演会など、人権啓発を推進する
- 4. 市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する
- 5. 同和地区の人が、積極的に行政や同和地区外の人に働きかけていく
- 6. 同和地区内外の人たちが、交流を活発にし、まちづくりをすすめる
- 7. 同和地区の人が一定の地区（同和地区）にかたまって生活しないで、分散して住むようにする
- 8. 同和問題については、そっとしておけば、差別は自然になくなる
- 9. その他（）
- 10. 特にない
- 11. わからない

問 17 女性に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること
- 2. 本人の意思が尊重されないこと
- 3. 採用条件、仕事の内容、昇給昇進など、職場における男女の待遇に違いがあること
- 4. 企業の取締役や国会議員など指導的地位の女性が少ないこと
- 5. 職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントがあること
- 6. 配偶者や交際相手など親しい関係にある人からの暴力（殴る、暴言、行動を監視するなど）を受けること
- 7. 売春・買春（援助交際も含む）があること
- 8. テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどにおいて女性の性を強調する情報が氾濫していること
- 9. 女性に対する犯罪や暴力に関する支援・相談体制が十分でないこと
- 10. その他（）
- 11. 特に問題はない
- 12. わからない

問 18 子どもに関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること
- 2. 教師からたたかれたり、殴られたりするなどの体罰等を受けること
- 3. 親などから暴力や育児放棄（ネグレクト）などの虐待を受けること
- 4. 大人から子どもの意見を無視されたり、大人のを考えを押しつけられたりすること
- 5. 児童買春や児童ポルノなどがあること
- 6. 不審者によるつきまといなど、安全が脅かされること
- 7. 生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること
- 8. 男の子らしさ、女の子らしさを求められること
- 9. その他（)
- 10. 特に問題はない
- 11. わからない

問 19 高齢者に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること
- 2. 本人の意思が尊重されないこと
- 3. 文字の大きさや分かりやすい表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと
- 4. 悪徳商法や詐欺などの被害を受けること
- 5. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 6. 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
- 7. 家庭内での看護や介護において、虐待があること
- 8. 病院や福祉施設内において、虐待があること
- 9. 道路の段差解消など、誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと
- 10. 在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと
- 11. その他（)
- 12. 特に問題はない
- 13. わからない

問20 障害のある人に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 本人の意思が尊重されないこと
- 3. 差別的な発言や行為を受けること
- 4. 結婚を周囲から反対されること
- 5. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 6. 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
- 7. 家庭内での看護や介護において、虐待があること
- 8. 病院や福祉施設内において、虐待があること
- 9. 病院や福祉施設内において、障害を理由に利用制限があること
- 10. 在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと
- 11. 道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと
- 12. 学校の受け入れ体制が十分でないこと
- 13. 店舗や施設等を気軽に利用できないこと
- 14. スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること
- 15. 手話、筆談、書類の読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと
- 16. その他 ()
- 17. 特に問題はない
- 18. わからない

問 21 外国人に関することについて、おたずねします。

問 21-1 外国人や、保護者が外国人である子どもなどに関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 意見や行動、文化などが尊重されないこと
- 3. 名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること
- 4. いわゆるヘイトスピーチ*などの差別的な発言や行為を受けること
- 5. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 6. 就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること
- 7. 施設・道路・鉄道案内の外国語表記など、誰もが暮らしやすいまちづくりが図られていないこと
- 8. 外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと
- 9. 近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと
- 10. 日本人と同等のサービス（医療、福祉、教育など）が受けられないこと
- 11. 外国人である子どもたちが集える居場所がないこと
- 12. その他（）
- 13. 特に問題はない
- 14. わからない

※ヘイトスピーチ：人種や国籍、性別など特定の属性を有する集団をおとしめたり、差別や暴力行為などをあおるなどする言動のこと

問 21-2 あなたはヘイトスピーチについてどのように思いますか。
(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う
- 2. 許されない行為ではあるが、共感するところもある
- 3. 許される行為ではあるが、共感はできない
- 4. 許される行為であり、当然のことだと思う
- 5. 自分には関係ないことであり、共感も反感もない
- 6. その他（）
- 7. わからない

問 22 エイズ患者やH I V（エイズウイルス）感染者に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるもの3つ以内に✓）

- 1. 患者や感染者等のプライバシーが守られないこと
- 2. 就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること
- 3. 病院での治療や入院を断られること
- 4. 結婚を周囲から反対されること
- 5. 無断で検査をされること
- 6. 患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること
- 7. 医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること
- 8. 患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと
- 9. エイズ・H I Vに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと
- 10. マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること
- 11. その他（)
- 12. 特に問題はない
- 13. わからない

問 23 新型コロナウイルス感染症等に関することについて、おたずねします。

問 23-1 新型コロナウイルス感染症等に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるもの3つ以内に✓）

- 1. 患者や感染者等のプライバシーが守られないこと
- 2. 就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること
- 3. 病院での治療や入院を断られること
- 4. 結婚を周囲から反対されること
- 5. 無断で検査をされること
- 6. 患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること
- 7. 医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること
- 8. 患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと
- 9. 新型コロナウイルス感染症等に関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと
- 10. マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること
- 11. その他（)
- 12. 特に問題はない
- 13. わからない

問 23-2 新型コロナウイルス感染症等の患者やその家族、医療従事者等に対する誹謗中傷やプライバシーの暴露といったインターネット上の差別的な書き込みなどの人権侵害に対して、あなたのお考えに近いものはどれですか。
(あてはまるもの1つに✓)

- 1. あってはならない
- 2. 感染拡大防止などのためであれば、あるのはしかたがない
- 3. 感染拡大防止などのためであれば、あるのは当然である
- 4. わからない

問 23-3 新型コロナウイルス感染症等の患者等の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 患者等のプライバシー保護を徹底すること
- 2. 市民一人ひとりが新型コロナウイルス感染症等に関する正しい知識を身につけること
- 3. 患者等への偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を行うこと
- 4. 企業などにおいて、人権意識を高める取組を推進すること
- 5. 学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実すること
- 6. 患者や家族等のための相談・支援体制を充実させること
- 7. マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制すること
- 8. 患者等への人権侵害に対する救済策を強化すること
- 9. その他 ()
- 10. 特にない
- 11. わからない

問 24 ハンセン病患者・回復者・家族等に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 就職・職場において不利な扱いを受けること
- 3. 家族や親戚からつきあいを拒絶されること
- 4. 社会復帰が困難なこと
- 5. 差別的な発言や行為を受けること
- 6. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 7. 旅館やホテルなどの利用で不当な扱いを受けること
- 8. 怖い病気といった誤解があること
- 9. ハンセン病患者・回復者・家族等のための相談・支援体制が十分でないこと
- 10. 近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと
- 11. その他 ()
- 12. 特に問題はない
- 13. わからない

問 25 ホームレスに関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること
- 2. 通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力をふるわれたりすること
- 3. 医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること
- 4. 就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと
- 5. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 6. 店舗などへの入店や施設利用を拒否されること
- 7. 社会的に孤立をしてしまうこと
- 8. ホームレスを支援するための施設整備が十分でないこと
- 9. その他 ()
- 10. 特に問題はない
- 11. わからない

問26 性的少数者に関することについて、おたずねします。

問 26-1 性的少数者に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること
- 3. 進学・就職・職場において不利な扱いを受けること
- 4. 地域社会・職場・家庭・学校などでいじめられたり、排除・孤立させられること
- 5. 嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ぶなど差別的な言動を受けること
- 6. 本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること
- 7. 法整備などが十分でないこと
- 8. トイレや入浴施設などの設備で十分配慮されていないこと
- 9. 就職や住居への入居の際などに性別について聞かれること
- 10. 性的少数者のための相談・支援体制が十分でないこと
- 11. その他 ()
- 12. 特に問題はない
- 13. わからない

問 26-2 もしあなたの家族(親・子・配偶者など)が性的少数者であることをあなたに告白した場合、あなたはその人の理解者になることができますか。

(あてはまるもの1つに✓)

- 1. できると思う
- 2. できないと思う
- 3. わからない

問 27 アイヌ民族に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと
- 2. 結婚や就職において不利な扱いを受けること
- 3. 経済的に困窮状態におかれている人が多いこと
- 4. 差別的な発言や行為を受けること
- 5. アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと
- 6. その他 ()
- 7. 特に問題はない
- 8. わからない

問 28 犯罪被害者等に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 犯罪行為によって精神的なショックを受けること
- 2. 犯罪行為によって様々な経済的な負担を強いられること
- 3. 事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること
- 4. 「被害者にも問題があった」などと非難されること
- 5. 捜査や刑事裁判によって肉体的・精神的な負担がかかること
- 6. マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなる
- 7. インターネット・電話・手紙などによって誹謗中傷を受けること
- 8. 犯罪被害者等のための相談・支援体制が十分でないこと
- 9. その他 ()
- 10. 特に問題はない
- 11. わからない

問 29 刑を終えて出所した人に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること
- 2. 就職・職場において不利な扱いを受けること
- 3. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 4. 社会的に孤立してしまうこと
- 5. 結婚を周囲から反対されること
- 6. 悪質な書き込みや嫌がらせをされること
- 7. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 8. 刑を終えて出所した人のための相談・支援体制が十分でないこと
- 9. その他 ()
- 10. 特に問題はない
- 11. わからない

問 30 インターネットに関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載されること
- 2. 出会い系サイト、裏サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
- 3. 未成年者の犯罪について、実名や顔写真を掲載されること
- 4. 児童ポルノの温床となっていること
- 5. 個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること
- 6. インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと
- 7. 人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと
- 8. その他 ()
- 9. 特に問題はない
- 10. わからない

問 31 地震などの災害が起きた場合に、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 避難生活でプライバシーが守られないこと
- 2. デマや風評などによる差別的な言動が起きること
- 3. 配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと
- 4. 避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと
- 5. 避難所において、ホームレスなど特定の人が拒否されること
- 6. 生活環境の変化に伴うストレスによって、いさかい・虐待が起ること
- 7. その他 ()
- 8. 特に問題はない
- 9. わからない

問 32 職業や職場環境について、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. いわゆるハラスメント（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど）があること
- 2. 職業によって、人物の評価がされること
- 3. 非正規雇用など不安定な雇用形態から抜け出したくても抜けられないこと
- 4. 職場でのいじめやいやがらせがあること
- 5. 長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと
- 6. その他（)
- 7. 特に問題はない
- 8. わからない

問 33 北朝鮮当局による拉致について、あなたが知っていることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 政府により北朝鮮に拉致されたと認定されている人のことを「拉致被害者」ということ
- 2. 帰国できた人もいるが、多くの拉致被害者はまだ帰国できていないこと
- 3. 「拉致被害者」以外にも、北朝鮮によって拉致された可能性を排除できない人、いわゆる「特定失踪者」がいること
- 4. 横浜市や神奈川県に在住していた（している）拉致問題の被害者やその御家族がいること
- 5. 拉致問題の解決に向けた取組として、横浜市が講演会などの啓発を行っていること
- 6. 知っていることはない

問 34 あなたは、これまで人権問題に関する知識や情報を何から得ましたか。
(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 講演会
- 2. 研修会
- 3. ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディア
- 4. インターネット（3を除く）
- 5. 街頭キャンペーンなどのイベント
- 6. 市町村が発行する広報紙・誌
- 7. パンフレットなどの資料
- 8. ポスター
- 9. テレビ、ラジオ
- 10. 映画、ビデオ
- 11. 新聞
- 12. 本
- 13. 学校の授業
- 14. 家族・友人など周囲の身近な人
- 15. その他（)

問 35 横浜市では人権についての理解を深めていただくために、さまざまな取組を進めています。あなたが参加したことがあるものや、見たことがあるものはありますか。
(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 講演会
- 2. 人権啓発キャンペーン (街頭啓発、区民まつり、Jリーグと連携した啓発事業、人権パネル展示)
- 3. 「広報よこはま人権特集」や「人権に関するコラム」といった啓発記事
- 4. 市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」
- 5. 市内地下鉄・私鉄での「車内広告」
- 6. 横浜市の人権に関するホームページ
- 7. その他 ()
- 8. どれにも参加したことや見たことはない

問 36 横浜市では人権についての理解を深めていただくために、さまざまな取組を進めています。あなたは、今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 講演会
- 2. 人権啓発キャンペーン (街頭啓発、区民まつり、Jリーグと連携した啓発事業、人権パネル展示)
- 3. 「広報よこはま人権特集」や「人権に関するコラム」といった啓発記事
- 4. 市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」
- 5. 市内地下鉄・私鉄での「車内広告」
- 6. 横浜市のホームページによる情報提供
- 7. 市民向け連続講座
- 8. 学校での教育
- 9. 企業向けの啓発
- 10. ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用した情報発信
- 11. 人権をテーマにした演劇、コンサート、映画会
- 12. パンフレットなどの資料の配布
- 13. 情報発信や交流ができる拠点の設置
- 14. その他 ()
- 15. 特にない
- 16. わからない

問37 横浜市では、人権啓発活動において、新しい情報に手軽に接することができるように、インターネットコンテンツの充実を検討しています。あなたは、どのようなコンテンツが有効だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 横浜市の人権に関するホームページを充実させ、さまざまな人権課題を詳しく掲載する
- 2. 市内で行われる人権啓発に関するイベント、講演会などの情報を提供する
- 3. ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアで、横浜市から人権啓発に関する情報発信を行う
- 4. インターネット等を通じて人権に関する動画を配信する
- 5. 人権啓発に関する教材(DVDや書籍など)を手軽に借りることができる機能を充実させる
- 6. 子どもが人権に関して学ぶことができるコンテンツを提供する
- 7. その他 ()
- 8. わからない

問38 横浜市が実施する人権啓発講演会や啓発イベントについて、どのようなものであれば、あなたは参加したいと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である
- 2. 会場がショッピングモールやデパートなど人の集まりやすい場である
- 3. オンラインを活用し自宅で参加(聴講)できるものである
- 4. 著名人が出演している
- 5. 人権問題に直面している当事者が出演している
- 6. 他の行事やイベントに組み込まれている
- 7. その他 ()
- 8. 特にない
- 9. わからない

問39 横浜市がめざす「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するためには、あなたはどのような取組が必要だと思いますか。（あてはまるもの3つ以内に✓）

- 1. 市民の人権意識を高めるための広報・啓発の充実
- 2. 学校における人権教育の充実
- 3. 家庭や地域における人権意識の向上
- 4. 企業における人権意識の向上
- 5. 教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に深く関わる職業に従事する人の人権意識の向上
- 6. 差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善するための施策の充実
- 7. 人権に関する条例などの制定
- 8. 人権問題に取り組む団体やNPO等との連携・協働の強化
- 9. 人権に関する相談体制の充実
- 10. 人権侵害に対する救済策の強化
- 11. その他（）
- 12. 特にない
- 13. わからない

問40 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきこととして、あなたはどのようなことが求められると思いますか。（あてはまるもの3つ以内に✓）

- 1. 人権に対する正しい知識を身につけること
- 2. 自分の中にある偏見や差別を自覚し、自分は差別してしまうかもしれないことを自覚すること
- 3. 因習や固定観念にとらわれないこと
- 4. 他人の立場や権利を尊重すること
- 5. 自分が生活している地域の人々を大切にすること
- 6. 家族が互いの立場や権利を大切にすること
- 7. 職場や学校で、人権を尊重する意識を高めあうこと
- 8. その他（）
- 9. 特にない
- 10. わからない

【あなた自身のことについておたずねします】

※統計的処理に活用するためおたずねします。差し支えない範囲でお答えください。

Q1 あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性 3. その他・答えたくない

Q2 あなたの年齢を教えてください。（令和2年8月1日現在の年齢）

1. 18歳～29歳 5. 60歳～69歳
 2. 30歳～39歳 6. 70歳～79歳
 3. 40歳～49歳 7. 80歳以上
 4. 50歳～59歳

Q3 あなたの現在のご職業を教えてください。

（いくつかあてはまる場合は、主なもの1つに✓）

1. 会社員・公務員・団体職員
 2. 派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト
 3. 自営業・個人事業主
 4. 家事に従事
 5. 学生
 6. その他の職業（ ）
 7. 仕事はしていない

◆ 人権に関することについて、ご意見・ご感想などあればご記入ください。

設問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

同封の封筒に入れてポストに投函してください。（切手は不要です。）

資料 2 - 集計結果

単純回答の設問の場合、回答者割合の%値は小数点第2位を四捨五入するため、合計が100.0%にならない場合がある。

1 関心のある人権問題

表1. 問1 日本の社会には、基本的人権にかかわるさまざまな問題があります。あなたは、
どの人権問題に関心がありますか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
%											
女性の人権	51.2	37.5	62.4	60.0	60.9	55.3	46.9	47.1	51.0	51.4	53.5
子どもの人権	46.6	40.9	51.3	42.9	42.9	49.3	47.9	44.1	45.9	48.9	47.8
高齢者の人権	35.9	30.4	40.0	34.3	17.6	21.1	22.9	33.8	45.6	53.0	62.3
障害児・障害者の人権	49.6	48.0	50.8	57.1	45.0	47.2	45.3	50.7	52.6	53.6	52.2
同和問題(部落差別)	19.1	20.6	18.1	20.0	16.0	12.3	16.4	20.9	21.0	24.0	21.4
外国人の人権	27.2	29.5	25.6	28.6	38.2	28.2	27.0	25.5	28.2	24.3	19.5
感染症・疾病の患者等の人権	44.2	41.4	46.7	45.7	40.8	41.9	42.1	42.3	45.9	49.2	49.1
職業差別	32.3	31.0	33.4	22.9	34.9	29.6	29.5	32.7	32.4	34.7	31.4
ホームレスの人権	15.7	17.0	14.6	22.9	17.6	12.7	12.1	15.8	15.3	19.9	18.9
性的少数者の人権	27.6	23.2	31.4	40.0	41.6	31.3	29.7	28.8	24.9	20.2	17.6
自死(自殺)・自死遺族の人権	21.2	21.6	20.8	28.6	26.5	18.0	18.4	18.7	21.2	26.0	23.9
アイヌ民族の人権	17.3	19.6	15.4	17.1	11.8	8.5	11.6	18.9	19.4	24.9	27.0
犯罪被害者等の人権	33.1	33.7	32.7	37.1	29.0	29.6	33.8	38.3	33.2	33.3	27.7
刑を終えて出所した人の人権	17.1	18.0	16.1	22.9	17.6	14.4	13.4	15.8	17.1	23.0	21.4
インターネットによる人権侵害	59.0	62.1	56.9	60.0	62.2	63.0	62.2	65.3	61.7	50.3	36.5
大規模災害時の避難生活 などにおける人権侵害	26.4	24.0	28.6	20.0	19.7	21.1	23.2	27.3	28.8	33.3	28.3
北朝鮮による拉致被害者等 の人権	33.9	34.4	33.5	31.4	20.2	19.7	23.4	36.9	37.3	48.1	54.1
性的搾取等を目的とした 人身取引	23.9	23.5	24.8	22.9	20.6	17.3	21.7	24.5	22.0	34.2	27.0
その他	1.8	2.2	1.4	5.7	2.1	1.8	1.8	1.8	2.3	1.6	0.6
特になし	5.0	6.5	3.9	2.9	2.9	3.9	7.6	5.4	4.1	4.6	5.7
不明	1.2	0.3	1.5	0.0	0.8	0.0	1.0	0.5	1.3	2.2	2.5

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
女性の人権	47.5	52.6	43.2	59.5	73.3	50.0	49.0
子どもの人権	44.0	46.7	39.2	54.2	52.3	48.4	46.6
高齢者の人権	26.3	37.2	32.4	42.3	20.9	35.5	50.6
障害児・障害者の人権	46.6	50.0	48.6	53.3	51.2	50.0	52.0
同和問題(部落差別)	17.1	19.0	16.9	21.1	20.9	16.1	21.8
外国人の人権	30.4	24.9	20.3	24.4	46.5	25.8	25.1
感染症・疾病の患者等の人権	38.7	47.9	43.2	51.2	39.5	38.7	47.3
職業差別	27.7	34.4	33.1	32.7	37.2	32.3	35.7
ホームレスの人権	13.6	14.9	18.2	13.7	25.6	16.1	19.0
性的少数者の人権	28.7	32.1	21.6	28.6	51.2	22.6	20.4
% 自死(自殺)・自死遺族の人権	19.3	20.3	21.6	22.6	25.6	17.7	24.1
アイヌ民族の人権	13.5	12.3	17.6	18.5	20.9	21.0	25.5
犯罪被害者等の人権	30.4	36.9	34.5	31.0	34.9	37.1	34.1
刑を終えて出所した人の人権	13.5	16.2	19.6	16.4	24.4	22.6	21.8
インターネットによる人権侵害	64.2	63.1	52.0	54.5	72.1	56.5	50.1
大規模災害時の避難生活 などにおける人権侵害	21.2	28.7	28.4	27.7	29.1	25.8	30.9
北朝鮮による拉致被害者等 の人権	25.6	30.3	32.4	39.3	26.7	37.1	48.3
性的搾取等を目的とした 人身取引	19.1	24.9	23.6	23.5	26.7	35.5	30.4
その他	1.7	2.8	0.0	1.2	2.3	3.2	1.9
特になし	6.7	1.8	8.1	4.2	1.2	6.5	4.9
不明	0.4	0.8	1.4	1.8	0.0	1.6	2.3

2 今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会か

表2. 問2 あなたは、今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会だと思いますか。

(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	そう思う	29.0	37.7	22.5	8.6	27.3	24.3	30.7	28.8	25.4	32.2	37.7
	どちらとも言えない	52.6	46.4	57.5	65.7	52.9	54.2	54.9	54.1	51.6	49.5	49.7
	そう思わない	17.5	15.6	19.0	25.7	19.3	21.5	14.4	16.2	22.3	16.4	10.7
	不明	0.9	0.3	1.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.9	0.8	1.9	1.9

	職業	職業						
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431	
%	そう思う	34.4	18.5	33.8	23.8	30.2	30.6	30.2
	どちらとも言えない	50.6	60.5	47.3	57.4	52.3	41.9	49.4
	そう思わない	14.8	20.5	16.9	17.3	17.4	25.8	19.0
	不明	0.1	0.5	2.0	1.5	0.0	1.6	1.4

3 市民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか

表3. 問3 あなたは、市民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっていると思いますか。

(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	そう思う	41.1	42.8	40.1	31.4	41.2	44.0	42.3	43.7	37.0	39.1	39.6
	どちらとも言えない	40.9	38.4	42.5	54.3	43.3	36.6	41.8	37.6	42.2	42.6	45.9
	そう思わない	16.9	18.6	16.0	14.3	15.5	19.4	15.9	17.8	19.9	15.8	11.9
	不明	1.0	0.2	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.8	2.5	2.5

	職業	職業						
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431	
%	そう思う	45.9	42.8	41.9	36.9	36.0	43.5	34.8
	どちらとも言えない	37.9	39.0	37.8	42.6	47.7	37.1	47.1
	そう思わない	16.2	17.7	18.2	18.8	16.3	17.7	16.2
	不明	0.0	0.5	2.0	1.8	0.0	1.6	1.9

4 差別についての認識と行為

問4 「差別」について、あなたのお考えに近いものはどれですか。

(それぞれ、あてはまるもの1つに✓)

表4. 問4-1 差別について

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	あつてはならない	52.4	49.5	54.4	62.9	46.2	45.8	49.6	50.7	61.9	57.7	49.7
	あつてはならないが、 しかたがない面もある	41.9	43.8	41.1	31.4	50.0	48.2	44.6	45.3	35.2	35.5	36.5
	あつて当然である	2.0	3.4	1.0	0.0	2.1	3.9	2.8	1.4	1.3	1.6	1.3
	わからない	1.7	1.7	1.5	5.7	1.3	1.8	1.8	1.4	0.5	1.9	3.8
	不明	2.0	1.7	2.0	0.0	0.4	0.4	1.3	1.4	1.0	3.3	8.8
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%	あつてはならない	50.4	53.8	48.0	57.1	48.8	53.2	53.6				
	あつてはならないが、 しかたがない面もある	44.5	42.6	45.9	40.2	50.0	40.3	35.7				
	あつて当然である	2.5	1.0	1.4	0.0	1.2	3.2	3.5				
	わからない	1.5	0.8	3.4	1.2	0.0	1.6	2.8				
	不明	1.1	1.8	1.4	1.5	0.0	1.6	4.4				

表5. 問4-2 あなたは差別を

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	したことがない	14.6	14.5	14.5	11.4	10.9	7.0	10.6	11.3	11.9	24.6	36.5
	気づかずにしたことが あるかもしれない	67.9	67.2	69.1	68.6	68.5	69.4	72.5	73.4	72.5	61.2	44.7
	したことがある	10.8	12.2	10.0	2.9	16.4	19.7	11.8	10.6	9.6	4.1	3.8
	わからない	3.0	2.3	3.1	14.3	2.5	2.5	2.0	2.5	2.8	4.4	3.1
	不明	3.7	3.8	3.3	2.9	1.7	1.4	3.0	2.3	3.1	5.7	11.9
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%	したことがない	9.2	12.8	11.5	16.7	15.1	17.7	24.6				
	気づかずにしたことが あるかもしれない	71.9	70.3	77.0	68.2	67.4	58.1	57.8				
	したことがある	13.5	12.3	6.8	8.0	15.1	16.1	6.5				
	わからない	2.5	1.8	2.0	4.5	0.0	6.5	3.9				
	不明	2.9	2.8	2.7	2.7	2.3	1.6	7.2				

5 他人を差別した経験

表6. 問5 あなたはこれまでに、他人を「差別」したことがありますか。

ある場合、何について差別したことがありますか。（あてはまるもの3つ以内に✓）

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
年齢	5.5	5.0	5.9	5.7	8.0	3.9	4.8	7.0	4.9	3.8	8.2
学歴・出身校	8.1	8.0	8.1	2.9	13.4	6.7	9.6	6.8	6.5	7.1	8.8
職業	7.8	8.7	7.2	5.7	5.5	8.8	7.8	6.3	8.3	9.6	9.4
収入・財産	4.0	4.4	3.5	0.0	2.9	3.9	4.5	4.5	2.6	3.8	6.3
家柄	2.7	1.8	3.3	0.0	3.4	2.1	3.0	2.3	3.4	1.6	3.1
ひとり親家庭、両親なし	1.2	0.9	1.5	0.0	0.8	1.8	1.5	0.9	2.1	0.5	0.0
障害(精神、身体、知的)・ 疾病	9.6	11.9	8.0	2.9	13.9	13.7	12.8	8.1	9.6	4.9	3.8
性別	3.6	4.3	3.2	2.9	8.0	4.9	3.3	4.5	2.6	1.6	0.6
性的指向、性自認	2.8	4.0	2.0	0.0	2.1	3.9	1.8	3.2	4.1	1.9	1.9
% 独身	1.6	1.7	1.5	2.9	0.8	2.8	2.5	1.8	1.6	0.5	0.0
子どもがいないこと	1.0	0.9	1.1	2.9	0.0	1.1	1.3	1.6	1.0	1.1	0.6
容姿	13.6	15.7	12.0	14.3	23.9	16.9	16.1	15.5	10.9	5.7	5.7
被差別部落出身	0.7	1.0	0.5	0.0	0.0	0.7	0.5	0.7	0.8	0.8	1.9
人種・民族・国籍	13.3	14.1	12.9	8.6	7.6	12.0	13.4	14.9	16.1	12.6	14.5
思想・信条	9.7	10.1	9.5	8.6	4.6	9.9	8.8	10.4	13.0	10.4	8.2
宗教	18.3	16.2	20.0	14.3	8.4	22.2	22.9	19.1	18.1	17.5	13.2
その他	3.9	3.5	4.2	2.9	2.9	3.2	4.0	4.7	5.7	2.7	2.5
差別をしたことはない	32.2	32.2	32.2	31.4	31.9	26.4	28.2	28.6	31.1	41.3	44.7
不明	10.0	9.3	10.0	22.9	8.8	9.9	9.6	9.2	9.1	11.5	12.6

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
年齢	6.1	6.2	4.1	3.3	5.8	3.2	6.7
学歴・出身校	9.1	5.4	9.5	6.3	17.4	6.5	7.4
職業	8.9	6.7	6.8	6.8	4.7	11.3	8.8
収入・財産	4.5	3.1	4.1	3.6	1.2	1.6	4.9
家柄	2.6	2.8	6.1	2.1	1.2	1.6	2.3
ひとり親家庭、両親なし	1.2	1.3	0.7	1.5	0.0	0.0	1.2
障害(精神、身体、知的)・ 疾病	14.1	9.2	3.4	5.7	12.8	9.7	7.0
性別	5.0	4.6	0.7	1.2	9.3	6.5	1.9
性的指向、性自認	3.2	2.6	0.0	2.4	4.7	3.2	3.0
% 独身	2.0	1.8	2.7	0.6	2.3	1.6	0.7
子どもがいないこと	1.2	1.3	0.7	0.6	1.2	1.6	0.9
容姿	16.1	14.4	12.8	9.5	23.3	12.9	10.2
被差別部落出身	0.9	0.0	1.4	0.3	0.0	0.0	1.2
人種・民族・国籍	13.5	12.1	11.5	13.7	5.8	19.4	14.6
思想・信条	8.1	12.1	14.2	11.0	3.5	9.7	9.0
宗教	18.5	22.3	18.2	20.8	1.2	14.5	15.1
その他	3.6	4.1	2.7	5.4	4.7	11.3	2.6
差別をしたことはない	28.6	27.4	30.4	37.8	34.9	35.5	39.7
不明	9.5	9.5	14.9	9.8	9.3	6.5	9.5

6 差別された経験

表7. 問6 あなたはこれまでに、「差別」をされたと思ったことがありますか。

ある場合、何について差別をされましたか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
年齢	8.7	6.8	10.3	11.4	8.8	8.1	8.8	11.9	8.5	6.6	6.9
学歴・出身校	15.2	15.5	15.1	5.7	15.1	12.3	17.6	18.7	14.2	11.2	15.7
職業	6.1	7.0	5.2	2.9	2.5	8.1	6.0	7.2	7.0	3.0	8.8
収入・財産	5.1	6.1	4.2	8.6	2.1	5.3	5.0	5.9	6.0	4.9	6.3
家柄	3.8	3.9	3.7	2.9	2.9	1.8	4.3	5.4	3.6	1.6	8.2
ひとり親家庭、両親なし	3.1	1.6	4.5	2.9	1.7	2.5	3.0	3.6	3.9	3.3	3.1
障害(精神、身体、知的)・ 疾病	2.7	3.9	1.9	2.9	3.8	3.5	3.3	3.2	2.1	1.4	2.5
性別	9.4	2.3	15.3	17.1	14.3	13.4	11.8	11.5	7.8	3.6	1.9
性的指向、性自認	0.7	1.2	0.3	2.9	2.1	1.8	0.3	0.7	0.5	0.3	0.0
% 独身	3.3	3.6	3.1	5.7	1.3	6.0	5.3	3.2	3.1	2.2	1.3
子どもがいないこと	3.1	1.5	4.5	2.9	0.4	3.5	6.5	3.8	2.8	0.8	1.3
容姿	13.0	12.4	13.8	14.3	26.5	18.3	14.1	15.5	8.0	5.5	5.0
被差別部落出身	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.6
人種・民族・国籍	5.5	6.0	5.1	8.6	5.9	7.7	7.6	6.3	5.2	2.5	1.9
思想・信条	2.4	4.0	1.2	0.0	2.9	3.2	1.3	2.3	3.6	1.6	2.5
宗教	1.6	1.8	1.5	0.0	1.3	2.1	1.0	1.6	2.3	1.1	1.9
その他	3.0	2.7	3.3	2.9	2.1	1.8	2.5	5.0	3.9	1.6	3.8
差別をされたことはない	41.5	45.5	38.4	34.3	39.5	36.6	34.8	34.5	43.3	59.0	45.3
不明	6.8	6.0	7.2	5.7	5.9	5.3	7.6	4.3	6.0	8.5	12.6

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
年齢	8.9	11.8	6.1	7.4	4.7	9.7	8.1
学歴・出身校	15.1	15.9	14.9	13.4	19.8	19.4	14.2
職業	6.0	10.0	6.8	2.7	0.0	12.9	5.1
収入・財産	5.9	5.6	6.1	3.9	0.0	8.1	4.4
家柄	3.2	3.6	1.4	3.3	2.3	4.8	6.3
ひとり親家庭、両親なし	2.2	5.4	4.1	3.0	0.0	3.2	3.5
障害(精神、身体、知的)・ 疾病	2.4	2.3	2.7	1.8	3.5	4.8	3.7
性別	10.2	12.8	6.1	12.2	10.5	6.5	4.2
性的指向、性自認	1.2	0.5	0.7	0.0	3.5	0.0	0.0
% 独身	5.0	3.3	5.4	1.5	0.0	1.6	2.3
子どもがいないこと	3.7	5.1	4.1	2.1	0.0	1.6	1.4
容姿	14.6	13.6	12.8	13.4	27.9	8.1	7.2
被差別部落出身	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
人種・民族・国籍	6.1	4.6	6.1	6.8	8.1	6.5	3.2
思想・信条	2.7	1.8	3.4	1.8	3.5	4.8	2.1
宗教	1.4	0.8	0.7	3.0	0.0	4.8	1.6
その他	2.5	3.8	2.0	3.0	2.3	11.3	2.8
差別をされたことはない	39.0	34.6	43.2	46.4	47.7	33.9	48.3
不明	6.0	7.9	7.4	3.9	2.3	3.2	10.0

7 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応

表8. 問7 もし、あなたが「差別」をされたり、人権を侵害されたりした場合、まずどうしますか。
(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	黙って我慢する	26.5	24.1	28.1	40.0	27.7	35.6	32.2	31.3	22.3	16.1	15.1
	相手に抗議する	15.4	22.7	9.4	11.4	20.6	12.0	15.6	12.2	15.3	17.5	17.0
	身近な人に相談する	29.4	20.3	37.3	22.9	35.3	38.0	30.2	31.3	26.9	23.8	18.2
	弁護士に相談する	2.7	4.1	1.5	5.7	1.7	1.1	1.8	2.0	3.6	4.6	3.8
	市役所・区役所に相談する	2.8	3.4	2.4	2.9	0.0	0.7	1.8	2.0	4.7	4.6	6.3
	学校・職場に相談する	0.5	0.7	0.4	0.0	0.8	0.4	1.8	0.2	0.0	0.0	0.6
	自治会・町内会、 民生委員等に相談する	0.6	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	1.3	1.4	0.6
	法務局または人権擁護委員 に相談する	1.7	2.4	1.1	0.0	0.0	0.4	0.5	1.4	2.8	4.1	1.9
	民間相談機関に相談する	1.2	1.3	1.1	2.9	0.8	0.4	0.8	2.0	0.5	1.9	2.5
	警察に相談する	0.9	1.4	0.4	0.0	0.0	0.4	0.3	1.1	1.3	1.4	1.3
	その他	2.3	2.7	2.1	2.9	1.7	2.5	2.3	2.5	3.4	1.1	3.8
	わからない	9.6	10.0	9.3	8.6	6.7	5.3	6.8	10.1	11.9	14.5	10.7
	不明	6.4	6.1	6.6	2.9	4.6	3.5	5.5	3.8	6.0	9.0	18.2
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%	黙って我慢する	32.2	29.5	20.9	23.8	20.9	27.4	17.9				
	相手に抗議する	17.3	10.3	18.2	10.1	25.6	9.7	17.9				
	身近な人に相談する	29.4	35.1	27.7	37.8	33.7	25.8	19.3				
	弁護士に相談する	3.0	1.5	2.7	2.1	2.3	4.8	3.5				
	市役所・区役所に相談する	1.5	3.6	4.7	2.1	0.0	1.6	5.3				
	学校・職場に相談する	0.7	0.5	0.7	0.0	1.2	0.0	0.5				
	自治会・町内会、 民生委員等に相談する	0.1	0.3	0.0	0.9	0.0	3.2	1.4				
	法務局または人権擁護委員 に相談する	1.2	1.0	0.7	1.8	0.0	1.6	3.7				
	民間相談機関に相談する	1.2	1.0	0.0	0.6	2.3	1.6	2.1				
	警察に相談する	0.6	0.5	1.4	0.9	0.0	0.0	1.4				
	その他	1.7	2.8	2.0	2.1	4.7	6.5	2.6				
	わからない	6.7	7.9	10.1	11.0	5.8	11.3	15.3				
	不明	4.1	5.9	10.8	6.8	3.5	6.5	9.3				

8 風習についての認識と行為

表9. 問8 たとえば、お祝い事は「仏滅」の日を避ける、「友引」の日はお葬式を避ける、といった風習について、あなたのお考えに近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	当然のことと思うので、自分も従う	36.6	35.5	37.5	31.4	27.7	30.3	41.1	41.4	35.5	36.3	40.9
	おかしいと思うが、従う	31.2	31.4	31.5	25.7	20.2	26.8	29.2	33.1	37.6	36.1	29.6
	おかしいと思うので、従わない(気にしない)	18.6	20.8	17.3	11.4	30.3	24.3	15.9	16.0	17.9	15.8	14.5
	おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける	1.5	1.2	1.6	5.7	0.8	0.4	1.3	0.2	1.6	4.1	2.5
	わからない	10.3	9.6	10.6	25.7	21.0	17.6	10.6	8.3	6.0	5.2	8.2
	不明	1.7	1.6	1.5	0.0	0.0	0.7	2.0	0.9	1.6	2.5	4.4
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)		802	390	148	336	86	62	431				
%	当然のことと思うので、自分も従う	35.2	34.4	51.4	39.9	33.7	32.3	34.1				
	おかしいと思うが、従う	29.6	30.8	25.0	34.8	20.9	29.0	36.9				
	おかしいと思うので、従わない(気にしない)	21.8	20.0	12.8	15.8	23.3	19.4	16.0				
	おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける	0.7	2.3	2.0	1.8	0.0	1.6	1.9				
	わからない	11.2	11.0	6.8	6.8	22.1	16.1	8.6				
	不明	1.5	1.5	2.0	0.9	0.0	1.6	2.6				

9 結婚相手の身元調査をすることについての認識

表 10. 問9 結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	当然のことと思う	31.6	31.7	32.0	14.3	37.0	28.9	28.0	27.5	27.5	35.5	52.2
	おかしいと思う	30.8	36.0	26.7	22.9	24.4	26.4	24.9	30.9	40.9	36.6	23.9
	わからない	36.0	31.0	39.7	62.9	38.7	44.4	45.6	40.5	31.1	24.9	18.2
	不明	1.6	1.3	1.5	0.0	0.0	0.4	1.5	1.1	0.5	3.0	5.7
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%	当然のことと思う	27.9	25.9	39.2	31.0	43.0	25.8	40.1				
	おかしいと思う	31.8	32.8	28.4	28.0	23.3	27.4	32.5				
	わからない	38.9	40.3	31.1	40.2	33.7	45.2	24.4				
	不明	1.4	1.0	1.4	0.9	0.0	1.6	3.0				

10 同和地区や同和問題についての認知

表 11. 問10 あなたは、日本の社会に「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和問題」「部落問題」「部落差別」などと言われる問題があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	知っている	70.4	73.9	68.4	54.3	53.8	59.5	68.5	75.2	79.0	75.4	75.5
	知らない	29.6	26.1	31.5	45.7	45.8	40.5	31.5	24.8	21.0	24.6	24.5
	不明	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%	知っている	73.4	65.1	70.9	72.9	57.0	64.5	71.5				
	知らない	26.4	34.9	29.1	27.1	43.0	35.5	28.5				
	不明	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

11 同和地区や同和問題についての認知時期

表 12. 問 11 あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったのはいつ頃ですか。

(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	1,620	744	840	19	128	169	272	334	305	276	120	
%	小学校入学以前	1.4	1.6	1.2	5.3	0.8	0.6	0.4	1.2	2.3	2.2	2.5
	小学生のとき	25.1	25.7	24.9	15.8	28.9	39.1	35.7	30.2	14.4	13.8	17.5
	中学生のとき	18.0	17.6	18.0	10.5	28.9	13.0	17.3	16.5	21.0	13.8	18.3
	15歳～18歳未満 (高校生のとき)	11.3	12.9	10.1	5.3	14.8	8.3	8.8	9.9	15.1	13.8	6.7
	18歳～20歳未満	8.5	9.0	8.1	10.5	8.6	7.1	6.6	7.5	9.5	10.5	10.0
	20歳以上	20.1	20.8	19.6	21.1	6.3	19.5	15.4	20.4	24.6	26.4	20.8
	はっきりとおぼえていない	15.4	12.4	17.6	31.6	11.7	12.4	15.8	14.1	13.1	18.8	23.3
	不明	0.2	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.7	0.8
	全体	職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	589	254	105	245	49	40	308					
%	小学校入学以前	1.2	0.8	3.8	1.2	0.0	0.0	1.9				
	小学生のとき	31.6	22.0	22.9	24.9	32.7	40.0	13.0				
	中学生のとき	18.7	15.0	13.3	19.2	28.6	12.5	18.2				
	15歳～18歳未満 (高校生のとき)	10.9	11.0	11.4	12.7	16.3	5.0	11.4				
	18歳～20歳未満	7.3	9.1	10.5	5.3	10.2	10.0	12.0				
	20歳以上	18.3	24.0	22.9	19.2	0.0	15.0	24.7				
	はっきりとおぼえていない	12.1	17.7	15.2	17.1	12.2	17.5	18.5				
	不明	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.3				

12 同和地区や同和問題について知ったきっかけ

表 13. 問 12 あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。

(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	1,620	744	840	19	128	169	272	334	305	276	120	
%	家族(父母、きょうだいなど)から聞いた	18.7	15.3	22.0	10.5	17.2	20.1	21.0	20.7	16.1	18.1	17.5
	親戚の人から聞いた	1.5	1.9	1.1	0.0	0.0	1.2	1.5	1.5	0.7	2.5	2.5
	近所の人から聞いた	2.2	1.6	2.7	0.0	0.0	0.0	0.7	2.1	3.0	2.9	7.5
	学校の友だちから聞いた	5.7	7.8	3.9	5.3	1.6	3.6	4.0	5.1	8.2	8.0	7.5
	学校の授業で教わった	27.8	28.8	26.9	15.8	57.0	41.4	38.2	35.6	17.0	7.6	5.0
	職場の人から聞いた	6.0	7.3	4.9	5.3	1.6	2.4	5.1	8.4	6.9	6.5	8.3
	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	19.0	17.6	20.2	26.3	7.8	13.0	14.0	12.9	26.6	30.1	22.5
	インターネットで知った	3.2	4.7	1.9	5.3	10.9	14.2	3.3	0.9	0.3	0.4	0.0
	同和問題の集会や研修会で知った	1.9	3.0	1.0	0.0	0.8	0.6	1.1	1.5	3.3	2.5	2.5
	県や市町村の広報紙・誌などで知った	1.4	1.2	1.5	0.0	0.0	0.0	1.1	0.3	1.6	3.3	3.3
	その他	3.0	3.1	3.1	0.0	0.0	1.2	0.7	3.9	5.6	4.0	3.3
	はっきりとおぼえていない	7.3	6.2	8.0	26.3	1.6	2.4	7.7	6.6	8.2	9.8	13.3
	不明	2.2	1.6	2.7	5.3	1.6	0.0	1.5	0.6	2.6	4.3	6.7
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	589	254	105	245	49	40	308					
%	家族(父母、きょうだいなど)から聞いた	20.0	19.7	20.0	18.8	14.3	27.5	14.9				
	親戚の人から聞いた	1.2	1.2	1.9	2.0	0.0	2.5	1.6				
	近所の人から聞いた	0.7	2.0	1.9	4.1	0.0	0.0	4.5				
	学校の友だちから聞いた	4.9	4.3	13.3	6.1	0.0	7.5	6.5				
	学校の授業で教わった	38.9	28.0	21.9	22.4	63.3	10.0	10.4				
	職場の人から聞いた	7.5	5.5	8.6	2.0	0.0	10.0	6.8				
	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	11.9	18.9	13.3	25.3	8.2	20.0	29.5				
	インターネットで知った	4.9	3.5	2.9	0.4	12.2	0.0	1.3				
	同和問題の集会や研修会で知った	1.7	2.0	1.0	1.2	0.0	0.0	3.2				
	県や市町村の広報紙・誌などで知った	0.5	1.2	0.0	3.3	0.0	0.0	2.6				
	その他	2.7	3.5	3.8	2.4	0.0	2.5	4.2				
	はっきりとおぼえていない	4.2	8.7	8.6	9.0	2.0	17.5	9.7				
	不明	0.8	1.6	2.9	2.9	0.0	2.5	4.5				

13 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応

表 14. 問 13 日頃親しく付き合っている隣近所の人や友人が、何かのきっかけで、同和地区出身の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	1,620	744	840	19	128	169	272	334	305	276	120	
%	これまでと同じように親しく 付き合う	88.6	89.0	88.5	84.2	90.6	90.5	93.4	91.3	86.2	85.1	80.8
	表面的には付き合うが、でき るだけ付き合いは避けていく	7.0	7.8	6.3	10.5	4.7	6.5	3.7	6.3	8.2	9.4	11.7
	付き合いをやめてしまう	0.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.6	0.0	0.3	0.3	0.7	0.8
	その他	3.1	2.6	3.6	5.3	3.1	2.4	2.2	1.8	4.9	2.9	5.8
	不明	0.9	0.7	1.0	0.0	1.6	0.0	0.7	0.3	0.3	1.8	0.8
	職業											
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない					
該当者数(n)	589	254	105	245	49	40	308					
%	これまでと同じように親しく 付き合う	92.5	92.1	85.7	84.1	91.8	92.5	82.8				
	表面的には付き合うが、でき るだけ付き合いは避けていく	5.1	5.1	11.4	9.0	0.0	5.0	10.4				
	付き合いをやめてしまう	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	1.0				
	その他	2.0	1.6	2.9	5.3	6.1	2.5	4.2				
	不明	0.3	0.8	0.0	1.2	2.0	0.0	1.6				

14 同和地区出身の人との結婚についての対応

問 14 同和地区出身の人との結婚について、おたずねします。

表 15. 問 14-1 あなたが同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたら、あなたはどうしますか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	1,620	744	840	19	128	169	272	334	305	276	120	
%	自分の意志を貫いて結婚する	20.4	27.7	13.7	21.1	23.4	18.9	23.9	19.5	21.3	18.5	16.7
	親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する	37.0	37.1	37.4	31.6	47.7	42.6	40.4	39.2	38.0	28.6	21.7
	家族や親戚などの反対があれば、結婚しない	11.7	8.7	14.5	5.3	10.2	11.2	10.3	11.1	10.2	14.1	17.5
	絶対に結婚しない	2.5	3.0	2.3	0.0	0.8	1.2	1.5	2.4	2.6	3.6	6.7
	わからない	27.5	22.8	31.1	42.1	16.4	26.0	23.5	27.5	27.2	33.3	35.0
	不明	0.9	0.7	1.1	0.0	1.6	0.0	0.4	0.3	0.7	1.8	2.5
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)		589	254	105	245	49	40	308				
%	自分の意志を貫いて結婚する	23.9	18.1	21.9	11.0	22.4	40.0	19.2				
	親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する	42.3	41.7	29.5	36.3	49.0	27.5	26.3				
	家族や親戚などの反対があれば、結婚しない	10.7	9.8	11.4	15.5	6.1	10.0	13.6				
	絶対に結婚しない	2.0	1.6	1.9	2.0	0.0	0.0	5.2				
	わからない	20.4	28.0	35.2	33.5	22.4	22.5	34.4				
	不明	0.7	0.8	0.0	1.6	0.0	0.0	1.3				

表 16. 問 14-2 あなたの子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、あなたはどうしますか。(子どもがいると仮定してお答えください。)
(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	1,620	744	840	19	128	169	272	334	305	276	120
%											
反対せずに、子どもの意志を尊重する	54.1	59.0	49.6	68.4	64.8	60.9	59.9	52.1	57.4	47.1	35.0
親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない	23.0	22.7	23.9	0.0	15.6	19.5	18.4	22.5	22.0	28.6	37.5
家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない	2.3	2.7	2.1	0.0	1.6	1.8	1.8	1.8	2.6	2.9	5.0
家族や親戚などの意見にかかわらず、絶対に結婚を認めない	2.6	2.3	3.0	0.0	0.8	1.8	2.2	2.4	3.0	3.6	4.2
わからない	17.3	13.0	20.5	31.6	15.6	16.0	17.6	21.3	14.8	16.3	16.7
不明	0.6	0.3	0.8	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.3	1.4	1.7

	全体	職業					
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業
該当者数(n)	589	254	105	245	49	40	308
%							
反対せずに、子どもの意志を尊重する	59.1	59.1	48.6	43.3	71.4	55.0	49.0
親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない	22.1	20.1	24.8	28.6	2.0	27.5	25.3
家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない	1.9	2.0	4.8	1.6	2.0	0.0	3.9
家族や親戚などの意見にかかわらず、絶対に結婚を認めない	2.2	1.6	0.0	3.7	0.0	0.0	4.2
わからない	14.4	16.9	21.9	21.2	24.5	17.5	16.9
不明	0.3	0.4	0.0	1.6	0.0	0.0	0.6

15 同和問題で人権上問題があると思うこと

表 17. 問 15 同和問題で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	1,620	744	840	19	128	169	272	334	305	276	120	
%	結婚を周囲から反対されること	31.2	31.0	31.5	21.1	34.4	33.1	29.4	33.2	35.7	25.7	25.0
	就職・職場において不利な扱いを受けること	54.3	49.6	58.8	42.1	68.8	53.8	52.6	53.3	59.3	54.0	35.0
	地域社会で不利な扱いを受けること	53.8	52.0	56.0	47.4	56.3	55.6	52.6	56.9	55.7	54.7	38.3
	身元調査が行われること	14.0	13.2	15.1	5.3	11.7	9.5	13.2	11.7	13.8	19.9	19.2
	差別的な発言や行為を受けること	40.1	39.5	40.5	42.1	46.9	45.6	45.2	41.9	34.4	34.4	35.8
	差別的な落書きがあること	3.6	4.7	2.6	0.0	7.0	3.6	4.4	4.8	1.0	2.2	5.0
	インターネットを利用した差別的な情報が掲載されること	16.2	16.4	16.1	21.1	19.5	13.6	16.2	18.0	18.4	14.5	10.0
	その他	2.8	3.5	2.0	10.5	0.0	5.3	3.7	2.1	2.0	2.5	4.2
	特に問題はない	3.0	4.4	1.8	0.0	0.8	1.8	2.9	2.1	4.3	2.9	6.7
	わからない	9.0	8.3	9.3	21.1	3.9	9.5	8.8	9.6	6.6	9.8	16.7
不明	2.7	2.6	2.6	0.0	6.3	2.4	3.7	1.5	2.6	1.8	1.7	

	全体	職業						
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	589	254	105	245	49	40	308	
%	結婚を周囲から反対されること	33.3	31.1	30.5	29.0	42.9	27.5	28.9
	就職・職場において不利な扱いを受けること	53.1	64.2	49.5	53.1	77.6	50.0	49.0
	地域社会で不利な扱いを受けること	57.2	57.5	39.0	57.1	49.0	55.0	48.4
	身元調査が行われること	11.7	14.2	16.2	14.3	10.2	22.5	16.9
	差別的な発言や行為を受けること	44.8	39.8	34.3	36.3	38.8	42.5	36.4
	差別的な落書きがあること	5.6	1.6	2.9	2.0	4.1	2.5	2.9
	インターネットを利用した差別的な情報が掲載されること	17.0	16.1	14.3	13.5	26.5	15.0	15.9
	その他	3.7	1.2	4.8	3.3	0.0	2.5	1.9
	特に問題はない	2.5	2.4	4.8	2.9	0.0	2.5	4.2
	わからない	5.8	7.5	15.2	11.4	6.1	12.5	11.7
不明	2.7	4.3	1.9	2.9	4.1	0.0	1.0	

16 同和問題を解決するために必要なこと

表 18. 問 16 同和問題を解決するために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	1,620	744	840	19	128	169	272	334	305	276	120
同和問題にかかわる人権相談などを充実する	18.3	18.3	18.5	21.1	21.9	18.9	14.0	20.4	19.7	15.2	22.5
学校や地域における人権教育を推進する	52.8	48.7	56.3	47.4	60.9	51.5	51.1	52.7	59.3	51.4	35.0
広報紙・誌の発行や人権講演会など、人権啓発を推進する	12.8	13.2	12.6	15.8	4.7	5.9	7.4	9.3	20.3	19.6	19.2
市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する	49.9	46.0	53.2	52.6	50.8	46.2	49.3	51.8	50.5	52.9	42.5
同和地区の人が、積極的に行政や同和地区外の人に働きかけていく	3.8	3.5	4.2	0.0	7.0	2.4	2.9	3.0	4.9	2.9	5.8
同和地区内外の人たちが、交流を活発にし、まちづくりをすすめる	13.1	13.3	12.7	10.5	17.2	11.2	11.0	15.6	11.5	12.3	13.3
同和地区の人が一定の地区(同和地区)にかたまって生活しないで、分散して住むようにする	18.5	17.2	20.0	5.3	17.2	19.5	24.3	18.3	14.8	18.8	14.2
同和問題については、そっとしておけば、差別は自然になくなる	15.4	19.5	12.0	5.3	10.9	20.1	19.5	11.7	11.1	17.8	20.0
その他	3.2	4.4	2.0	10.5	3.9	4.7	4.8	3.3	2.0	1.4	3.3
特にない	2.0	3.2	1.0	5.3	1.6	0.6	2.2	1.8	1.6	2.5	5.0
わからない	7.8	6.9	8.5	15.8	6.3	6.5	8.8	7.2	8.2	6.9	11.7
不明	1.9	1.3	2.1	0.0	0.0	0.6	1.1	1.2	2.0	3.3	5.0

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	589	254	105	245	49	40	308
同和問題にかかわる人権 相談などを充実する	16.6	19.3	23.8	17.6	24.5	15.0	19.5
学校や地域における人権 教育を推進する	53.1	58.7	41.9	52.7	63.3	50.0	48.7
広報紙・誌の発行や人権講演 会など、人権啓発を推進する	10.2	13.8	12.4	12.7	4.1	12.5	19.2
市民一人ひとりが、同和問題 について、正しい理解を深め るように努力する	51.3	54.7	42.9	51.0	53.1	42.5	46.1
同和地区の人が、積極的に行政 や同和地区外の人に働き かけていく	3.4	3.9	4.8	3.7	6.1	5.0	3.9
同和地区内外の人たちが、交流 を活発にし、まちづくりをす ずめる	11.9	15.7	15.2	12.2	20.4	15.0	10.7
同和地区の人が一定の地区 (同和地区)にかたまって生活 しないで、分散して住むように する	20.7	16.5	14.3	22.0	12.2	17.5	15.3
同和問題については、そっと しておけば、差別は自然になく なる	17.7	11.0	15.2	10.6	10.2	22.5	17.9
その他	4.6	2.4	4.8	1.2	4.1	5.0	1.6
特になし	1.4	1.2	5.7	2.0	0.0	2.5	3.2
わからない	7.1	6.7	9.5	9.0	8.2	10.0	7.8
不明	0.8	1.2	2.9	2.9	0.0	2.5	3.2

17 女性について人権上問題があると思うこと

表 19. 問 17 女性に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること	38.2	34.8	41.1	40.0	47.9	49.3	41.1	32.9	32.6	35.5	32.7
本人の意思が尊重されないこと	13.6	15.3	12.6	5.7	15.5	13.0	12.3	10.6	16.3	16.1	12.6
採用条件、仕事の内容、昇給昇進など、職場における男女の待遇に違いがあること	44.6	45.2	44.1	54.3	47.5	46.8	41.3	42.6	47.4	45.6	42.1
企業の取締役や国会議員など指導的地位の女性が少ないこと	22.2	22.2	22.2	20.0	22.3	22.5	16.9	18.0	24.1	26.5	31.4
職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントがあること	36.4	33.8	39.3	22.9	38.7	43.7	36.5	39.6	39.4	29.5	20.8
配偶者や交際相手など親しい関係にある人からの暴力(殴る、暴言、行動を監視するなど)を受けること	18.4	17.8	19.3	17.1	14.3	10.9	21.9	24.3	18.1	17.8	17.0
売春・買春(援助交際も含む)があること	11.6	9.6	13.4	5.7	12.6	9.9	12.6	10.6	11.4	15.0	7.5
テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどにおいて女性の性を強調する情報が氾濫していること	13.3	10.0	16.2	8.6	10.9	9.2	11.6	13.1	14.2	15.6	20.8
女性に対する犯罪や暴力に関する支援・相談体制が十分でないこと	19.7	17.3	22.0	17.1	16.0	16.9	18.9	20.5	20.5	21.3	25.2
その他	2.2	3.3	1.3	2.9	2.1	5.6	3.3	2.0	0.5	0.8	0.6
特に問題はない	2.8	4.4	1.4	8.6	0.8	3.5	3.5	3.6	2.1	2.7	2.5
わからない	3.5	4.0	2.6	11.4	1.3	2.1	3.0	3.4	3.1	5.2	5.7
不明	4.2	3.2	4.7	2.9	5.9	2.1	3.8	3.8	3.6	4.9	6.3

	職業							
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない	
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431	
%	「男は仕事、女は家庭」とい った男女の固定的な役割分担 意識があること	39.9	40.8	37.2	39.0	50.0	29.0	31.8
	本人の意思が尊重されないこ と	12.1	15.1	8.8	12.5	16.3	19.4	16.0
	採用条件、仕事の内容、昇給 昇進など、職場における男女 の待遇に違いがあること	44.5	41.0	43.9	42.3	61.6	38.7	48.3
	企業の取締役や国会議員な ど指導的地位の女性が少な いこと	20.8	22.1	23.6	22.0	25.6	16.1	24.4
	職場や学校などにおけるセク シュアル・ハラスメント、マタニ ティ・ハラスメントがあること	37.4	41.3	34.5	40.8	39.5	29.0	29.0
	配偶者や交際相手など親しい 関係にある人からの暴力(殴 る、暴言、行動を監視するな ど)を受けること	18.2	18.7	18.2	22.3	9.3	27.4	16.9
	売春・買春(援助交際も含む) があること	10.5	15.1	12.2	11.3	11.6	9.7	11.4
	テレビ、ビデオ、雑誌、イン ターネットなどにおいて女性の 性を強調する情報が氾濫して いること	10.3	14.4	11.5	17.3	11.6	8.1	16.5
	女性に対する犯罪や暴力に 関する支援・相談体制が十分 でないこと	14.8	22.1	20.9	22.0	18.6	19.4	24.4
	その他	3.6	1.0	2.0	1.2	2.3	4.8	0.9
	特に問題はない	3.9	1.8	4.7	1.5	1.2	4.8	2.3
	わからない	3.6	1.3	2.7	3.0	0.0	8.1	5.3
不明	2.9	5.1	4.1	4.5	2.3	6.5	4.9	

18 子どもについて人権上問題があると思うこと

表 20. 問 18 子どもに関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
%											
子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること	57.5	61.9	54.0	54.3	47.1	49.3	48.9	59.7	65.0	67.8	61.0
教師からたたかかれたり、殴られたりするなどの体罰等を受けること	12.4	12.1	12.6	17.1	16.8	12.7	10.3	12.8	12.2	12.6	11.3
親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること	64.0	61.8	66.9	45.7	58.4	66.9	65.2	70.0	65.8	62.8	48.4
大人から子どもの意見を無視されたり、大人の考えを押しつけられたりすること	19.1	18.8	19.5	20.0	32.8	26.8	18.9	14.6	17.9	13.1	16.4
児童買春や児童ポルノなどがあること	25.5	20.4	30.0	20.0	16.4	24.3	32.0	27.5	22.5	26.2	25.2
不審者によるつきまといなど、安全が脅かされること	12.9	12.8	13.0	14.3	11.8	16.9	17.4	12.6	10.1	10.9	10.1
生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること	43.0	41.9	44.2	37.1	46.2	43.3	41.3	42.1	47.7	43.2	31.4
男の子らしさ、女の子らしさを求められること	9.3	8.3	10.1	14.3	19.3	14.4	9.3	7.0	5.4	6.0	9.4
その他	1.0	1.0	0.9	2.9	0.8	1.1	1.0	1.6	0.3	1.1	0.6
特に問題はない	1.2	1.5	0.8	5.7	0.8	1.4	0.3	1.4	0.3	1.9	3.8
わからない	2.2	2.7	1.6	5.7	0.4	0.7	2.3	1.4	2.8	2.7	5.7
不明	4.2	3.4	4.6	2.9	6.7	3.2	4.8	2.9	2.3	4.4	7.5

	職業							
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない	
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431	
%	子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること	55.5	58.7	60.8	55.4	39.5	50.0	65.2
	教師からたたかかれたり、殴られたりするなどの体罰等を受けること	12.0	11.3	8.1	14.9	12.8	19.4	13.5
	親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること	66.8	66.9	58.1	69.3	55.8	67.7	57.1
	大人から子どもの意見を無視されたり、大人の考えを押しつけられたりすること	20.3	21.5	13.5	16.1	39.5	19.4	15.5
	児童買春や児童ポルノなどがあること	22.2	31.5	25.7	33.3	19.8	25.8	21.1
	不審者によるつきまといなど、安全が脅かされること	14.3	12.8	10.8	13.4	16.3	8.1	10.4
	生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること	42.4	44.1	47.3	40.5	51.2	41.9	41.8
	男の子らしさ、女の子らしさを求められること	10.0	10.0	4.1	7.7	25.6	9.7	7.0
	その他	0.7	0.5	2.7	0.9	2.3	3.2	0.7
	特に問題はない	1.5	0.0	1.4	0.6	1.2	0.0	2.3
	わからない	2.2	1.5	2.7	0.3	0.0	6.5	3.7
	不明	2.7	4.4	4.7	3.9	4.7	4.8	5.8

19 高齢者について人権上問題があると思うこと

表 21. 問 19 高齢者に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること	33.0	31.0	35.1	20.0	39.5	39.1	32.0	32.4	33.4	29.5	22.6	
本人の意思が尊重されないこと	12.9	11.7	14.0	11.4	11.8	12.3	10.1	12.2	17.6	13.7	12.6	
文字の大きさや分かりやすい表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと	13.6	12.9	14.0	11.4	7.6	9.5	8.6	14.0	17.1	17.5	23.9	
悪徳商法や詐欺などの被害を受けること	38.5	40.5	37.5	34.3	40.3	37.7	43.6	44.8	36.3	29.0	35.2	
アパートや住宅への入居が困難なこと	24.8	23.1	26.8	17.1	16.0	19.4	25.7	28.2	29.5	27.0	21.4	
働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	23.4	23.8	23.3	28.6	24.4	26.8	29.2	23.4	24.1	19.7	10.1	
家庭内での看護や介護において、虐待があること	12.5	11.9	12.9	20.0	19.3	17.3	11.8	11.7	10.4	10.4	8.8	
病院や福祉施設内において、虐待があること	26.6	22.6	30.2	22.9	23.1	31.3	23.7	31.8	24.1	27.3	22.0	
道路の段差解消など、誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと	14.0	12.5	15.5	11.4	10.9	13.4	11.1	11.7	13.7	18.3	24.5	
在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	24.9	21.3	27.9	28.6	18.1	21.5	27.0	24.1	27.5	27.6	27.0	
その他	1.3	1.8	0.9	2.9	2.1	1.4	2.3	0.7	1.0	0.8	0.6	
特に問題はない	3.0	4.9	1.4	2.9	3.4	3.5	2.5	1.8	1.8	3.8	6.3	
わからない	2.8	3.6	1.8	11.4	3.4	1.8	3.5	2.3	2.8	3.6	1.3	
不明	4.1	3.6	4.2	0.0	5.5	2.5	4.0	3.6	2.3	4.9	8.2	

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること	34.8	34.9	29.1	35.7	44.2	33.9	25.8
本人の意思が尊重されないこと	12.7	13.3	11.5	11.0	9.3	9.7	16.2
文字の大きさや分かりやすい表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと	11.7	13.3	11.5	14.6	7.0	8.1	18.8
悪徳商法や詐欺などの被害を受けること	41.4	39.5	39.2	36.3	39.5	37.1	35.0
アパートや住宅への入居が困難なこと	21.4	30.3	23.0	28.0	16.3	29.0	26.7
働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	26.7	29.2	23.0	19.6	31.4	16.1	15.8
家庭内での看護や介護において、虐待があること	13.2	13.1	11.5	13.7	16.3	16.1	9.3
病院や福祉施設内において、虐待があること	25.3	27.9	22.3	34.2	19.8	27.4	24.1
道路の段差解消など、誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと	13.8	12.1	8.8	15.2	7.0	12.9	17.6
在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	22.6	27.9	25.0	28.3	17.4	19.4	26.0
その他	1.6	1.0	1.4	0.6	3.5	3.2	0.7
特に問題はない	3.4	0.0	2.7	1.5	5.8	9.7	4.4
わからない	3.1	2.6	5.4	1.5	1.2	1.6	3.0
不明	2.7	2.6	6.8	4.5	3.5	6.5	5.8

20 障害のある人について人権上問題があると思うこと

表 22. 問 20 障害のある人に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	30.5	30.9	30.5	28.6	32.8	34.2	28.5	30.6	32.9	29.0	25.8	
本人の意思が尊重されないこと	13.2	15.5	11.6	5.7	12.2	14.4	14.1	12.2	15.8	12.6	8.8	
差別的な発言や行為を受けること	38.5	38.3	39.3	28.6	58.8	49.6	42.8	38.3	33.2	26.2	20.1	
結婚を周囲から反対されること	5.2	5.8	4.9	0.0	10.1	6.3	5.3	4.7	4.1	3.0	4.4	
アパートや住宅への入居が困難なこと	8.6	8.6	9.0	0.0	5.0	4.6	6.5	11.3	9.8	12.3	8.2	
働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	40.5	42.0	39.1	48.6	35.7	43.3	34.5	44.8	47.2	39.1	32.1	
家庭内での看護や介護において、虐待があること	4.9	5.4	4.6	2.9	5.9	6.0	5.5	5.9	3.6	3.3	5.0	
病院や福祉施設内において、虐待があること	13.7	12.7	14.7	11.4	10.1	16.9	13.1	14.4	11.4	17.2	10.1	
病院や福祉施設内において、障害を理由に利用制限があること	5.9	5.8	6.0	2.9	7.1	3.5	4.5	7.0	4.7	6.6	9.4	
在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	14.0	13.5	14.4	14.3	4.2	9.2	13.1	13.1	17.9	19.1	20.8	
道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと	16.3	14.2	18.1	22.9	8.4	13.0	15.4	17.8	20.2	18.0	20.8	
学校の受け入れ体制が十分でないこと	12.2	10.2	13.8	17.1	10.9	11.6	15.1	13.7	15.3	8.7	5.7	
店舗や施設等を気軽に利用できないこと	7.9	7.3	8.7	2.9	8.8	9.2	10.1	9.0	7.5	5.2	4.4	
スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること	6.7	5.9	7.6	5.7	5.9	6.7	6.3	4.5	7.3	10.1	7.5	
手話、筆談、書類の読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	6.7	6.3	7.2	8.6	7.1	8.5	6.5	5.9	6.0	7.1	8.2	
その他	1.4	1.8	1.0	8.6	0.8	2.8	1.5	1.6	1.0	1.4	0.0	
特に問題はない	1.8	3.0	0.7	2.9	0.8	1.8	1.5	2.0	1.6	1.6	3.8	
わからない	5.4	5.2	5.5	8.6	6.3	2.5	6.3	5.6	3.6	6.0	8.8	
不明	5.0	3.7	5.5	8.6	6.3	3.2	5.0	2.9	3.1	6.8	11.3	

	職業						
	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト等	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
じろじろ見られたり、避けられたりすること	30.0	30.5	27.7	32.4	39.5	33.9	29.9
本人の意思が尊重されないこと	15.5	12.8	11.5	11.3	10.5	9.7	13.5
差別的な発言や行為を受けること	44.3	41.0	27.0	36.0	61.6	30.6	29.2
結婚を周囲から反対されること	6.1	4.6	5.4	3.9	10.5	3.2	4.4
アパートや住宅への入居が困難なこと	7.2	8.5	8.8	10.4	5.8	14.5	9.7
働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	42.4	42.6	38.5	39.9	34.9	46.8	36.2
家庭内での看護や介護において、虐待があること	4.5	4.1	7.4	7.1	4.7	8.1	3.7
病院や福祉施設内において、虐待があること	12.2	14.4	14.2	17.0	9.3	12.9	13.7
病院や福祉施設内において、障害を理由に利用制限があること	5.5	6.2	4.1	6.8	10.5	3.2	5.6
在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	11.3	13.3	21.6	14.9	2.3	11.3	18.6
道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと	14.8	18.2	14.9	16.4	8.1	19.4	19.3
学校の受け入れ体制が十分でないこと	13.0	15.9	14.9	11.9	12.8	11.3	7.4
店舗や施設等を気軽に利用できないこと	7.7	8.5	7.4	8.6	15.1	4.8	7.0
スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること	6.0	6.9	3.4	9.5	8.1	6.5	7.2
手話、筆談、書類の読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	7.0	7.4	6.1	5.4	3.5	6.5	7.4
その他	2.2	1.0	0.7	0.6	1.2	3.2	0.7
特に問題はない	2.4	0.3	3.4	0.6	1.2	3.2	2.3
わからない	5.9	3.6	4.1	5.4	3.5	3.2	7.4
不明	3.0	4.4	7.4	5.7	3.5	6.5	7.0

21 外国人について人権上問題があると思うこと

問 21 外国人に関することについて、おたずねします。

表 23. 問 21-1 外国人や、保護者が外国人である子どもなどに関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	10.6	12.2	9.8	0.0	13.0	10.6	11.3	11.7	8.5	9.6	10.7	
意見や行動、文化などが尊重されないこと	17.1	19.8	15.4	11.4	23.9	21.5	20.2	14.9	19.2	11.2	8.2	
名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること	29.1	30.4	28.7	20.0	45.0	39.1	34.5	29.1	23.3	18.9	13.2	
いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為を受けること	34.0	35.9	33.2	22.9	29.8	32.4	38.3	39.4	36.3	31.4	20.1	
アパートや住宅への入居が困難なこと	9.5	9.7	9.4	11.4	5.5	9.5	11.8	10.4	8.8	7.1	15.1	
就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること	30.1	27.8	32.2	34.3	26.5	28.9	29.7	36.5	34.5	27.6	18.9	
施設・道路・鉄道案内の外国語表記など、誰もが暮らしやすいまちづくりが図られていないこと	7.5	7.5	7.7	5.7	5.0	6.7	4.5	8.6	8.0	9.3	11.9	
外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと	20.0	18.6	21.4	20.0	17.2	22.2	12.8	20.5	26.9	20.8	18.9	
近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと	12.6	12.9	12.4	11.4	8.4	9.9	12.3	10.8	13.2	18.0	15.1	
日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育など)が受けられないこと	16.9	16.2	17.6	22.9	17.6	19.0	14.1	15.8	18.4	20.2	12.6	
外国人である子どもたちが集える居場所がないこと	3.2	3.2	3.2	5.7	4.6	2.5	2.0	2.5	3.1	5.2	3.8	
その他	1.4	2.1	0.9	2.9	2.1	1.8	1.5	0.7	1.6	1.6	0.6	
特に問題はない	4.7	7.1	2.4	11.4	2.5	5.3	5.8	4.3	3.9	4.4	7.5	
わからない	11.0	7.7	13.2	20.0	10.5	6.0	8.8	9.2	9.8	14.5	23.9	
不明	4.3	3.1	4.7	0.0	4.2	2.8	4.5	1.8	3.4	6.0	9.4	

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
じろじろ見られたり、避けられたりすること	11.6	9.2	10.8	9.5	9.3	8.1	11.6
意見や行動、文化などが尊重されないこと	20.7	19.5	21.6	8.9	27.9	12.9	13.0
名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること	34.9	30.5	17.6	25.3	39.5	22.6	23.2
いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為を受けること	39.8	32.6	35.1	34.2	26.7	24.2	28.8
アパートや住宅への入居が困難なこと	7.9	9.5	11.5	11.6	5.8	16.1	10.2
就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること	28.1	36.7	24.3	34.8	32.6	29.0	27.1
施設・道路・鉄道案内の外国語表記など、誰もが暮らしやすいまちづくりが図られていないこと	7.7	6.7	5.4	7.7	7.0	4.8	8.4
外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと	19.3	23.3	25.0	20.2	17.4	22.6	17.6
近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと	11.8	10.5	8.8	12.8	8.1	16.1	17.2
日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育など)が受けられないこと	16.5	19.5	17.6	15.2	20.9	12.9	17.2
外国人である子どもたちが集える居場所がないこと	2.5	2.3	4.1	3.0	4.7	4.8	5.1
その他	1.4	0.8	1.4	1.5	3.5	6.5	1.2
特に問題はない	5.5	2.1	8.8	2.7	3.5	3.2	6.3
わからない	6.7	11.0	10.1	15.2	10.5	11.3	14.8
不明	2.5	4.1	4.1	4.5	2.3	8.1	5.8

表 24. 問 21-2 あなたはヘイトスピーチについてどのように思いますか。

(あてはまるもの1つに✓)

◎前回調査(平成 27 年度)では設問していない

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%												
許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う	63.0	58.4	67.9	45.7	59.7	58.1	61.2	66.7	72.0	63.9	50.9	
許されない行為ではあるが、共感するところもある	14.4	18.4	11.3	8.6	18.5	18.0	16.1	14.2	10.9	12.8	10.7	
許される行為ではあるが、共感できない	1.7	2.3	1.3	0.0	1.7	1.4	2.3	2.5	1.6	0.8	1.3	
許される行為であり、当然のことだと思う	0.5	0.7	0.3	2.9	0.0	0.4	0.0	0.2	1.3	0.5	1.3	
自分には関係ないことであり、共感も反感もない	3.8	4.5	3.4	2.9	5.5	6.0	3.8	3.6	1.3	4.6	3.1	
その他	2.0	3.7	0.6	2.9	2.5	4.2	3.3	1.6	1.6	0.3	0.0	
わからない	11.4	9.7	11.8	37.1	10.9	10.6	11.8	9.9	9.1	10.4	23.3	
不明	3.1	2.4	3.3	0.0	1.3	1.4	1.5	1.4	2.3	6.6	9.4	
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%												
許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う	62.6	70.0	56.1	70.8	55.8	54.8	58.5					
許されない行為ではあるが、共感するところもある	17.1	13.1	12.2	9.2	24.4	14.5	12.8					
許される行為ではあるが、共感できない	2.5	1.5	2.7	1.2	2.3	1.6	0.5					
許される行為であり、当然のことだと思う	0.4	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	1.4					
自分には関係ないことであり、共感も反感もない	4.6	1.0	7.4	3.3	5.8	1.6	4.2					
その他	3.1	1.0	2.0	0.3	3.5	3.2	1.4					
わからない	8.7	10.3	15.5	11.3	7.0	17.7	15.5					
不明	1.0	2.8	3.4	3.9	1.2	6.5	5.8					

22 エイズ患者やHIV感染者について人権上問題があると思うこと

表 25. 問 22 エイズ患者やHIV（エイズウイルス）感染者に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるもの3つ以内に✓）

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	25.8	26.9	25.5	14.3	29.0	21.5	24.4	30.2	25.6	24.6	24.5
就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること	23.4	23.9	23.2	28.6	17.6	22.2	26.4	26.4	26.2	19.9	21.4
病院での治療や入院を断られること	13.9	13.3	14.4	11.4	16.4	14.1	15.1	14.0	12.2	14.5	9.4
結婚を周囲から反対されること	5.8	6.9	4.9	5.7	10.9	6.0	3.3	5.2	5.4	5.2	8.8
無断で検査をされること	4.5	3.6	5.3	5.7	5.0	3.9	4.8	5.2	3.9	5.5	2.5
患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること	30.4	29.5	32.1	22.9	34.5	31.3	31.5	34.0	30.3	27.3	20.1
医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること	9.0	9.1	9.1	0.0	7.6	9.2	6.8	8.8	9.8	9.8	12.6
患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	9.7	9.8	9.7	14.3	10.9	8.1	7.3	8.1	12.7	11.2	12.6
エイズ・HIVに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	37.2	35.7	38.7	34.3	36.1	46.5	40.6	34.2	37.6	37.2	22.6
マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること	22.8	21.4	23.9	31.4	23.1	25.0	26.4	22.7	21.5	21.0	17.6
その他	0.6	0.7	0.5	0.0	0.8	1.4	0.5	0.0	0.3	0.8	1.3
特に問題はない	1.7	2.7	0.7	5.7	1.3	2.5	1.5	2.0	1.3	0.5	3.1
わからない	17.3	17.6	16.5	25.7	15.5	13.4	15.6	15.5	17.4	21.0	24.5
不明	2.8	1.7	3.2	0.0	3.8	1.4	2.3	1.8	1.6	3.0	7.5

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	27.6	27.9	23.0	24.1	24.4	22.6	25.1
就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること	23.7	25.1	23.6	24.7	24.4	27.4	21.1
病院での治療や入院を断られること	14.1	14.6	15.5	15.5	16.3	8.1	12.1
結婚を周囲から反対されること	6.1	4.6	7.4	4.8	11.6	6.5	5.3
無断で検査をされること	3.5	5.4	2.7	6.3	8.1	4.8	4.4
患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること	33.5	30.5	23.0	31.0	37.2	38.7	25.5
医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること	8.5	7.9	10.8	10.7	7.0	9.7	8.8
% 患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	8.6	11.0	14.2	6.8	9.3	17.7	11.4
エイズ・HIVに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	39.5	39.0	32.4	39.3	32.6	37.1	32.3
マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること	25.2	25.1	20.9	20.8	19.8	21.0	19.3
その他	0.5	0.0	1.4	0.3	1.2	1.6	1.2
特に問題はない	2.0	0.5	3.4	0.6	2.3	0.0	2.3
わからない	13.8	14.9	18.2	19.0	18.6	21.0	21.8
不明	1.6	2.6	2.7	1.8	1.2	3.2	4.6

23 新型コロナウイルス感染症等の患者等について人権上問題があると思うこと

問 23 新型コロナウイルス感染症等に関することについて、おたずねします。

表 26. 問 23-1 新型コロナウイルス感染症等に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

◎前回調査(平成 27 年度)では設問していない

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	26.9	26.7	27.5	25.7	38.7	31.0	27.2	27.5	23.1	22.1	22.6
就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること	25.2	23.4	26.8	17.1	29.0	29.9	34.0	26.1	21.5	16.7	15.1
病院での治療や入院を断られること	28.3	30.3	26.4	34.3	15.1	20.4	22.7	29.5	35.2	37.2	33.3
結婚を周囲から反対されること	0.3	0.5	0.2	0.0	0.4	0.4	0.3	0.7	0.0	0.3	0.6
無断で検査をされること	1.4	1.6	1.3	0.0	0.8	1.1	1.5	0.9	1.0	2.5	2.5
患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること	47.5	40.8	53.6	54.3	47.9	50.7	47.4	50.0	51.3	45.9	34.0
医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること	47.1	42.2	51.4	48.6	36.6	46.8	46.1	50.0	51.3	50.0	41.5
患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	20.2	20.3	20.1	22.9	17.6	16.9	15.9	18.2	25.1	25.1	22.0
新型コロナウイルス感染症等に関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	11.0	13.3	9.3	2.9	10.5	7.7	10.1	8.8	11.9	12.3	20.8
マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること	32.2	35.4	29.8	40.0	39.5	37.3	39.5	32.7	29.5	23.0	22.0
その他	1.3	1.9	0.6	5.7	1.3	1.4	1.8	1.4	1.0	0.8	0.6
特に問題はない	1.2	1.9	0.6	2.9	1.7	2.1	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3
わからない	4.0	4.8	3.2	2.9	3.4	3.9	2.5	3.6	2.3	5.7	10.1
不明	3.0	2.1	3.3	0.0	4.6	1.8	3.0	2.7	1.6	3.3	4.4

	職業							
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない	
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431	
%	患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	31.4	27.9	23.0	26.2	44.2	19.4	19.0
	就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること	26.6	31.0	29.1	25.9	25.6	29.0	15.1
	病院での治療や入院を断られること	23.4	32.8	24.3	28.6	11.6	25.8	37.6
	結婚を周囲から反対されること	0.4	0.3	0.0	0.6	1.2	0.0	0.2
	無断で検査をされること	1.1	0.3	0.7	1.8	1.2	1.6	2.6
	患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること	44.8	52.1	52.7	57.7	50.0	51.6	39.2
	医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること	45.3	48.7	41.9	54.2	40.7	45.2	46.9
	患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	16.8	20.5	16.9	21.4	17.4	29.0	24.8
	新型コロナウイルス感染症等に関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	10.5	9.2	12.2	8.3	12.8	17.7	13.7
	マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること	37.0	31.3	32.4	25.9	45.3	30.6	27.6
	その他	1.5	0.5	3.4	0.3	3.5	4.8	0.7
	特に問題はない	1.9	0.5	0.7	0.0	1.2	0.0	1.9
	わからない	4.0	2.3	4.1	3.3	2.3	1.6	7.0
	不明	2.2	2.8	3.4	3.0	1.2	3.2	3.7

表 27. 問 23-2 新型コロナウイルス感染症等の患者やその家族、医療従事者等に対する誹謗中傷やプライバシーの暴露といったインターネット上の差別的な書き込みなどの人権侵害に対して、あなたのお考えに近いものはどれですか。

(あてはまるもの1つに✓)

◎前回調査(平成 27 年度)では設問していない

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	あってはならない	89.1	87.6	90.9	91.4	86.1	88.7	89.7	91.0	93.3	88.5	81.8
	感染拡大防止などのためであれば、あるのはしかたがない	6.4	7.8	5.4	2.9	10.1	7.4	6.8	5.6	3.6	6.3	8.2
	感染拡大防止などのためであれば、あるのは当然である	0.9	1.0	0.7	0.0	0.4	2.1	0.5	0.7	0.3	1.1	1.9
	わからない	2.5	3.1	2.0	5.7	2.5	1.8	2.5	2.3	2.3	2.5	5.0
	不明	1.0	0.5	1.1	0.0	0.8	0.0	0.5	0.5	0.5	1.6	3.1
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)		802	390	148	336	86	62	431				
%	あってはならない	88.9	93.3	89.9	90.8	83.7	91.9	86.1				
	感染拡大防止などのためであれば、あるのはしかたがない	7.2	3.8	4.7	5.7	12.8	3.2	7.4				
	感染拡大防止などのためであれば、あるのは当然である	1.0	0.0	0.7	0.3	1.2	0.0	2.1				
	わからない	2.4	2.6	4.1	1.8	2.3	3.2	2.8				
	不明	0.5	0.3	0.7	1.5	0.0	1.6	1.6				

表 28. 問 23-3 新型コロナウイルス感染症等の患者等の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

◎前回調査(平成 27 年度)では設問していない

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
患者等のプライバシー保護を徹底すること	39.3	42.1	37.5	42.9	50.4	46.5	36.5	40.3	37.6	32.2	37.7
市民一人ひとりが新型コロナウイルス感染症等に関する正しい知識を身につけること	65.1	62.8	67.3	57.1	58.0	62.0	61.0	65.1	70.2	69.1	69.8
患者等への偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を行うこと	20.9	23.3	19.0	20.0	16.8	17.6	20.4	20.7	22.3	24.0	25.2
企業などにおいて、人権意識を高める取組を推進すること	8.3	10.6	6.4	11.4	8.0	9.2	9.6	9.0	9.6	6.6	4.4
学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実すること	25.1	21.4	28.3	14.3	13.0	19.7	24.2	24.3	30.8	31.1	28.9
患者や家族等のための相談・支援体制を充実させること	23.6	21.7	25.3	22.9	15.5	21.8	20.2	22.5	27.2	30.6	26.4
マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制すること	40.7	39.5	41.9	37.1	47.1	47.9	41.6	42.6	35.5	35.0	34.6
患者等への人権侵害に対する救済策を強化すること	14.5	13.6	15.3	17.1	17.2	16.5	13.6	12.4	14.8	14.8	13.8
その他	2.1	3.1	1.2	5.7	1.7	4.6	4.3	0.9	1.8	0.8	0.0
特にない	0.6	0.7	0.5	0.0	0.4	0.7	0.8	0.2	0.5	0.3	1.9
わからない	2.0	2.2	1.8	5.7	3.4	0.4	2.5	1.8	1.3	2.7	3.1
不明	2.3	1.6	2.5	2.9	4.2	0.7	2.5	1.6	1.3	2.7	3.1

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
患者等のプライバシー保護を徹底すること	44.0	38.5	40.5	36.9	52.3	35.5	32.9
市民一人ひとりが新型コロナウイルス感染症等に関する正しい知識を身につけること	61.5	64.1	66.2	73.8	57.0	62.9	67.3
患者等への偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を行うこと	20.1	20.5	22.3	19.6	15.1	22.6	23.4
企業などにおいて、人権意識を高める取組を推進すること	9.7	10.3	10.1	5.1	8.1	11.3	6.0
学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実すること	19.8	25.1	27.7	31.8	14.0	30.6	29.9
% 患者や家族等のための相談・支援体制を充実させること	20.0	24.4	18.9	28.9	18.6	29.0	27.8
マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制すること	42.8	44.6	39.2	37.5	46.5	40.3	34.6
患者等への人権侵害に対する救済策を強化すること	14.6	16.9	12.2	14.6	17.4	17.7	12.8
その他	3.5	1.5	2.0	0.9	1.2	3.2	0.9
特になし	0.9	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.7
わからない	1.9	1.5	3.4	0.9	3.5	1.6	3.2
不明	1.4	1.8	3.4	1.8	2.3	3.2	3.2

24 ハンセン病患者・回復者・家族等について人権上問題があると思うこと

表 29. 問24 ハンセン病患者・回復者・家族等に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
じろじろ見られたり、避けられたりすること	22.0	23.6	21.2	14.3	15.1	18.0	20.7	26.8	26.2	23.2	20.1
就職・職場において不利な扱いを受けること	24.4	23.9	25.5	17.1	24.8	24.6	22.9	26.4	27.7	24.0	17.0
家族や親戚からつきあいを拒絶されること	16.4	14.8	18.2	5.7	13.4	11.6	15.9	19.1	18.7	17.8	15.1
社会復帰が困難なこと	26.3	26.4	26.7	20.0	25.6	18.7	21.7	27.0	28.2	33.3	31.4
差別的な発言や行為を受けること	28.9	26.5	31.4	20.0	34.5	27.8	29.5	32.2	29.8	25.7	18.2
アパートや住宅への入居が困難なこと	4.4	3.9	4.9	5.7	1.3	4.6	3.3	5.2	5.7	5.2	5.0
旅館やホテルなどの利用で不当な扱いを受けること	3.3	3.2	3.3	2.9	5.0	4.2	1.5	2.5	4.1	4.1	1.3
怖い病気といった誤解があること	30.0	27.9	32.5	14.3	27.7	21.5	28.5	29.5	36.0	35.5	28.3
ハンセン病患者・回復者・家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	13.6	14.2	13.5	8.6	11.8	9.5	10.3	13.5	14.8	18.3	18.9
近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと	4.7	3.6	5.8	0.0	1.7	2.8	3.5	4.3	6.2	6.3	10.1
その他	1.0	1.1	0.8	2.9	0.4	1.8	1.5	1.1	0.8	0.5	0.0
特に問題はない	1.3	2.5	0.3	0.0	1.3	1.8	1.0	2.0	1.3	0.8	0.6
わからない	25.9	27.1	24.0	48.6	30.3	37.0	30.0	19.8	20.5	21.3	28.3
不明	3.5	2.7	3.7	2.9	4.6	1.4	3.5	2.5	1.8	4.1	8.2

	職業							
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない	
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431	
%	じろじろ見られたり、避けられ たりすること	22.8	22.1	16.2	22.0	22.1	25.8	22.7
	就職・職場において不利な扱 いを受けること	24.6	25.6	25.0	25.0	29.1	19.4	23.7
	家族や親戚からつきあいを拒 絶されること	14.7	16.9	15.5	23.2	19.8	11.3	14.6
	社会復帰が困難なこと	24.7	25.1	23.0	29.2	31.4	30.6	28.5
	差別的な発言や行為を受ける こと	29.7	32.1	23.0	28.9	37.2	19.4	27.6
	アパートや住宅への入居が困 難なこと	3.1	5.6	4.7	7.4	2.3	4.8	3.9
	旅館やホテルなどの利用で不 当な扱いを受けること	3.4	2.8	3.4	4.2	7.0	3.2	1.9
	怖い病気といった誤解がある こと	27.6	32.8	27.7	34.2	30.2	32.3	29.7
	ハンセン病患者・回復者・家 族等のための相談・支援体制 が十分でないこと	11.7	14.1	15.5	11.9	9.3	19.4	17.6
	近隣や地域の人との交流や 理解を深める機会が少ないこ と	3.4	4.9	4.1	7.1	2.3	9.7	5.1
	その他	1.7	0.8	1.4	0.3	0.0	1.6	0.5
	特に問題はない	1.9	0.3	3.4	0.3	1.2	0.0	1.6
	わからない	27.8	23.6	28.4	23.2	23.3	29.0	25.1
不明	2.0	3.1	5.4	2.7	1.2	3.2	5.3	

25 ホームレスについて人権上問題があると思うこと

表 30. 問 25 ホームレスに関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	19.1	21.6	17.3	11.4	23.1	13.0	13.9	15.1	24.6	24.6	23.3
通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力をふるわれたりすること	40.4	38.4	42.7	40.0	42.4	49.3	44.8	44.1	37.3	32.2	29.6
医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること	9.9	10.4	9.7	8.6	10.1	7.7	8.3	11.7	9.3	10.9	11.9
就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと	37.9	35.7	39.9	42.9	39.1	35.9	40.3	37.2	37.0	40.2	35.2
アパートや住宅への入居が困難なこと	12.8	13.5	12.2	11.4	10.5	10.9	12.6	14.2	11.9	13.4	17.6
店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	3.9	4.0	3.8	2.9	6.7	3.9	3.8	2.0	4.1	4.1	3.8
社会的に孤立をしてしまうこと	37.8	35.9	40.3	20.0	42.4	35.6	35.3	37.2	43.8	39.1	27.0
ホームレスを支援するための施設整備が十分でないこと	28.5	27.5	29.9	20.0	27.3	19.4	21.7	26.8	30.3	39.9	39.6
その他	1.5	1.9	1.2	2.9	0.4	2.1	2.3	2.3	1.0	1.1	0.0
特に問題はない	3.3	5.8	1.5	0.0	0.8	9.2	4.3	4.1	1.8	1.1	1.3
わからない	10.5	9.7	10.6	25.7	8.0	8.1	11.3	8.8	12.2	10.4	17.6
不明	3.2	2.5	3.0	2.9	3.4	1.1	2.8	3.2	1.6	4.1	6.3

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	17.2	19.0	18.9	14.6	30.2	17.7	24.4
通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力をふるわれたりすること	46.5	41.0	32.4	42.3	31.4	35.5	34.6
医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること	9.5	10.8	10.8	8.3	9.3	8.1	11.4
就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと	34.8	41.3	27.7	44.6	44.2	41.9	38.3
アパートや住宅への入居が困難なこと	10.8	14.4	14.2	13.7	16.3	14.5	13.5
店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	3.7	2.8	3.4	3.9	10.5	3.2	4.2
社会的に孤立をしてしまうこと	38.3	40.3	37.8	38.1	47.7	38.7	32.7
ホームレスを支援するための施設整備が十分でないこと	22.9	26.2	30.4	33.3	27.9	27.4	37.4
その他	2.1	0.8	4.1	2.1	0.0	3.2	0.0
特に問題はない	6.2	1.5	4.1	0.9	0.0	3.2	2.1
わからない	8.4	11.3	12.8	10.1	8.1	14.5	13.2
不明	1.2	2.6	4.1	1.8	3.5	4.8	5.6

26 性的少数者について人権上問題があると思うこと

問 26 性的少数者に関することについて、おたずねします。

表 31. 問 26-1 性的少数者に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
じろじろ見られたり、避けられたりすること	7.0	8.7	5.9	2.9	5.9	8.5	7.1	7.7	7.5	4.6	10.1
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	44.3	42.6	46.4	31.4	44.1	49.3	42.3	42.6	46.9	47.5	32.1
進学・就職・職場において不利な扱いを受けること	12.4	11.8	13.0	11.4	11.8	12.3	14.1	15.5	13.0	9.0	8.2
地域社会・職場・家庭・学校などでいじめられたり、排除・孤立させられること	24.5	22.1	27.2	14.3	24.8	26.1	27.0	24.3	27.7	23.0	12.6
嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ぶなど差別的な言動を受けること	23.9	24.4	23.9	22.9	34.9	34.2	28.7	24.1	19.2	15.6	10.1
本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること	29.6	26.1	33.2	17.1	42.0	37.3	33.8	29.7	29.0	19.7	12.6
% 法整備などが十分でないこと	14.9	16.6	13.9	5.7	11.8	14.1	13.9	16.7	15.8	16.7	12.6
トイレや入浴施設などの設備で十分配慮されていないこと	15.9	12.8	18.7	17.1	21.8	20.1	14.4	17.8	14.8	13.1	9.4
就職や住居への入居の際などに性別について聞かれること	2.1	2.1	2.0	8.6	3.4	2.5	1.8	2.0	1.3	2.2	2.5
性的少数者のための相談・支援体制が十分でないこと	14.2	14.8	13.6	20.0	8.8	12.3	12.8	15.1	15.8	17.8	15.1
その他	0.7	1.2	0.2	2.9	1.3	0.7	1.3	0.7	0.0	0.5	0.0
特に問題はない	2.5	4.9	0.6	0.0	1.7	3.2	2.5	2.9	1.8	1.9	3.8
わからない	16.4	16.6	15.7	28.6	10.1	7.4	12.1	13.7	18.7	23.8	37.1
不明	3.2	2.0	3.3	5.7	6.3	1.8	2.8	2.0	1.0	3.3	6.9

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
じろじろ見られたり、避けられたりすること	8.1	5.6	5.4	6.0	8.1	6.5	7.7
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	43.0	49.5	39.9	44.9	57.0	40.3	42.2
進学・就職・職場において不利な扱いを受けること	12.2	14.1	12.2	14.9	12.8	12.9	10.0
地域社会・職場・家庭・学校などでいじめられたり、排除・孤立させられること	23.1	30.8	20.3	28.3	23.3	22.6	22.3
嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ぶなど差別的な言動を受けること	28.9	25.4	20.9	19.6	32.6	19.4	17.4
本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること	32.8	31.8	26.4	33.0	43.0	27.4	19.5
% 法整備などが十分でないこと	16.2	15.6	14.9	13.4	14.0	9.7	13.9
トイレや入浴施設などの設備で十分配慮されていないこと	16.2	15.1	16.2	17.6	30.2	29.0	10.7
就職や住居への入居の際などに性別について聞かれること	2.1	2.1	2.0	1.5	5.8	1.6	1.9
性的少数者のための相談・支援体制が十分でないこと	13.1	14.1	14.9	14.0	9.3	25.8	15.3
その他	1.0	0.0	1.4	0.0	1.2	4.8	0.5
特に問題はない	3.9	1.3	4.1	0.6	1.2	1.6	2.3
わからない	11.5	12.8	20.9	18.8	4.7	17.7	26.9
不明	1.5	3.3	2.7	1.5	5.8	3.2	5.3

表 32. 問 26-2 もしあなたの家族（親・子・配偶者など）が性的少数者であることをあなたに告白した場合、あなたはその人の理解者になることができますか。
 （あてはまるもの1つに✓）

◎前回調査(平成 27 年度)では設問していない

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	できると思う	55.9	52.9	59.0	60.0	67.6	62.7	61.7	58.1	54.9	43.2	40.9
	できないと思う	5.2	7.4	3.4	0.0	5.0	4.6	3.8	2.9	4.9	9.3	7.5
	わからない	37.0	38.0	36.2	37.1	26.9	31.7	33.0	37.8	38.6	45.4	45.9
	不明	1.9	1.6	1.5	2.9	0.4	1.1	1.5	1.1	1.6	2.2	5.7
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%	できると思う	62.1	58.5	52.7	49.7	65.1	67.7	46.6				
	できないと思う	4.1	5.1	4.1	3.3	8.1	6.5	8.4				
	わからない	33.3	34.9	39.9	44.9	26.7	22.6	42.0				
	不明	0.5	1.5	3.4	2.1	0.0	3.2	3.0				

27 アイヌ民族について人権上問題があると思うこと

表 33. 問 27 アイヌ民族に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%												
アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと	46.2	48.1	45.9	28.6	37.0	31.3	33.8	44.1	59.6	63.1	56.0	
結婚や就職において不利な扱いを受けること	12.9	12.3	13.5	8.6	12.6	13.0	10.3	15.8	15.8	11.5	8.2	
経済的に困窮状態におかれている人が多いこと	15.9	17.0	15.5	2.9	11.8	11.6	14.9	18.0	17.4	18.3	17.6	
差別的な発言や行為を受けること	24.3	22.3	26.5	22.9	27.3	26.1	23.2	29.5	24.4	21.3	14.5	
アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと	38.3	41.2	36.9	25.7	33.6	29.9	33.0	34.0	48.4	47.5	42.1	
その他	1.4	1.6	1.0	5.7	0.8	1.8	2.5	1.4	0.8	1.6	0.0	
特に問題はない	3.3	5.7	1.5	0.0	0.4	2.8	4.3	3.4	3.4	3.3	5.7	
わからない	28.3	25.0	30.4	45.7	37.0	39.4	34.5	28.4	19.9	17.2	25.2	
不明	2.0	1.1	2.2	2.9	1.7	0.7	1.8	1.6	1.0	3.0	3.8	
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%												
アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと	39.5	46.7	51.4	51.8	36.0	45.2	55.5					
結婚や就職において不利な扱いを受けること	13.2	10.0	13.5	14.9	17.4	11.3	13.0					
経済的に困窮状態におかれている人が多いこと	14.7	15.6	20.9	16.7	18.6	25.8	14.4					
差別的な発言や行為を受けること	28.1	24.4	18.2	27.1	32.6	16.1	18.3					
アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと	37.0	37.2	41.2	37.2	36.0	46.8	41.8					
その他	2.0	1.0	2.7	0.6	0.0	3.2	0.9					
特に問題はない	3.6	1.5	4.1	2.4	0.0	6.5	5.1					
わからない	29.3	32.8	25.7	27.1	33.7	25.8	23.7					
不明	0.6	2.1	1.4	1.5	0.0	3.2	3.5					

28 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと

表 34. 問 28 犯罪被害者等に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
犯罪行為によって精神的なショックを受けること	35.5	36.6	35.3	31.4	36.1	40.1	36.0	34.9	36.0	29.8	41.5
犯罪行為によって様々な経済的な負担を強いられること	17.2	22.0	13.8	8.6	16.4	18.7	19.9	16.7	15.0	18.6	15.1
事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること	37.9	34.6	40.6	37.1	44.5	40.1	34.0	40.5	37.0	39.6	24.5
「被害者にも問題があった」などと非難されること	33.9	30.9	36.9	28.6	42.0	35.6	41.6	36.0	32.4	27.6	14.5
捜査や刑事裁判によって肉体的・精神的な負担がかかること	17.8	18.8	17.3	14.3	15.1	19.0	16.6	20.0	18.9	17.5	13.8
マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること	50.5	49.5	52.1	48.6	54.2	59.5	54.7	51.8	50.3	45.1	30.2
インターネット・電話・手紙などによって誹謗中傷を受けること	35.7	34.3	37.5	28.6	31.1	37.0	39.3	42.3	40.2	28.1	19.5
犯罪被害者等のための相談・支援体制が十分でないこと	13.8	14.1	13.8	8.6	5.9	5.6	10.6	13.7	18.9	18.6	23.9
その他	0.6	0.8	0.3	2.9	0.4	1.1	0.5	0.0	0.5	0.8	0.6
特に問題はない	0.4	0.6	0.2	2.9	0.4	0.4	0.5	0.5	0.3	0.0	1.3
わからない	5.9	5.6	5.7	14.3	5.9	1.4	4.3	3.2	5.2	9.8	17.6
不明	4.2	3.7	4.0	0.0	4.6	4.6	3.8	2.9	2.8	4.9	6.9

	職業							
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない	
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431	
%	犯罪行為によって精神的な ショックを受けること	37.3	34.9	36.5	36.0	41.9	46.8	30.6
	犯罪行為によって様々な経済 的な負担を強いられること	17.7	16.2	21.6	15.2	16.3	27.4	16.9
	事件のことを興味本位で質問 されたり、うわさ話をされたり すること	38.3	41.8	29.7	41.7	47.7	40.3	32.0
	「被害者にも問題があった」な どと非難されること	39.7	36.9	31.1	34.5	44.2	22.6	21.6
	捜査や刑事裁判によって肉体的 ・精神的な負担がかかるこ と	18.5	15.4	20.9	18.8	11.6	14.5	18.3
	マスコミ報道により、犯罪被害 者等の私生活の平穏が保て なくなること	55.4	55.6	39.2	52.4	55.8	41.9	40.1
	インターネット・電話・手紙など によって誹謗中傷を受けるこ と	37.9	37.9	28.4	39.3	33.7	33.9	30.2
	犯罪被害者等のための相談・ 支援体制が十分でないこと	10.7	13.8	18.9	16.4	4.7	17.7	16.5
	その他	0.2	0.8	0.7	0.0	1.2	1.6	0.9
	特に問題はない	0.4	0.3	0.7	0.3	0.0	1.6	0.5
	わからない	3.7	4.1	6.1	4.8	3.5	3.2	13.0
	不明	3.5	3.3	6.1	2.4	2.3	6.5	5.8

29 刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと

表 35. 問 29 刑を終えて出所した人に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	26.3	27.6	25.9	17.1	19.7	19.7	19.1	24.8	32.9	36.1	33.3
就職・職場において不利な扱いを受けること	32.2	32.3	32.9	22.9	28.6	24.3	30.5	34.2	39.4	35.5	27.7
じろじろ見られたり、避けられたりすること	4.4	4.4	4.5	2.9	3.8	2.5	5.0	5.2	3.1	4.9	7.5
社会的に孤立してしまうこと	40.9	40.6	41.6	34.3	35.3	32.0	39.8	41.2	46.1	47.8	40.3
結婚を周囲から反対されること	2.8	2.2	3.3	0.0	7.1	3.5	2.3	2.3	2.8	1.1	2.5
悪質な書き込みや嫌がらせをされること	15.6	14.5	16.4	22.9	30.3	22.2	15.4	15.3	10.6	9.3	11.3
アパートや住宅への入居が困難なこと	9.6	9.0	10.3	5.7	6.3	7.7	9.8	10.1	11.7	10.9	9.4
刑を終えて出所した人のための相談・支援体制が十分でないこと	30.2	31.1	29.7	31.4	18.5	22.5	25.2	29.1	38.6	39.9	36.5
その他	1.1	1.5	0.7	2.9	0.8	1.4	2.5	0.7	1.0	0.0	0.6
特に問題はない	5.7	8.0	3.7	11.4	10.5	12.7	7.6	5.6	1.8	1.6	0.6
わからない	19.0	18.0	19.5	25.7	14.3	20.4	20.9	19.8	15.5	18.9	23.9
不明	2.5	1.8	2.4	0.0	4.2	0.7	0.8	2.3	1.6	2.7	5.7

	職業							
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない	
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431	
%	社会的な理解が十分でないた め、誤解や偏見があること	23.9	27.7	27.0	24.7	20.9	33.9	31.3
	就職・職場において不利な扱 いを受けること	29.8	36.7	33.1	32.7	31.4	38.7	32.7
	じろじろ見られたり、避けられ たりすること	3.7	5.6	4.1	4.5	4.7	4.8	4.6
	社会的に孤立してしまうこと	37.2	43.8	39.2	42.9	40.7	41.9	44.3
	結婚を周囲から反対されるこ と	3.1	3.1	3.4	2.1	9.3	3.2	1.4
	悪質な書き込みや嫌がらせを されること	17.5	13.8	11.5	15.8	36.0	17.7	11.4
	アパートや住宅への入居が困 難なこと	8.1	10.8	8.1	13.4	9.3	6.5	10.4
	刑を終えて出所した人のため の相談・支援体制が十分でないこと	26.6	30.0	29.7	35.7	17.4	29.0	35.7
	その他	1.5	1.0	2.0	0.3	0.0	4.8	0.5
	特に問題はない	9.4	4.1	4.7	3.0	11.6	3.2	1.9
	わからない	18.2	19.2	20.3	19.3	7.0	24.2	20.6
不明	1.5	1.3	2.7	1.8	4.7	3.2	3.7	

30 インターネット上において人権上問題があると思うこと

表 36. 問 30 インターネットに関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載されること	69.8	72.3	68.6	68.6	75.6	70.8	70.3	75.7	73.1	63.7	53.5
出会い系サイト、裏サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	29.0	27.5	30.6	14.3	18.1	24.3	25.2	26.6	31.3	40.4	37.1
未成年者の犯罪について、実名や顔写真を掲載されること	9.5	9.3	9.7	5.7	15.5	10.2	9.6	9.2	8.0	7.9	7.5
児童ポルノの温床となっていること	10.5	9.3	11.7	2.9	6.3	13.0	13.1	11.9	6.5	9.6	13.2
個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること	55.2	54.9	56.4	51.4	58.4	62.3	60.5	63.7	54.7	44.8	30.2
% インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと	17.1	17.2	17.3	17.1	18.5	18.3	14.1	17.8	20.5	16.1	15.1
人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと	48.0	47.9	48.5	51.4	43.3	43.0	50.4	46.2	57.3	48.4	41.5
その他	1.2	2.2	0.4	0.0	0.4	1.8	1.8	0.5	1.0	1.9	0.6
特に問題はない	0.7	1.2	0.2	0.0	0.4	1.4	1.0	1.4	0.0	0.3	0.0
わからない	4.2	3.4	4.5	11.4	0.8	1.1	2.5	1.6	3.9	8.5	15.7
不明	3.1	2.3	3.2	2.9	4.6	1.4	2.3	2.5	2.6	3.6	5.7

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載されること	75.6	73.6	70.3	65.8	76.7	74.2	59.4
出会い系サイト、裏サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	24.1	32.1	27.7	33.3	17.4	24.2	34.8
未成年者の犯罪について、実名や顔写真を掲載されること	10.2	8.7	11.5	8.9	22.1	6.5	7.0
児童ポルノの温床となっていること	11.0	9.7	10.1	11.9	12.8	11.3	8.6
個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること	61.1	57.9	45.9	58.3	58.1	58.1	42.5
% インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと	16.0	19.2	20.3	14.9	18.6	16.1	18.6
人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと	47.3	46.9	47.3	52.1	38.4	59.7	47.8
その他	1.6	1.0	0.7	0.3	1.2	0.0	1.6
特に問題はない	1.5	0.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.2
わからない	1.5	2.3	3.4	4.8	1.2	4.8	10.7
不明	1.5	2.8	5.4	3.0	1.2	3.2	4.6

31 地震など災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと

表 37. 問 31 地震などの災害が起きた場合に、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%												
避難生活でプライバシーが守られないこと	50.4	43.9	56.3	42.9	33.2	43.3	49.4	56.1	58.3	55.7	43.4	
デマや風評などによる差別的な言動が起きること	42.6	49.1	37.5	51.4	52.9	54.9	47.9	43.9	37.3	27.0	39.0	
配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと	49.8	47.2	52.5	37.1	38.7	46.1	41.6	44.4	59.3	62.8	54.1	
避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと	24.6	21.0	27.7	28.6	31.1	30.3	25.2	26.4	21.5	22.4	11.9	
避難所において、ホームレスなど特定の人が拒否されること	13.9	14.4	13.3	17.1	18.9	12.3	12.1	11.5	14.2	15.6	15.1	
生活環境の変化に伴うストレスによって、いさかい・虐待が起ること	30.7	32.4	29.9	20.0	31.1	35.6	35.0	28.2	29.0	28.7	27.7	
その他	1.1	1.7	0.4	5.7	1.7	1.8	1.0	0.5	1.0	1.4	0.0	
特に問題はない	1.4	2.7	0.2	2.9	1.7	1.4	2.3	0.9	1.6	1.1	0.0	
わからない	6.7	7.0	6.3	8.6	8.0	3.9	6.5	4.7	6.2	8.2	13.2	
不明	2.0	1.5	2.1	0.0	2.9	0.7	1.0	2.3	1.3	2.2	5.0	
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%												
避難生活でプライバシーが守られないこと	48.5	55.4	48.6	60.4	27.9	50.0	46.4					
デマや風評などによる差別的な言動が起きること	51.1	38.5	38.5	36.6	55.8	46.8	34.3					
配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと	43.1	52.8	47.3	56.8	47.7	46.8	55.2					
避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと	25.7	26.4	29.1	25.0	30.2	30.6	17.6					
避難所において、ホームレスなど特定の人が拒否されること	13.1	12.8	14.9	14.0	23.3	11.3	14.2					
生活環境の変化に伴うストレスによって、いさかい・虐待が起ること	34.8	28.2	20.9	28.9	31.4	38.7	29.0					
その他	1.2	1.0	0.7	0.6	1.2	4.8	0.9					
特に問題はない	2.0	0.5	2.0	0.0	1.2	0.0	2.1					
わからない	5.4	5.6	8.1	5.7	4.7	4.8	11.1					
不明	1.0	1.5	2.7	1.2	1.2	4.8	3.7					

32 職業や職場環境について人権上問題があると思うこと

表 38. 問 32 職業や職場環境について、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	いわゆるハラスメント(パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど)があること	64.2	63.6	65.6	54.3	63.0	69.4	66.2	67.8	68.1	59.6	45.9
	職業によって、人物の評価がされること	29.6	28.1	30.6	28.6	29.4	25.7	25.7	27.9	35.2	31.7	32.1
	非正規雇用など不安定な雇用形態から抜け出したくても抜けられないこと	38.3	39.0	38.3	37.1	26.1	34.5	38.3	39.2	44.0	45.4	34.0
	職場でのいじめやいやがらせがあること	36.0	33.0	38.4	48.6	42.9	29.9	32.2	41.0	36.5	33.3	37.1
	長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと	37.1	37.6	36.9	40.0	52.5	51.1	38.3	31.5	28.5	32.2	34.0
	その他	1.4	2.0	0.7	5.7	0.8	2.5	3.3	1.1	0.5	0.5	0.6
	特に問題はない	2.1	3.1	1.2	2.9	0.8	2.1	4.0	1.6	1.6	2.5	0.6
	わからない	4.9	4.3	5.2	8.6	2.9	2.5	3.8	4.3	3.6	6.8	15.1
	不明	3.0	2.3	3.0	0.0	3.8	2.1	3.3	1.6	1.8	3.6	5.0
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%	いわゆるハラスメント(パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど)があること	66.5	66.7	56.8	68.5	66.3	56.5	58.7				
	職業によって、人物の評価がされること	27.3	33.3	29.1	31.8	32.6	29.0	27.8				
	非正規雇用など不安定な雇用形態から抜け出したくても抜けられないこと	33.3	42.8	40.5	39.9	37.2	43.5	42.2				
	職場でのいじめやいやがらせがあること	31.9	36.9	35.8	44.3	44.2	32.3	35.3				
	長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと	38.7	33.1	37.2	33.9	53.5	46.8	36.2				
	その他	2.2	1.0	2.7	0.3	2.3	3.2	0.5				
	特に問題はない	3.1	1.8	2.0	1.2	0.0	3.2	1.4				
	わからない	4.2	1.5	4.7	5.1	1.2	8.1	9.3				
不明	2.0	3.1	2.7	2.7	1.2	3.2	3.7					

33 拉致問題について知っていること

表 39. 問 33 北朝鮮当局による拉致について、あなたが知っていることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%												
政府により北朝鮮に拉致されたと認定されている人のことを「拉致被害者」ということ	80.7	81.3	80.9	74.3	68.5	77.8	82.9	86.7	82.9	80.3	78.0	
帰国できた人もいるが、多くの拉致被害者はまだ帰国できていないこと	90.3	89.0	92.3	80.0	81.1	87.7	92.9	93.5	90.2	92.9	88.7	
「拉致被害者」以外にも、北朝鮮によって拉致された可能性を排除できない人、いわゆる「特定失踪者」がいること	68.1	70.1	66.8	57.1	39.9	56.3	72.8	75.7	76.7	72.7	64.8	
横浜市や神奈川県に在住していた(している)拉致問題の被害者やその御家族がいること	31.0	29.3	33.1	20.0	15.1	19.7	29.7	34.2	40.4	37.7	32.7	
拉致問題の解決に向けた取組として、横浜市が講演会などの啓発を行っていること	12.8	12.2	13.4	8.6	10.9	6.0	10.6	11.5	16.6	16.9	17.0	
知っていることはない	4.0	4.4	3.2	17.1	10.5	5.6	3.5	1.6	3.6	2.5	3.8	
不明	1.6	1.1	1.5	0.0	0.4	1.1	0.8	0.7	1.6	2.5	4.4	
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%												
政府により北朝鮮に拉致されたと認定されている人のことを「拉致被害者」ということ	81.9	79.0	79.1	83.6	74.4	82.3	80.3					
帰国できた人もいるが、多くの拉致被害者はまだ帰国できていないこと	89.4	91.5	87.2	94.9	83.7	90.3	89.6					
「拉致被害者」以外にも、北朝鮮によって拉致された可能性を排除できない人、いわゆる「特定失踪者」がいること	68.3	69.0	64.9	71.7	38.4	74.2	69.1					
横浜市や神奈川県に在住していた(している)拉致問題の被害者やその御家族がいること	25.8	35.1	37.2	39.9	19.8	30.6	30.4					
拉致問題の解決に向けた取組として、横浜市が講演会などの啓発を行っていること	10.7	14.9	13.5	14.3	12.8	16.1	12.5					
知っていることはない	4.4	3.8	6.8	1.5	7.0	4.8	3.9					
不明	0.5	1.3	2.0	1.5	0.0	1.6	3.2					

34 人権問題に関する知識や情報の収集源

表 40. 問 34 あなたは、これまで人権問題に関する知識や情報を何から得ましたか。
(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
講演会	9.6	9.9	9.5	2.9	9.2	5.6	4.5	7.7	13.2	15.3	13.8
研修会	10.2	12.9	8.2	8.6	4.6	8.8	9.6	12.6	15.0	9.6	6.9
ツイッターやフェイスブックなどの ソーシャルメディア	13.2	13.6	12.7	22.9	42.0	26.8	11.8	9.5	4.7	2.7	4.4
インターネット	34.6	42.4	27.7	51.4	47.5	55.6	45.3	40.3	26.2	13.4	4.4
街頭キャンペーンなどの イベント	7.0	7.0	6.8	8.6	2.1	3.2	6.3	5.6	9.6	12.0	7.5
市町村が発行する広報紙・誌	22.1	20.1	24.3	11.4	3.8	9.9	17.4	23.6	26.7	34.7	39.6
パンフレットなどの資料	8.3	8.1	8.4	11.4	5.0	5.3	3.5	8.1	10.4	14.8	10.7
ポスター	10.1	9.8	10.4	11.4	10.1	10.9	9.1	10.4	8.3	15.0	3.8
テレビ、ラジオ	77.1	74.5	80.5	60.0	66.4	72.5	76.1	77.7	81.6	82.2	83.0
映画、ビデオ	18.9	17.2	20.3	28.6	23.1	23.6	22.9	20.5	17.1	12.0	11.3
新聞	50.8	52.0	50.3	37.1	19.3	28.5	40.8	50.7	64.0	72.4	79.9
本	25.8	27.3	24.6	37.1	24.4	22.9	24.9	22.5	29.8	31.4	22.6
学校の授業	32.3	32.0	33.1	25.7	69.3	52.1	40.6	33.6	16.6	9.8	8.8
家族・友人など周囲の身近な 人	23.6	19.7	27.0	34.3	26.5	31.7	23.2	24.1	21.5	21.3	17.0
その他	1.3	1.3	1.1	8.6	1.7	1.4	1.5	1.8	0.3	1.1	2.5
不明	1.9	1.2	1.7	2.9	0.4	1.4	1.8	1.1	1.3	3.0	3.1

	職業							
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない	
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431	
%	講演会	7.6	9.0	8.8	10.4	12.8	8.1	13.0
	研修会	14.6	9.7	6.1	6.8	0.0	9.7	9.3
	ツイッターやフェイスブックなどの ソーシャルメディア	16.5	11.8	15.5	6.3	46.5	12.9	6.0
	インターネット	50.7	29.7	36.5	24.7	41.9	35.5	14.8
	街頭キャンペーンなどの イベント	4.6	9.7	9.5	6.8	2.3	8.1	8.1
	市町村が発行する広報紙・誌	15.7	24.9	14.9	29.5	4.7	17.7	32.5
	パンフレットなどの資料	6.2	8.2	6.1	9.5	4.7	11.3	12.1
	ポスター	10.1	10.5	7.4	12.8	9.3	8.1	9.3
	テレビ、ラジオ	71.4	81.0	73.0	84.2	69.8	80.6	81.9
	映画、ビデオ	19.0	22.1	20.3	18.2	25.6	17.7	15.3
	新聞	40.9	47.9	50.0	60.7	24.4	51.6	68.2
	本	23.7	22.8	24.3	27.1	34.9	32.3	29.7
	学校の授業	43.4	32.3	22.3	25.6	86.0	16.1	12.3
	家族・友人など周囲の身近な 人	23.1	27.7	21.6	25.6	30.2	21.0	20.0
	その他	2.1	0.8	0.7	0.3	1.2	1.6	1.4
	不明	1.0	1.0	2.7	1.8	0.0	1.6	3.7

35 参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組

表 41. 問 35 横浜市では人権についての理解を深めていただくために、さまざまな取組を進めています。あなたが参加したことがあるものや、見たことがあるものはありますか。
(あてはまるものすべてに✓)

◎前回調査(平成 27 年度)では設問していない

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%	講演会	5.9	5.7	6.2	0.0	4.2	1.4	3.0	4.5	9.1	9.3	12.6
	人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、Jリーグと連携した啓発事業、人権パネル展示)	14.0	13.0	15.4	2.9	5.0	9.2	12.6	14.9	18.9	17.5	20.1
	「広報よこはま人権特集」や「人権に関するコラム」といった啓発記事	28.6	25.5	31.8	17.1	9.2	9.2	24.2	30.0	33.2	46.7	47.2
	市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」	22.0	20.5	23.7	17.1	31.1	23.2	29.2	21.8	19.2	13.9	15.1
	市内地下鉄・私鉄での「車内広告」	24.0	24.7	23.5	28.6	32.4	26.1	24.7	23.0	22.0	21.3	21.4
	横浜市の人権に関するホームページ	4.7	6.6	3.3	0.0	4.6	2.1	2.8	3.6	6.5	7.9	6.9
	その他	0.8	1.1	0.5	0.0	0.0	0.7	2.0	0.7	0.5	0.5	0.6
	どれにも参加したことや見たことはない	43.4	46.3	40.6	60.0	47.5	57.7	44.1	45.9	40.4	34.2	30.8
	不明	2.1	1.6	2.0	0.0	0.8	0.7	1.5	0.9	3.1	2.5	5.7
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%	講演会	3.5	5.9	5.4	6.5	4.7	4.8	9.5				
	人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、Jリーグと連携した啓発事業、人権パネル展示)	12.2	15.6	12.8	19.3	3.5	14.5	15.3				
	「広報よこはま人権特集」や「人権に関するコラム」といった啓発記事	19.0	33.8	29.1	37.5	11.6	24.2	39.2				
	市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」	23.2	25.4	16.2	22.9	48.8	16.1	14.4				
	市内地下鉄・私鉄での「車内広告」	28.6	22.1	20.9	19.9	39.5	22.6	20.0				
	横浜市の人権に関するホームページ	4.9	3.1	4.1	4.5	7.0	8.1	6.0				
	その他	0.9	1.0	0.0	0.3	0.0	4.8	0.7				
	どれにも参加したことや見たことはない	49.1	39.7	44.6	39.3	33.7	43.5	40.6				
	不明	0.9	2.1	4.7	1.2	0.0	4.8	3.0				

36 人権についての理解を深めるために充実すべき取組

表 42. 問 36 横浜市では人権についての理解を深めていただくために、さまざまな取組を進めています。あなたは、今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
講演会	7.6	8.8	6.6	5.7	3.4	3.9	5.8	6.1	9.6	10.4	18.2	
人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、Jリーグと連携した啓発事業、人権パネル展示)	18.0	19.0	17.9	5.7	8.0	16.9	17.9	18.7	22.0	21.3	17.6	
「広報よこはま人権特集」や「人権に関するコラム」といった啓発記事	21.4	20.1	22.7	11.4	5.0	4.9	11.6	19.4	26.9	41.8	44.0	
市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」	9.5	9.4	9.4	5.7	9.2	9.9	12.1	8.8	8.0	8.5	8.8	
市内地下鉄・私鉄での「車内広告」	16.4	17.2	16.2	5.7	22.7	19.4	17.1	16.2	15.5	12.6	11.9	
横浜市のホームページによる情報提供	10.9	13.0	9.4	5.7	4.6	6.3	8.3	10.8	11.1	16.1	22.6	
市民向け連続講座	3.7	3.9	3.5	5.7	2.5	0.7	2.3	4.1	6.2	5.2	3.1	
学校での教育	52.6	49.0	56.3	48.6	67.6	62.3	61.2	56.3	49.2	38.5	23.9	
企業向けの啓発	19.3	20.7	18.4	22.9	21.0	28.5	24.2	21.4	17.1	12.0	5.0	
ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用した情報発信	16.9	15.3	18.7	17.1	35.3	32.7	20.9	15.1	9.8	4.9	3.1	
人権をテーマにした演劇、コンサート、映画会	7.8	5.6	9.9	5.7	9.2	6.0	8.1	9.0	8.5	6.8	5.7	
パンフレットなどの資料の配布	7.7	8.8	6.9	5.7	2.9	3.9	6.3	7.2	8.0	13.1	13.8	
情報発信や交流ができる拠点の設置	7.5	7.3	7.6	5.7	5.5	7.7	7.3	9.2	8.3	7.4	3.1	
その他	1.6	1.8	1.1	14.3	2.1	3.2	1.8	1.4	1.8	0.0	0.6	
特にない	3.3	5.2	1.5	5.7	1.7	3.5	2.3	2.9	3.1	4.1	6.3	
わからない	7.0	6.4	7.0	22.9	5.9	3.9	6.3	7.7	7.3	8.7	8.8	
不明	6.3	5.0	7.2	0.0	8.0	4.9	5.5	4.5	6.5	7.1	9.4	

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
講演会	5.6	7.9	10.1	6.8	4.7	3.2	11.6
人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、Jリーグと連携した啓発事業、人権パネル展示)	17.0	21.5	14.9	21.1	10.5	17.7	18.3
「広報よこはま人権特集」や「人権に関するコラム」といった啓発記事	12.1	19.0	20.9	31.0	4.7	21.0	35.7
市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」	10.2	9.0	8.1	11.0	14.0	9.7	6.3
市内地下鉄・私鉄での「車内広告」	20.8	16.7	12.2	12.8	20.9	17.7	11.8
横浜市のホームページによる情報提供	8.7	7.9	13.5	11.6	3.5	17.7	16.0
市民向け連続講座	2.9	4.6	4.7	3.6	3.5	3.2	3.5
学校での教育	58.5	58.7	41.9	56.3	70.9	50.0	36.0
企業向けの啓発	25.2	21.5	14.2	17.3	17.4	17.7	11.8
ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用した情報発信	23.4	17.4	16.2	13.7	32.6	12.9	6.0
人権をテーマにした演劇、コンサート、映画会	6.1	9.5	11.5	8.9	11.6	11.3	6.3
パンフレットなどの資料の配布	5.0	7.7	8.8	6.8	2.3	6.5	14.2
情報発信や交流ができる拠点の設置	6.0	10.0	12.2	6.5	7.0	8.1	7.2
その他	2.1	2.3	1.4	0.6	1.2	3.2	0.7
特になし	3.9	0.8	4.1	1.2	2.3	4.8	5.1
わからない	5.6	5.9	10.8	5.7	3.5	4.8	11.1
不明	4.6	6.7	6.1	7.7	9.3	4.8	6.5

37 人権啓発活動において充実すべきインターネットコンテンツ

表 43. 問 37 横浜市では、人権啓発活動において、新しい情報に手軽に接することができるように、インターネットコンテンツの充実を検討しています。あなたは、どのようなコンテンツが有効だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

◎前回調査(平成27年度)では設問していない

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
%												
横浜市の人権に関するホームページを充実させ、さまざまな人権課題を詳しく掲載する	34.9	37.6	33.1	22.9	18.5	23.9	29.2	37.8	44.0	42.1	47.2	
市内で行われる人権啓発に関するイベント、講演会などの情報を提供する	20.0	20.6	19.9	11.4	5.5	12.0	16.1	22.5	27.5	26.8	25.8	
ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアで、横浜市から人権啓発に関する情報発信を行う	33.2	34.0	33.5	22.9	66.0	47.5	35.8	32.7	23.8	16.9	17.0	
インターネット等を通じて人権に関する動画を配信する	21.8	25.6	19.2	17.1	30.7	28.5	20.7	25.7	20.5	14.2	10.7	
人権啓発に関する教材(DVDや書籍など)を手軽に借りることができる機能を充実させる	7.9	7.3	8.3	14.3	7.1	6.0	6.3	7.9	8.8	9.6	10.7	
子どもが人権に関して学ぶことができるコンテンツを提供する	54.4	50.0	58.8	45.7	66.0	66.5	58.2	53.2	52.6	47.5	32.1	
その他	2.7	4.0	1.5	5.7	2.9	2.8	3.8	2.0	2.3	2.5	1.9	
わからない	15.1	13.9	14.9	40.0	8.0	9.2	13.4	14.4	13.7	23.8	23.9	
不明	2.6	2.2	2.4	0.0	1.7	1.8	2.0	1.6	2.3	2.5	8.2	
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
%												
横浜市の人権に関するホームページを充実させ、さまざまな人権課題を詳しく掲載する	31.0	36.2	37.8	40.2	22.1	22.6	40.4					
市内で行われる人権啓発に関するイベント、講演会などの情報を提供する	15.2	22.1	21.6	24.4	7.0	25.8	25.1					
ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアで、横浜市から人権啓発に関する情報発信を行う	42.1	33.3	31.1	24.4	66.3	27.4	19.0					
インターネット等を通じて人権に関する動画を配信する	26.1	23.3	28.4	15.2	26.7	25.8	14.8					
人権啓発に関する教材(DVDや書籍など)を手軽に借りることができる機能を充実させる	6.0	10.0	3.4	6.0	9.3	11.3	11.8					
子どもが人権に関して学ぶことができるコンテンツを提供する	61.3	54.9	43.2	57.7	67.4	50.0	40.8					
その他	3.5	2.3	3.4	2.1	4.7	6.5	0.7					
わからない	9.9	14.9	18.2	15.2	5.8	17.7	24.6					
不明	1.2	2.3	4.1	2.4	1.2	3.2	4.4					

38 講演会などにより多くの人に参加するための工夫

表 44. 問 38 横浜市が実施する人権啓発講演会や啓発イベントについて、どのようなものであれば、あなたは参加したいと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
% 会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である	29.1	24.9	32.9	14.3	11.3	15.8	18.1	29.1	35.2	46.2	50.9	
	27.4	22.9	31.8	14.3	23.9	29.9	26.4	32.7	29.0	22.7	23.3	
	24.3	26.3	23.0	28.6	37.0	29.6	30.2	28.8	19.2	11.7	13.2	
	25.6	26.0	26.0	11.4	39.5	35.6	29.2	27.0	20.7	14.5	14.5	
	23.3	21.2	25.7	14.3	26.1	21.1	21.7	20.3	23.6	28.1	23.9	
	21.2	18.5	23.6	22.9	23.5	23.9	27.2	21.6	20.5	18.3	6.3	
	2.0	3.4	0.9	2.9	1.7	3.9	2.5	2.0	1.3	1.1	1.9	
	12.5	16.6	8.6	25.7	10.1	13.7	11.3	10.8	13.2	15.8	11.3	
	10.3	10.2	9.9	20.0	9.7	6.0	9.3	8.6	11.7	13.9	13.8	
	2.0	1.9	1.6	0.0	1.3	1.1	2.0	0.9	1.3	1.9	7.5	
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
% 会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である	17.7	31.0	29.1	41.1	16.3	27.4	41.1					
	28.2	34.1	23.6	28.9	26.7	22.6	21.3					
	31.8	26.4	24.3	14.3	39.5	29.0	14.4					
	31.0	24.9	20.9	25.0	43.0	29.0	15.5					
	22.1	23.3	27.7	24.4	30.2	21.0	22.5					
	22.2	27.4	17.6	23.8	23.3	16.1	14.2					
	3.5	1.3	1.4	0.9	1.2	1.6	1.4					
	14.1	6.7	16.2	9.8	7.0	19.4	15.3					
	8.4	9.0	12.2	9.5	3.5	9.7	15.8					
	0.6	2.3	2.7	1.5	1.2	4.8	3.2					

39 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組

表 45. 問 39 横浜市がめざす「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するためには、あなたはどのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢						
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159
市民の人権意識を高めるための 広報・啓発の充実	25.7	27.4	24.8	14.3	14.3	15.8	19.9	21.8	29.8	35.8	52.8
学校における人権教育の充 実	61.9	61.3	63.7	37.1	63.9	68.3	68.8	65.1	63.7	53.8	39.0
家庭や地域における人権意 識の向上	23.4	20.5	26.2	11.4	26.1	25.4	25.4	24.8	19.2	22.4	21.4
企業における人権意識の向 上	22.5	25.4	20.4	14.3	28.6	30.6	28.2	24.8	19.9	12.6	8.2
教職員、保健・医療・福祉関 係従事者、公務員など人権問 題に深く関わる職業に従事す る人の人権意識の向上	25.4	22.9	27.4	25.7	20.6	18.3	20.9	23.6	29.0	33.3	33.3
差別や偏見につながる慣習 や社会の仕組みを改善するた めの施策の充実	26.2	24.8	27.4	31.4	29.4	26.4	23.7	27.5	26.4	26.0	23.3
% 人権に関する条例などの制定	12.6	15.1	10.7	14.3	16.0	19.0	16.1	10.8	11.9	8.7	4.4
人権問題に取り組む団体やN PO等との連携・協働の強化	7.8	7.5	7.8	14.3	10.5	9.2	5.0	7.4	7.8	10.1	3.8
人権に関する相談体制の充 実	11.3	10.8	12.0	5.7	9.7	9.9	9.1	13.7	10.6	13.9	11.3
人権侵害に対する救済策の 強化	12.9	11.8	13.5	22.9	11.8	13.0	10.6	14.0	16.3	10.7	13.2
その他	1.2	2.0	0.6	2.9	0.4	1.1	2.8	1.1	1.3	0.5	0.0
特にない	1.9	2.6	1.1	11.4	2.1	1.8	1.8	1.6	2.1	2.5	1.3
わからない	5.2	4.9	5.0	14.3	5.9	3.9	4.3	4.5	4.9	6.8	7.5
不明	3.2	3.2	2.9	0.0	4.2	1.4	3.0	2.3	2.3	3.0	9.4

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職 員	パート・ アルバ イト等	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431
市民の人権意識を高めるための 広報・啓発の充実	21.7	21.3	27.0	32.7	15.1	12.9	35.3
学校における人権教育の充 実	67.7	64.1	52.0	69.3	65.1	58.1	48.7
家庭や地域における人権意 識の向上	23.2	26.7	25.0	22.3	32.6	27.4	19.3
企業における人権意識の向 上	30.8	24.6	16.9	14.6	22.1	22.6	13.9
教職員、保健・医療・福祉関 係従事者、公務員など人権問 題に深く関わる職業に従事す る人の人権意識の向上	19.1	24.1	25.0	31.0	23.3	33.9	33.6
差別や偏見につながる慣習 や社会の仕組みを改善するた めの施策の充実	27.6	26.2	19.6	25.9	27.9	22.6	25.8
% 人権に関する条例などの制定	15.7	12.6	15.5	10.4	12.8	14.5	7.4
人権問題に取り組む団体やN PO等との連携・協働の強化	6.4	9.0	6.8	8.3	14.0	6.5	8.1
人権に関する相談体制の充 実	10.2	9.7	14.9	15.5	9.3	11.3	10.4
人権侵害に対する救済策の 強化	11.7	12.3	17.6	13.4	11.6	12.9	13.5
その他	1.7	1.0	2.0	0.3	1.2	4.8	0.5
特にない	2.4	0.8	2.0	1.2	1.2	0.0	3.0
わからない	4.0	5.9	6.1	4.5	4.7	3.2	7.4
不明	2.0	3.3	4.7	1.2	3.5	4.8	5.3

40 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動

表 46. 問 40 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきこととして、あなたはどのようなことが求められると思いますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢							
		男性	女性	その他・ 答えたくない	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
該当者数(n)	2,301	1,007	1,228	35	238	284	397	444	386	366	159	
人権に対する正しい知識を身につけること	66.4	65.6	68.3	42.9	58.4	64.8	68.0	66.4	67.6	69.4	70.4	
自分の中にある偏見や差別を自覚し、自分は差別してしまうかもしれないことを自覚すること	51.8	51.6	52.6	40.0	55.5	54.6	55.9	53.4	53.9	49.2	28.3	
因習や固定観念にとらわれないこと	33.9	32.3	35.4	37.1	51.3	41.5	34.0	32.2	27.7	28.1	29.6	
他人の立場や権利を尊重すること	42.8	44.7	42.1	31.4	43.7	36.3	38.8	43.0	49.5	46.2	41.5	
自分が生活している地域の人々を大切にすること	11.0	10.9	10.9	5.7	3.4	8.8	8.1	10.6	10.1	16.1	23.3	
家族が互いの立場や権利を大切にすること	11.8	9.6	13.8	2.9	8.4	11.3	10.6	12.8	12.7	11.5	16.4	
職場や学校で、人権を尊重する意識を高めあうこと	27.8	25.9	29.7	20.0	30.3	32.0	29.0	28.8	25.1	24.3	24.5	
その他	1.0	1.4	0.7	2.9	0.0	2.1	1.8	0.7	1.3	0.5	0.0	
特にない	1.0	1.6	0.3	8.6	0.4	1.8	1.0	0.7	0.8	1.6	0.6	
わからない	2.3	2.3	1.8	14.3	2.1	0.7	1.8	1.6	2.1	3.8	5.0	
不明	2.7	2.9	2.0	2.9	2.9	2.1	2.0	1.6	2.3	3.0	6.9	
		職業										
		会社員・ 公務員・ 団体職員	パート・ アルバイト等	自営業・ 個人事業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は していない				
該当者数(n)	802	390	148	336	86	62	431					
人権に対する正しい知識を身につけること	66.8	66.2	58.8	76.5	54.7	58.1	65.0					
自分の中にある偏見や差別を自覚し、自分は差別してしまうかもしれないことを自覚すること	56.6	55.1	45.3	44.6	54.7	59.7	47.8					
因習や固定観念にとらわれないこと	35.9	34.1	27.0	35.4	57.0	30.6	28.1					
他人の立場や権利を尊重すること	41.5	40.0	44.6	44.6	54.7	32.3	45.7					
自分が生活している地域の人々を大切にすること	8.7	9.7	13.5	13.7	0.0	12.9	15.1					
家族が互いの立場や権利を大切にすること	10.1	12.3	14.9	13.7	9.3	16.1	11.4					
職場や学校で、人権を尊重する意識を高めあうこと	28.8	30.5	24.3	30.1	29.1	27.4	22.3					
その他	1.0	1.0	1.4	0.9	0.0	3.2	1.2					
特にない	1.2	0.5	0.7	0.6	0.0	0.0	1.9					
わからない	1.5	1.8	3.4	1.2	1.2	0.0	4.6					
不明	1.9	2.3	2.7	1.2	1.2	8.1	4.4					

人権に関する市民意識調査
報 告 書

令和3年2月

発 行 横浜市市民局人権課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地10

TEL 045-671-2718 FAX 045-681-5453

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/jinken/>